

男女共同参画に関する市民意識調査 結果報告書

平成 19 年 8 月

三重県亀山市

目 次

・調査の概要	1
1．調査の目的	1
2．調査の方法	1
3．配布・回収数	1
4．注意事項	1
・調査結果の概要	3
・属性別の傾向	5
・調査結果と目標指標	7
1．亀山市男女共同参画基本計画の目標値	7
2．属性別にみる目標値設定項目の状況	9
・調査結果の分析	19
1．あなた自身のことについて	19
問1 性別	19
問2 年齢	19
問3 家族構成	19
問4 居住地区	20
問5 職業	20
問6 婚姻状況	20
問6 - 1 配偶者の職業	21
2．男女共同参画社会について	22
問7 「男女共同参画社会」の認知度	22
3．男女平等について	24
問8 男女の地位の平等	24
問9 「男は仕事、女は家庭」	29
4．家庭生活について	31
問10 夫婦間の分担	31
問11 一人暮らしの家事	38
5．子育てについて	39
問12 子育てについての考え方	39
問13 子育てに関する地域活動	45
問14 出生率低下の原因	47
6．健康・介護について	49
問15 健康診断受診の有無	49
問15 - 1 受診していない理由	52

問 16 要介護者の有無	54
問 16 - 1 主な介護担当者	55
問 17 将来、誰に介護されたいか	56
7 . 就労について	58
問 18 現在の就業状況	58
問 18 - 1 働いている理由	59
問 18 - 2 就業先の男女の平等	62
問 18 - 3 平等だと思わない理由	64
問 18 - 4 今後、働きたい仕事の形	65
問 19 女性の就業のあり方	66
問 20 女性が働き続けるうえでの障害	68
問 21 育児休業制度・介護休業制度の認知度、取得状況	71
8 . ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメントなどについて	75
問 22 ドメスティック・バイオレンス、DV防止法、セクシュアル・ハラスメントの認知度	75
問 23 ドメスティック・バイオレンスの被害経験の有無	78
問 23 - 1 ドメスティック・バイオレンス被害の内容	80
問 23 - 2 ドメスティック・バイオレンス被害相談経験の有無	81
問 23 - 3 ドメスティック・バイオレンス被害相談相手	81
問 23 - 4 ドメスティック・バイオレンス被害相談をしなかった理由	82
問 24 ドメスティック・バイオレンス被害相談機関の認知度	83
問 25 セクシュアル・ハラスメントだと思うこと	85
問 26 ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント等の被害防止に必要なこと	87
9 . 社会参加について	90
問 27 社会活動参加の有無	90
問 27 - 1 参加している活動の種類	92
問 27 - 2 社会活動に参加していない理由	93
問 28 地域活動などに男女ともに参加するために必要なこと	95
10 . 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて	98
問 29 政治・行政への女性の参加が少ない理由	98
問 30 男女共同参画の推進に今後必要なこと	101
. 参考資料	105
1 . 集計表	105
単純集計表	105
クロス集計表	120
【男女別】	120
【年齢別】	133
【職業別】	152
【婚姻別】	157
【共働き形態別】	158
2 . 自由記述	165
3 . 調査票	181

. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「亀山市男女共同参画基本計画」（平成 18 年 3 月策定）の進捗状況を確認するとともに、「（仮称）亀山市男女共同参画推進条例」の制定に向け、その基礎資料とすることを目的に実施したものである。

2. 調査の方法

調査対象地域	亀山市全域
調査対象者	18 歳以上の亀山市在住者 1,500 人
調査期間	平成 19 年 6 月 6 日～平成 19 年 6 月 27 日
サンプル抽出法	住民基本台帳から無作為抽出 （地域・年代のバランスに応じた層化抽出による）
調査方法	郵送による配布・回収

3. 配布・回収数

配布数	回収数	有効回収数	回収率	（参考） 前回調査回収率
1,500	662	659	44.1%	41.3%

4. 注意事項

比率はすべてパーセントで示したが、小数点第 2 位で四捨五入しているため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合もある。

母数となるべき実数は回答者数として示した。複数回答が可能な設問についても、比率算出の母数は回答者数とし、それぞれの選択肢の比率を算出している。そのため、複数回答が可能な設問の比率の合計は 100.0%を超えている。

「無回答」は回答していないもの、「無効回答」は選ぶべき選択肢の数や答え方を間違っているなど、集計上有効でない回答を示している。

本報告書では、過去の市の調査と県の調査の結果を一部引用し、分析を行っている。このうち、過去の市の調査（以下「前回調査」という。）とは、亀山市が平成 17 年 2 月に実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」のことを指し、過去の県の調査（以下「県の調査」という。）とは、三重県が平成 18 年 2 月に実施した「男女共同参画に関する県民意識と生活基礎調査」のことを指している。

・ 調査結果の概要

亀山市の男女共同参画ってどうなっているの

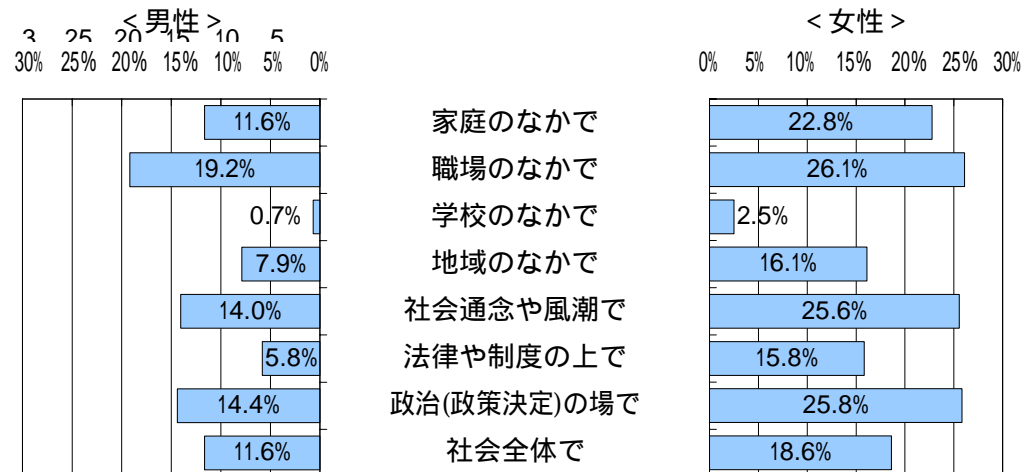
1

男女の地位は平等になっている??

家庭や職場、学校、地域などそれぞれの分野における男女の地位の平等を、市民のみなさんはどのように感じているでしょうか。

すべての分野において、男性より女性の方が「男性の方が優遇されている」と感じています。分野別では「職場」や「政治」などの場面での男女の地位に不平等を感じる人が多く、また「社会全体」「社会通念」「政治」といった分野では、女性は男性の認識以上に、男女の地位が平等になっていないと感じています。

それぞれの分野で「男性の方が優遇されている」と考える人の割合



2

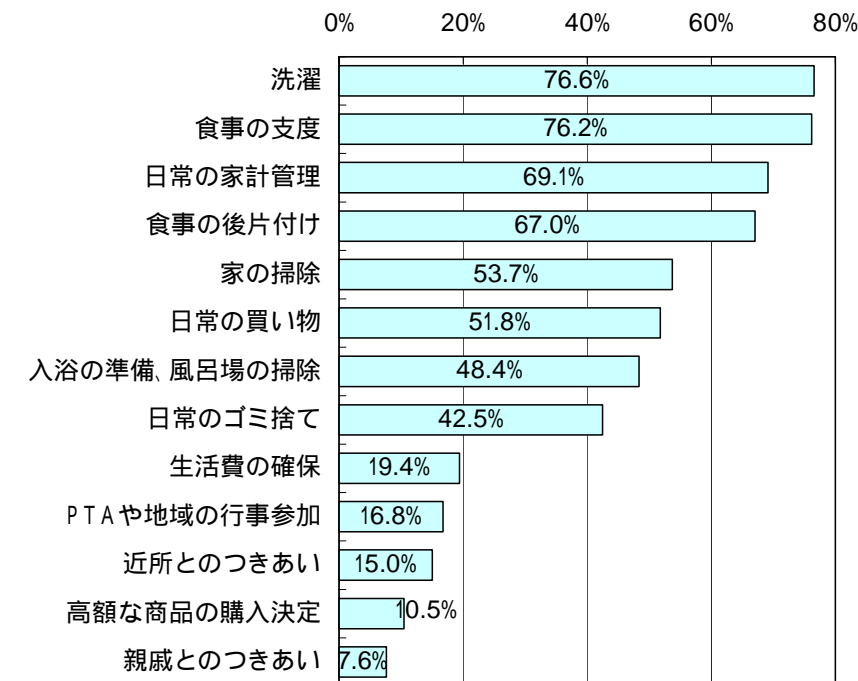
家庭では家事の役割分担をしている??

家庭生活における夫婦の間での家事等の役割分担はどうなっているのでしょうか。

家庭生活の中での夫婦の役割分担について、「ほとんど妻がしている」割合

家庭生活における家事の多くは「ほとんど妻がしている」状況にあります。特に「洗濯」や「食事の準備」「日常の家計管理」などが高くなっています。

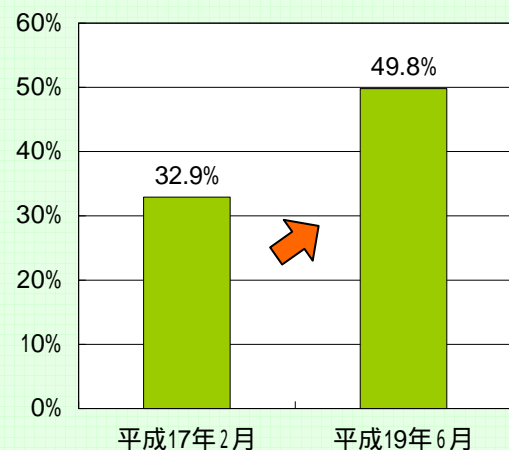
これら夫婦の役割分担に関し、夫婦間での話し合いによる役割分担ではない、固定的な男女の役割意識による役割分担を解消していくことが、男女共同参画の実現に向けた一歩となります。



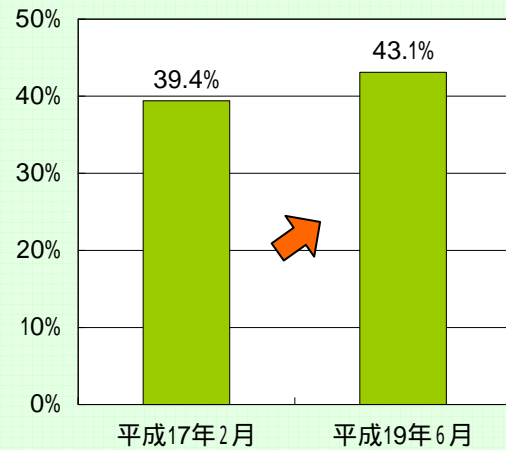
亀山市民の意識

平成17年の前回調査時点と比べて、亀山市における男女共同参画に対する認識や理解は確実に広がっています。しかし、年齢や地域などによってばらつきもあるため、さらなる普及・啓発が必要です。

「男女共同参画社会」という言葉を知っている人の割合

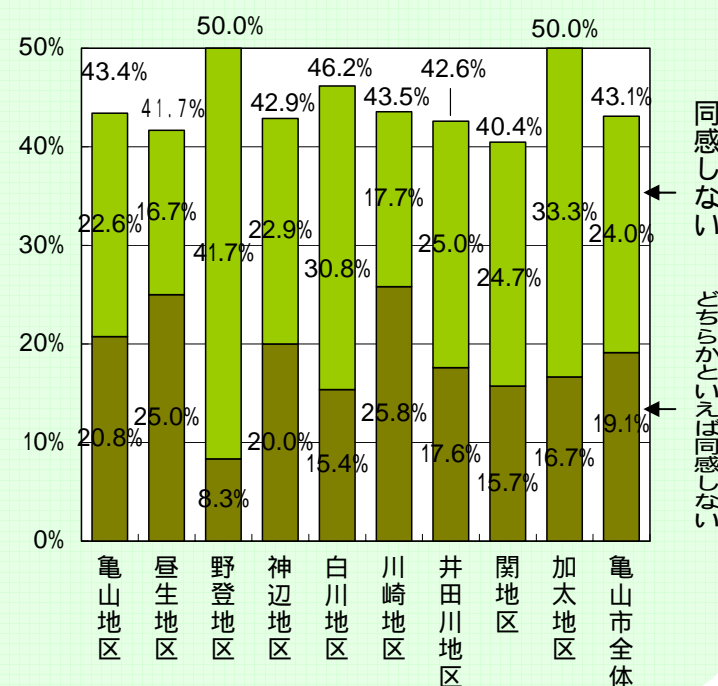


「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合



参考：三重県全体(平成18年2月調査)では47.3%

「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の地区別での割合



男女共同参画社会とは

「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的な利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」のことです。



3

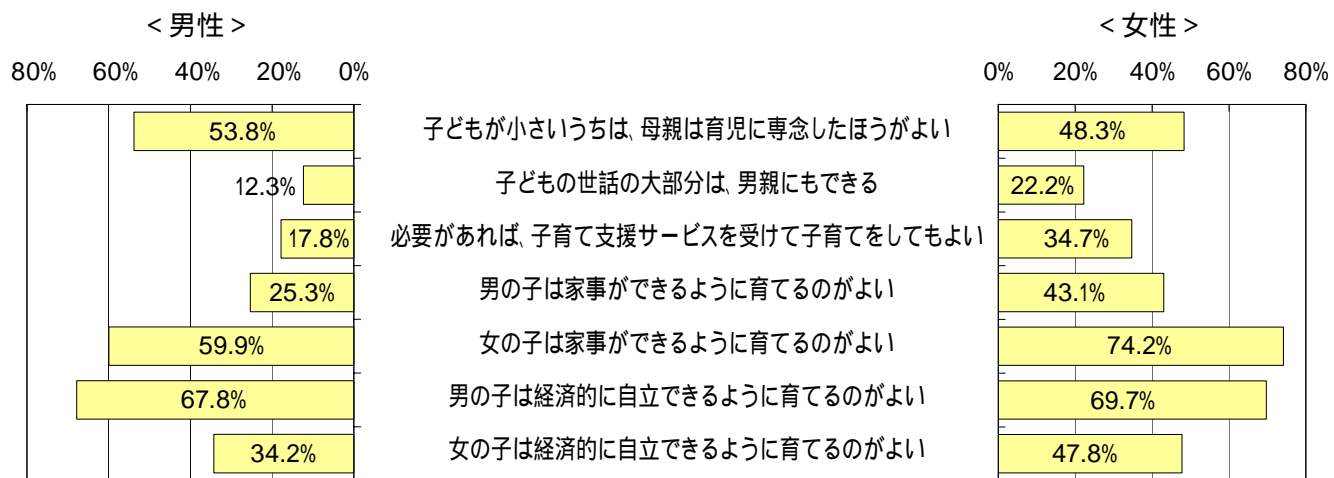
子育てについてどう考えている??



男子、女子の育て方について、市民のみなさんはどのように考えているでしょうか。

多くの人が、男子は「経済的自立」、女子は「家事」ができるように育てることを望んでいます。しかし、男子の「家事」、女子の「経済的自立」を重視する声も女性で多くなっているなど、男女の固定的な役割分担を意識しない子育ても広まりつつあります。

子育てについて、それぞれの意見に「そう思う」と考える人の割合



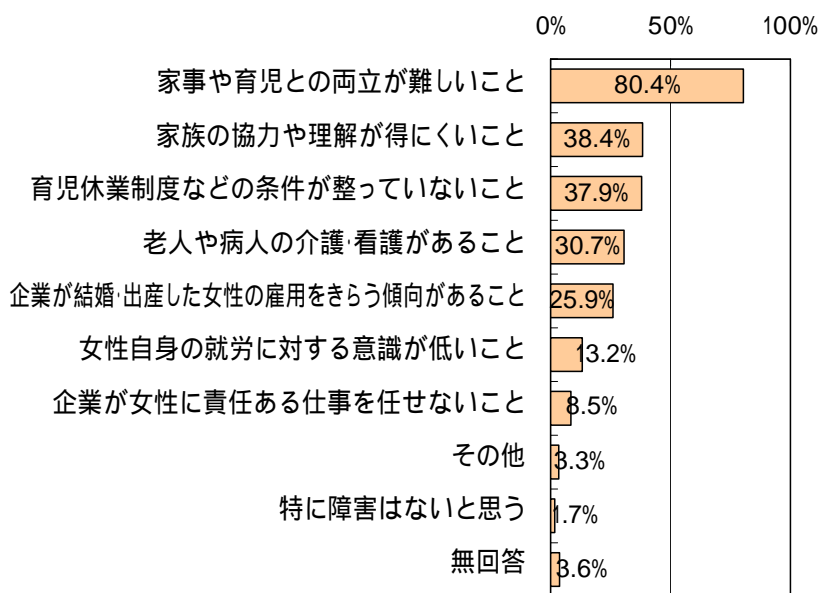
4

女性が働き続ける上での大きな障害は??

女性が働くにあたって、どのようなことに障害を感じているのでしょうか。

女性が働き続ける上で「家事・育児との両立」が最も大きな障害となっていることがうかがえます。また、「家族の協力」などの意識面や、「育児休業制度」「介護・看護」等の制度面を障害に挙げる声も多く、女性の就労支援が重要になってきます。

女性が働き続ける上で障害となると思われること



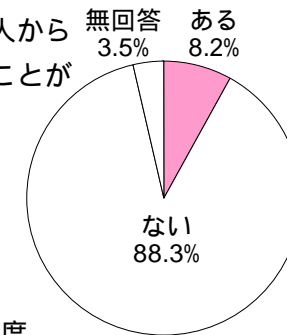
5

ドメスティック・バイオレンス(DV)やセクハラって身近にあるの??

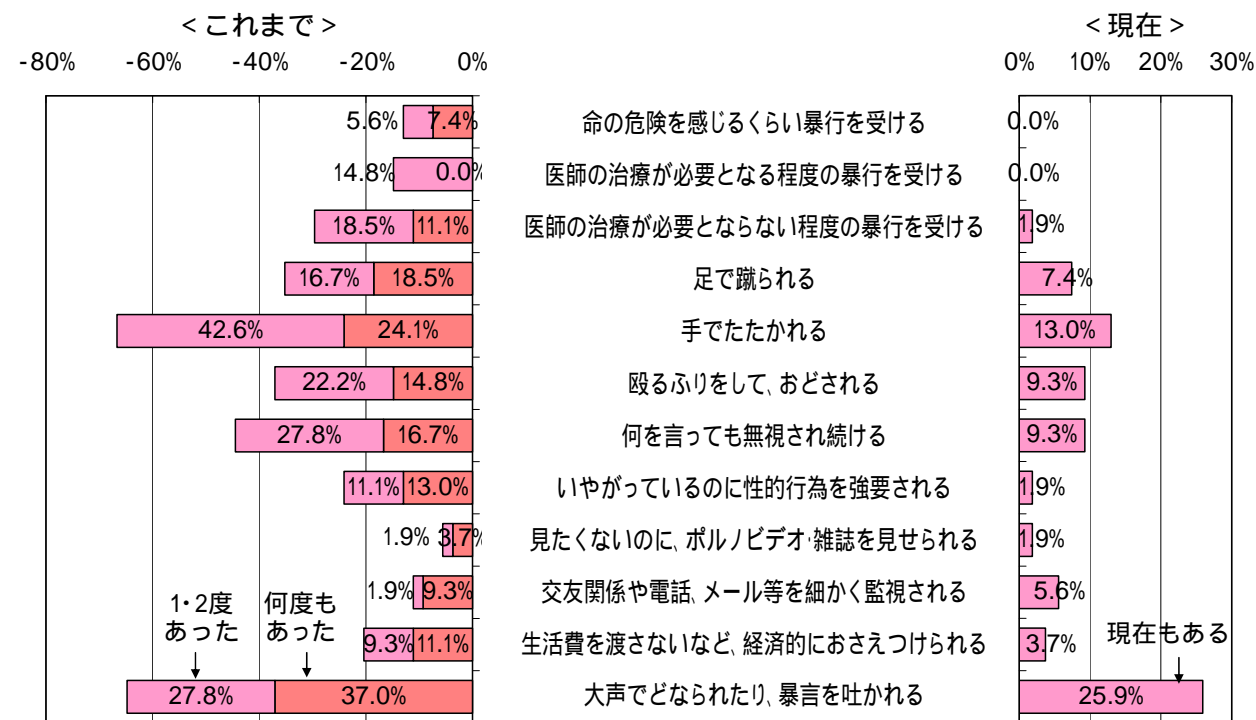
どれくらいの人々がドメスティック・バイオレンスの被害を受けているのでしょうか。

市民の8.2%がドメスティック・バイオレンスを受けています。中には重度の被害を受けている人もおり、現在も続いていることがうかがえます。

結婚相手や恋人から暴力を受けたことがある人の割合



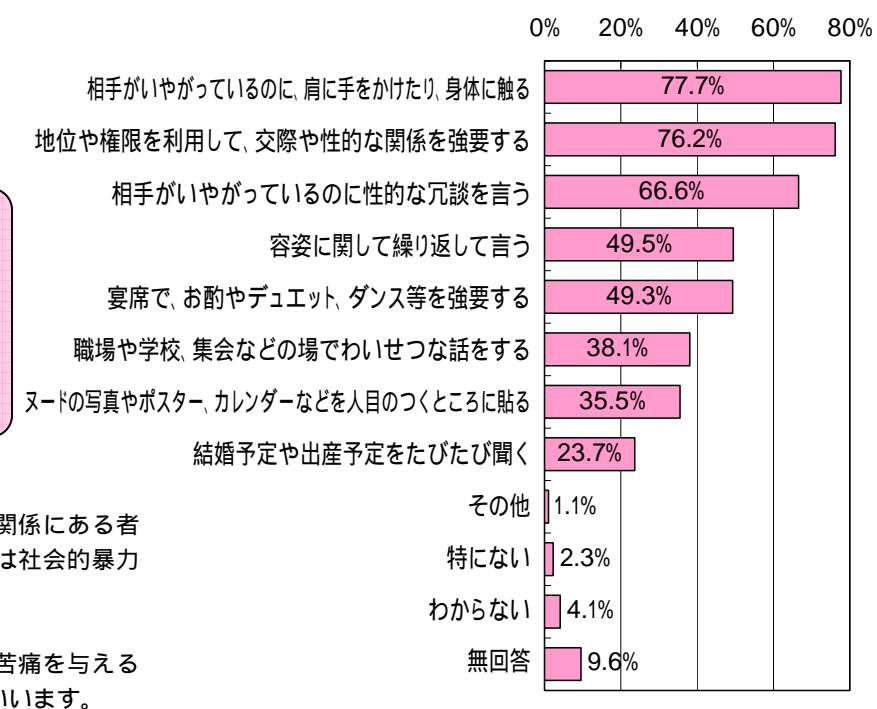
結婚相手や恋人から暴力を受けたことがある人のうち、その暴力の内容と頻度



どのようなことがセクシャル・ハラスメントにあたると思われているのでしょうか。

上位3項目は半数以上の人々がセクシャル・ハラスメントだと感じていますが、それら以外の項目についてもセクシャル・ハラスメントだと感じる人が少なからずいることがわかります。

あなたがセクシャル・ハラスメントだと思うこと



注) ドメスティック・バイオレンス(DV)
配偶者、配偶者であった者、恋人及び同棲関係にある者に対する身体的、性的、精神的、経済的又は社会的暴力をいいます。
セクシャル・ハラスメント(セクハラ)
性的な言動により他の者に不快感や精神的苦痛を与えること又は相手方の生活環境を害することをいいます。

. 属性別の傾向

属性別の傾向

男女別

男性は、女性に比べて、「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感する人が多く、子育てについても「子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい」と考える人が多い。地域における社会活動への参加は女性に比べて男性のほうが多いが、子育てに関する地域活動に限ってみると男性の参加は少ない。家事や子育て、介護は女性の役割となっている家庭が多いため、男性は女性に比べて炊事、洗濯、掃除などの家事全般を1人でできる人の割合が少なく、1人暮らしになった場合何らかの支障が出る人が多い。

一方、女性は、職場、家庭、地域社会、政治の場などあらゆる場において、男女平等が不十分だと感じており、「男は仕事、女は家庭」という男女の固定的な役割分担には否定的である。子育てにおいても、男の子には経済的自立、女の子には家事を望む声が多いなか、男の子も家事ができるよう、また、女の子も経済的自立ができるよう育てるのがよいと考える女性が増えている。

しかし、実際には、家事、子育て、介護などは女性の役割となっている家庭が多く、女性が仕事を続ける上で、また、社会参加をする上で、家事や子育て、介護との両立が難しいことが大きな障害となっているようである。そのため、子育てが終わるまでは一時的に仕事をやめるが、その後、子育ての時期が過ぎたら、主にパートタイマーやアルバイトとして再就職したいと考える女性が増えている。

ドメスティック・バイオレンス(DV)やセクシュアル・ハラスメント(セクハラ)については、被害を受けた女性が誰にも相談できず、泣き寝入りすることも多いようであり、深刻な問題だといえる。

年齢別

若い世代では、「男は仕事、女は家庭」という男女の固定的な役割分担には否定的であり、子育てについても父親の参加や子育て支援サービスの利用に前向きである。夫婦間の家事分担においても、妻が中心ではあるが、入浴の準備や風呂場の掃除、日常のゴミ捨てなどを夫が分担している家庭が比較的多い。また、若い世代ほど、職場などにおいて男性が優遇されていると感じている人が多く、結婚して子供が生まれた後も女性は職業を持ち続けるほうがよいと考える人が比較的多い。

40歳代を中心とした中年層では、男女共同参画への関心が比較的高く、「男女共同参画社会」、「育児休業制度」、「介護休業制度」、「DV」、「DV防止法」、「セクハラ」などについての認知度が他の年齢層に比べて高い。また、この世代は、社会活動への参加も比較的多く、なかでも子育てに関する地域活動は、PTAや子ども会、スポーツ少年団、教育協議会といった活動に積極的に参加している。

60歳代以上の高齢者層では、「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感する人が多い。子育てについても「子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい」と考える人が多く、父親の参加や子育て支援サービスの利用には否定的な人が比較的多い。

職業別

勤め人(フルタイム)や学生では健康診断の受診率が高いのに対して、定期的に受診する機会が少ない農林水産業やパートタイマー・アルバイト、家事専業・家事手伝い、無職では、受診率がやや低い傾向にある。

職場での男女平等は十分ではなく、特に、勤め人(フルタイム)で「男性のほうが優遇されている」と感じている人が比較的多くなっている。

また、どの職業においても、仕事と家事や育児、介護との両立は難しいと考える人が多く、女性が仕事を続ける上での大きな障害となっている。

婚姻別

「男は仕事、女は家庭」という男女の固定的な役割分担に否定的な考えを持っているのは未婚者に多く、既婚者や離婚・死別した人では、「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感する人が多くなっている。

また、既婚者では、将来の介護を配偶者にしてほしいと考える人が比較的多いのに対して、離婚・死別した人では、老人ホームなど施設での介護を望んでいる人が多い。離婚・死別した人は、DV被害を受けている割合も比較的多い。

共働き形態別

共働き世帯では、「男は仕事、女は家庭」という男女の固定的な役割分担に否定的な考えを持っている人が比較的多く、子育てについても「子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい」と考える人は少ない。また、共働き世帯では、女の子にも経済的自立を求める傾向がみられる。家事の分担についても、共働き世帯では、他の形態に比べて「ほとんど妻がしている」という割合が比較的少ない。

・ 調査結果と目標指標

1. 亀山市男女共同参画基本計画の目標値

亀山市男女共同参画基本計画（平成 18 年 3 月）に掲げられた平成 23 年度を目標年度とする目標値のうち、市民意識調査の結果から現状値が導き出されるものについて、それぞれの項目の状況と傾向をみる。

（1）男女共同参画を意識している人の割合

男女共同参画社会を実現する意識づくり			
「男女共同参画を意識している人の割合」 性別による固定的な役割分担意識の一つである「男は仕事、女は家庭」という考え方に対し、「同感しない」、「どちらかといえば同感しない」と思う人の割合			
前回調査 平成 17 年 2 月	今回調査 平成 19 年 7 月	目標値 平成 23 年度	（参考）三重県 平成 18 年 2 月
39.4%	43.1%	80%	47.3%
「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合は、前回調査に比べて 3.7% 増えており、市民の意識は徐々に高まっていることがうかがえる。しかし、県の調査では県全体の平均値が 47.3% であるのに対し、亀山市は少し低い値となっており、平成 23 年度目標値に対してはまだ大きな差がある。			

（2）社会活動参加率

家庭、地域における男女共同参画の推進			
「社会活動参加率」 自治会やコミュニティの活動、女性団体の活動、高齢者団体の活動、PTA 役員や子ども会などの青少年活動、ボランティア活動、文化サークル活動、レクリエーションやスポーツのサークル活動などを行っている人の割合			
前回調査 平成 17 年 2 月	今回調査 平成 19 年 7 月	目標値 平成 23 年度	（参考）三重県 平成 18 年 2 月
37.6%	42.2%	50%	-
社会活動に参加している人の割合は、前回調査に比べて 4.6% 増加している。なお、県の調査では同様の設問を設定していない。			

(3) 子育てに関する地域活動に参加したことがある人のうち男性の比率

家庭、地域における男女共同参画の推進			
「子育てに関する地域活動に参加したことがある人のうち男性の比率」 子育てに関する地域活動に参加したことがある人の総数に対する男性の割合			
前回調査 平成 17 年 2 月	今回調査 平成 19 年 7 月	目標値 平成 23 年度	(参考) 三重県 平成 18 年 2 月
-	41.7%	50%	-
子育てに関する地域活動に参加したことがある人のうち男性が占める割合は、全体に対し 41.7% となっている。なお、前回調査および県の調査では同様の設問を設定していない。			

(4) DV防止法認知度

心身ともに健やかで、安心して暮らせる環境づくり			
「DV防止法認知度」 DV防止法の内容について「よく知っている」、「少し知っている」とした人の割合			
前回調査 平成 17 年 2 月	今回調査 平成 19 年 7 月	目標値 平成 23 年度	(参考) 三重県 平成 18 年 2 月
41.6%	52.6%	60%	43.1%
DV防止法の認知度の割合は、前回調査に比べて 11.0% 上がっており、市民の半数以上が認知している。県の調査は選択肢構成が若干異なるため直接の比較とはならないものの、その差異を除いても亀山市の認知度は高くなっている。			

(5) 健康診断受診率

心身ともに健やかで、安心して暮らせる環境づくり			
「健康診断受診率」 ここ 1 年間で、病院および職場、学校等で健康診断を受診した人の割合			
前回調査 平成 17 年 2 月	今回調査 平成 19 年 7 月	目標値 平成 23 年度	(参考) 三重県 平成 18 年 2 月
74.3%	76.6%	80%	-
ここ 1 年間で健康診断を受診した人の割合は、前回調査に比べて 2.3% 上がっている。なお、県の調査では同様の設問を設定していない。			

2. 属性別にみる目標値設定項目の状況

(1) 男女共同参画を意識している人の割合

性別

「男は仕事、女は家庭」という考え方に「同感しない」「どちらかといえば同感しない」を合わせた「『男は仕事、女は家庭』という考え方に同感しない人」の割合は、市全体が43.1%なのに対し、男性で38.7%、女性で46.6%と、男性の方が低くなっている。性別による固定的な役割分担意識の一つである「男は仕事、女は家庭」という考え方に対して男性の方が否定的意見が少ないことから、男女共同参画に対する意識は男性で低くなっていると考えられる。

年齢別

「『男は仕事、女は家庭』という考え方に同感しない人」の割合は、「29歳以下」の56.5%を筆頭に、「30歳代」で53.6%、「40歳代」で54.6%と、比較的若い世代では半数を超えている。しかし、「60歳代」では27.7%、「70歳以上」では31.8%と低くなっており、年代における意識差が出ている。

婚姻別

「『男は仕事、女は家庭』という考え方に同感しない人」の割合は、「結婚していない」が54.5%なのに対し、「結婚している」で42.3%、「離婚・死別」で35.2%と、婚姻の有無で意識の差が生じていることがうかがえる。

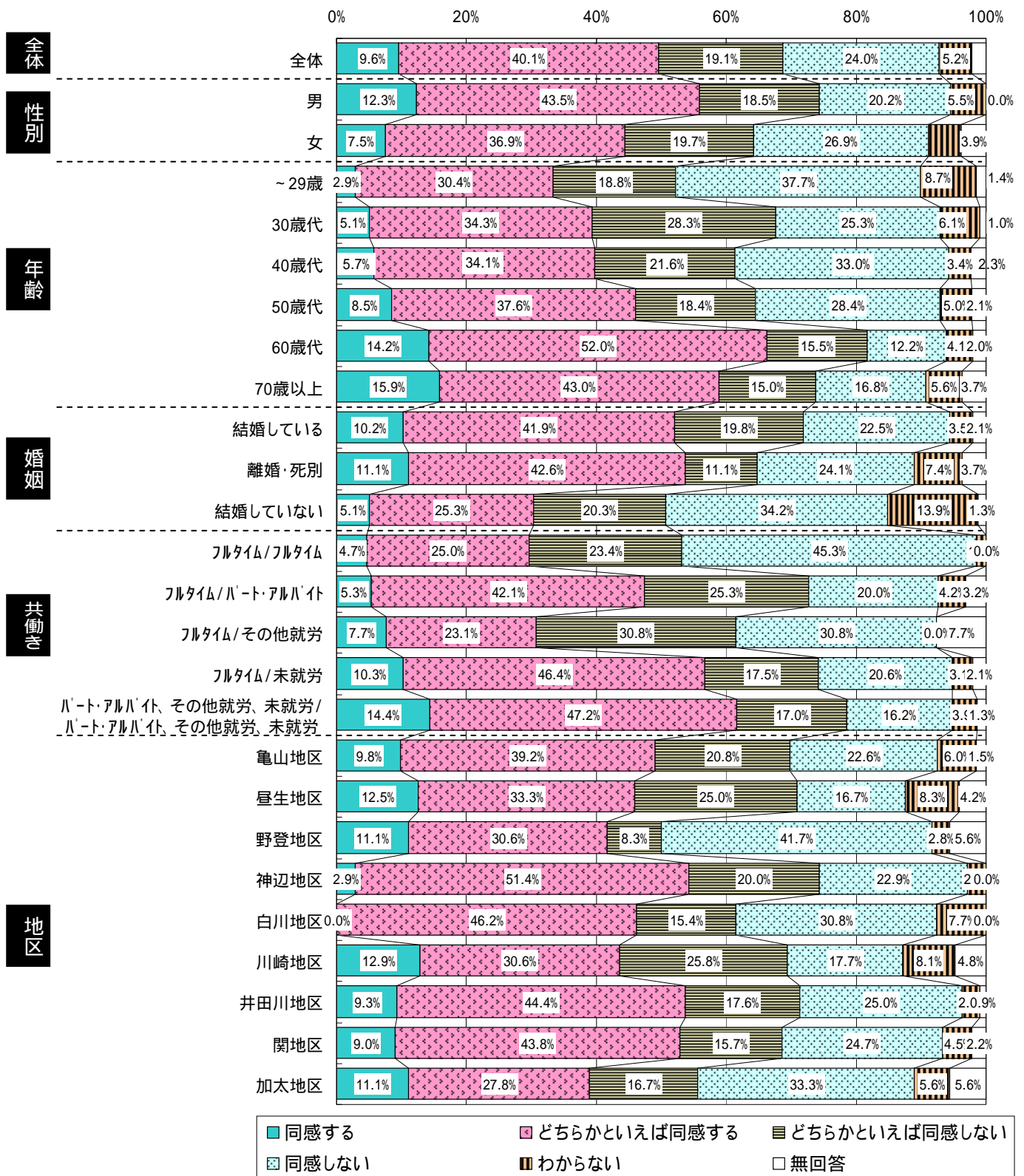
共働き別

「『男は仕事、女は家庭』という考え方に同感しない人」の割合は、結婚している人のうち「夫婦ともにフルタイム就労」で68.7%、「一方がフルタイム就労、一方がその他就労」で61.6%となっているものの、「一方がフルタイム就労、一方が未就労」では38.1%となっている。共働きの世帯では男女の固定的な役割分担意識は低くなっていることがうかがえる。

地区別

「『男は仕事、女は家庭』という考え方に同感しない人」の割合は、「野登地区」(50.0%)、「加太地区」(50.0%)、「白川地区」(46.2%)などの地区で高くなっており、一方で、「関地区」(40.4%)、「昼生地区」(41.7%)、「井田川地区」(42.6%)、「神辺地区」(42.9%)では市全体の平均43.1%を下まわっている。

【男女共同参画を意識している人の割合】



(2) 社会活動参加率

性別

社会活動への参加率は、男性で 49.7%、女性で 36.4%と男性で高くなっており、男性の方が積極的に社会活動にかかわりを持っているとも言えるとともに、社会における公的な場への参加について、世帯の中で男性が担う傾向が強いと考えられる。

年齢別

社会活動への参加率は、「40歳代」で 59.1%と最も高くなっており、「30歳代」(53.5%)と合わせて半数を超えている。一方で「29歳以下」で 10.1%、「70歳以上」で 37.4%、「50歳代」で 41.1%と、市全体の 42.2%を下まわっている。

婚姻別

社会活動への参加率は、「結婚している」では 48.8%と高くなっており、一方で「結婚していない」は 10.1%、「離婚・死別」は 25.9%となっている。社会活動への参加は婚姻状況と大きくかわってくるのがうかがえる。

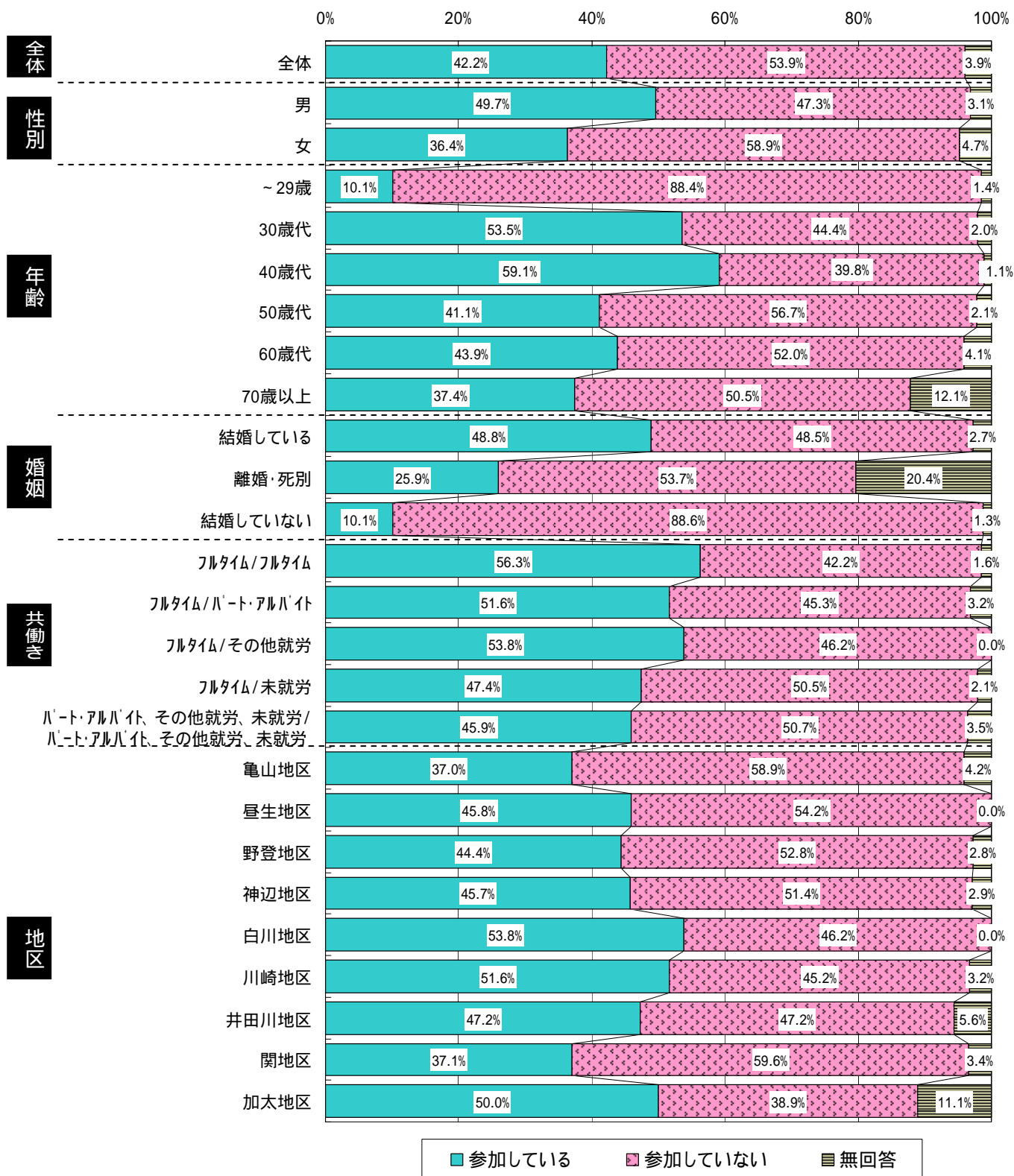
共働き別

社会活動への参加率は、結婚している人のうち「夫婦ともにフルタイム就労」(56.3%)、「一方がフルタイム就労、一方がその他就労」(53.8%)などの世帯で比較的高くなっている。しかし、いずれの属性についても市全体の平均以上となっている。

地区別

社会活動への参加率は、「白川地区」(53.8%)、「川崎地区」(51.6%)、「加太地区」(50.0%)の地区で 50%を超えるなど高い割合となっている。一方で「亀山地区」(37.0%)、関地区(37.1%)では市全体の 42.2%を下まわっており、最も高い「白川地区」と最も低い「亀山地区」では 16.8ポイントの差が生じている。

【社会活動参加率】



(3) 子育てに関する地域活動に参加したことがある人の比率

< 男女別でみた比率 >

参加状況

子育てに関する地域活動に参加したことがある人のうち男性の割合は41.7%、女性の割合は57%となっており、女性の参加率の方が高くなっている。

< 参考：参加の有無でみた比率 >

性別

子育てに関する地域活動に参加したことがある人の割合は、市全体が56.4%であるのに対し「男性」で53.1%、「女性」で58.9%と、ともに半数は超えている。

年齢別

子育てに関する地域活動に参加したことがある人の割合は、「40歳代」で78.4%と最も高く、次いで「50歳代」の71.6%、「60歳代」の59.5%と続く。一方で、「29歳以下」では21.7%、「30歳代」で44.4%、「70歳以上」47.7%と市全体の値より低くなっている。

婚姻別

子育てに関する地域活動に参加したことがある人の割合は、「結婚している」で64.6%であり、当然の結果ではあるが他の属性より割合は高くなっている。しかし「結婚している」人の中でも31.3%は「参加していない」としている。

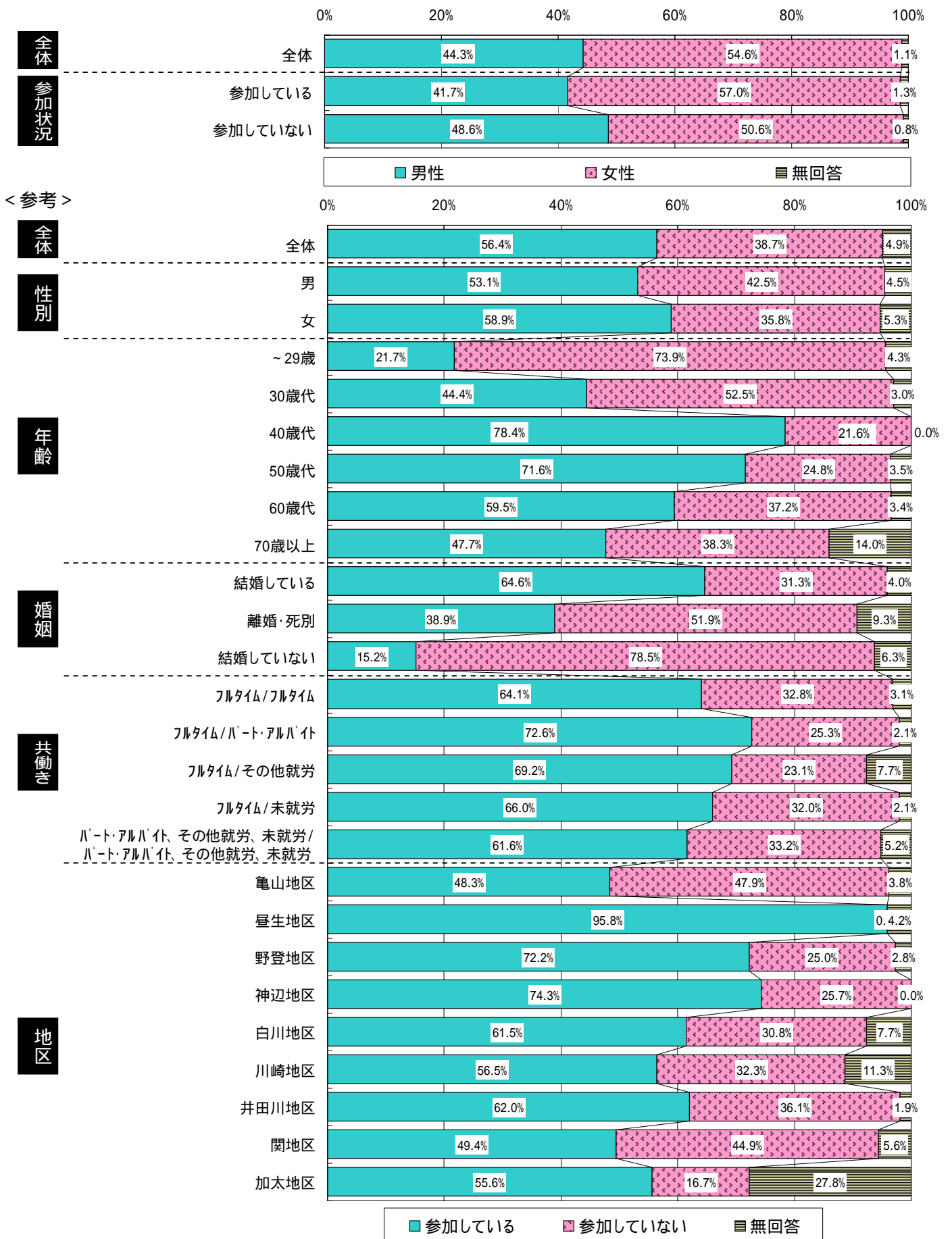
共働き別

子育てに関する地域活動に参加したことがある人の割合は、結婚している人のうち「一方がフルタイム就労、一方がパート・アルバイト」の世帯で72.6%と最も高くなっている。また、どちらか一方がフルタイム就労の世帯では、参加率が高くなっている。

地区別

子育てに関する地域活動に参加したことがある人の割合は、地区によって大幅な差がみられ、最も高い「昼生地区」で95.8%であるのに対し、最も低い「亀山地区」では48.3%と、47.5ポイントの差が生じている。この結果については、回答のあった人の年齢や婚姻状況など属性の影響もあるため一概には言えないものの、地域活動への参加意識に地域性が大きな影響を与えているものと考えられる。

【子育てに関する地域活動に参加したことがある人の比率】



(4) DV防止法認知度

性別

DV防止法について「よく知っている」、「少し知っている」とした「認知している人」の割合は、市全体で52.6%であるのに対し、「男性」で55.5%、「女性」で50.3%と、極端な差ではないものの「男性」の方が高くなっている。

年齢別

DV防止法を認知している人の割合は、「40歳代」で最も高く72.7%となっており、次いで「30歳代」で65.6%、「50歳代」61.0%となるなど、中間年齢層で高くなっている。一方で「70歳以上」は25.2%、「60歳代」は42.5%と、高齢層で低くなっている。

婚姻別

DV防止法を認知している人の割合は、「結婚している」で53.7%、「結婚していない」54.4%、「離婚・死別」で42.6%と、「離婚・死別」で低くなっているものの、「結婚している」と「結婚していない」がほぼ同じ割合となっている。

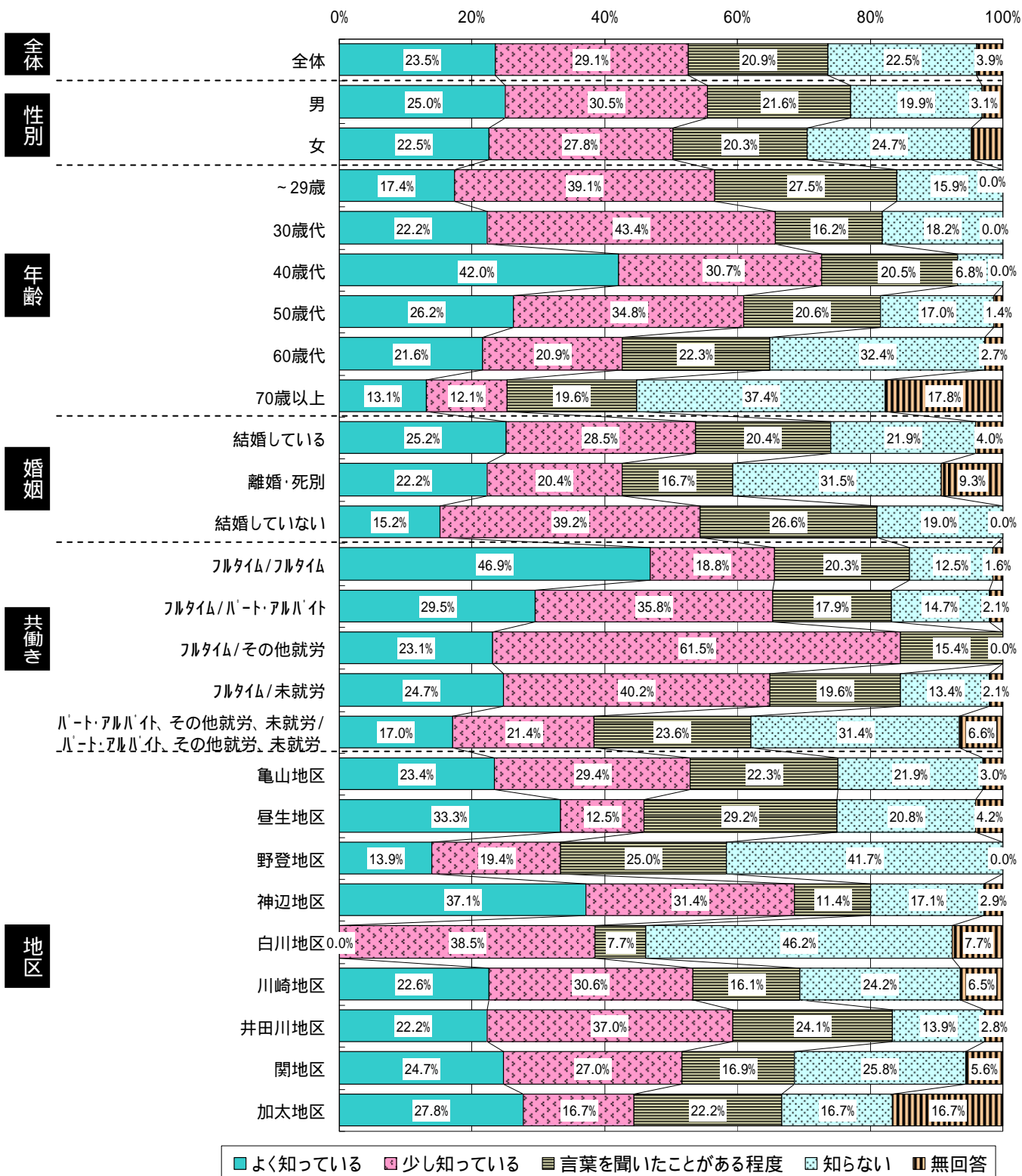
共働き別

DV防止法を認知している人の割合は、結婚している人のうち「一方がフルタイム就労、一方がその他就労」の世帯で84.6%と高くなっている。その一方で「夫婦ともにフルタイム就労ではない」世帯では38.4%と低くなっている。他の属性の世帯についてはいずれの65.0%前後となっている。

地区別

DV防止法を認知している人の割合は、最も高い「神辺地区」で68.5%、次いで「井田川地区」で59.2%と高くなっており、一方で「野登地区」では33.3%、「白川地区」では38.5%と低くなっているなど、地域による違いがみられる。

【DV防止法認知度】



(5) 健康診断受診率

性別

健康診断の受診率をみると、「男性」が 84.6%であるのに対し、「女性」では 70.0%と女性が低くなっている。この結果は、「女性」の就労状況や職場での雇用形態も影響しているものと考えられる。

年齢別

健康診断の受診率をみると、「50 歳代」が最も高く 80.1%であり、「30 歳代」が最も低く 69.7%となっている。

婚姻別

健康診断の受診率をみると、「結婚している」で 76.0%、「離婚・死別」で 77.8%、「結婚していない」で 79.7%となっている。属性による大きな違いはみられない。

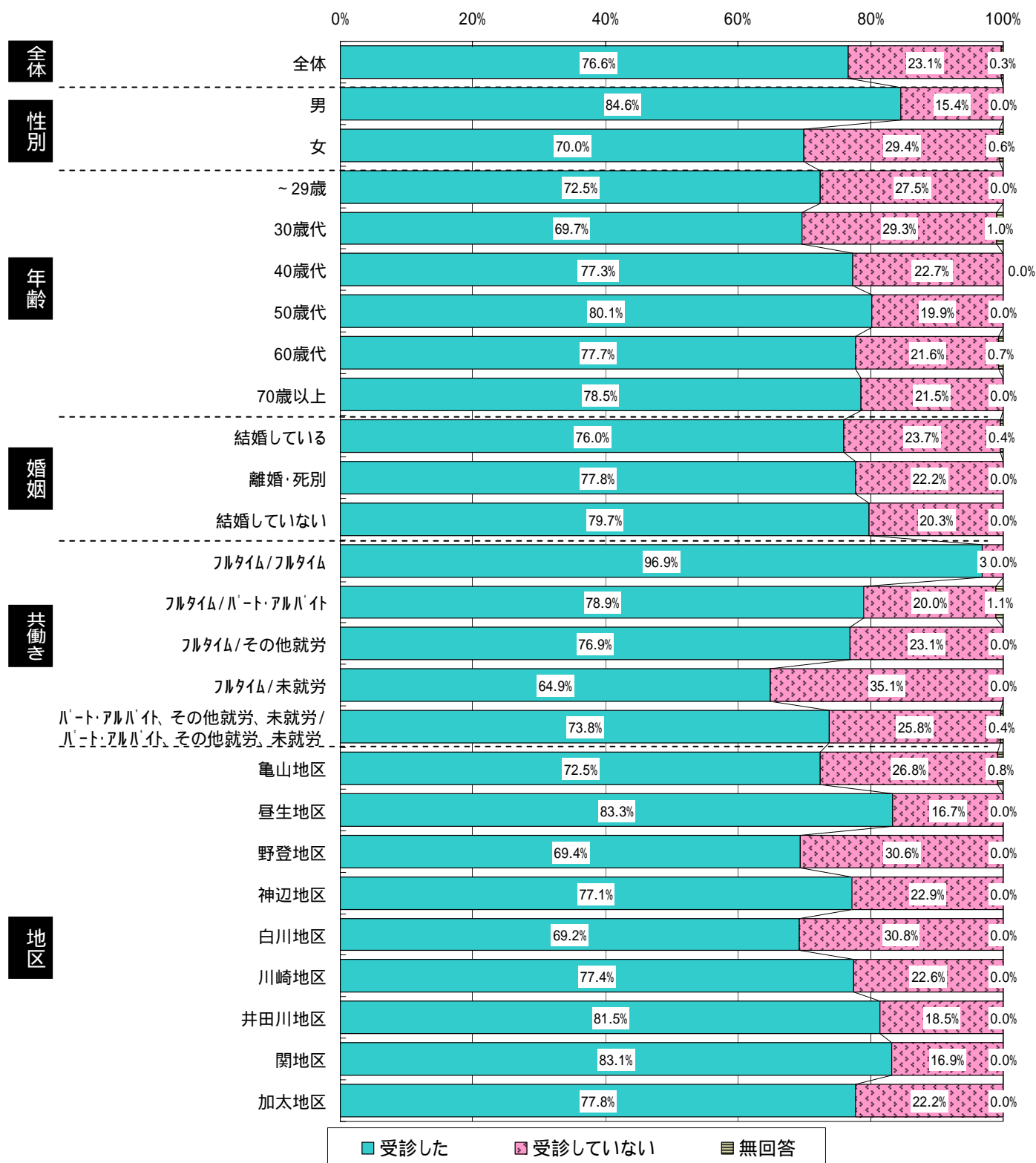
共働き別

健康診断の受診率をみると、「夫婦ともにフルタイム就労」で 96.9%が受診しており、100%に近い割合となっている。一方で「一方がフルタイム就労、一方が未就労」では 64.9%となっており、「夫婦ともにフルタイム就労」と比べても、雇用状況が健康診断の受診率に影響を及ぼしていることがうかがえる。

地区別

健康診断の受診率をみると、「昼生地区」(83.3%)、「関地区」(83.1%)、「井田川地区」(81.5%)では 80%を超えている。一方で「白川地区」(69.2%)、「野登地区」(69.4%)では 70%を下まわっている。

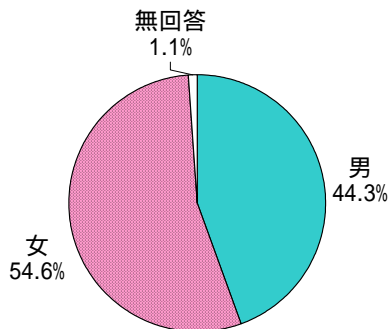
【健康診断受診率】



・ 調査結果の分析

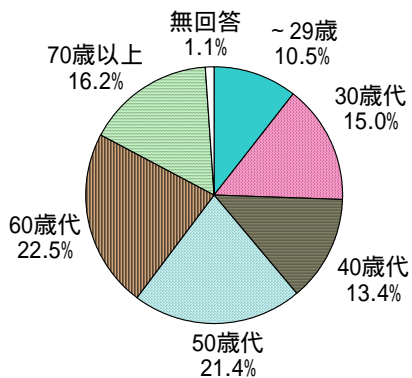
1. あなた自身のことについて

問1. あなたの性別をお答えください。(1つ)【回答者数:659】



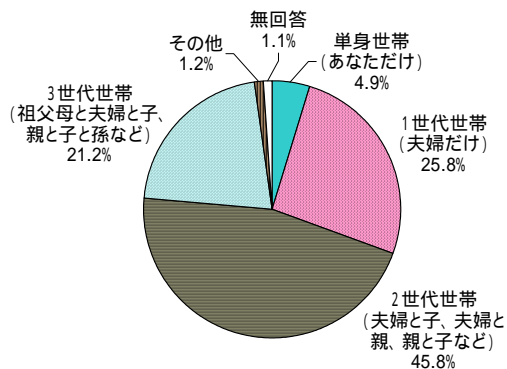
・ 「男」44.3%、「女」54.6%と、女性のほうがやや多くなっている。

問2. あなたの年齢をお答えください。(1つ)【回答者数:659】



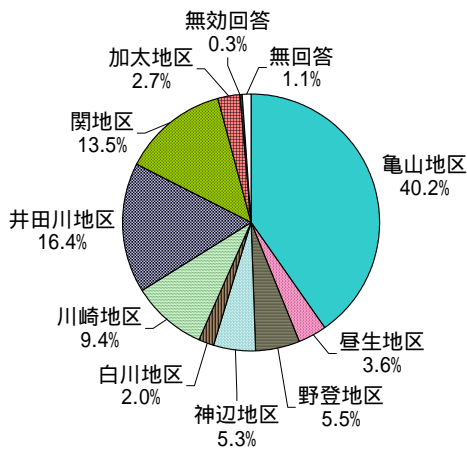
・ 「60歳代」22.5%、「50歳代」21.4%、「70歳以上」16.2%、「30歳代」15.0%、「40歳代」13.4%、「~29歳」10.5%となっている。

問3. あなたが現在生活しているご家庭の家族構成をお答えください。(1つ)【回答者数:659】



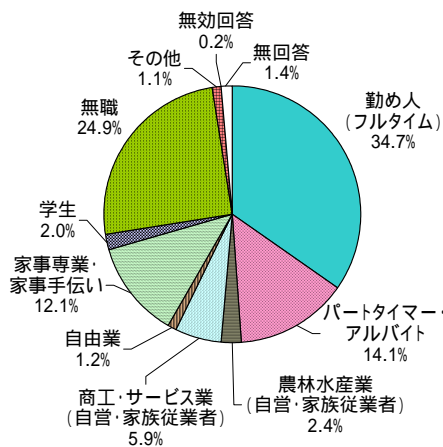
・ 「2世代世帯(夫婦と子、夫婦と親、親と子など)」が最も多く45.8%を占めており、次いで「1世代世帯(夫婦だけ)」25.8%、「3世代世帯(祖父母と夫婦と子、親と子と孫など)」21.2%、「単身世帯(あなただけ)」4.9%となっている。

問 4. あなたのお住まいの地区をお答えください。(1つ)【回答者数:659】



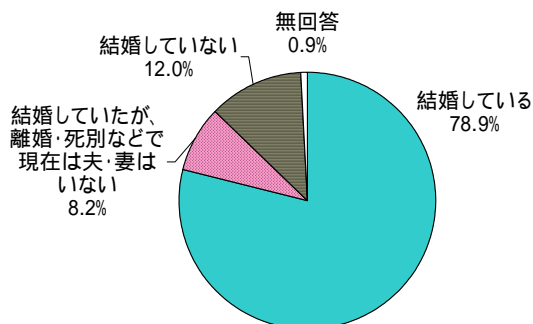
・「亀山地区」が 40.2%と最も多く、次いで「井田川地区」16.4%、「関地区」13.5%と続いている。

問 5. あなたの職業をお答えください。(1つ)【回答者数:659】



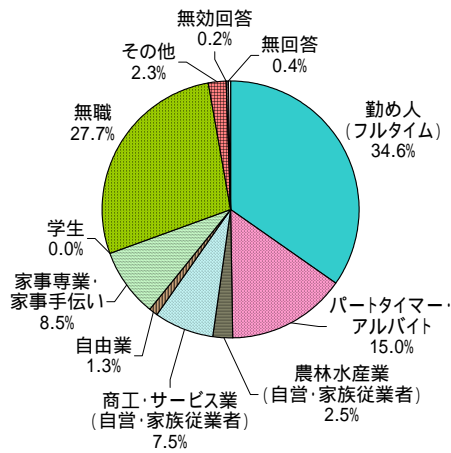
・「勤め人(フルタイム)」が 34.7%と最も多く、次いで「無職」24.9%、「パートタイマー・アルバイト」14.1%、「家事専業・家事手伝い」12.1%と続いている。

問 6. あなたは結婚していますか。(1つ)【回答者数:659】



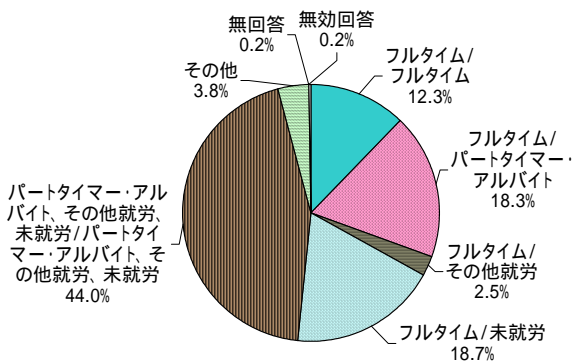
・「結婚している」が 78.9%と大半を占めており、「結婚していない」が 12.0%、「結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない」が 8.2%となっている。

問 6-1. 問 6 で「結婚している」と答えた方にお聞きます。あなたの結婚相手の職業は何ですか。(1つ)
【回答者数:520】



・ 「勤め人(フルタイム)」が 34.6%と最も多く、次いで「無職」27.7%、「パートタイマー・アルバイト」15.0%と続いている。

【共働き形態】



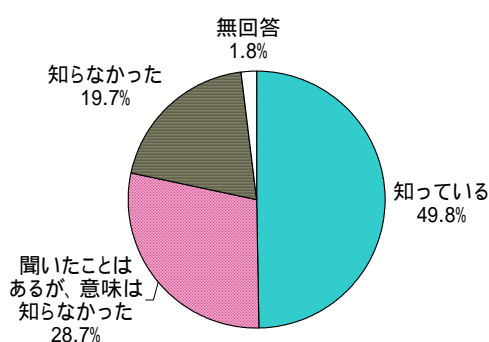
・ 「パートタイマー・アルバイト、その他就労、未就労/パートタイマー・アルバイト、その他就労、未就労」の組み合わせが 44.0%と最も多く、次いで「フルタイム/未就労」18.7%、「フルタイム/パートタイマー・アルバイト」18.3%、「フルタイム/フルタイム」12.3%、「フルタイム/その他就労」2.5%と続いている。

2. 男女共同参画社会について

「男女共同参画社会」という言葉を「知っている」と答えた人は約半数を占め、前回調査に比べて大幅に増加している。逆に「知らなかった」と答えた人は減少しており、このことから、「男女共同参画社会」という言葉が市民の間で徐々に浸透していることがうかがえる。

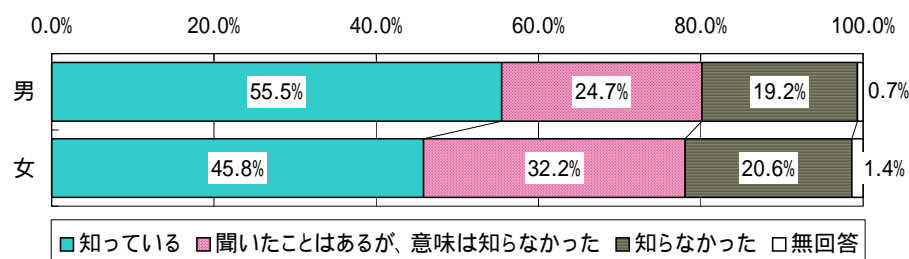
しかし、残りの約半数は、「聞いたことはあるが、意味は知らなかった」や「知らなかった」と答えており、「男女共同参画社会」という言葉の普及だけでなく、その意味を広く市民に周知するための活動が必要である。特に、男性より女性、中高年層より若年層で「知らなかった」と答えた割合が多くなっている。

問7. あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。(1つ)【回答者数:659】



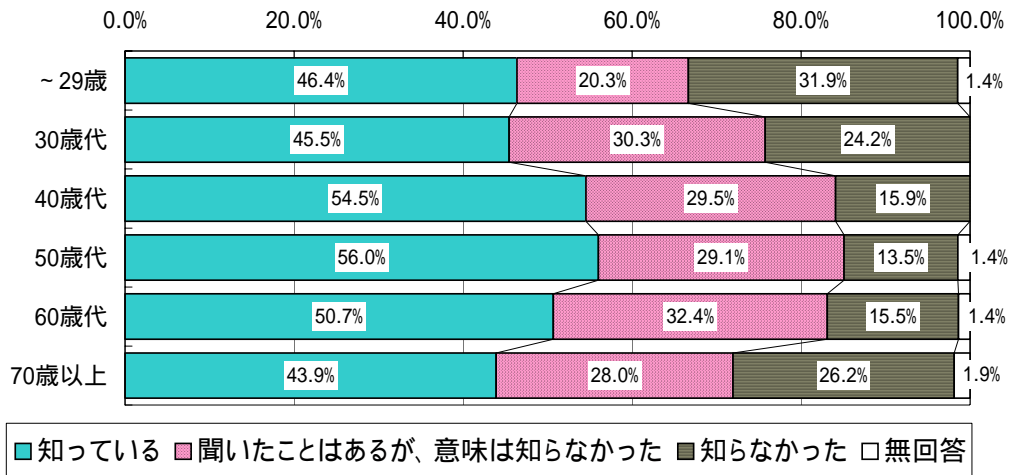
・ 「知っている」と答えた人は 49.8%と約半数を占め、前回調査の 32.9%に比べて大幅に増えている。逆に、「知らなかった」と答えた人は、前回調査で 32.7%であったのに対し、今回調査では 19.7%に減少している。

【男女別】



・ 男女別にみると、「知っている」と答えた人は、男性で 55.5%、女性で 45.8%と、男性のほうが多い。

【年齢別】



・ 年齢別にみると、いずれの年齢層においても、「知っている」と答えた人が最も多く、特に40～60歳代では50%以上となっている。一方、30歳未満の若い世代では、「知らなかった(31.9%)」と答えた人が「聞いたことはあるが、意味は知らなかった(20.3%)」と答えた人を上回るという、他の年齢層にない特徴がみられる。

3. 男女平等について

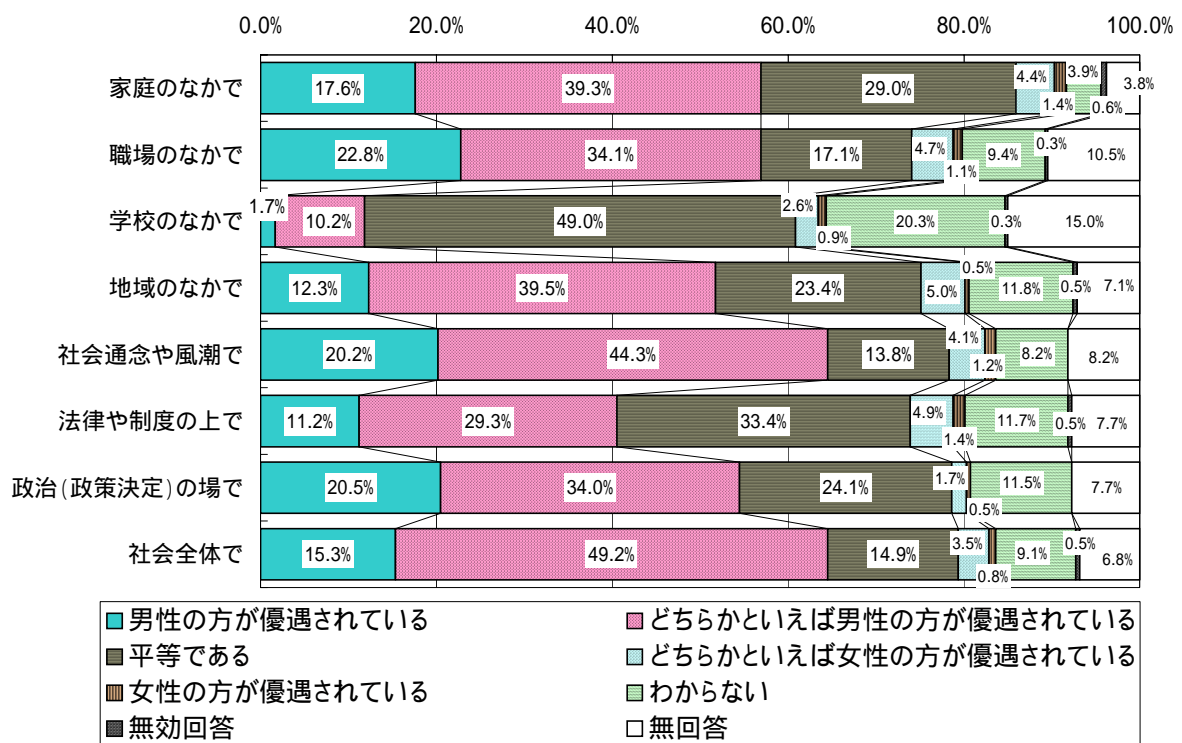
「学校のなかで」や「法律や制度の上で」は「平等である」と答えた人が多いのに対して、「社会通念や風潮で」や「社会全体で」は、「男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた人が多い。特に、女性は男性に比べて、「男性の方が優遇されている」と感じている割合が多くなっている。

一方、「男は仕事、女は家庭」という考え方に対して、「同感しない」、「どちらかといえば同感しない」という否定的意見は、前回調査に比べて増加傾向にあるものの、県平均に比べるとまだ少ない。男女別や年齢別にみると、女性や若年層で否定的意見が多く、逆に男性や高齢者では「男は仕事、女は家庭」という考え方に肯定的な人が多くなっている。また、女性や若年層においても、「どちらかといえば同感する」と答えた人が30%強みられる。

以上のことから、法律や制度で男女共同参画がうたわれていても、市民意識のなかでは性別による固定的な役割分担意識が根強く残っており、社会全体で男女共同参画が進んでいないことがうかがえる。

問8. あなたは、次にあげる分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。

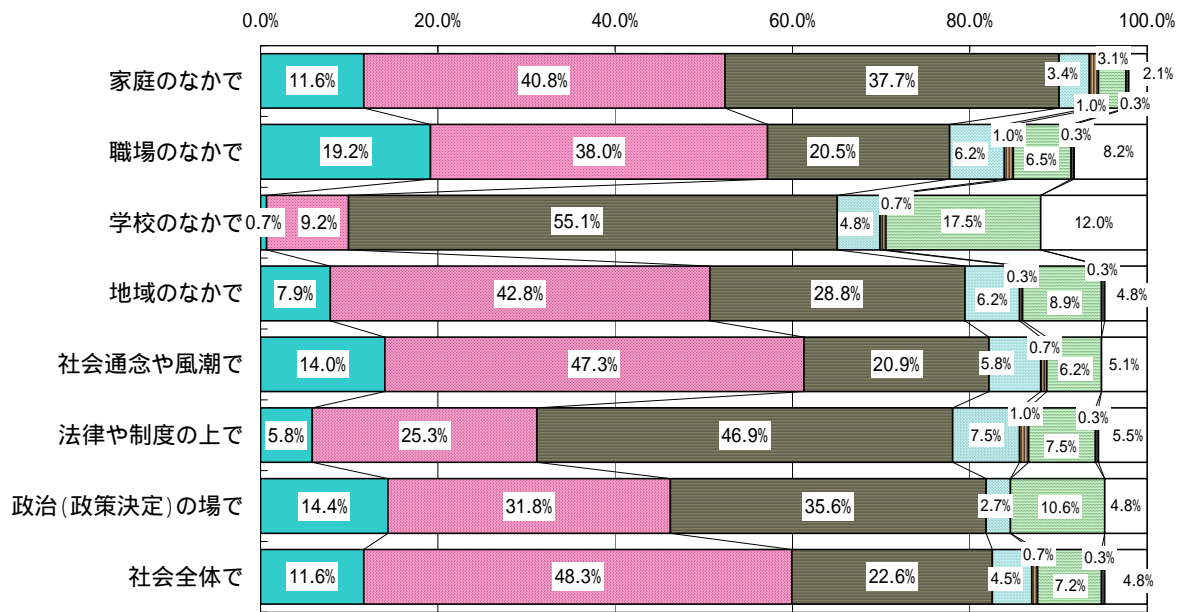
(~ のそれぞれについて1つずつ) [回答者数:659]



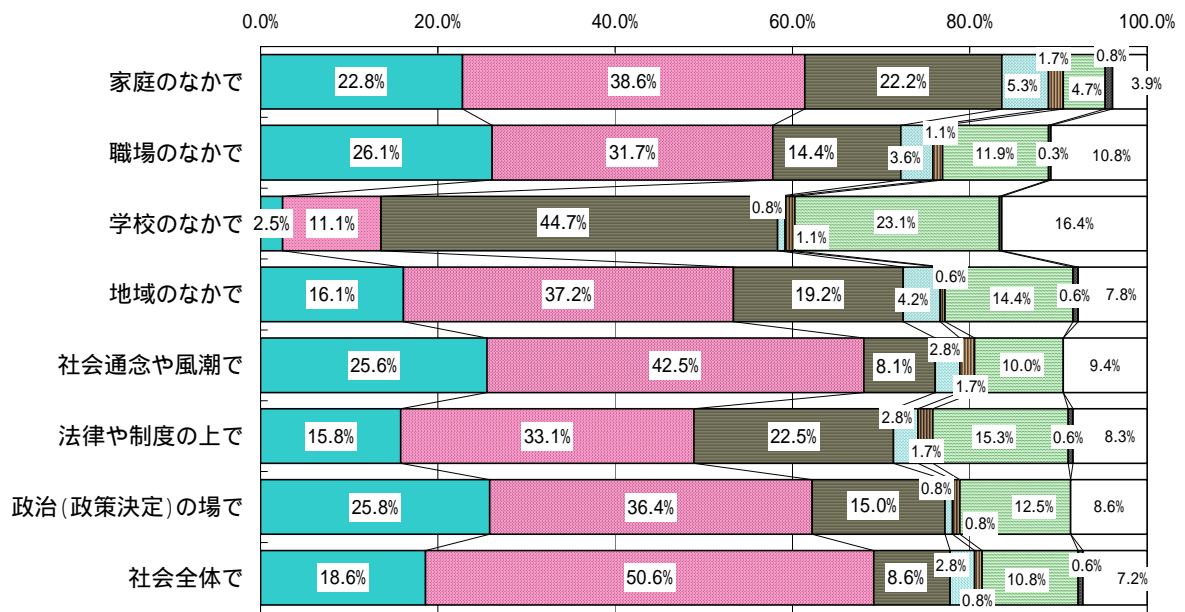
・ 「学校のなかで」と「法律や制度の上で」では、「平等である」と答えた人が最も多く、それぞれ49.0%、33.4%を占めている。それに対し、他の分野では、いずれも「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた人が最も多く、「男性の方が優遇されている」を合わせると50%以上を占めており、なかでも、「社会通念や風潮で」や「社会全体で」では60%以上の高い値となっている。

【男女別】

男



女

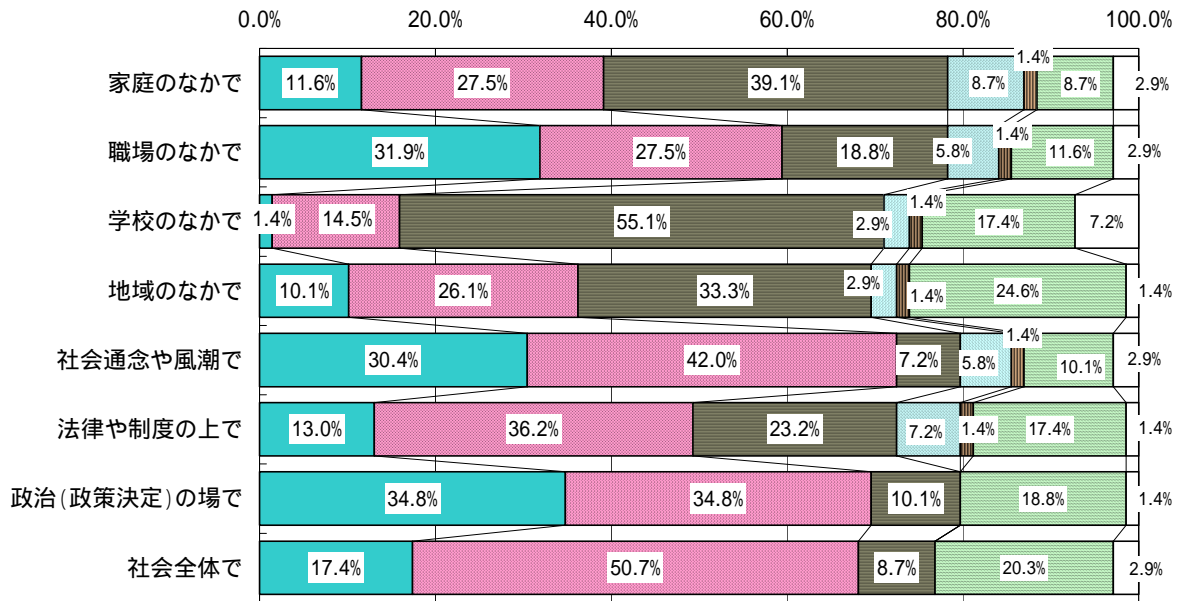


■ 男性の方が優遇されている
■ どちらかといえば男性の方が優遇されている
■ 平等である
■ 女性の方が優遇されている
■ わからない
■ 無回答

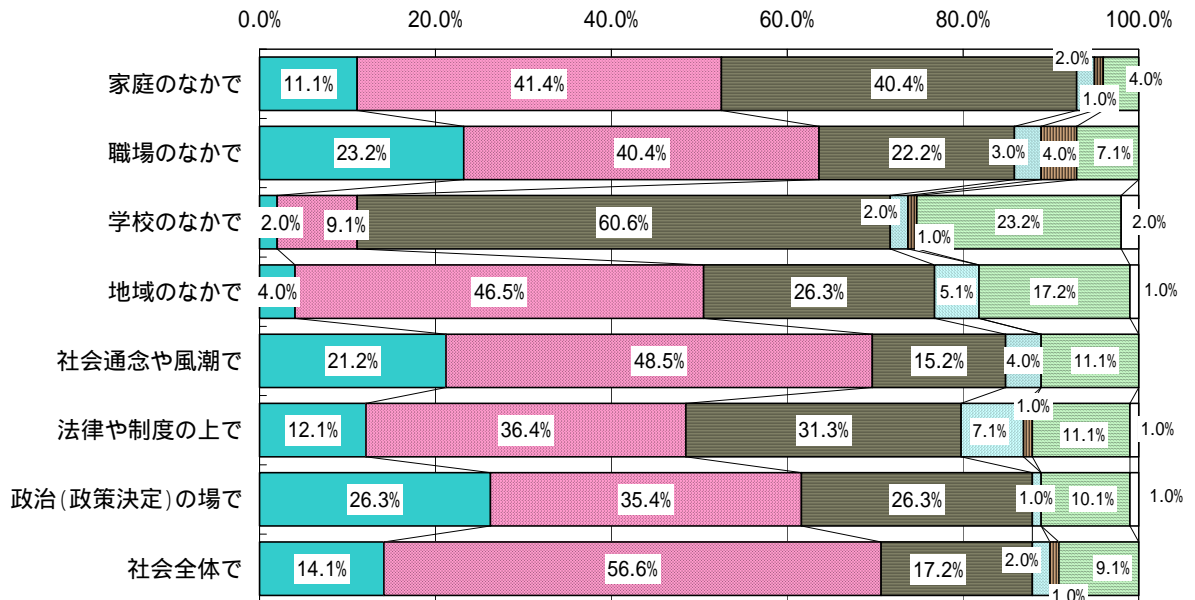
・ 男女別にみると、すべての分野において、「男性の方が優遇されている」、または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた人の割合は、男性より女性の方が高くなっている。特に、女性では、「社会通念や風潮で」、「政治(政策決定)の場で」、「社会全体で」といった分野で、男性が優遇されていると感じている人が多い。また、「法律や制度の上で」は、男性は「平等である」と答えた人が46.9%であったのに対し、女性では22.5%にとどまっている。

【年齢別】

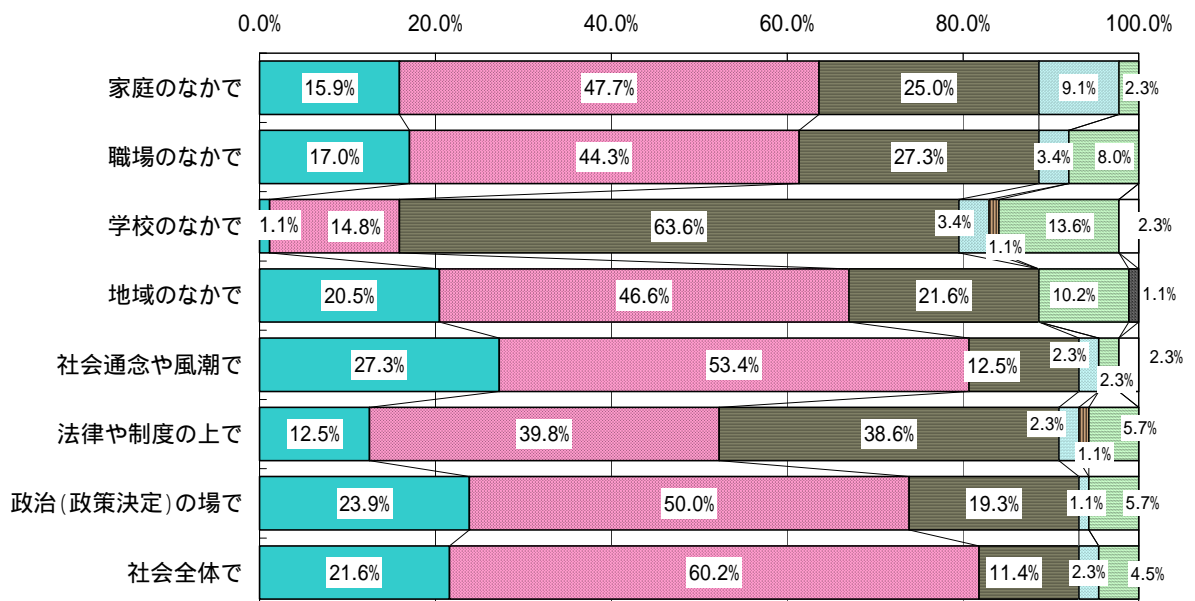
~ 29 歳

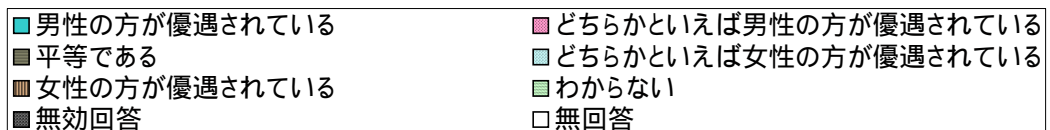
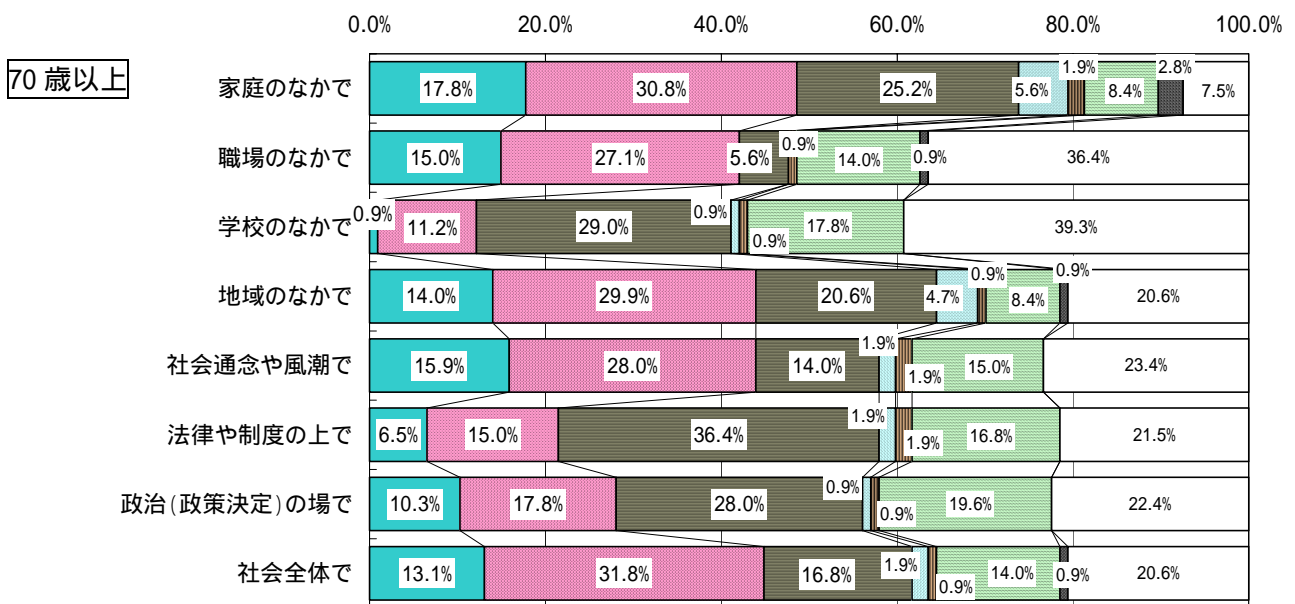
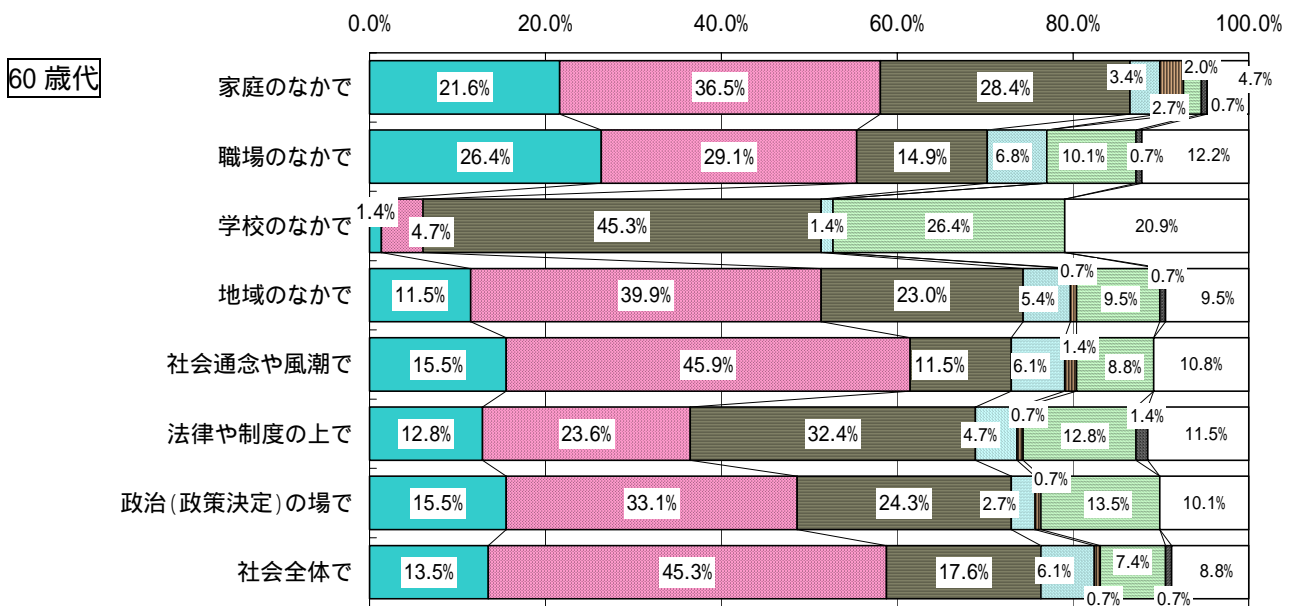
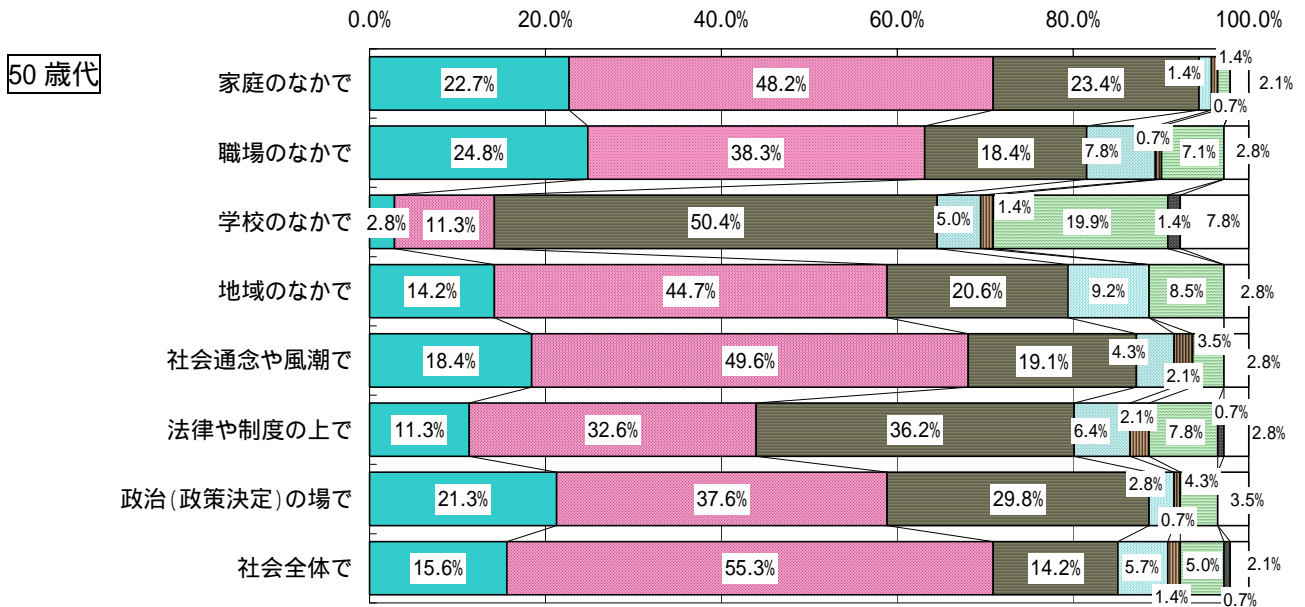


30 歳代



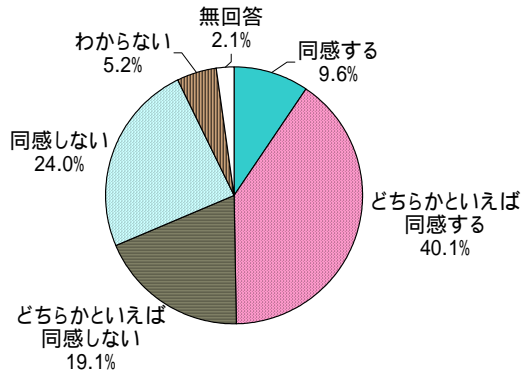
40 歳代





- ・ 年齢別にみると、どの年齢層においても、「学校のなかで」は「平等である」と答えた人が多く、逆に「社会通念や風潮で」、「社会全体で」、「政治(政策決定)の場で」といった分野では、男性優位だと感じている人が多くなっている。特に 40 歳代では、「男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせると、「社会全体で」が81.8%、「社会通念や風潮で」が80.7%と高い値となっている。また、30歳代や30歳未満の若い世代では、他の年齢層に比べ、「家庭のなかで」は「平等である」と答えた人が比較的多い。

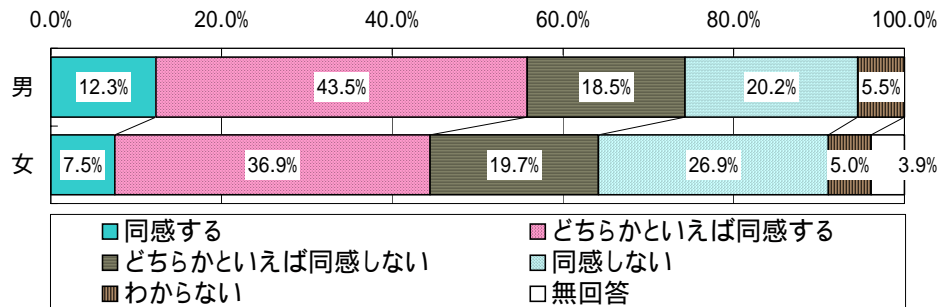
問9. 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。(1つ)【回答者数:659】



- 最も多かったのは、「どちらかといえば同感する」で40.1%を占めており、「同感する」の9.6%を合わせると、肯定的意見の人は49.7%となっている。一方、「どちらかといえば同感しない」と「同感しない」を合わせた、否定的意見の人は43.1%で、肯定的意見をやや下回るものの、大差は見られない。
- 前回調査で、肯定的意見が49.1%、否定的意見が39.4%であったのに比べて、今回調査では否定的意見の人がやや増加している。
- 一方、県の調査では、肯定的意見46.3%、否定的意見47.3%と、否定的意見が肯定的意見を上回っている。

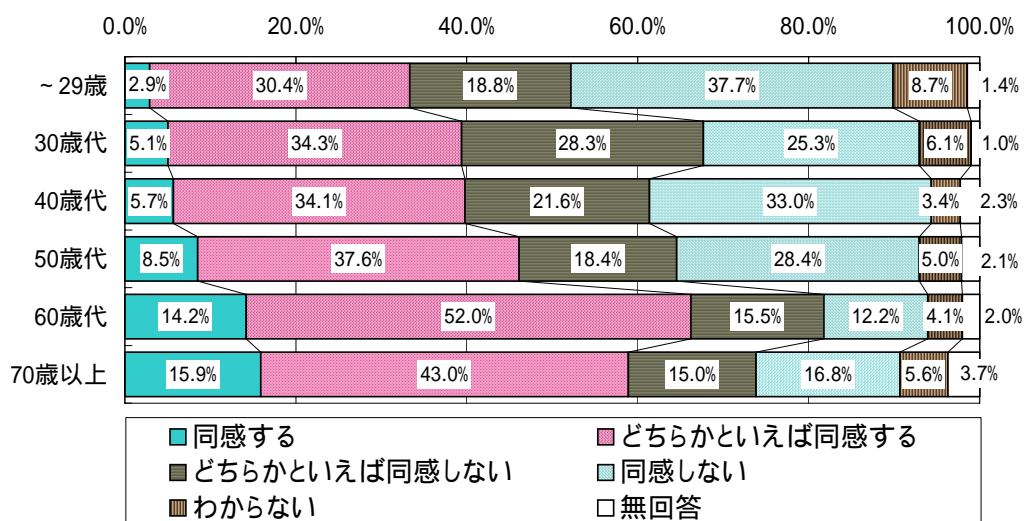
5～11ページ参照

【男女別】



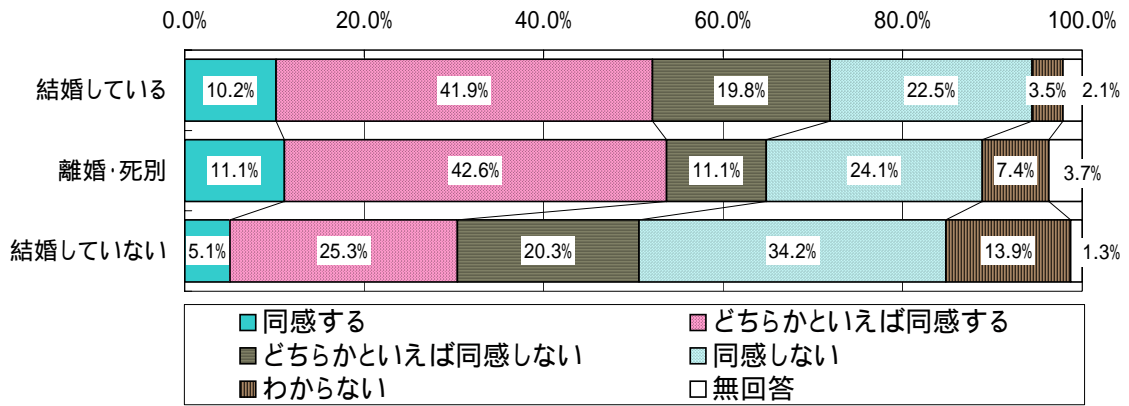
- 男女別にみると、男性では「同感する」、「どちらかといえば同感する」を合わせた肯定的意見が55.8%であるのに対し、女性では44.4%と10ポイント以上下回っている。逆に、「どちらかといえば同感しない」、「同感しない」を合わせた否定的意見は、男性で38.7%であるのに対し、女性では46.6%と女性の方が多くなっている。

【年齢別】



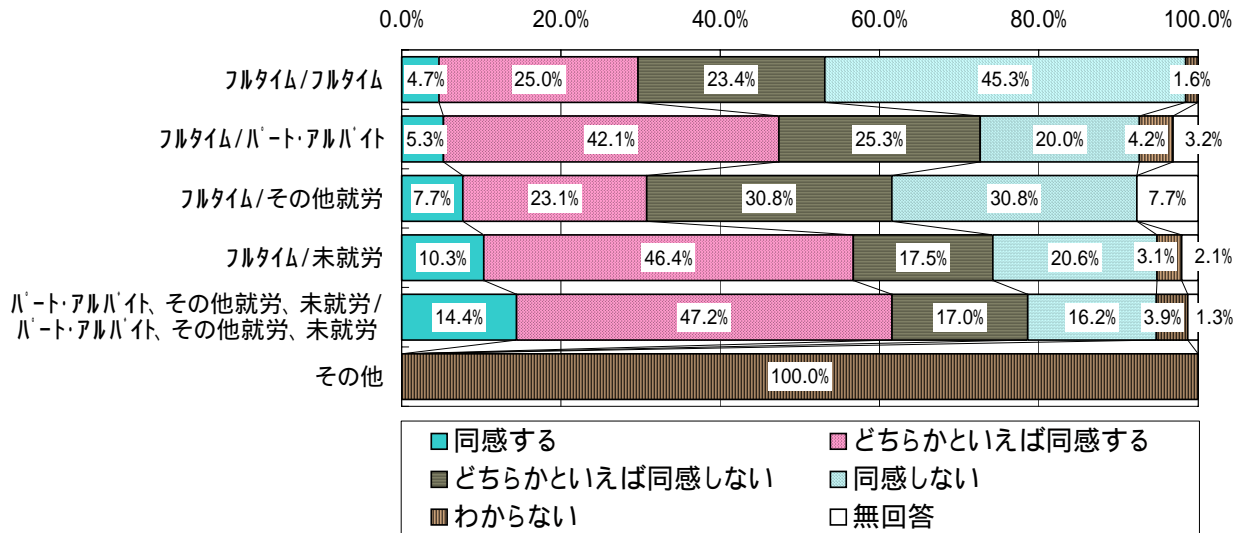
- 年齢別にみると、40歳代以下では、「どちらかといえば同感しない」、「同感しない」を合わせた否定的意見が50%を超え、「同感する」、「どちらかといえば同感する」を合わせた肯定的意見を上回っているのに対して、50歳代では双方ほぼ同じくらいの割合となっており、60歳代以上では、逆に肯定的意見が50%以上で否定的意見を大きく上回っている。

【婚姻別】



- 婚姻別にみると、「結婚している」と「離婚・死別」では、「同感する」、「どちらかといえば同感する」を合わせた肯定的意見が50%以上であるのに対し、「結婚していない」では、「どちらかといえば同感しない」、「同感しない」を合わせた否定的意見が50%以上となっている。

【共働き形態別】



- 共働き形態別にみると、「フルタイム/フルタイム」と「フルタイム/その他就労」では、「どちらかといえば同感しない」、「同感しない」を合わせた否定的意見が60%以上を占め、「同感する」、「どちらかといえば同感する」を合わせた肯定的意見を大きく上回っている。「フルタイム/パート・アルバイト」の組み合わせでは、肯定的意見と否定的意見がほぼ同じ割合であり、その他の組み合わせでは、逆に肯定的意見が否定的意見を上回っている。

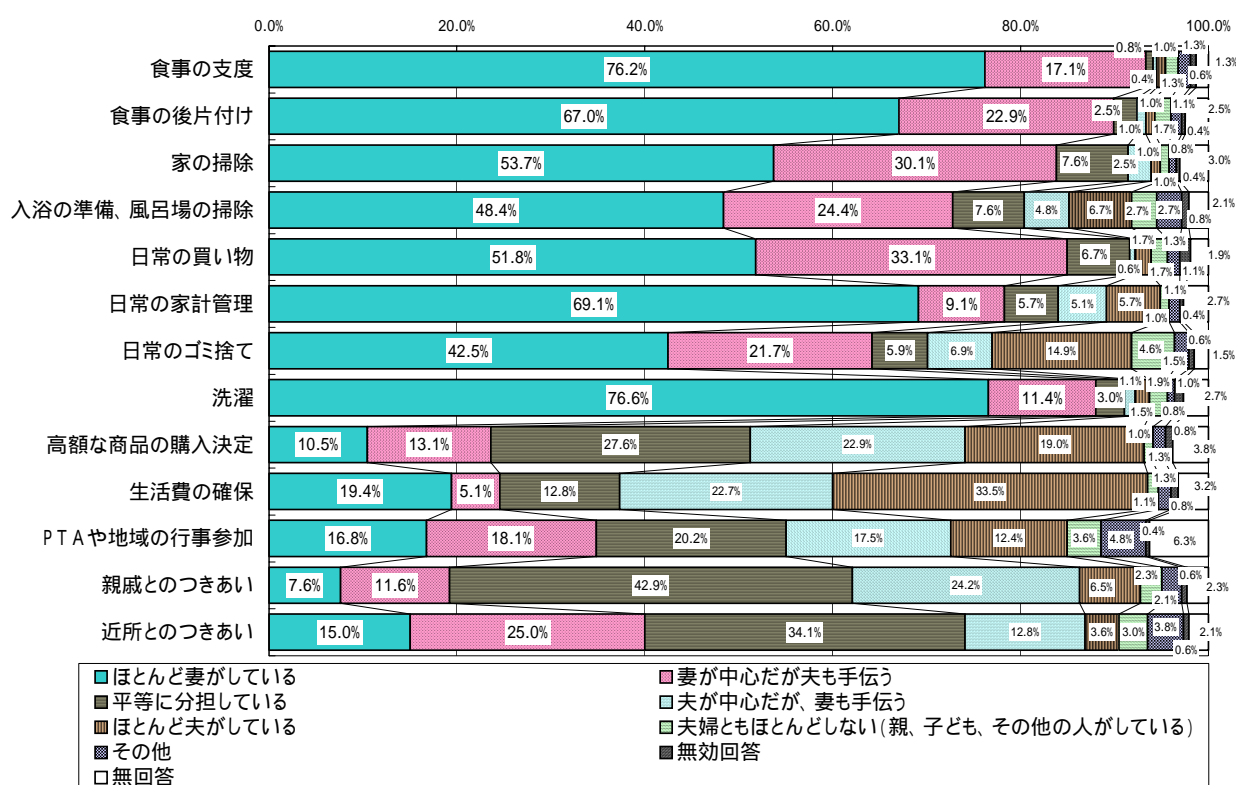
4. 家庭生活について

「食事の支度」や「食事の後片付け」、「家の掃除」、「洗濯」などの家事全般や「日常の家計管理」は、「ほとんど妻がしている」、「妻が中心だが夫も手伝う」というように妻が中心的な役割を担い、「生活費の確保」や「高額な商品の購入決定」は、夫が中心となっている家庭が多い。夫婦ともにフルタイムで働く共働き世帯においても、家事は妻の役割となっている家庭が多く、家庭内における女性の負担は大きいといえる。

また、「炊事、洗濯、掃除など1人で家事全般ができ、暮らしていくのに支障はない」という人は、女性に比べて男性ではかなり少なくなっている。男性では、逆に「炊事、洗濯、掃除など少しはできるが、暮らしていくには少し支障が出る」、「炊事、洗濯、掃除などあまりしたことがなく、暮らしていくには支障が出る」と答えた人が多く、特に高齢者ほどその割合は多い。

問10. あなたの家庭では、家庭生活について、夫婦の間でどのように分担していますか。

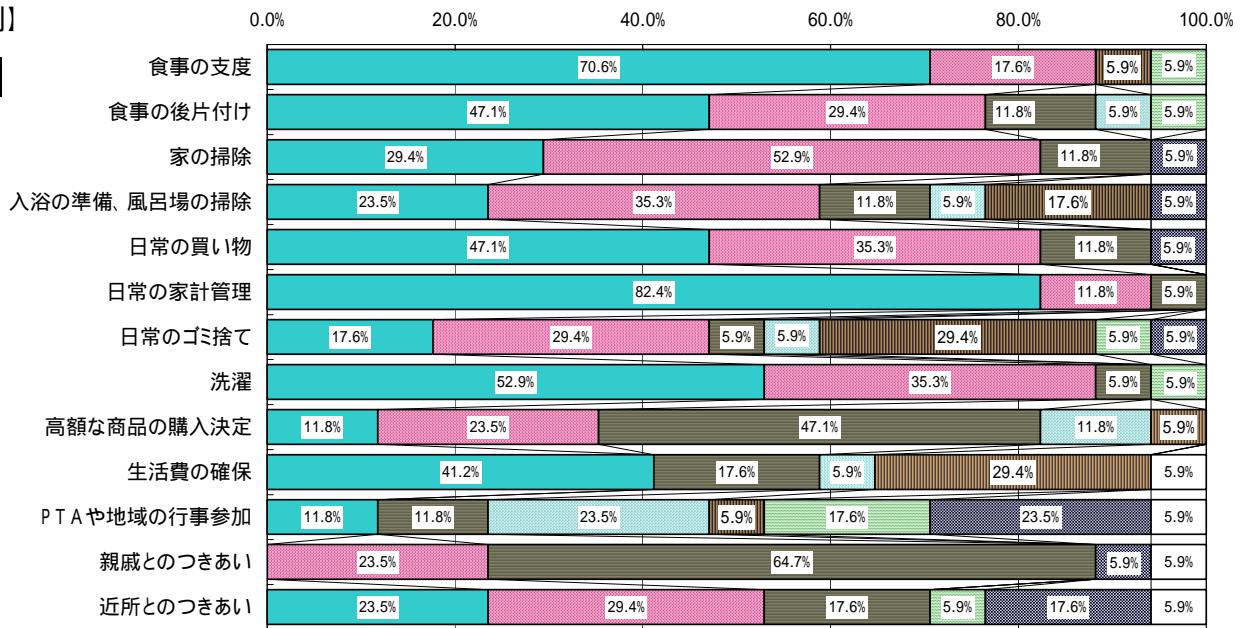
(~ のそれぞれについて1つずつ) [回答者数:525]



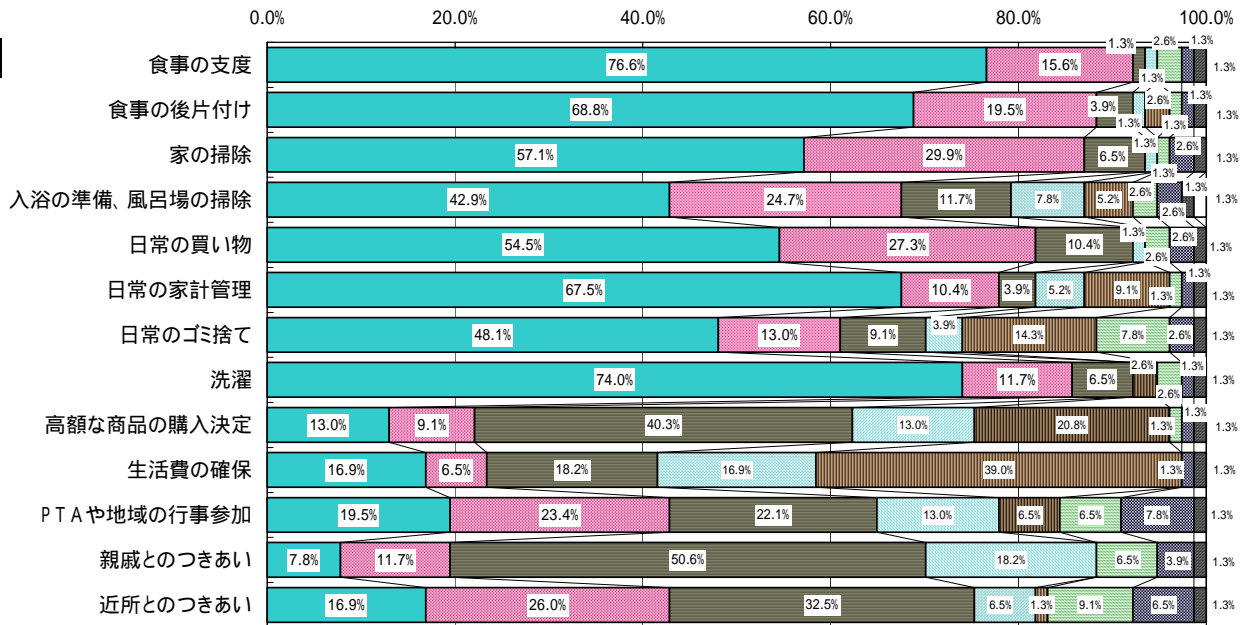
- 「食事の支度」、「食事の後片付け」、「家の掃除」、「入浴の準備、風呂場の掃除」、「日常の買い物」、「日常の家計管理」、「日常のゴミ捨て」、「洗濯」では、「ほとんど妻がしている」と答えた人が最も多く、なかでも「食事の支度」、「食事の後片付け」、「日常の家計管理」、「洗濯」では、60%以上を占めている。これらの項目では、次いで「妻が中心だが夫も手伝う」と答えた人が多く、妻が中心的な役割を担っていることがうかがえる。
- 「高額な商品の購入決定」では、「平等に分担している」、「夫が中心だが、妻も手伝う」がやや多い。
- 「生活費の確保」では、「ほとんど夫がしている」と答えた人が最も多くなっている。「ほとんど夫がしている」が30%以上を占めているのは、この「生活費の確保」だけである。
- 「PTAや地域の行事参加」では、各家庭によって分担の方法は様々で、突出している分担形態はみられない。
- 「親戚とのつきあい」では、「平等に分担している」が最も多く、40%以上を占めており、次いで「夫が中心だが、妻も手伝う」となっている。
- 「近所とのつきあい」では、「平等に分担している」が最も多く、「妻が中心だが夫も手伝う」が続いている。

【年齢別】

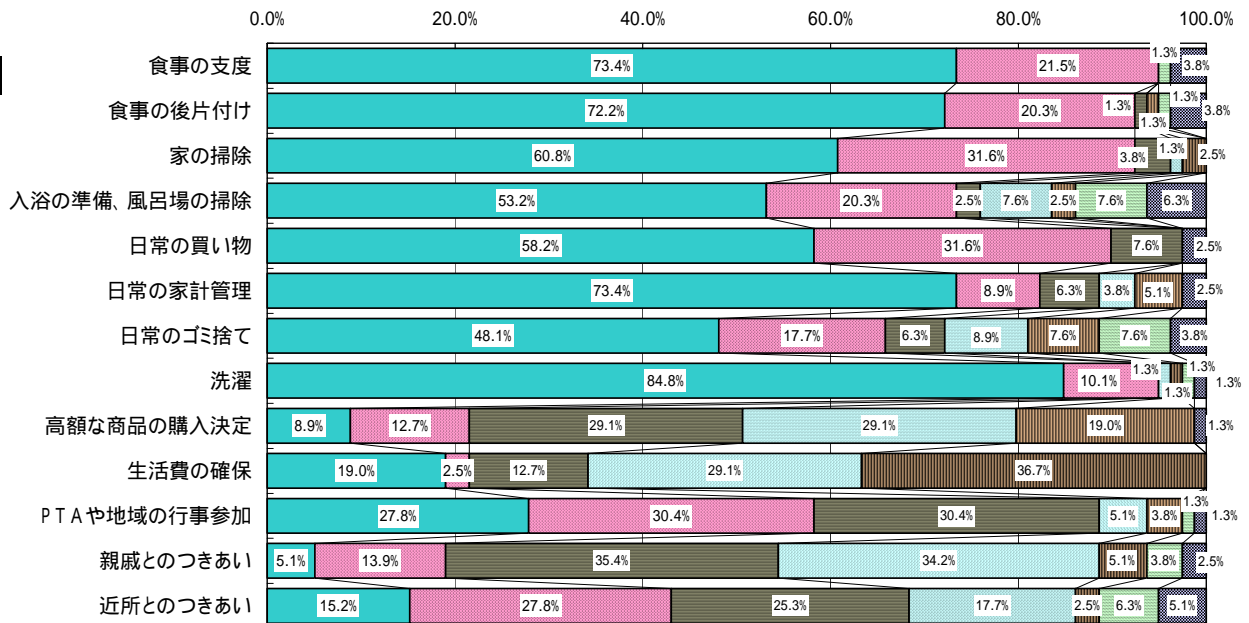
~ 29 歳

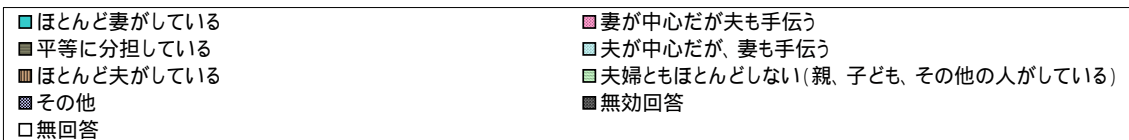
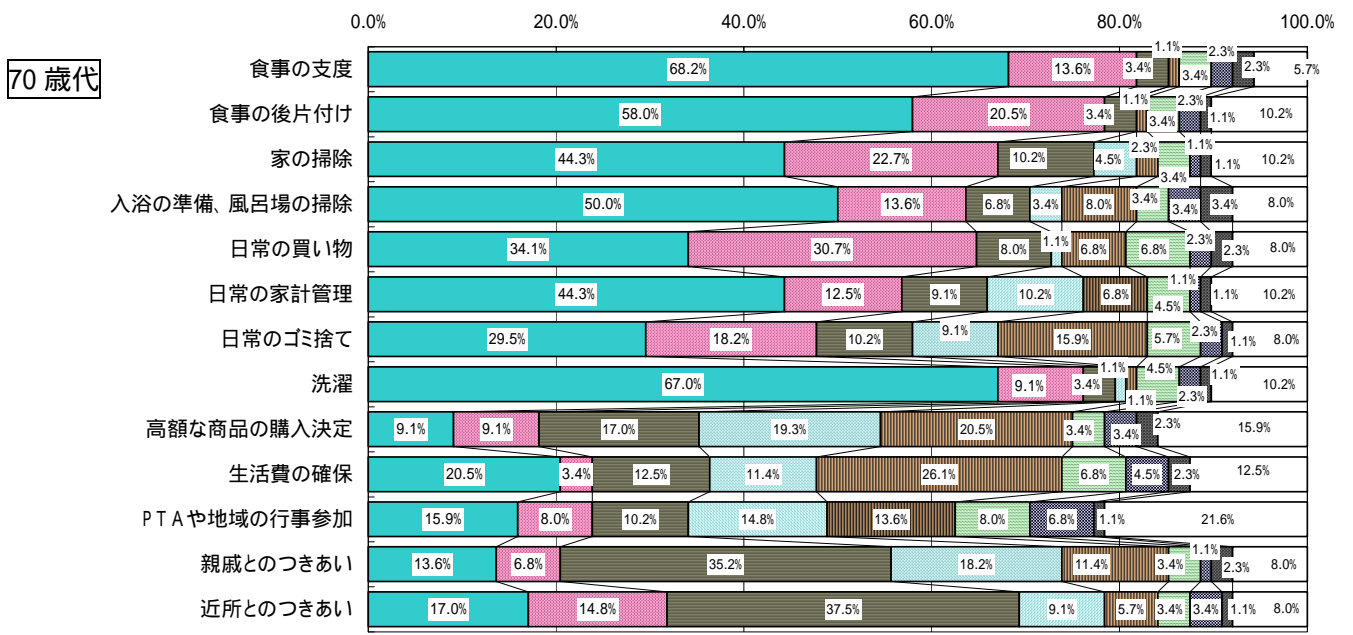
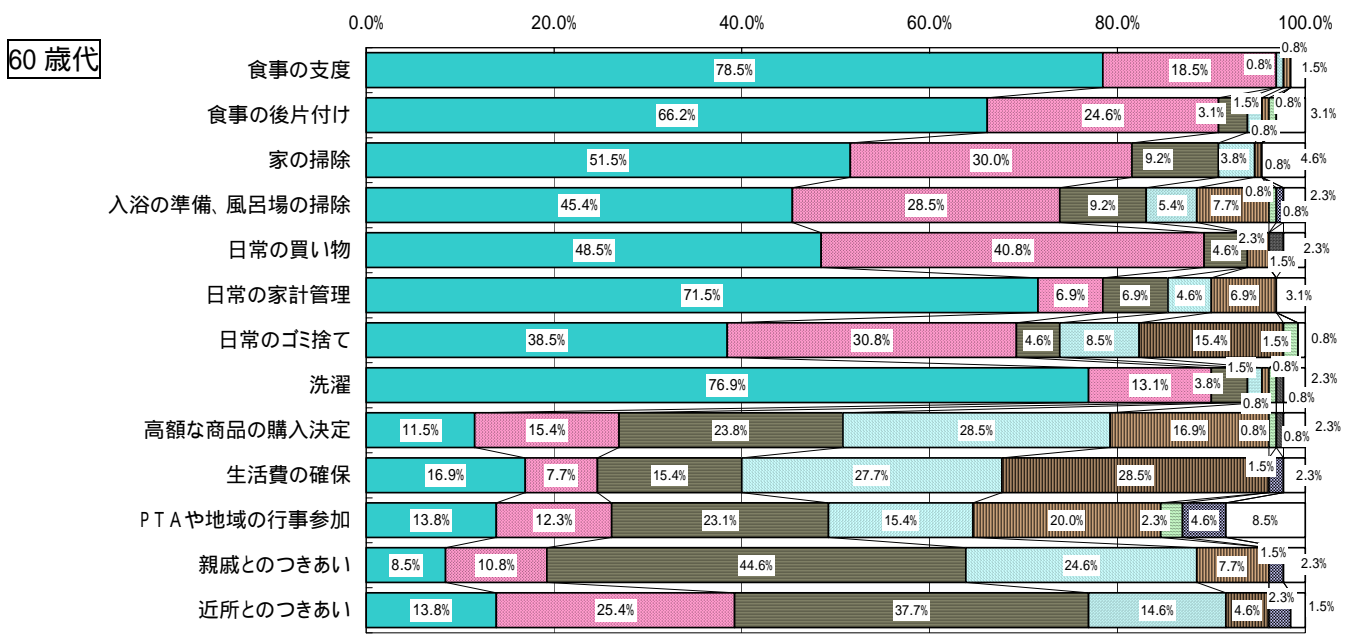
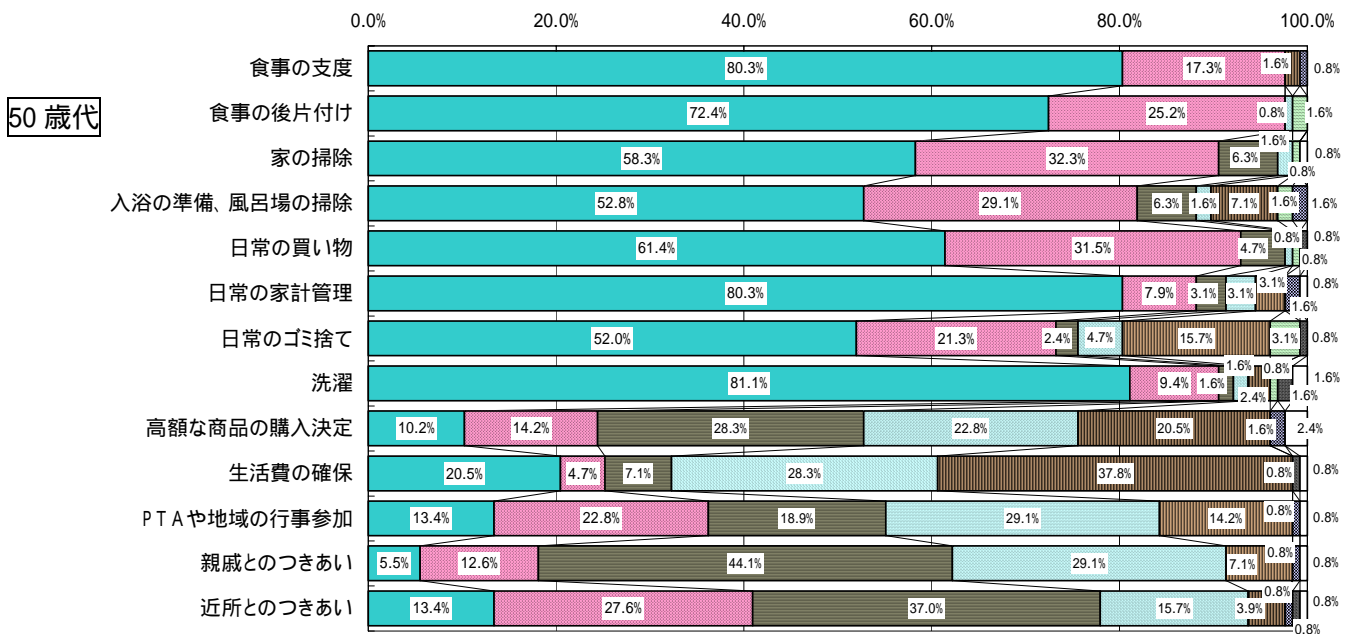


30 歳代



40 歳代

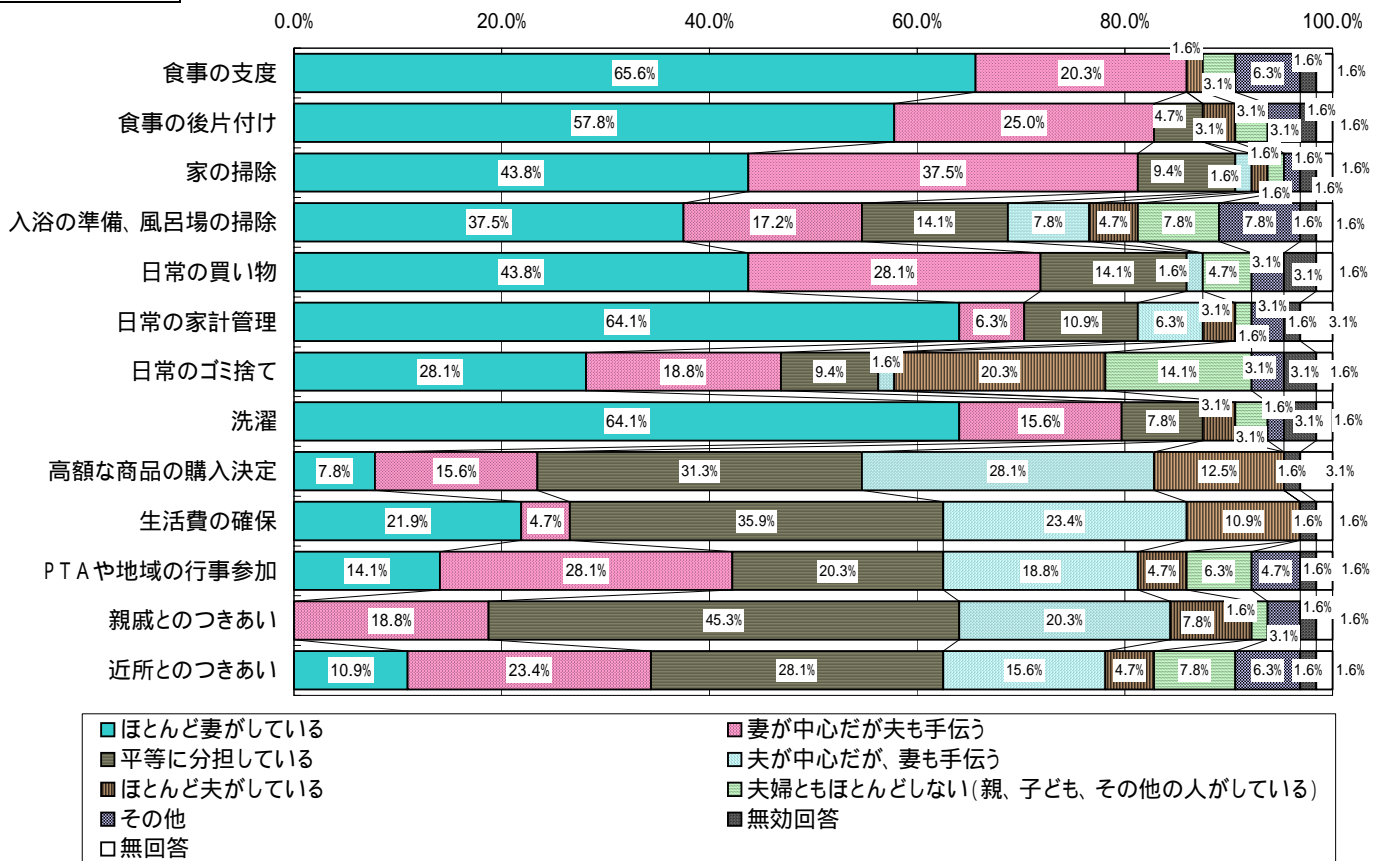




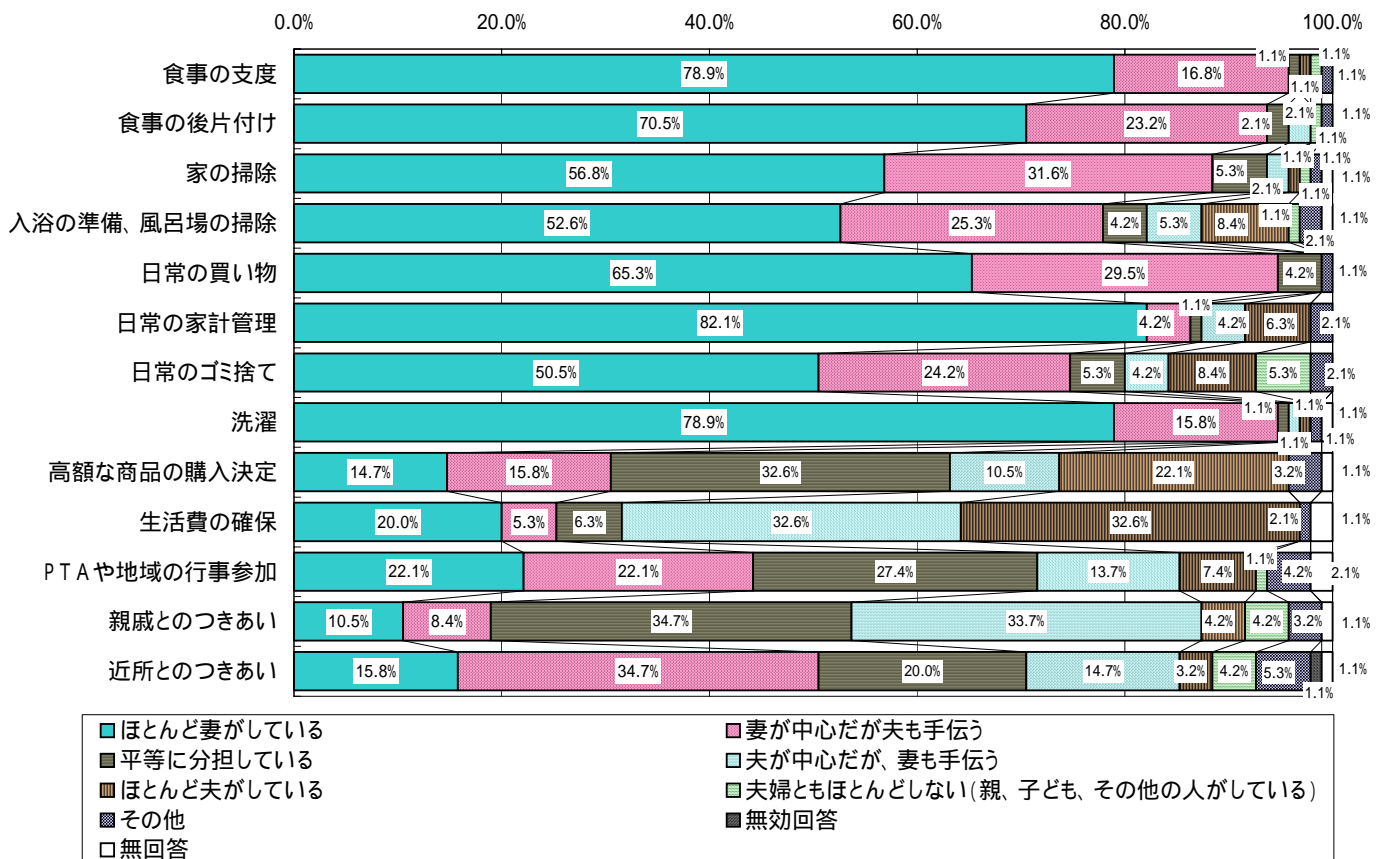
- 年齢別にみると、「食事の支度」、「食事の後片付け」、「家の掃除」、「入浴の準備、風呂場の掃除」、「日常の買い物」、「日常の家計管理」、「日常のゴミ捨て」、「洗濯」については、全般的に「ほとんど妻がしている」と答えた人が多く、特に「食事の支度」、「食事の後片付け」、「日常の家計管理」、「洗濯」では70～80%以上を占めている。しかし、30歳未満では、「食事の支度」と「日常の家計管理」以外は、「ほとんど妻がしている」がやや少なく、かわって「妻が中心だが夫も手伝う」が多くなっている。また、同じく30歳未満では、「入浴の準備、風呂場の掃除」、「日常のゴミ捨て」は、「ほとんど夫がしている」が比較的多い。
- 「高額な商品の購入決定」は、30歳代以下では「平等に分担している」が多いが、40歳代以上になると、「夫が中心だが、妻も手伝う」または「ほとんど夫がしている」の割合が多くなる傾向がみられる。
- 「生活費の確保」は、30歳未満で「ほとんど妻がしている」が最も多くなっているほかは、全般に「ほとんど夫がしている」の割合が多い。40～60歳代では「夫が中心だが、妻も手伝う」の割合が比較的多い。
- 「PTAや地域の行事参加」は、30～40歳代では、「ほとんど妻がしている」、「妻が中心だが夫も手伝う」を合わせた妻中心の役割分担が、「夫が中心だが、妻も手伝う」、「ほとんど夫がしている」を合わせた夫中心の役割分担を大きく上回っているのに対して、50歳代以上では、逆に夫中心の役割分担が妻中心を上回っている。30歳未満では、「夫婦ともほとんどしない」や「その他」の割合が比較的多い。
- 「親戚とのつきあい」は、どの年齢層においても「平等に分担している」が多いが、40歳代以上では「夫が中心だが、妻も手伝う」の割合が増えている。
- 「近所とのつきあい」は、どの年齢層においても「ほとんど妻がしている」、「妻が中心だが夫も手伝う」を合わせた妻中心の役割分担が、「夫が中心だが、妻も手伝う」、「ほとんど夫がしている」を合わせた夫中心の役割分担を大きく上回っており、特に30歳未満では他の年齢層に比べ、「ほとんど妻がしている」の割合が多い。また、50歳以上では、「平等に分担している」が多くなっている。

【共働き形態別】

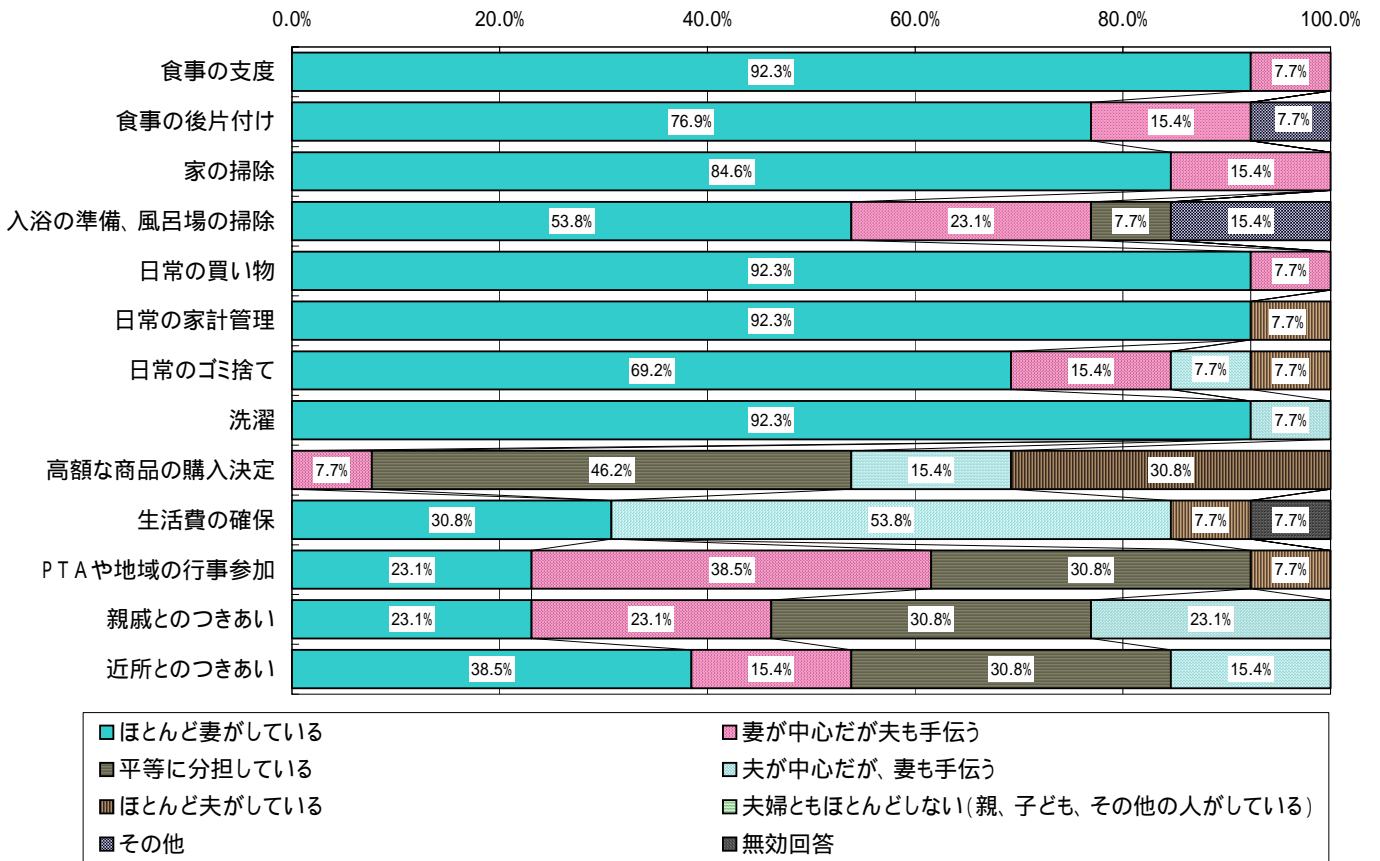
フルタイム/フルタイム



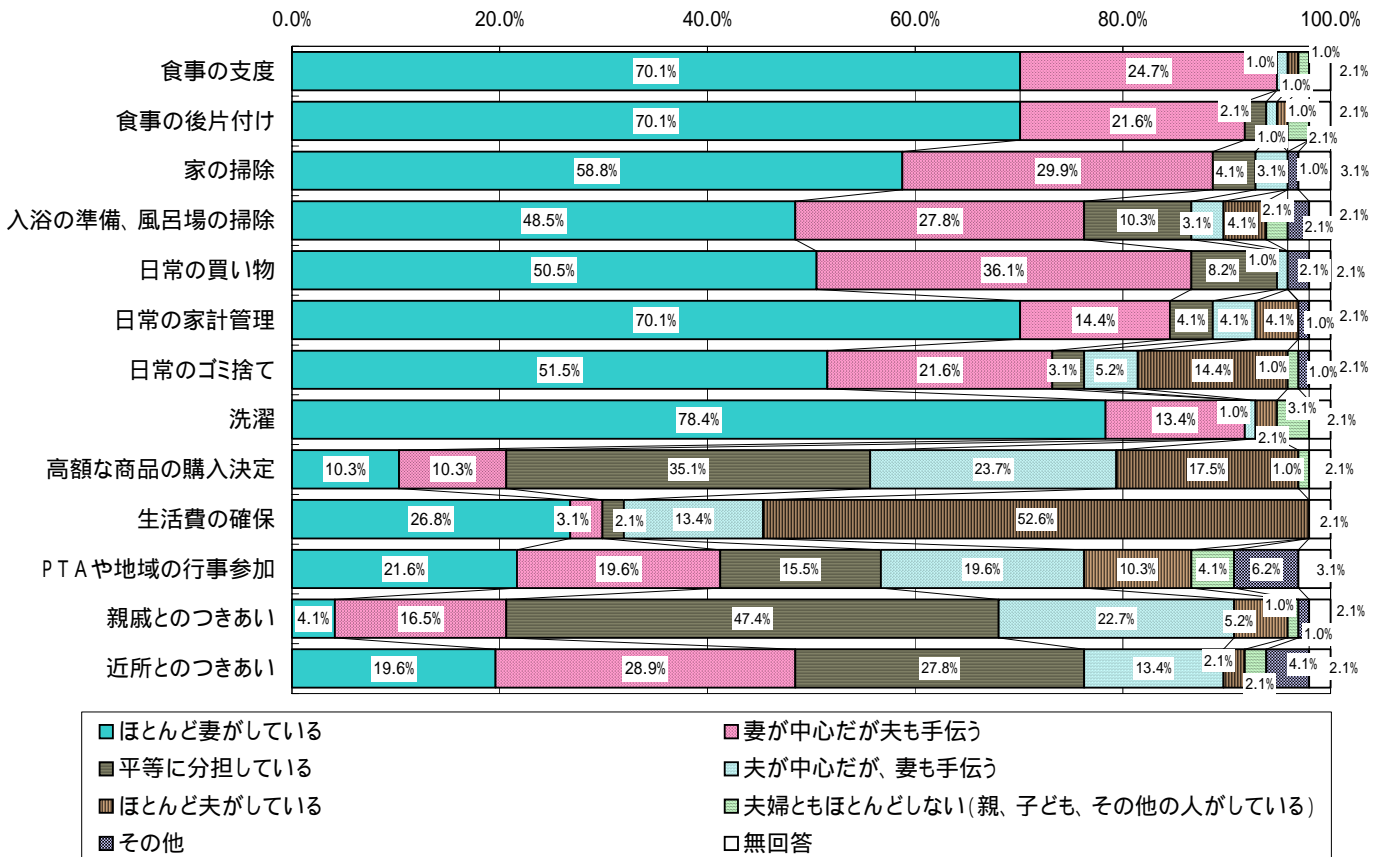
フルタイム/パート・アルバイト



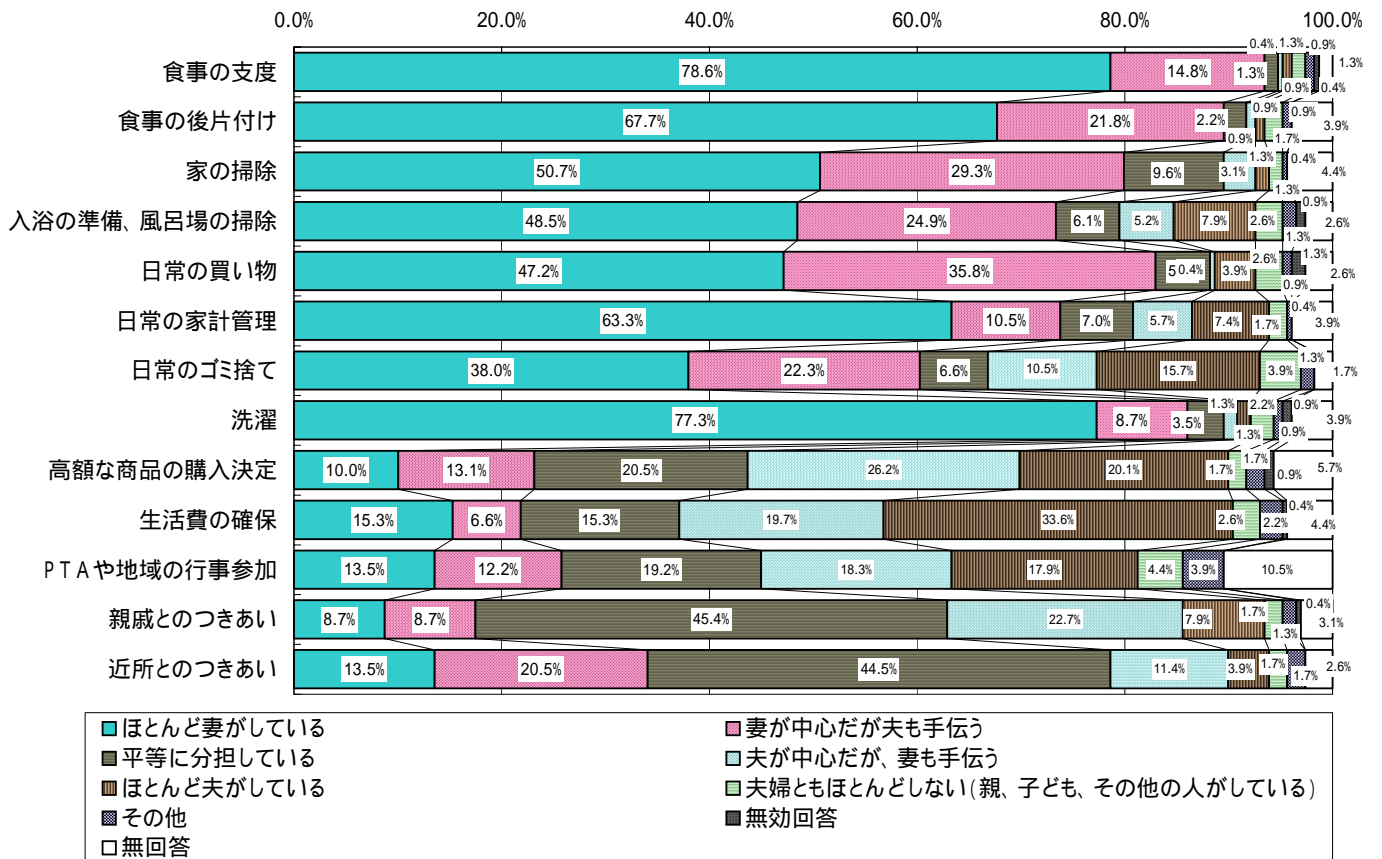
フルタイム/その他就労



フルタイム/未就労



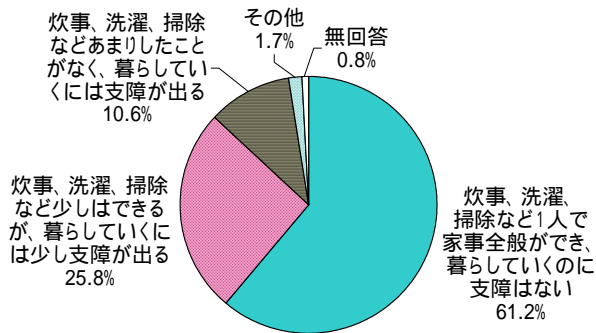
パート・アルバイト、その他就労、未就労/パート・アルバイト、その他就労、未就労



- 共働き形態別にみると、どの形態においても、「食事の支度」、「食事の後片付け」、「家の掃除」、「入浴の準備、風呂場の掃除」、「日常の買い物」、「日常の家計管理」、「日常のゴミ捨て」、「洗濯」は、「ほとんど妻がしている」と答えた人が多く、特に「フルタイム/その他就労」ではその割合が多い。これに対して、「フルタイム/フルタイム」では、他の組み合わせに比べて、「ほとんど妻がしている」の割合が少なく、「妻が中心だが夫も手伝う」や「平等に分担している」の割合がやや多くなっている。また、「フルタイム/フルタイム」では、「日常のゴミ捨て」は「ほとんど夫がしている」が比較的多い。
- 「高額な商品の購入決定」は、全体的に「平等に分担している」が最も多くなっているが、「ほとんど夫がしている」、「夫が中心だが、妻も手伝う」の割合も比較的多い。
- 「生活費の確保」は、「フルタイム/フルタイム」では「平等に分担している」が多く、他の組み合わせでは、「ほとんど夫がしている」、「夫が中心だが、妻も手伝う」を合わせた、夫中心の役割分担が多くなっている。
- 「PTAや地域の行事参加」や「近所とのつきあい」は、「フルタイム/フルタイム」、「フルタイム/パート・アルバイト」、「フルタイム/その他就労」、「フルタイム/未就労」では、「ほとんど妻がしている」、「妻が中心だが夫も手伝う」を合わせた、妻中心の役割分担が比較的多い。
- 「親戚とのつきあい」は、どの形態においても「平等に分担している」が多くなっているが、「フルタイム/パート・アルバイト」では「ほとんど夫がしている」、「夫が中心だが、妻も手伝う」を合わせた、夫中心の役割分担が多く、「フルタイム/その他就労」では「ほとんど妻がしている」、「妻が中心だが夫も手伝う」を合わせた、妻中心の役割分担が多い。

問 11. あなたは、もし一人暮らし生活になったら、炊事、洗濯、掃除などの家事全般ができますか。(1つ)

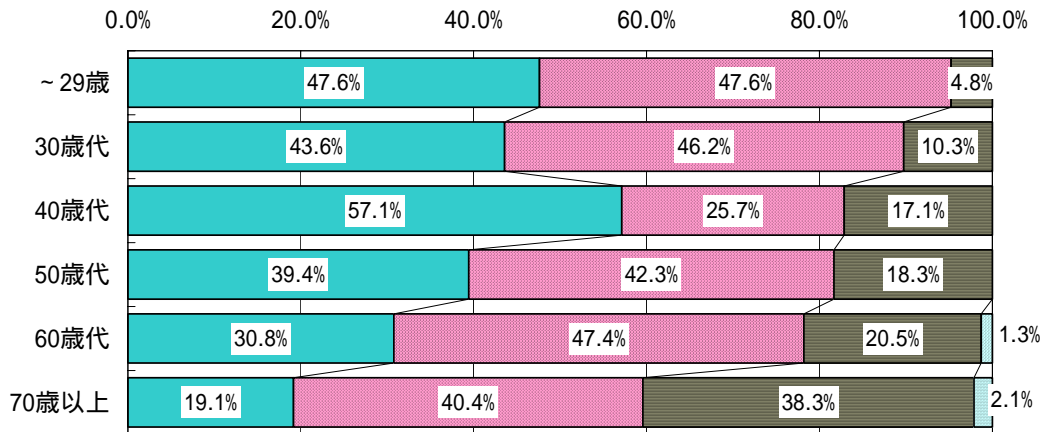
【回答者数:659】



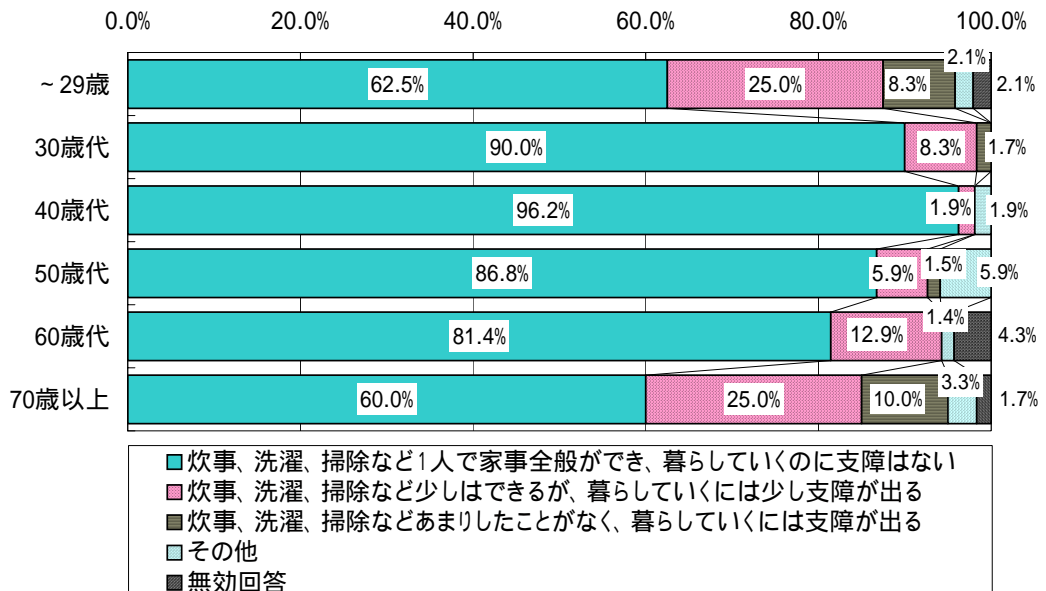
・ 「炊事、洗濯、掃除など1人で家事全般ができ、暮らしていくのに支障はない」が61.2%と最も多い。しかし、「炊事、洗濯、掃除など少しはできるが、暮らしていくには少し支障が出る」が25.8%、「炊事、洗濯、掃除などあまりしたことがなく、暮らしていくには支障が出る」が10.6%と、合わせて36.4%の人が一人暮らしをするのに何らかの支障があると回答している。

【男女別・年齢別】

男



女



・ 男女別・年齢別にみると、女性の30~60歳代では、「炊事、洗濯、掃除など1人で家事全般ができ、暮らしていくのに支障はない」が80%以上を占めているのに対して、30歳未満や70歳以上では約60%にとどまっている。
 ・ 一方、男性では、「炊事、洗濯、掃除など1人で家事全般ができ、暮らしていくのに支障はない」と答えた人の割合は40歳代の57.1%が最高で、他の年齢層ではいずれも50%を下回っている。また、年齢が高くなるにつれ、「炊事、洗濯、掃除などあまりしたことがなく、暮らしていくには支障が出る」と答えた人の割合が増える傾向にある。

5. 子育てについて

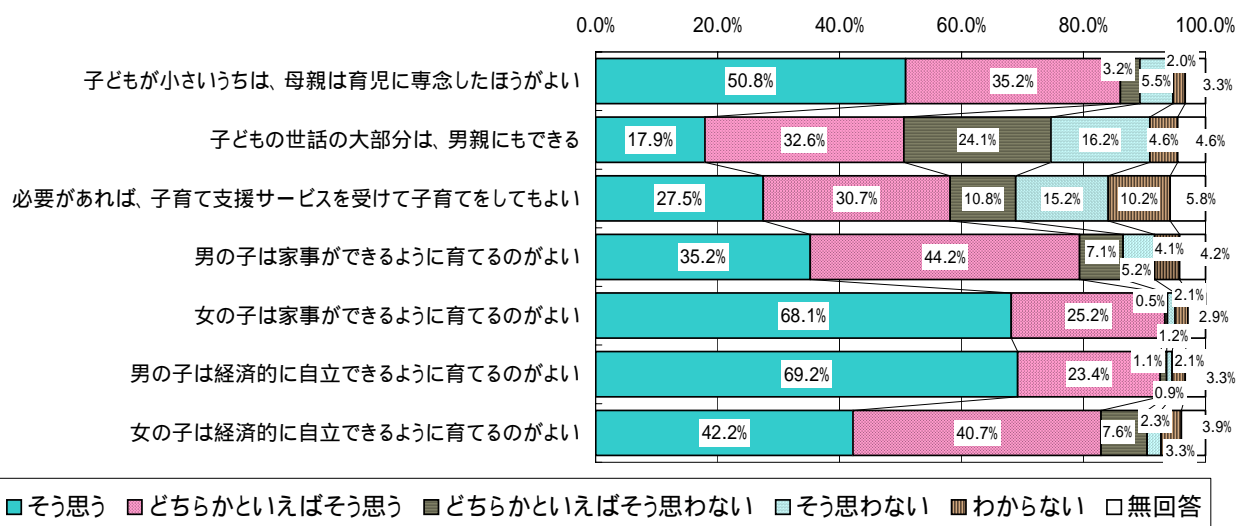
「子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい」については、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的意見が大半を占め、「子どもの世話の大部分は、男性にもできる」や「必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい」に対する肯定的意見はやや少ない。このことから、子育ては母親、すなわち女性の役割だと考える人が多いことがうかがえる。

また、「女の子は家事ができるように育てるのがよい」や「男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」については、「そう思う」と答えた人が多く、「男は仕事、女は家庭」という考え方がその根底にみられる。

実際に子育てに関する地域活動に参加したことのあつた人の男女比をみると、女性 57.0%、男性 41.7%と、男性の参加率は女性に比べて低くなっている。

また、出生率低下の原因として、「結婚しない人が増えているから」や「仕事と子育ての両立が難しいから」を挙げる人が多く、少子化の進行に歯止めをかけるためには、仕事と子育てが両立できる環境づくりが必要である。

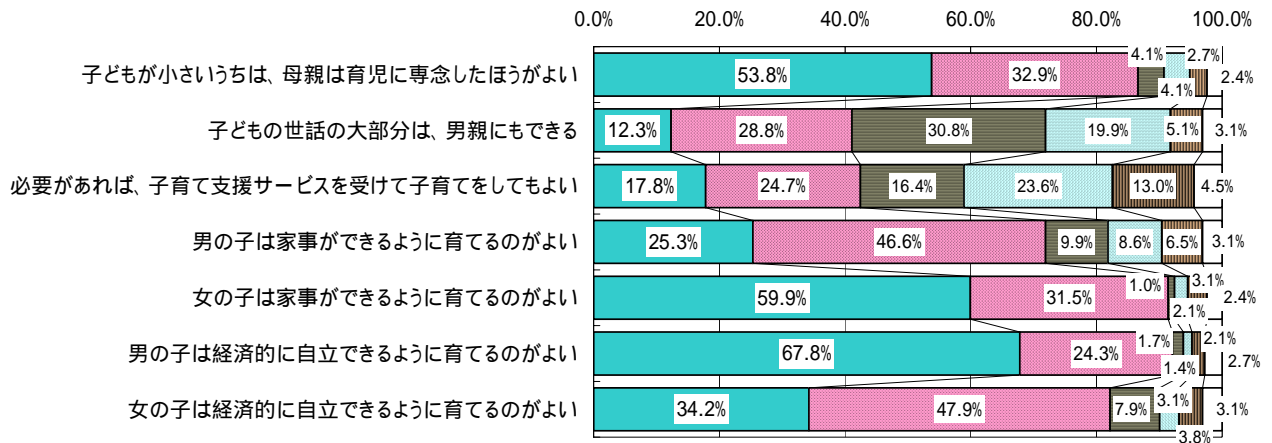
問 12. 子育てについて、あなたの意見にもっとも近いものはどれですか。(~ のそれぞれについて1つずつ)
【回答者数:659】



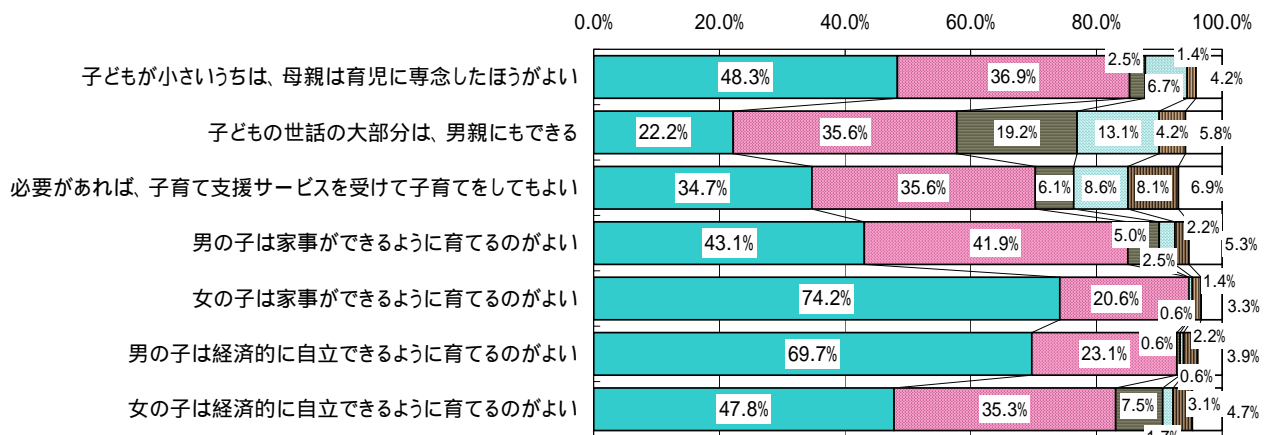
- ・ 「子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい」については、50.8%の人が「そう思う」と答え、「どちらかといえばそう思う」の35.2%を合わせると、肯定的意見は86.0%となっている。
- ・ 「子どもの世話の大部分は、男親にもできる」と「必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい」については、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な意見は、他の項目に比べてやや少なく、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」を合わせた否定的な意見が比較的多い。
- ・ 「女の子は家事ができるように育てるのがよい」では、「そう思う」が68.1%、「どちらかといえばそう思う」が25.2%であるのに対して、「男の子は家事ができるように育てるのがよい」では、「そう思う」は35.2%で、「どちらかといえばそう思う」が44.2%となっている。
- ・ 「男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」では、「そう思う」が69.2%、「どちらかといえばそう思う」が23.4%であるのに対して、「女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」では、「そう思う」は42.2%で、「どちらかといえばそう思う」が40.7%となっている。
- ・ 以上のような結果は、県の調査結果と比べ、よく似た傾向がみられる。

【男女別】

男



女

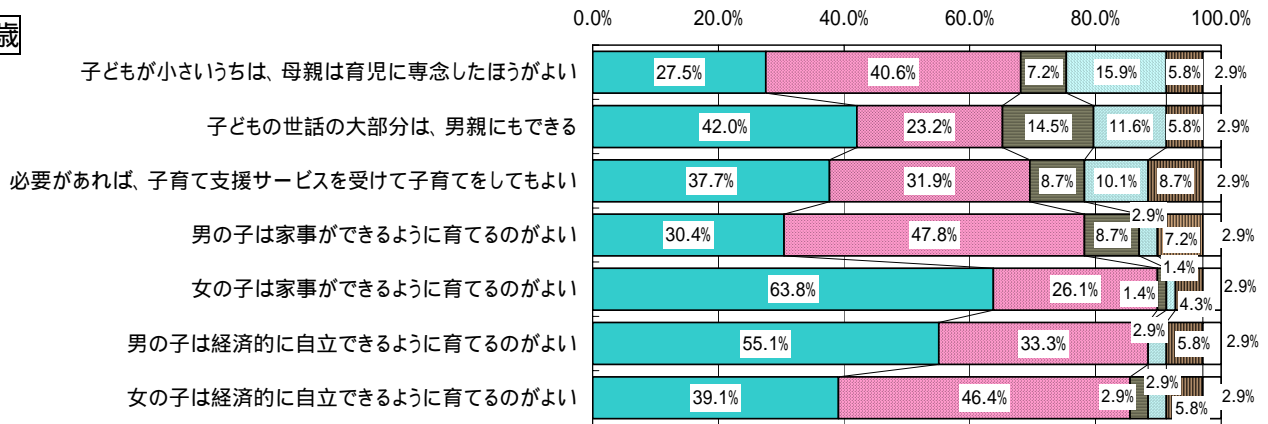


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない □ そう思わない ■ わからない □ 無回答

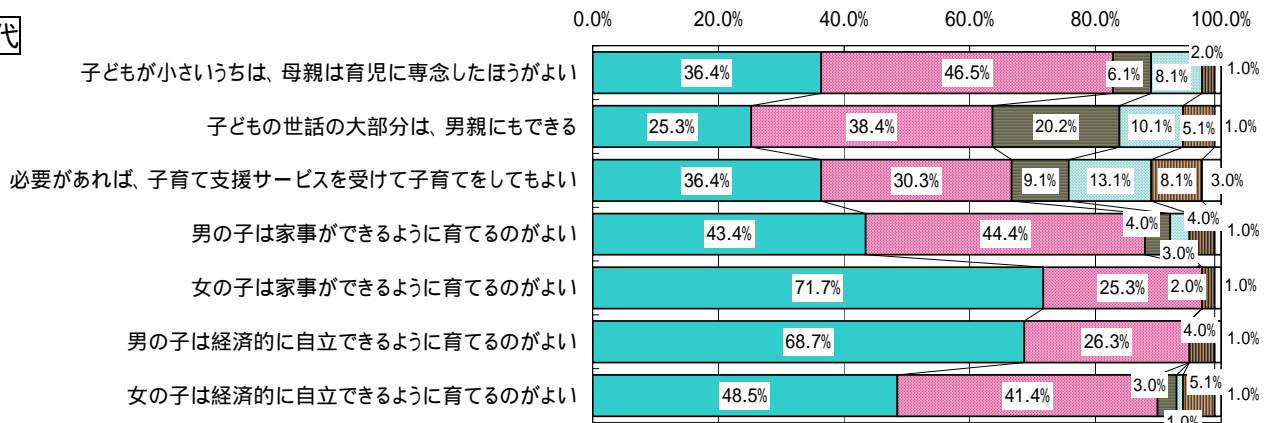
- ・ 男女別にみると、「子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい」については、「そう思う」が男性 53.8%、女性 48.3%と、男性が女性をやや上回っている。
- ・ その他の項目については、いずれも「そう思う」と答えた人の割合は、女性が男性を上回っている。
- ・ 「子どもの世話の大部分は、男親にもできる」と「必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい」については、男性では「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」を合わせた否定的意見が女性に比べて多くなっている。

【年齢別】

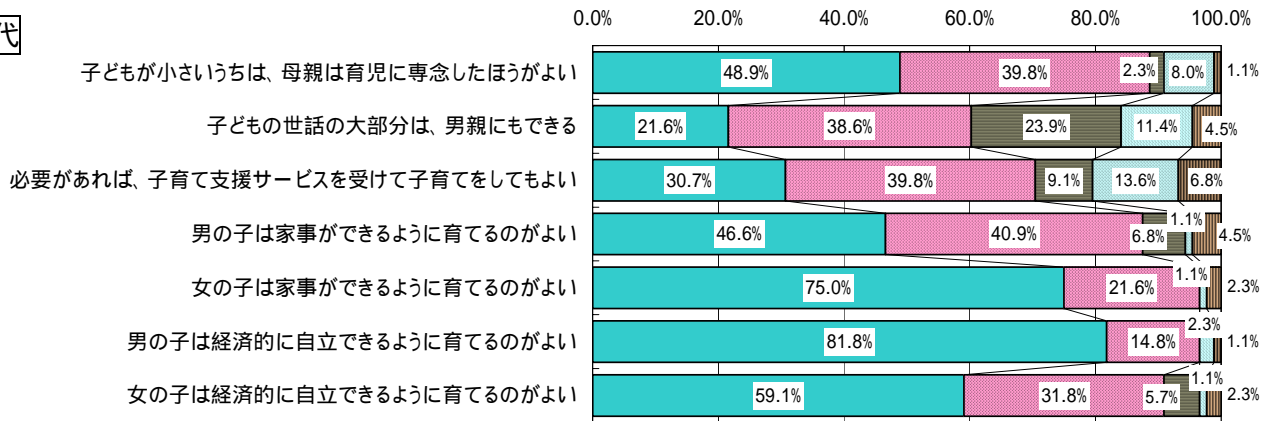
~ 29 歳



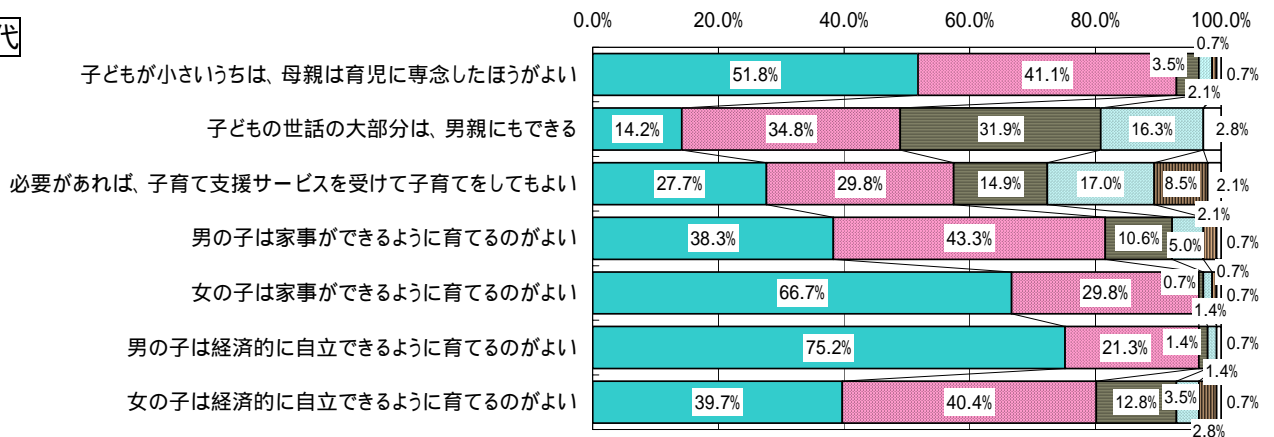
30 歳代



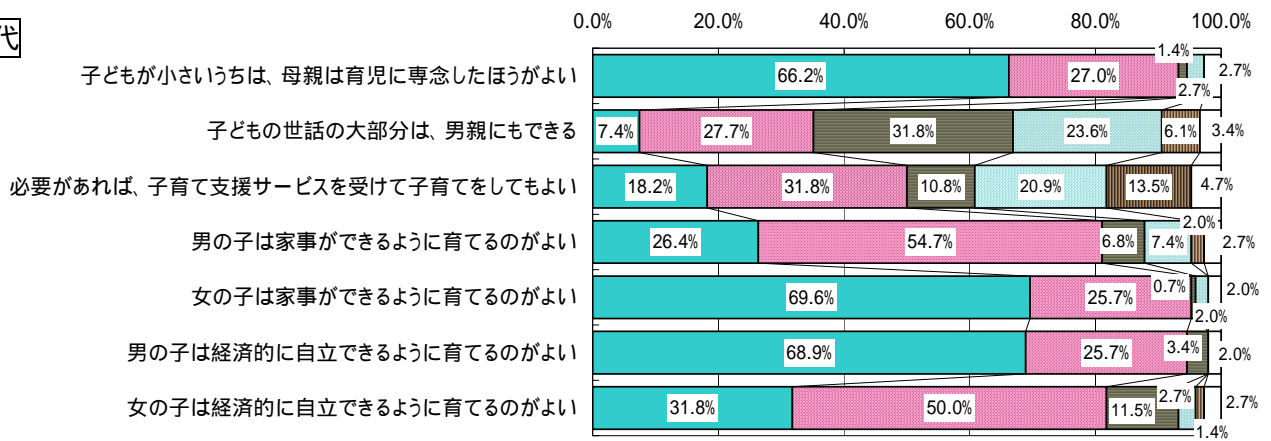
40 歳代



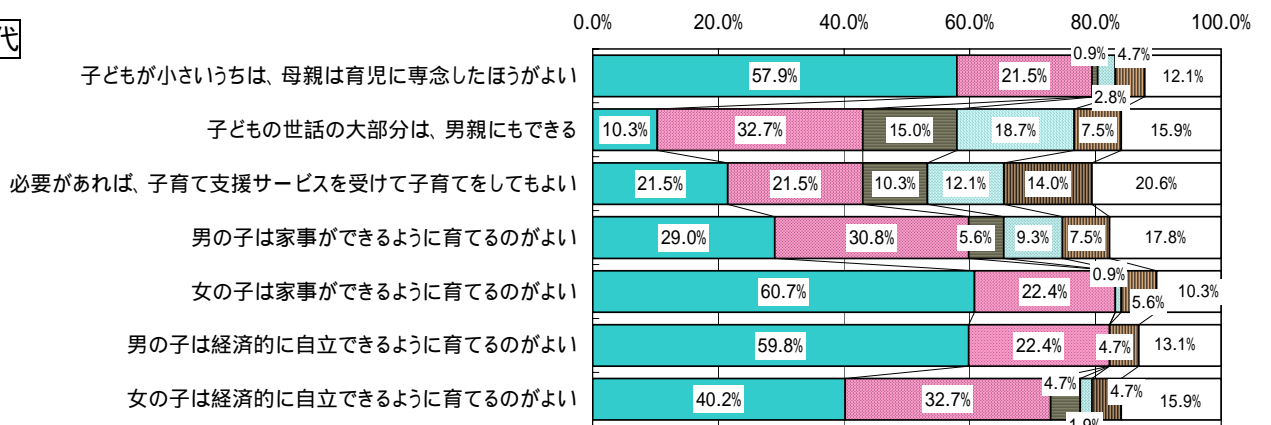
50 歳代



60 歳代



70 歳代

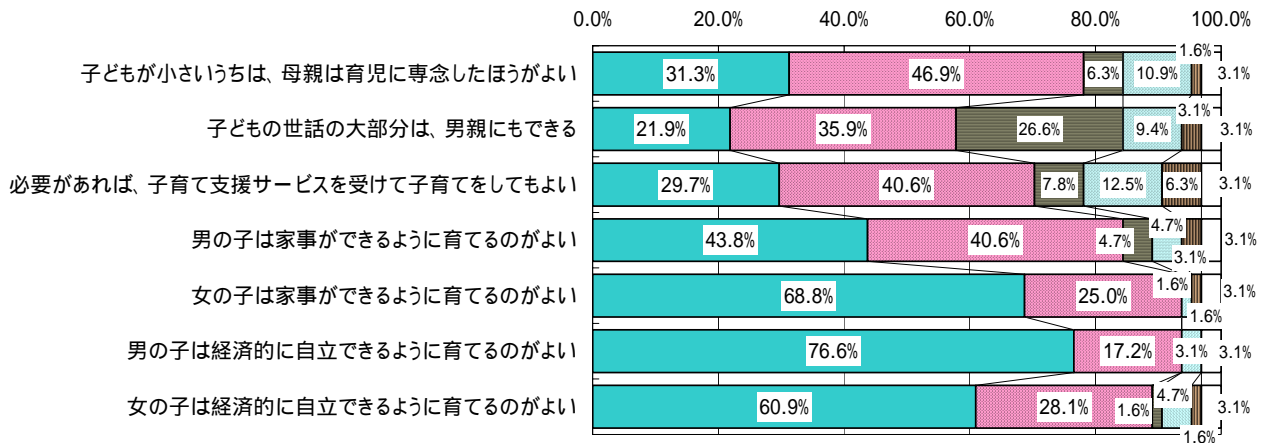


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない □ 無回答

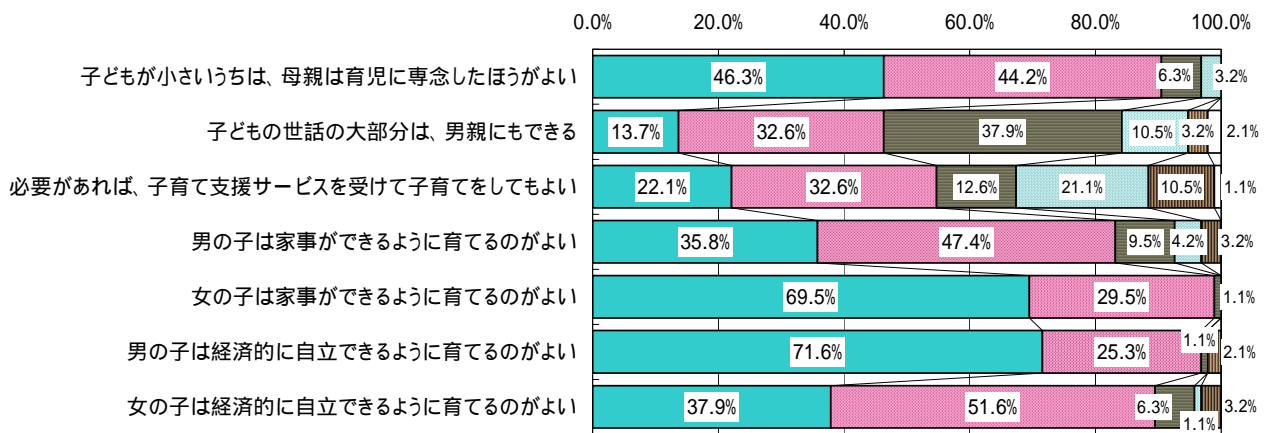
- 年齢別にみると、「子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい」については、年齢が高くなるにつれ、「そう思う」と答えた割合が増える傾向にある。
- 逆に、「子どもの世話の大部分は、男親にもできる」と「必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい」については、年齢が高くなるにつれ、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」を合わせた否定的意見が増える傾向にある。
- 「男の子は家事ができるように育てるのがよい」については、30～40歳代で、「そう思う」と答えた割合が他の年齢層に比べて比較的多くなっている。
- 「女の子は家事ができるように育てるのがよい」については、どの年齢層においても「そう思う」と答えた割合が6～7割を占めている。
- 「男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」については、40～50歳代で、「そう思う」と答えた割合が7～8割と、他の年齢層に比べて比較的多くなっている。
- 「女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」については、30～40歳代で、「そう思う」と答えた割合が他の年齢層に比べて比較的多くなっている。

【共働き形態別】

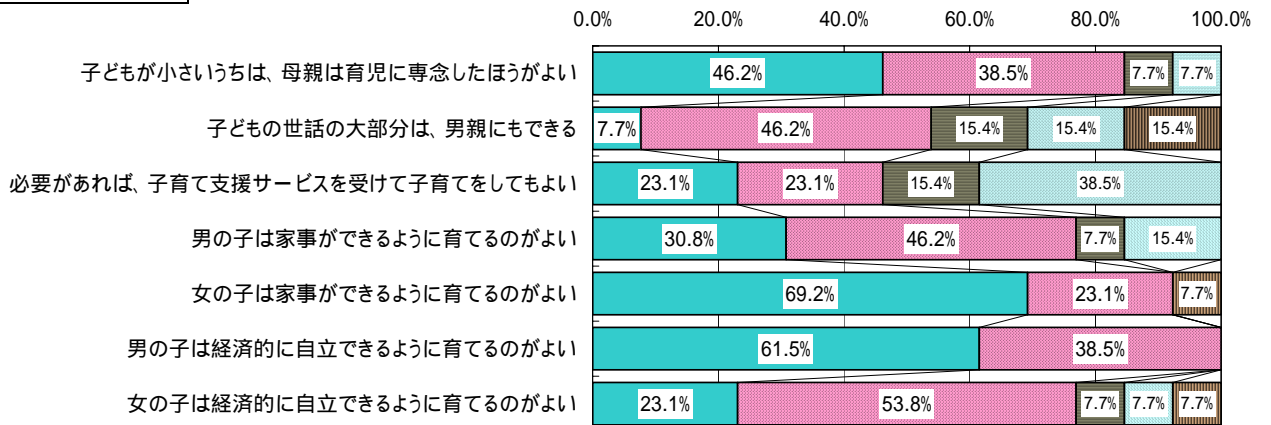
フルタイム/フルタイム



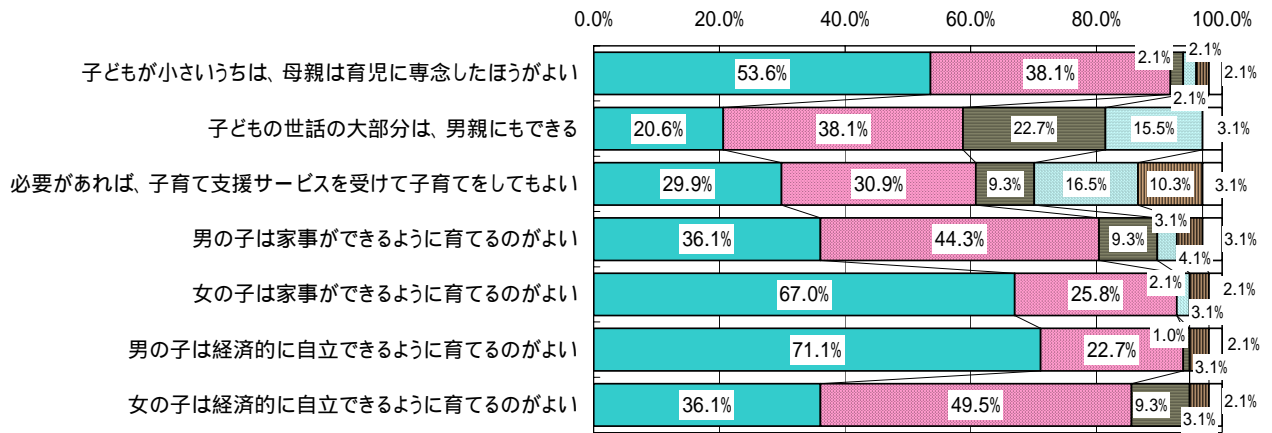
フルタイム/パート・アルバイト



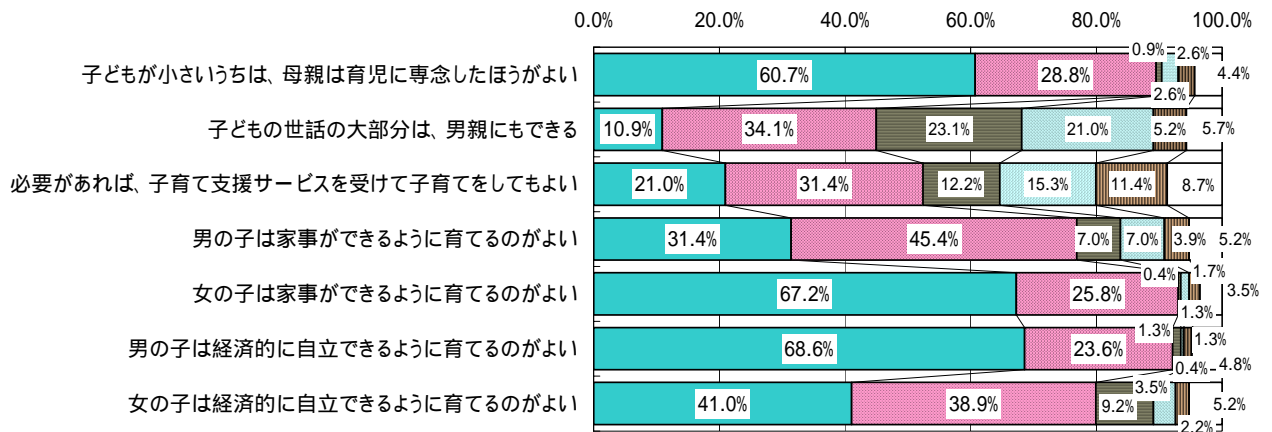
フルタイム/その他就労



フルタイム/未就労



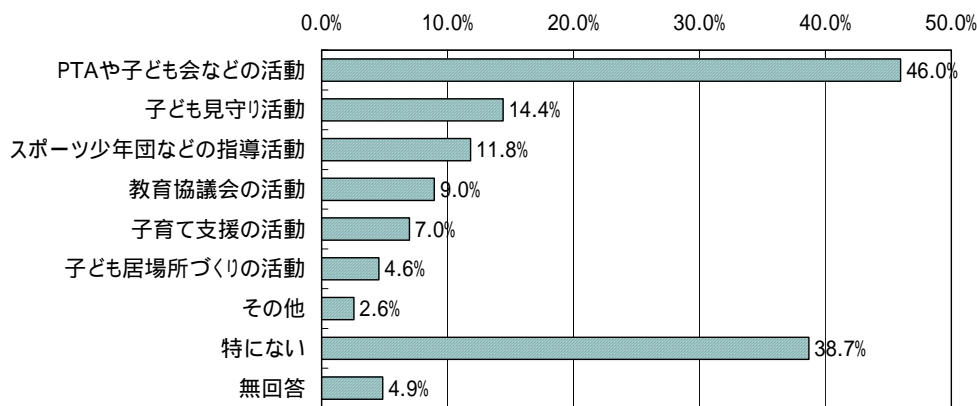
パート・アルバイト、その他就労、未就労/パート・アルバイト、その他就労、未就労



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない □ そう思わない ■ わからない □ 無回答

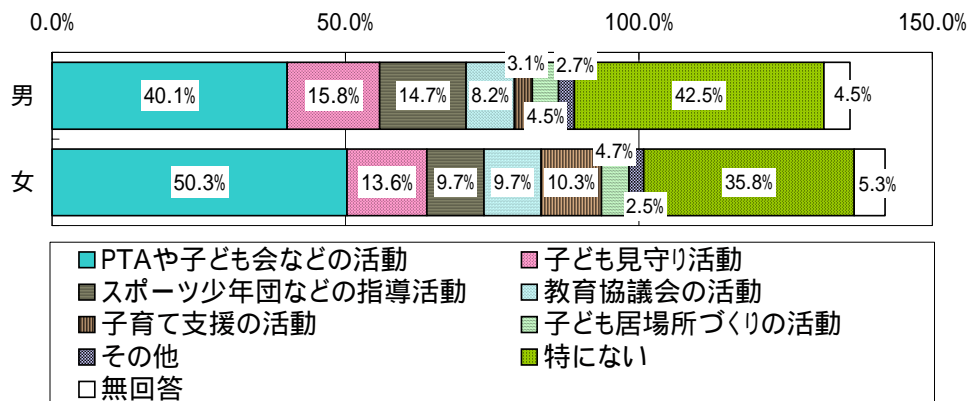
- ・ 共働き形態別にみると、「子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい」については、「そう思う」が「フルタイム/未就労」や「パート・アルバイト、その他就労、未就労/パート・アルバイト、その他就労、未就労」で50%以上となっているのに対して、「フルタイム/フルタイム」では31.3%にとどまっている。
- ・ 「子どもの世話の大部分は、男親にもできる」については、「フルタイム/フルタイム」、「フルタイム/その他就労」、「フルタイム/未就労」において、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的意見が、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」を合わせた否定的意見をやや上回っているのに対して、その他の組み合わせでは、肯定的意見と否定的意見がほぼ同じくらいの割合となっている。
- ・ 「必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい」については、「フルタイム/その他就労」で否定的意見が肯定的意見を上回っているのに対して、その他の組み合わせでは、いずれも肯定的意見が否定的意見を上回っている。
- ・ 「男の子は家事ができるように育てるのがよい」や「女の子は家事ができるように育てるのがよい」、「男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」については、どの共働き形態においても、ほぼ同じような結果となっている。
- ・ 「女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」については、「フルタイム/フルタイム」で、「そう思う」と答えた割合が60.9%を占め、他の年齢層に比べて多くなっている。

問 13. 子育てに関する地域活動に参加したことがありますか。(あてはまるものすべて)【回答者数:659】



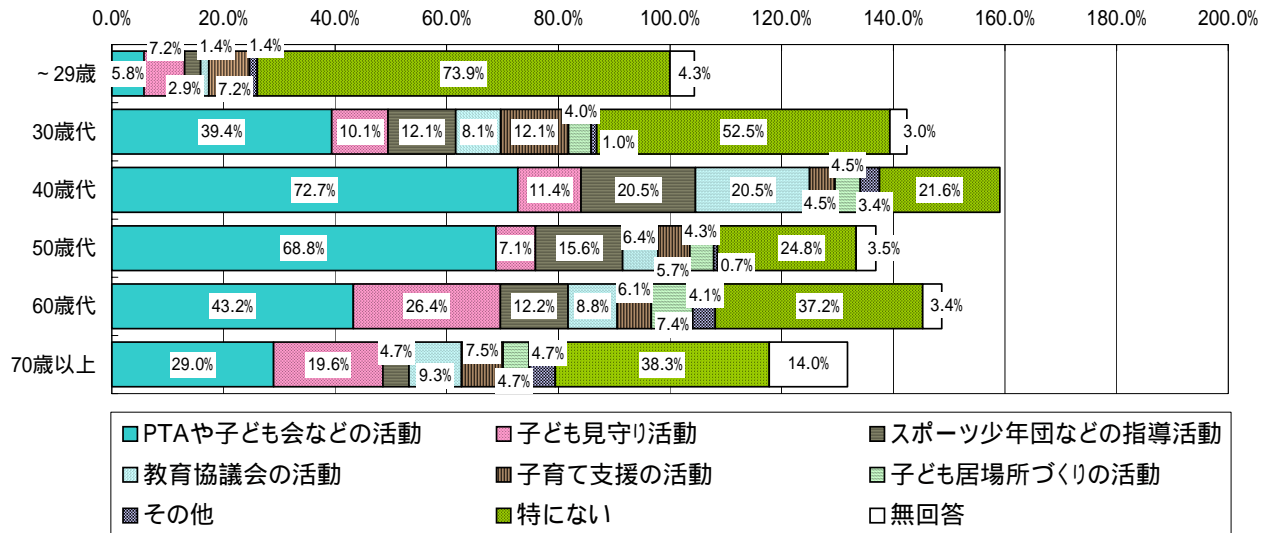
・「PTAや子ども会などの活動」が46.0%と最も多く、他の活動はいずれも10%前後、もしくはそれ以下の低い値となっている。また、「特にない」という人も38.7%みられる。

【男女別】



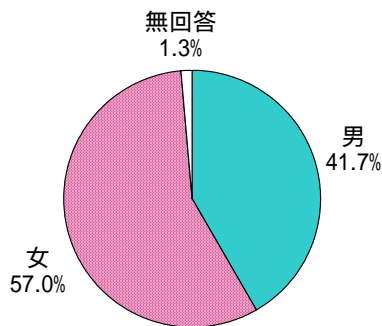
・男女別にみると、女性では「PTAや子ども会などの活動」が最も多く50.3%を占め、次いで「特にない」が35.8%となっているのに対して、男性では「特にない」が42.5%と最も多く、「PTAや子ども会などの活動」が40.1%で続いている。また、「スポーツ少年団などの指導活動」では男性が女性をやや上回り、「子育て支援の活動」では女性のほうが男性より多くなっている。

【年齢別】



・ 年齢別にみると、30歳代以下の若い世代では、「特にない」が半数以上を占めている。40～50歳代では「PTAや子ども会などの活動」が70%前後を占め、40歳代では「スポーツ少年団などの指導活動」や「教育協議会の活動」が他の年齢層に比べ、やや多い。また、60歳代以上になると、他の年齢層に比べ、「子ども見守り活動」の割合が多くなっている。

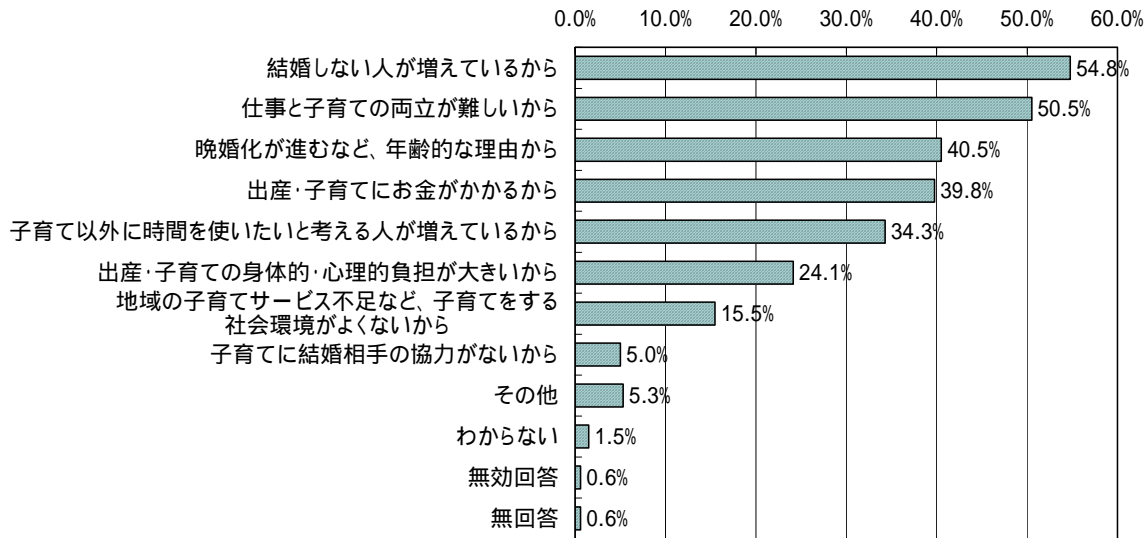
【参加率】



・ 子育てに関する地域活動に参加したことのある人のうち男性の比率は、女性に比べやや低く、41.7%となっている。

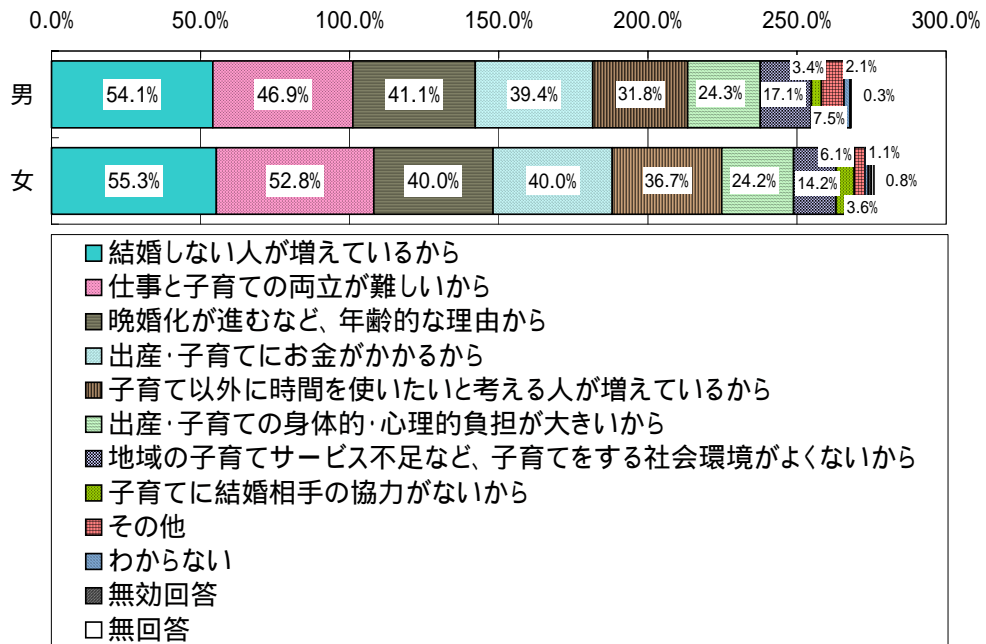
5～11ページ参照

問 14. 出生率の低下が社会問題となっていますが、あなたは何が原因だと思いますか。(3つまで) [回答者数:659]



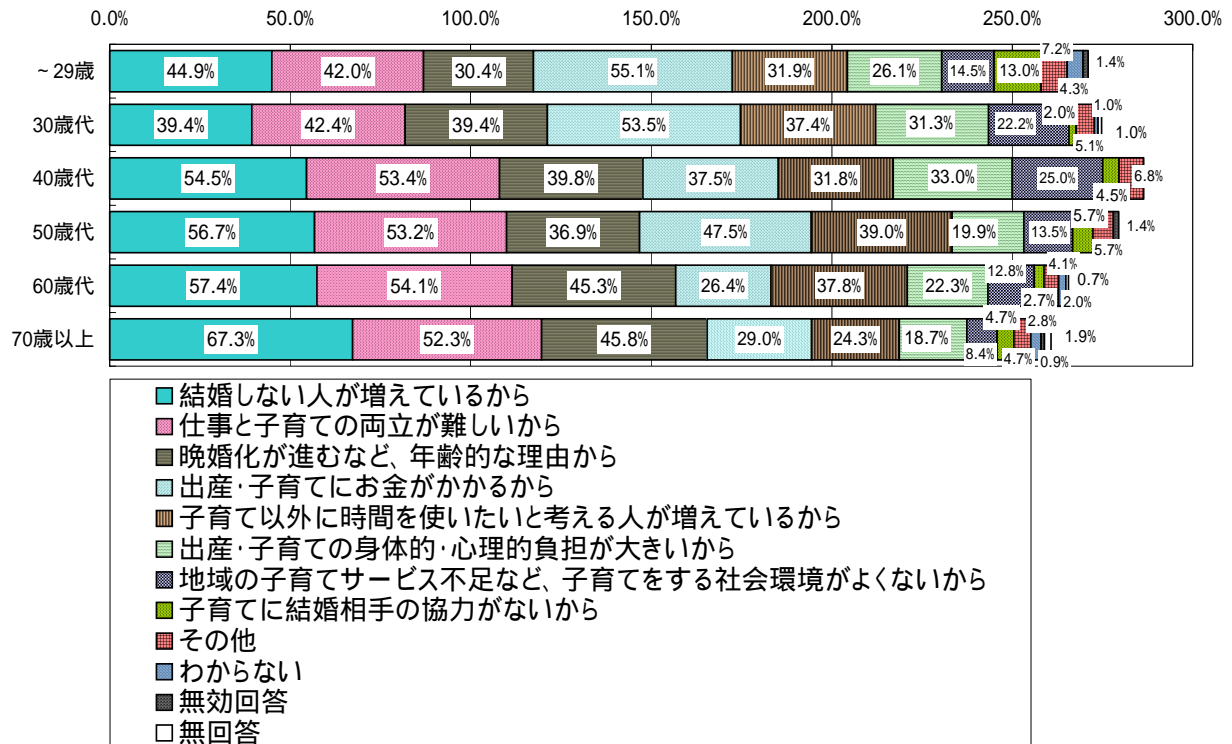
・ 「結婚しない人が増えているから」が 54.8%と最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいから」50.5%、「晩婚化が進むなど、年齢的な理由から」40.5%、「出産・子育てにお金がかかるから」39.8%、「子育て以外に時間を使いたいと考える人が増えているから」34.3%と続いている。

【男女別】



・ 男女別にみると、男女ともにほぼ同じような結果となっている。そのなかで、「仕事と子育ての両立が難しいから」は、女性が 52.8%、男性が 46.9%と、女性のほうが男性よりやや多くなっている。

【年齢別】



・ 年齢別にみると、30歳代以下の若い世代では、「出産・子育てにお金がかかるから」が最も多く、40歳代以上では、「結婚しない人が増えているから」、「仕事と子育ての両立が難しいから」が多くなっている。

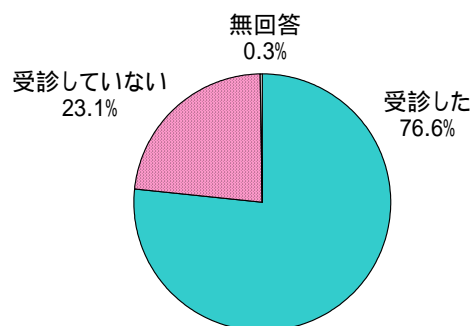
6. 健康・介護について

健康診断を「受診した」という人の割合は、前回調査に比べ、わずかではあるが増加傾向にある。しかし、女性は男性に比べて受診率が低く、特に30歳代の女性では受診率が60%にも達していない。また、職業別にみると、フルタイムで働く勤め人や学生では受診率が90%以上となっているのに対し、他の職業や家事専業・家事手伝い、無職の人の受診率は低い。

受診しなかった人の多くは、その理由を「受診する機会がなかったから」と回答している。また、「忙しくて受ける暇がなかったから」や「健康診断は好まないから」という人も比較的多い。

一方、介護の状況をみると、実際に介護しているのは「介護施設、老人ホーム等」や「妻」が多いが、女性では施設での介護を望む人が多いのに対し、男性では妻に介護してほしいという人が圧倒的に多くなっている。また、若い世代では、施設やホームヘルパーを利用した介護を望む人が多いのに対して、年齢が高い世代では、施設介護と並び妻による介護を望む人が多くなっている。

問15. あなたは、平成18年度(平成18年4月～平成19年3月)の1年間で、病院および職場、学校等での健康診断を受診しましたか。(1つ)【回答者数:659】

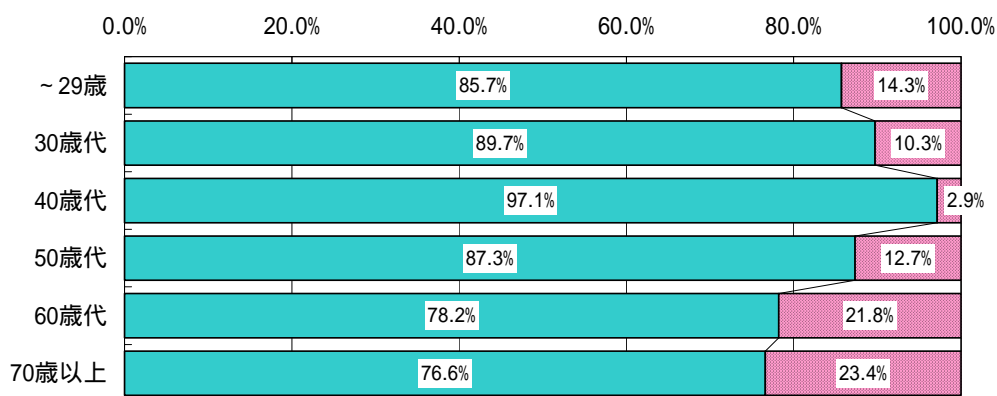


・ 「受診した」という人は76.6%と大半を占めており、前回調査の74.3%に比べ、わずかではあるが増えている。一方、「受診していない」という人は23.1%と、2割強みられ、前回調査の23.3%からほぼ横ばいとなっている。

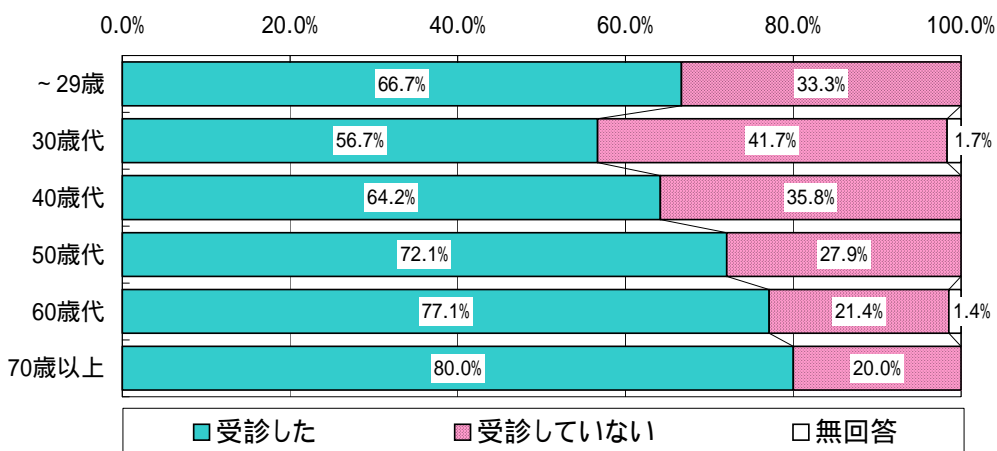
5～11ページ参照

【男女・年齢別】

男

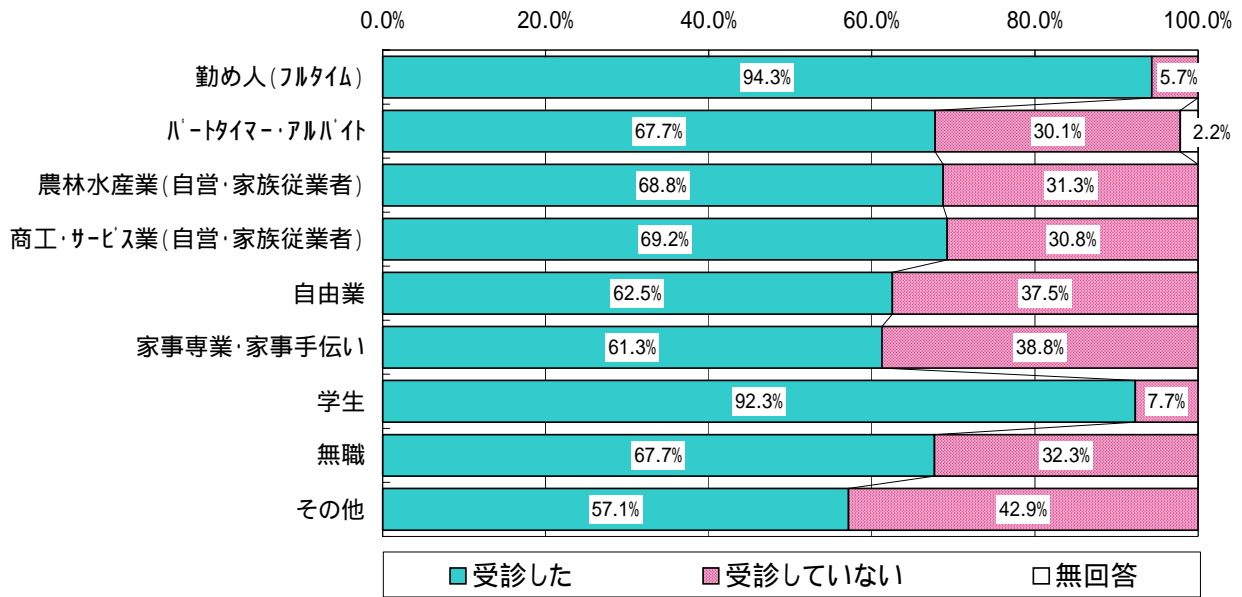


女



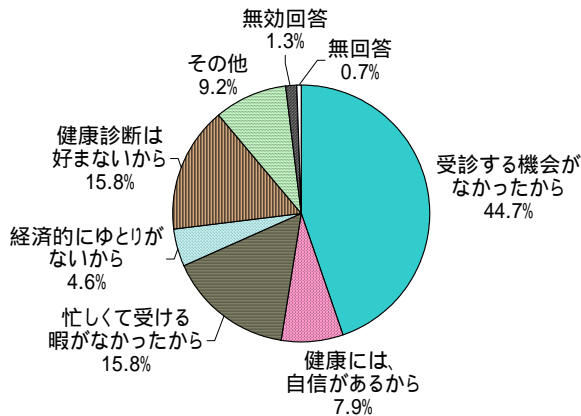
- ・ 男女別にみると、男性では50歳代以下に比べ、60歳代以上では「受診した」が少なくなるのに対し、女性では年齢が高くなるにつれて「受診した」が多くなる傾向がみられる。「受診した」割合が最も多いのは、男性の40歳代で97.1%、逆に最も少ないのは女性の30歳代で56.7%となっている。
- ・ 全般に男性に比べて女性のほうが「受診した」と答えた割合は少なくなっている。
- ・ 前回調査と比べると、「受診した」は、男性で全体的に増えているのに対して、女性では横ばい、または減少している。ただし、女性のなかでも、30歳代と70歳代以上は前回調査よりも増えている。

【職業別】



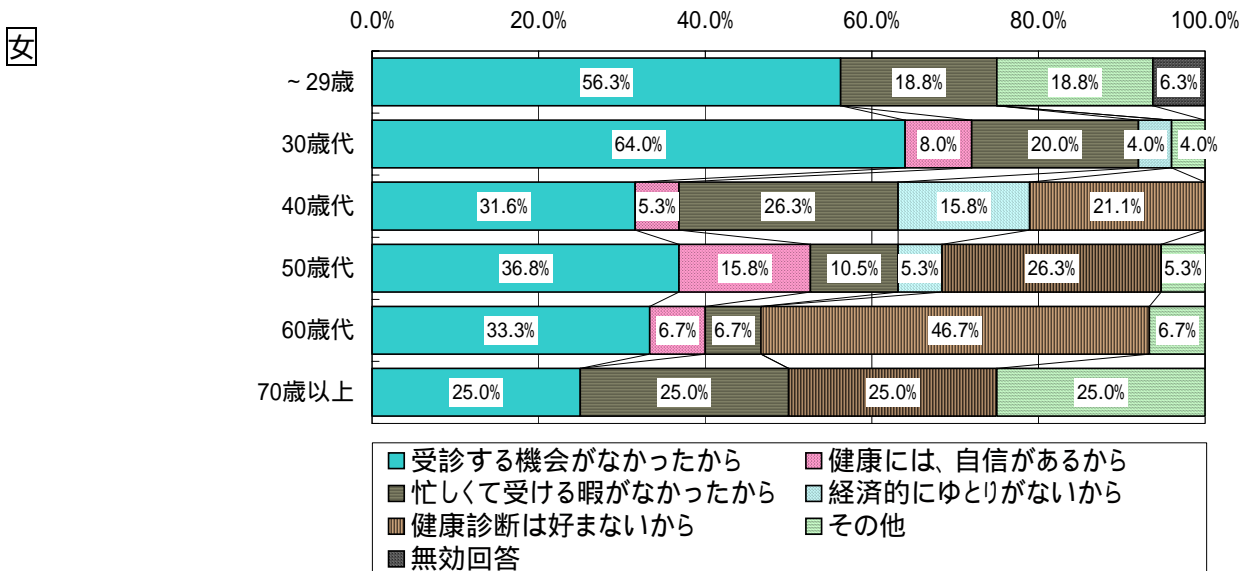
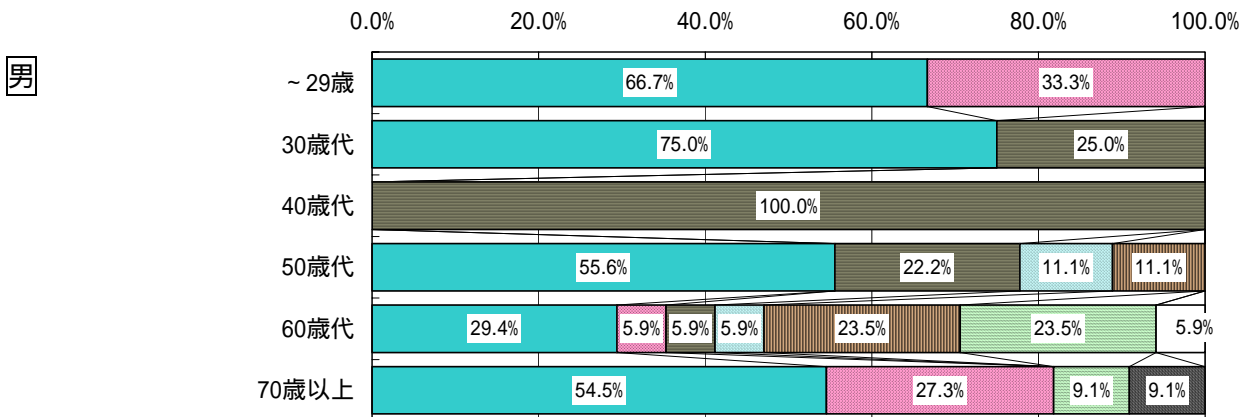
・ 職業別にみると、「受診した」は、「勤め人(フルタイム)」と「学生」でそれぞれ 94.3%、92.3%と高い値を示しているものの、それ以外の職業ではいずれも 70%に達していない。

問 15-1. 問 15 で「2. 受診していない」と答えた方にお聞きします。なぜ、受診しなかったのですか。(1つ)
 【回答者数:152】



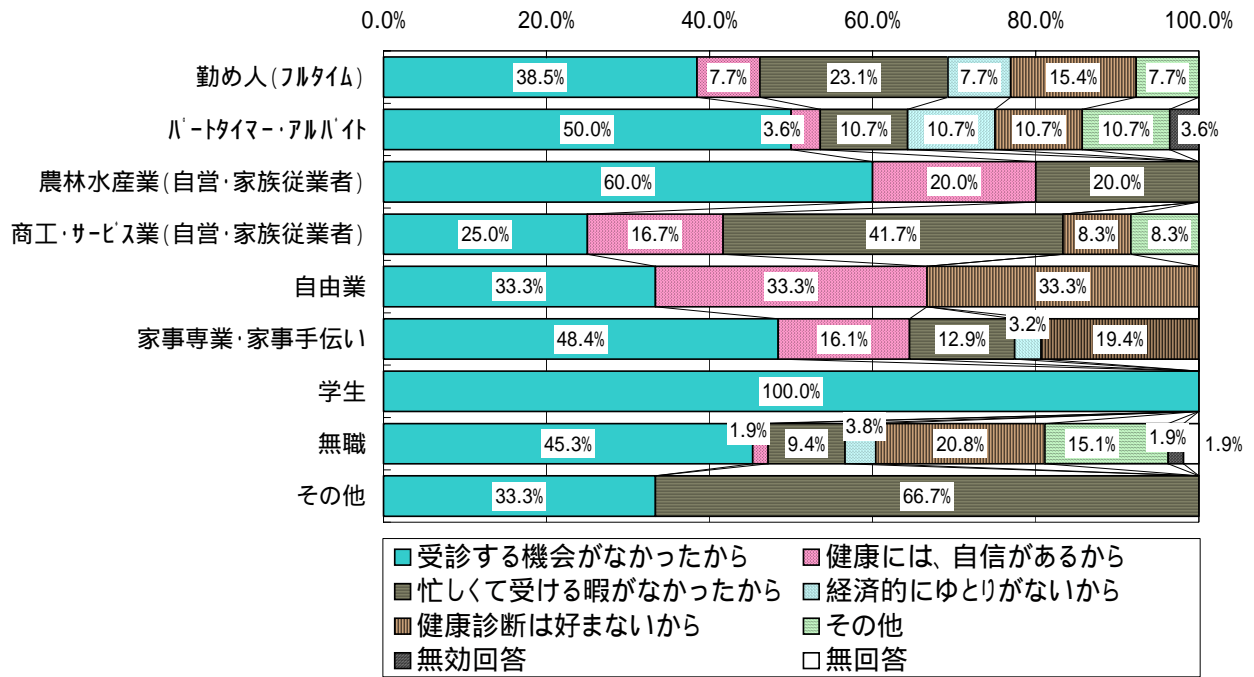
「受診する機会がなかったから」が最も多く 44.7%、次いで「忙しくて受ける暇がなかったから」と「健康診断は好まないから」が 15.8%で続いている。

【男女別・年齢別】



- 男女別・年齢別にみると、30歳代以下では男女ともに「受診する機会がなかったから」が半数以上を占めている。また、30歳未満の男性では、「健康には、自信があるから」も多い。
- 40歳代では、「忙しくて受ける暇がなかったから」が比較的多く、男性では100.0%となっている。また、40歳代以上になると、「健康診断は好まないから」という理由も増えている。

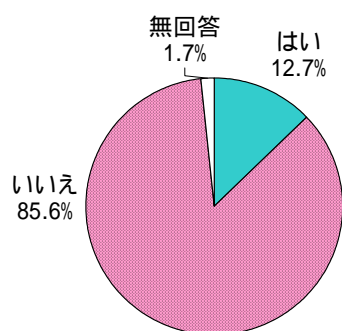
【職業別】



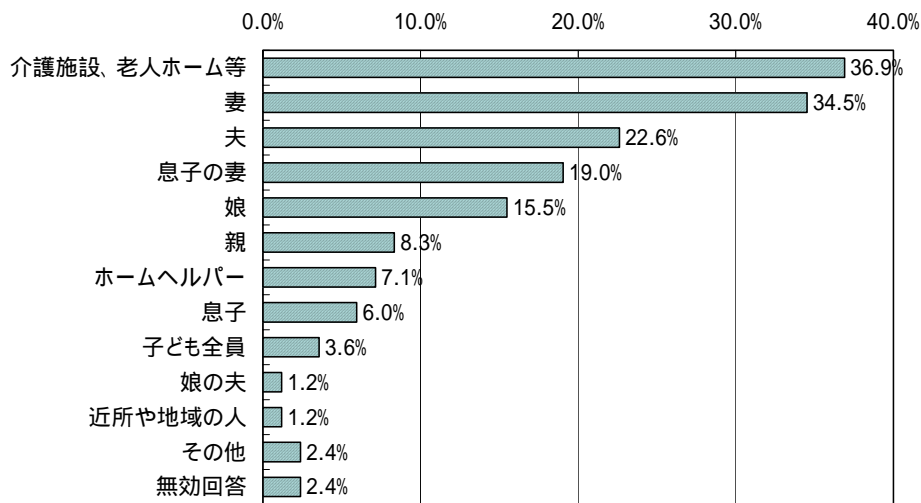
- ・ 職業別にみると、全体的に「受診する機会がなかったから」が多く、なかでも「学生」では100.0%となっている。
- ・ 「商工・サービス業(自営・家族従業者)」では「忙しくて受ける暇がなかったから」が最も多く、「勤め人(フルタイム)」や「農林水産業(自営・家族従業者)」でも比較的多くなっている。
- ・ 「自由業」や「農林水産業(自営・家族従業者)」では、「経済的にゆとりがないから」が比較的多い。

問 16. あなたの家庭に、常時介護の必要な方はいますか。(1つ)【回答者数:659】

・ 「はい」は 12.7%、「いいえ」は 85.6%となっている。

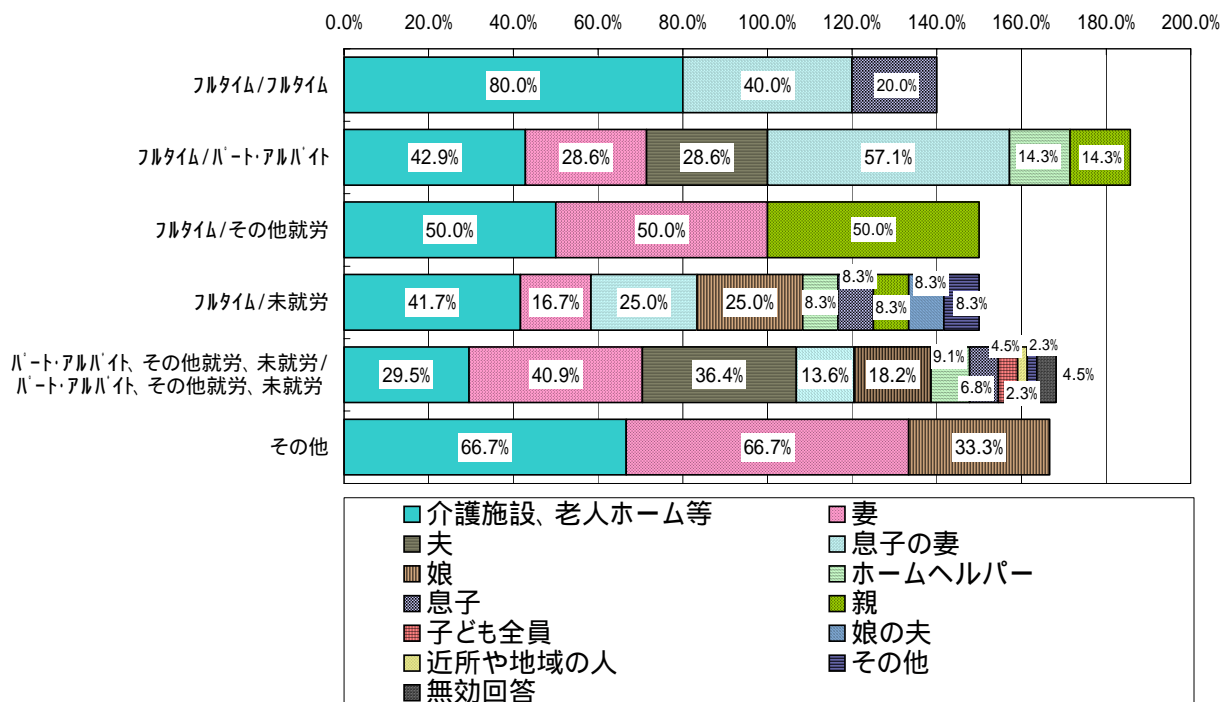


問 16-1. 問 16 で「1. はい」と答えた方にお聞きます。その方の世話は誰がしていますか。(主なもの2つまで)
 【回答者数:84】



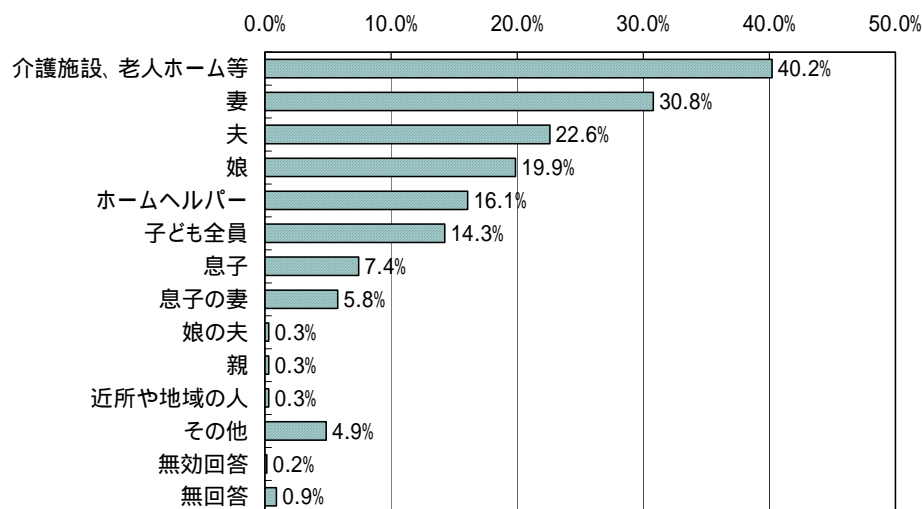
・ 「介護施設、老人ホーム等」が最も多く 36.9%、次いで「妻」34.5%、「夫」22.6%、「息子の妻」19.0%、「娘」15.5%と続いている。

【共働き形態別】



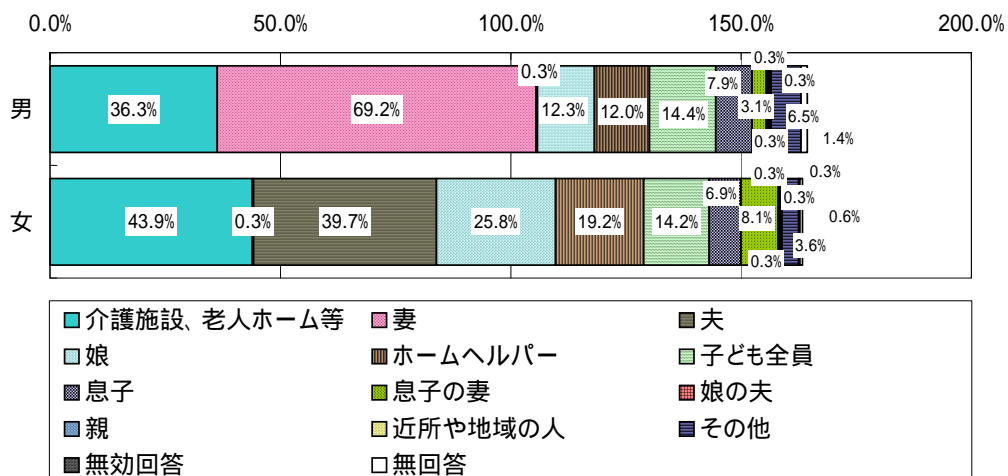
・ 共働き形態別に見ると、「フルタイム/フルタイム」では「介護施設、老人ホーム等」が 80.0%と大半を占めており、「妻」や「夫」は 0%となっている。

問 17. あなたは将来、誰に介護してほしいと思いますか。(2つまで)【回答者数:659】



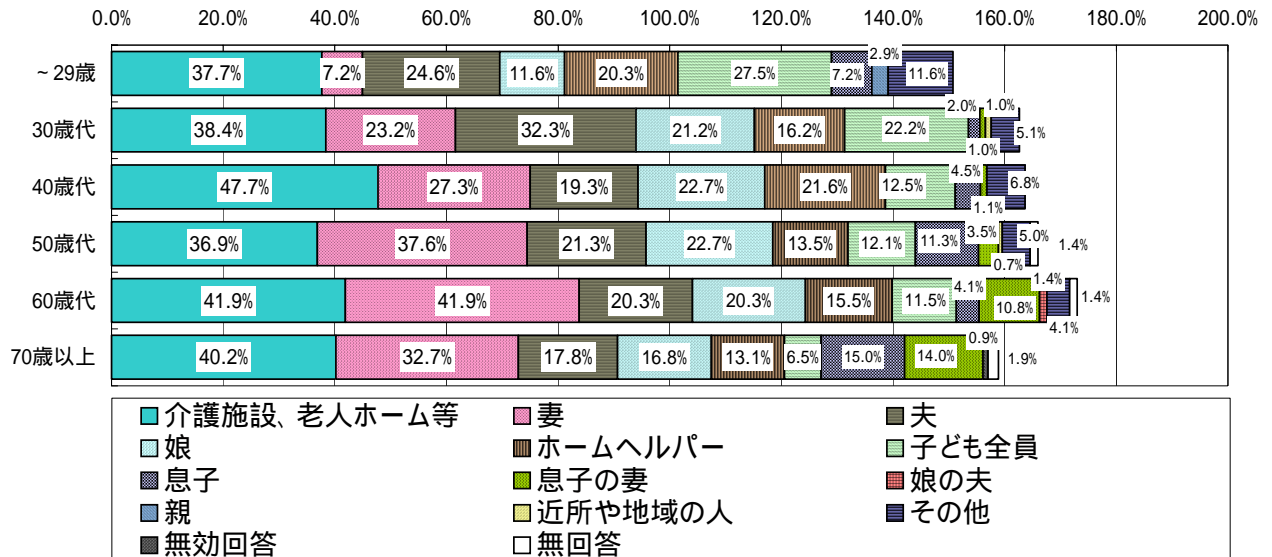
・「介護施設、老人ホーム等」が 40.2%と最も多く、次いで「妻」30.8%、「夫」22.6%、「娘」19.9%、「ホームヘルパー」16.1%と続いている。

【男女別】



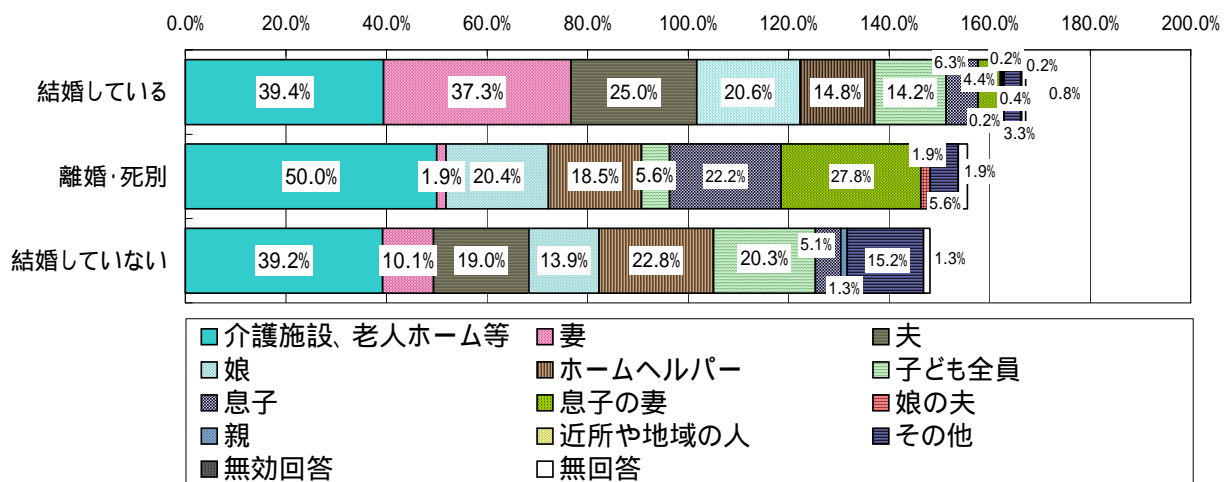
・男女別にみると、男性では「妻」が 69.2%と約 7 割を占め、「介護施設、老人ホーム等」36.3%、「子ども全員」14.4%と続いている。これに対して、女性では「介護施設、老人ホーム等」が 43.9%と最も多く、次いで「夫」39.7%、「娘」25.8%となっている。

【年齢別】



- 年齢別にみると、50歳以上では「介護施設、老人ホーム等」と同じくらいの割合を「妻」が占めているのに対して、40歳代以下では「介護施設、老人ホーム等」に比べ「妻」の割合は少ない。また、40歳代以下では50歳以上に比べ、「ホームヘルパー」の割合がやや多くなっている。

【婚姻別】



- 婚姻別にみると、「離婚・死別」では「介護施設、老人ホーム等」が50.0%と半数を占めている。「結婚している」、「結婚していない」でも、「介護施設、老人ホーム等」が最も多くなっているが、「結婚している」では「妻」や「夫」の割合も多い。また、「結婚していない」では「ホームヘルパー」の割合が比較的多い。

7. 就労について

働いている人の多くが、就労の理由を「生計を維持するため」と回答しているなか、女性では、「家計の足しにするため」、「将来に備えて貯蓄するため」、「自分で自由に使えるお金を得るため」という理由が男性に比べて比較的多くなっている。

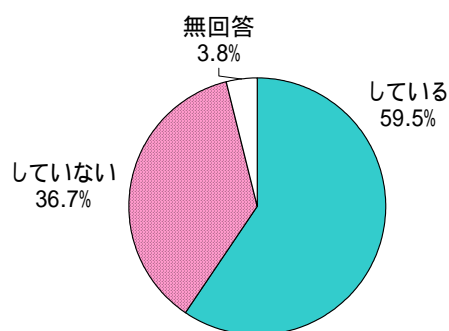
職場での男女平等については、「平等である」と答えた人は約半数を占め、前回調査に比べ増加傾向にある。このことから、職場での男女平等は進みつつあるといえるが、「男性の方が優遇されている」と回答した人もまだ約40%みられる。特に、賃金、昇進・昇格、能力評価などにおいて、男女間で格差があると回答している人が多い。

女性と職業との関わり方については、「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ方がいい」と考える人が多く、前回に比べ大幅に増えている。また、女性が働き続けるうえでの障害は、「家事や育児との両立が難しいこと」と回答した人が圧倒的に多い。

仕事と育児の両立を図るための制度として育児休業制度があるが、現実には育児休業制度の普及はなかなか進んでおらず、言葉そのものは普及していても内容まで熟知している人は少なく、実際に取得したことのある人は10%にも満たない。介護休業制度についてはさらに少なく、取得経験のある人はほとんどみられない。

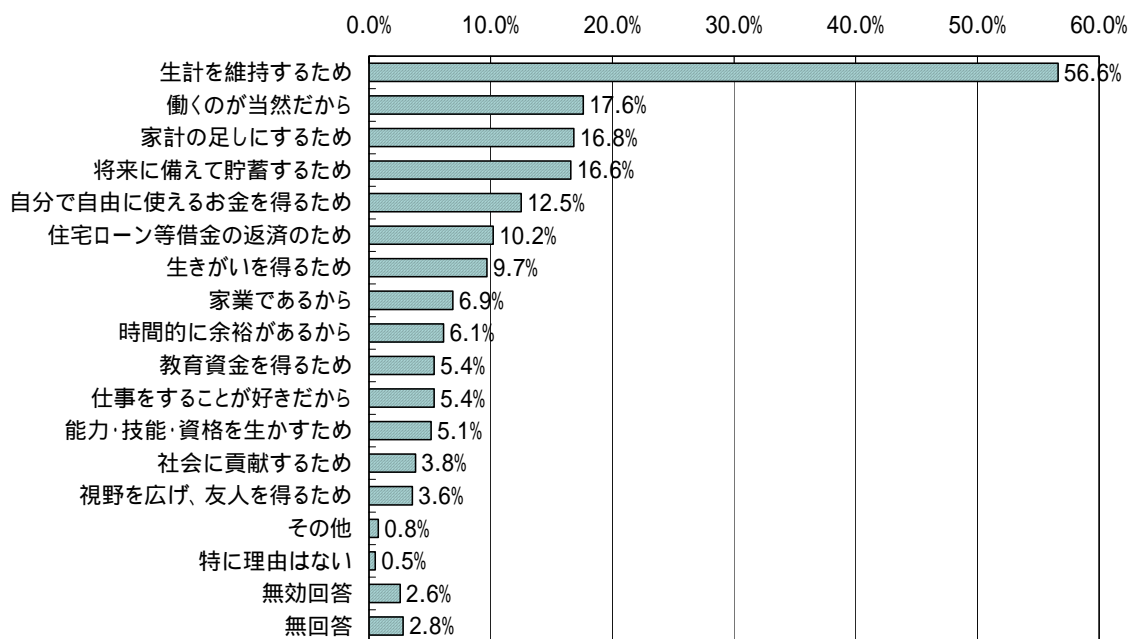
問18. あなたは現在、収入を得る仕事(産前・産後休暇、育児・介護休業中も含む)をしていますか。(1つ)

【回答者数:659】



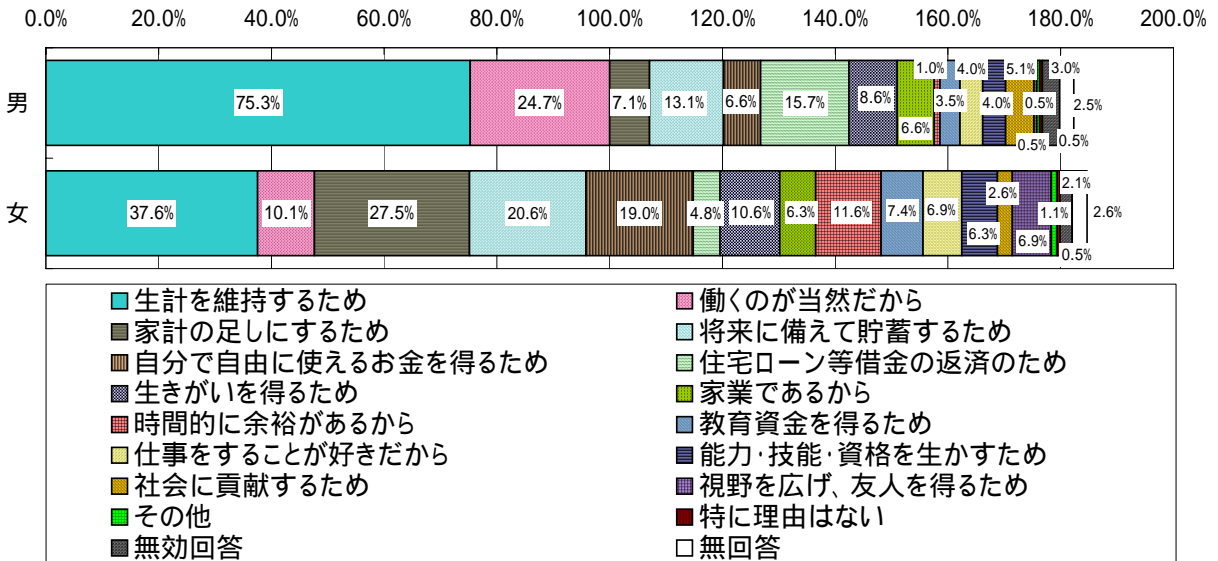
・ 「している」が59.5%、「していない」が36.7%となっている。

問 18-1. 問 18 で「1. している」と答えた方にお聞きます。あなたが働いているのはどのような理由からですか。
 (2つまで)【回答者数:392】



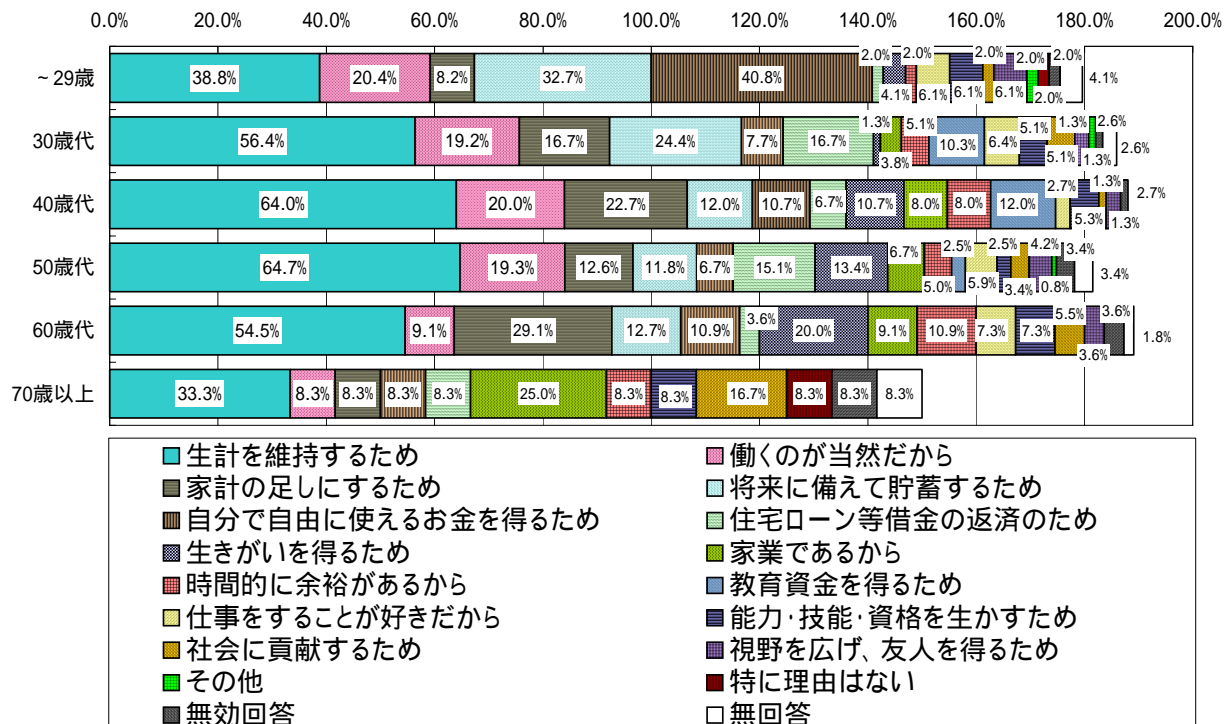
- ・ 「生計を維持するため」が 56.6%と最も多く、以下、「働くのが当然だから」17.6%、「家計の足しにするため」16.8%、「将来に備えて貯蓄するため」16.6%と続くが、いずれも20%を下回っている。

【男女別】



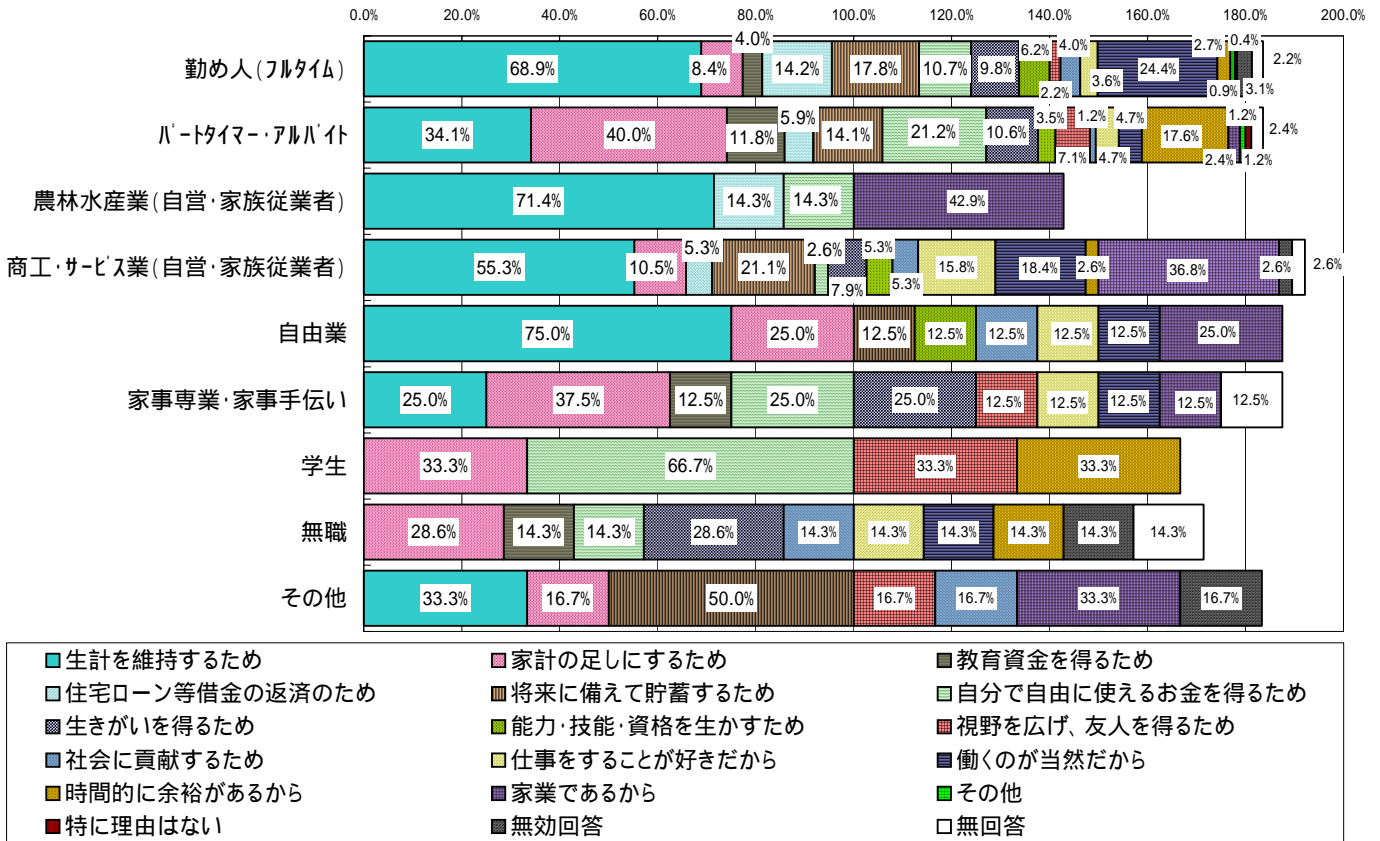
・ 男女別にみると、男性では「生計を維持するため」が 75.3%と大半を占めており、「働くのが当然だから」24.7%、「住宅ローン等借金の返済のため」15.7%と続いている。一方、女性でも「生計を維持するため」が最も多くなっているが、その割合は 37.6%と男性に比べて少ない。このほか、女性では「家計の足しにするため」27.5%、「将来に備えて貯蓄するため」20.6%、「自分で自由に使えるお金を得るため」19.0%が上位となっている。また、男性で上位になっている「働くのが当然だから」や「住宅ローン等借金の返済のため」は、女性では少ない。

【年齢別】



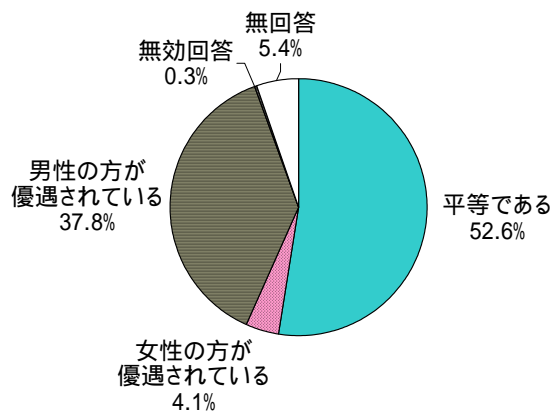
・ 年齢別にみると、30～60 歳代では「生計を維持するため」が5～6割を占めている。これに対して、30 歳未満では「自分で自由に使えるお金を得るため」が 40.8%と最も多くなっている。また、30 歳未満や 30 歳代といった若い世代では、「将来に備えて貯蓄するため」が比較的多く、60 歳代では「生きがいを得るため」が他の年齢層に比べて多い。

【職業別】



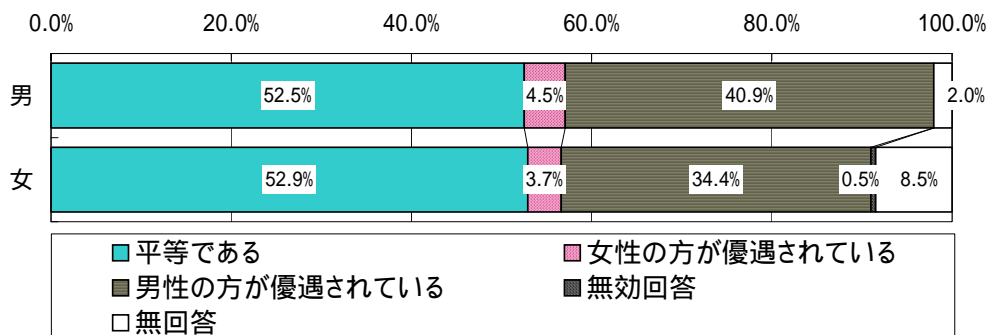
- ・ 職業別にみると、「勤め人(フルタイム)」では「生計を維持するため」が68.9%で最も多く、次いで「働くのが当然だから」が24.4%となっている。
- ・ 「パートタイマー・アルバイト」では「家計の足しにするため」が40.0%と最も多く、「生計を維持するため」34.1%、「自分で自由に使えるお金を得るため」21.2%と続いている。
- ・ 「農林水産業(自営・家族従業者)」、「商工・サービス業(自営・家族従業者)」、「自由業」では、「生計を維持するため」が最も多く、それぞれ71.4%、55.3%、75.0%となっているほか、「家業であるから」が42.9%、36.8%、25.0%と比較的多い。
- ・ 「家事専業・家事手伝い」では「家計の足しにするため」が37.5%で最も多く、「学生」では「自分で自由に使えるお金を得るため」が66.7%と半数以上を占めている。

問 18-2. 問 18 で「1. している」と答えた方にお聞きます。あなたの働いているところでは、男性と女性は平等だと思いますか。(1つ)【回答者数:392】



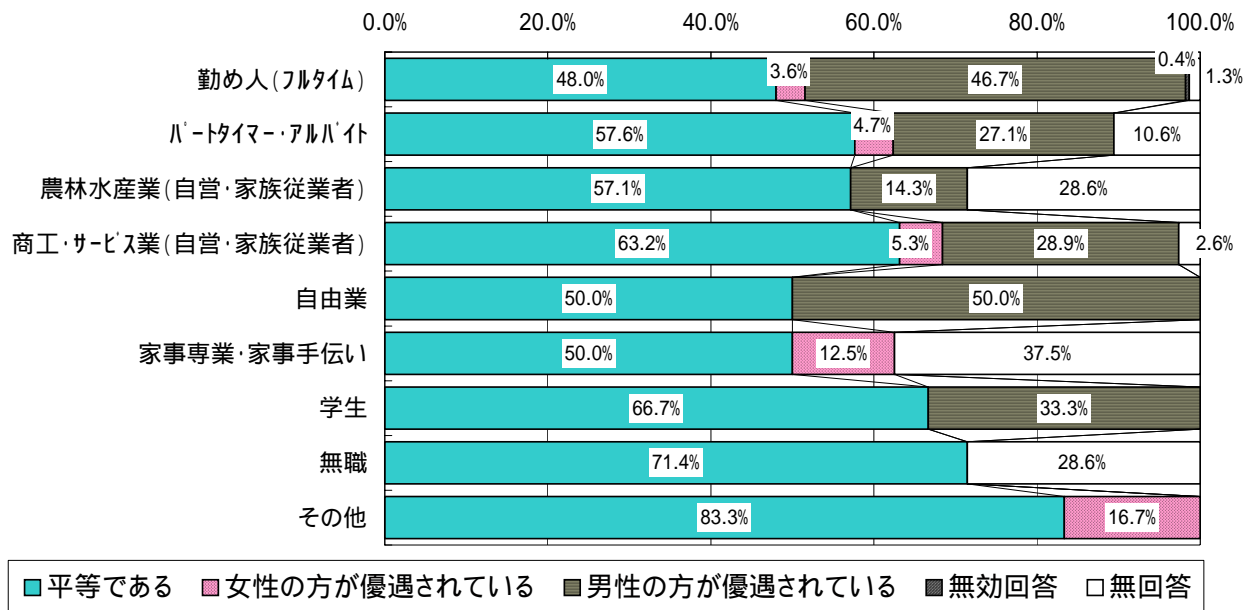
- ・ 「平等である」が 52.6%と約半数を占めているが、「男性の方が優遇されている」も 37.8%みられる。
- ・ しかし、前回調査で「平等である」が 40.6%、「男性の方が優遇されている」が 50.0%であったのに比べると、「平等である」が大きく増え、「男性の方が優遇されている」が減っていることがうかがえる。
- ・ 県の調査では、「平等だと思う」が 53.4%、「男性のほうが優遇されていると思う」が 34.6%であり、今回調査とほぼ同じくらいの値となっている。

【男女別】



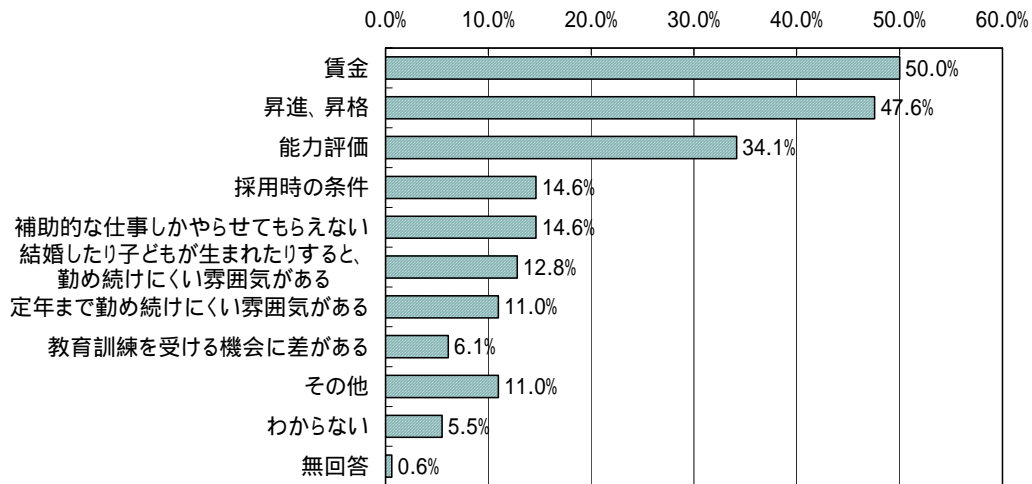
- ・ 男女別にみると、「平等である」と答えた割合は、男性 52.5%、女性 52.9%とほぼ同じくらいの値となっているが、「男性の方が優遇されている」の割合は、男性 40.9%、女性 34.4%と、男性が女性を上回っている。

【職業別】



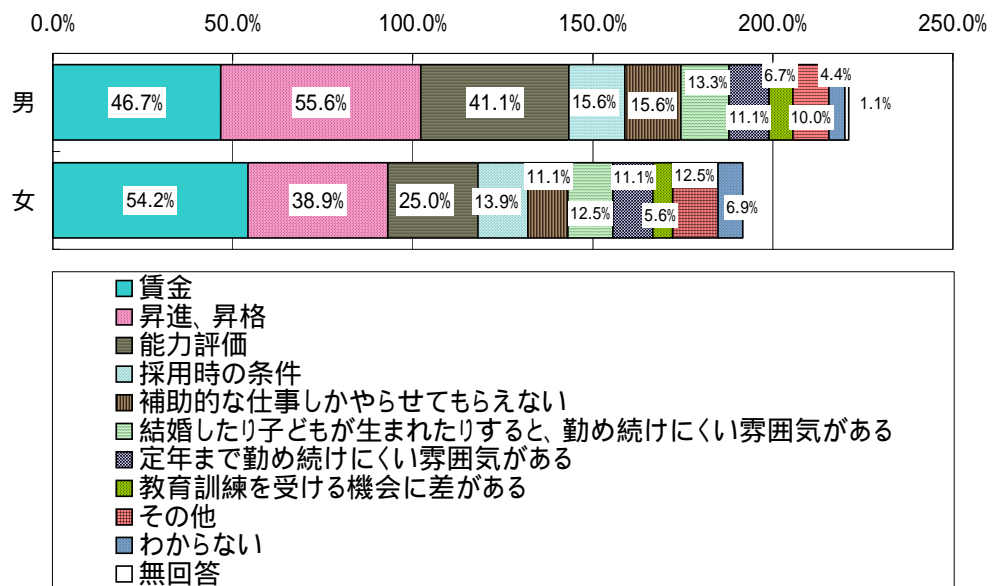
- ・ 職業別にみると、「勤め人(フルタイム)」では「平等である」が48.0%と、他の職業に比べてやや少なく、「男性の方が優遇されている」が46.7%と比較的多い。他の職業では、「平等である」が過半数を占めている。また、「自由業」では「男性の方が優遇されている」も多く、「家事専業・家事手伝い」では「女性の方が優遇されている」が他の職業に比べてやや多い。

問 18-3. 問 18-2 で「2. 女性の方が優遇されている」「3. 男性の方が優遇されている」と答えた方にお聞きます。
 あなたが働いているところで、男女が平等だと思わないのはどのようなことですか。(あてはまるものすべて)
 【回答者数:164】



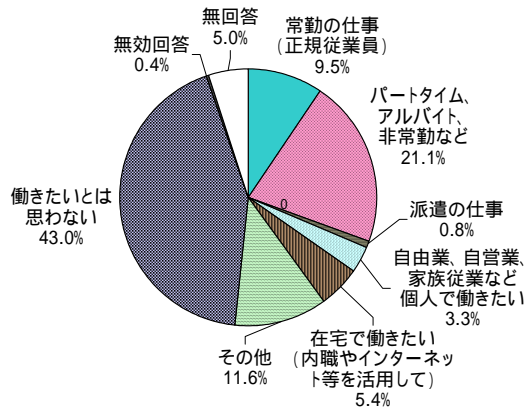
- ・ 「賃金」が50.0%と最も多く、次いで「昇進、昇給」47.6%、「能力評価」34.1%と続いている。
- ・ 県の調査においても、「賃金」46.4%、「昇進、昇給」37.9%、「能力評価」30.8%の順になっている。

【男女別】



- ・ 男女別にみると、男性では「昇進、昇給」55.6%、「賃金」46.7%、「能力評価」41.1%と続いているのに対して、女性では、「賃金」54.2%、「昇進、昇給」38.9%、「能力評価」25.0%の順になっている。

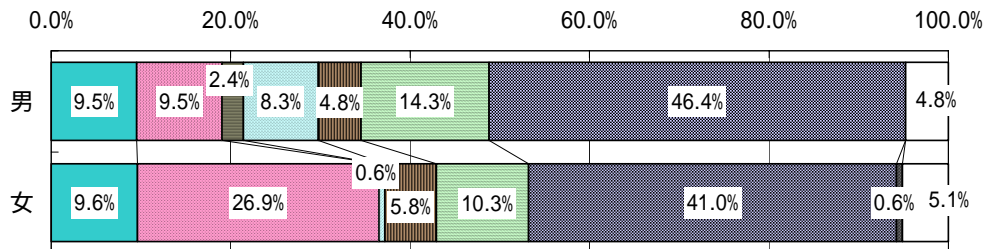
問 18-4. 問 18 で「2. していない」と答えた方にお聞きます。今後適当な形の仕事があれば働きたいですか。働きたい仕事の形を選んでください。(1つ)【回答者数:242】



・ 「働きたいとは思わない」が 43.0%と最も多くなっているが、それ以外では、「パートタイム、アルバイト、非常勤など」21.1%、「常勤の仕事(正規従業員)」9.5%が上位となっている。

・ 前回調査の「パートタイム、アルバイト、非常勤など」24.3%、「常勤の仕事(正規従業員)」6.0%に比べると、「パートタイム、アルバイト、非常勤など」がやや減少し、「常勤の仕事(正規従業員)」が増えている。

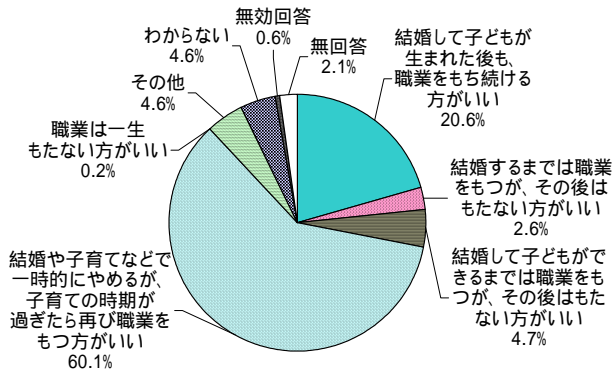
【男女別】



- 常勤の仕事 (正規従業員)
- パートタイム、アルバイト、非常勤など
- 派遣の仕事
- 自由業、自営業、家族従業など個人で働きたい
- 在宅で働きたい (内職やインターネット等を活用して)
- その他
- 働きたいとは思わない
- 無効回答
- 無回答

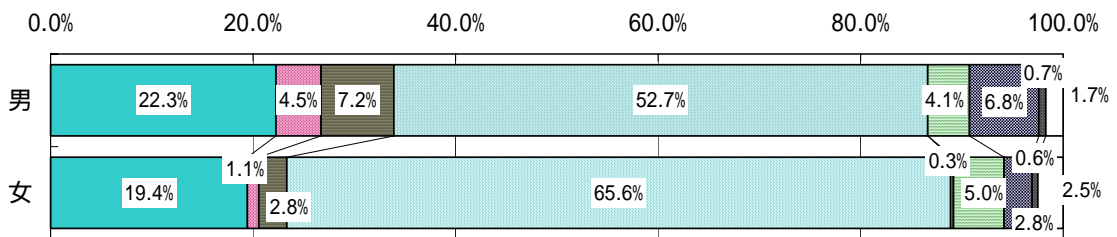
・ 男女別にみると、男女ともに「働きたいとは思わない」が約 40%を占めているが、それ以外では、女性で「パートタイム、アルバイト、非常勤など」が 26.9%を占めているのが特徴的である。

問 19. 女性が職業をもつことについてあなたはどのように思いますか。(1つ)【回答者数:659】



- ・ 「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業をもつ方がいい」が60.1%と最も多く、「結婚して子どもが生まれた後も、職業をもち続ける方がいい」が20.6%と続いている。
- ・ 前回調査で「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がいい」が46.3%であったのに対し、今回調査では同様の選択肢が大幅に増加している。

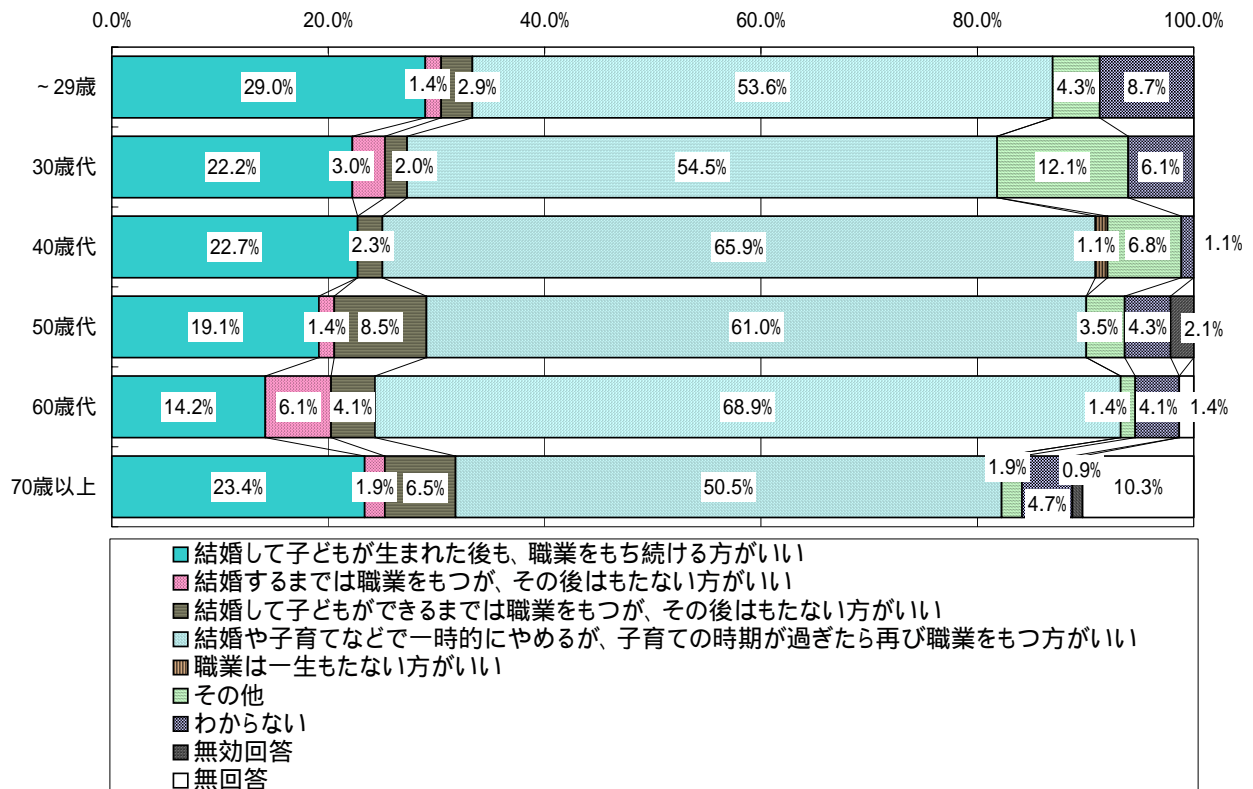
【男女別】



- 結婚して子どもが生まれた後も、職業をもち続ける方がいい
- 結婚するまでは職業をもつが、その後はもたない方がいい
- 結婚して子どもができるまでは職業をもつが、その後はもたない方がいい
- 結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業をもつ方がいい
- 職業は一生もたない方がいい
- その他
- わからない
- 無効回答
- 無回答

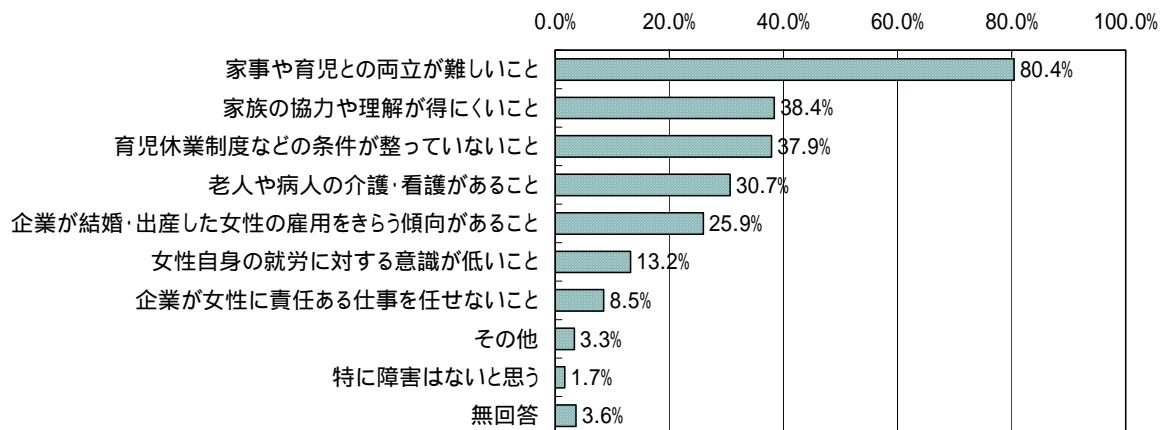
- ・ 男女別にみると、男性では「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業をもつ方がいい」が52.7%と最も多く、次いで「結婚して子どもが生まれた後も、職業をもち続ける方がいい」22.3%が続いている。これに対して、女性では「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業をもつ方がいい」が65.6%と、男性より高い値を示している。
- ・ 「結婚して子どもが生まれた後も、職業をもち続ける方がいい」、「結婚するまでは職業をもつが、その後はもたない方がいい」、「結婚して子どもができるまでは職業をもつが、その後はもたない方がいい」は、女性より男性のほうがやや多い。

【年齢別】



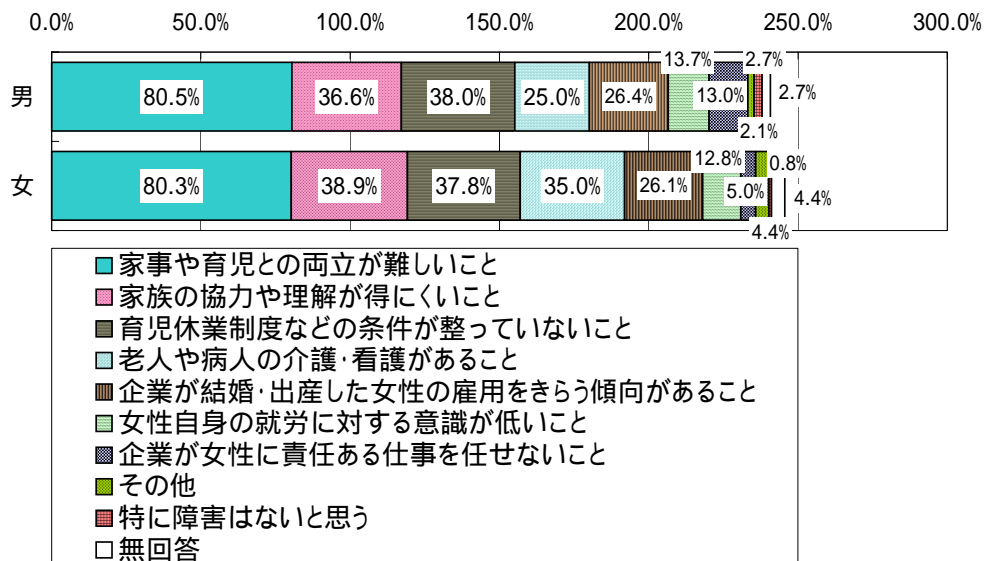
- 年齢別にみると、「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業をもつ方がいい」は、どの年齢層においても50%以上を占めている。
- 「結婚して子どもが生まれた後も、職業をもち続ける方がいい」は、全体的に年齢が高くなるにつれ、減少する傾向がみられる。
- 60歳代では「結婚するまでは職業をもつが、その後はもたない方がいい」、50歳代では「結婚して子どもができるまでは職業をもつが、その後はもたない方がいい」が他の年齢層に比べ、比較的多い値となっている。

問 20. 女性が働き続けていくうえで、大きな障害になっているのは何だと思えますか。(3つまで)【回答者数:659】



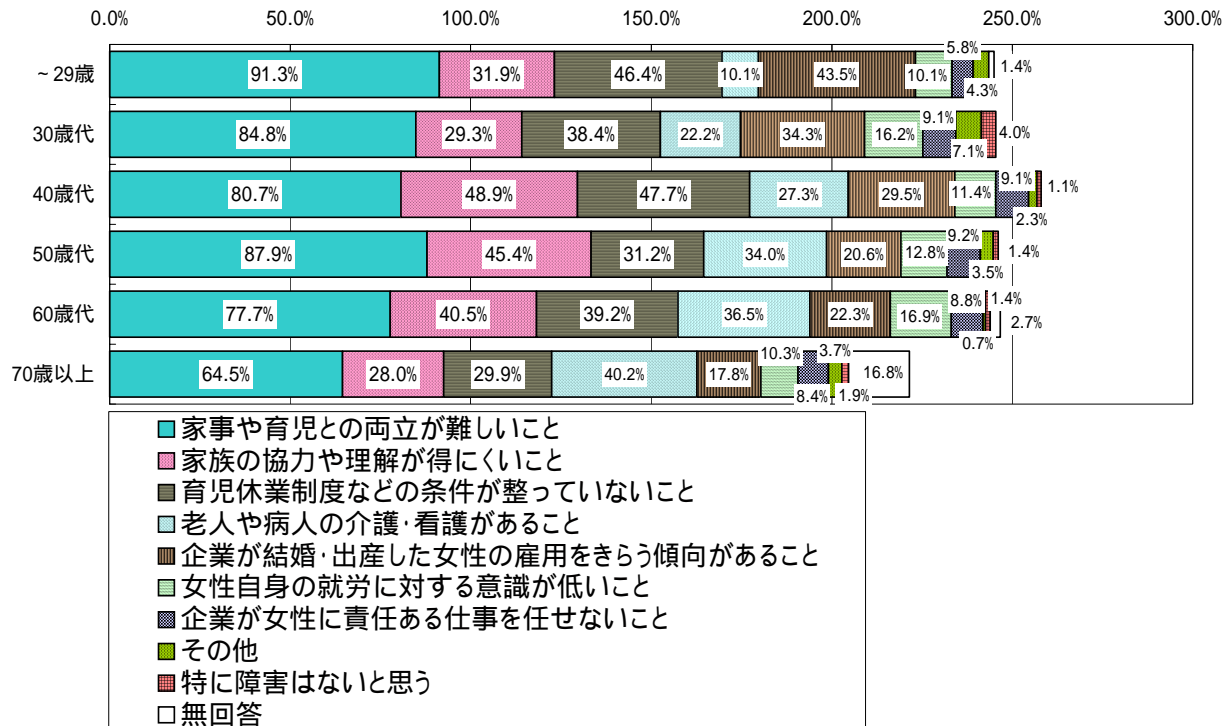
- ・ 「家事や育児との両立が難しいこと」が最も多く、80.4%と大半を占めている。次いで、「家族の協力や理解が得にくいこと」38.4%、「育児休業制度などの条件が整っていないこと」37.9%、「老人や病人の介護・看護があること」30.7%、「企業が結婚・出産した女性の雇用をきらい傾向があること」25.9%の順となっている。

【男女別】



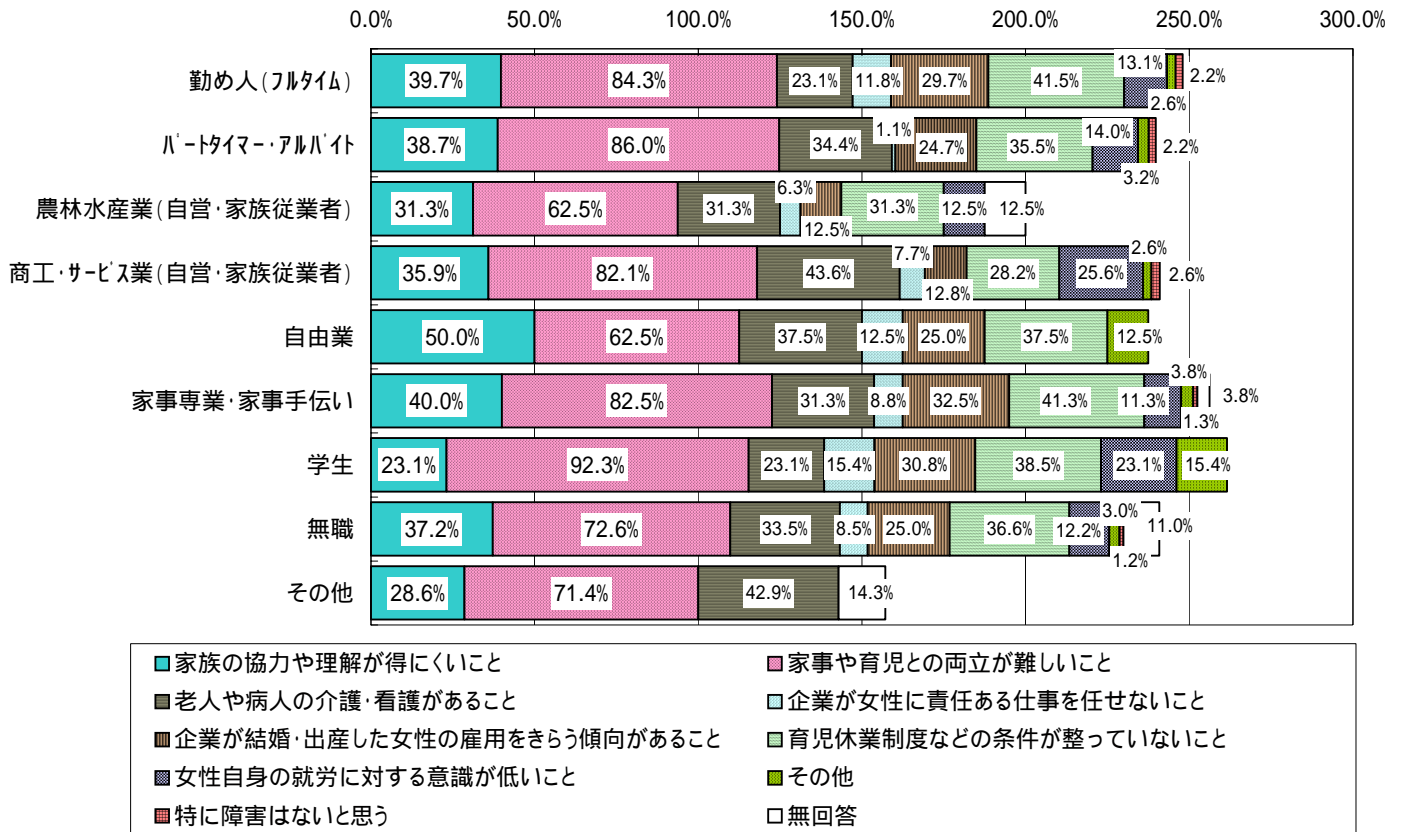
- ・ 男女別にみると、男女ともに「家事や育児との両立が難しいこと」が最も多く、約 80%を占めている。次いで、男性では「育児休業制度などの条件が整っていないこと」38.0%、「家族の協力や理解が得にくいこと」36.6%と続いているのに対して、女性では「家族の協力や理解が得にくいこと」38.9%、「育児休業制度などの条件が整っていないこと」37.8%の順となっている。
- ・ また、「老人や病人の介護・看護があること」は、女性 35.0%、男性 25.0%と、女性のほうが男性よりやや多い。

【年齢別】



・ 年齢別にみると、どの年齢層においても「家事や育児との両立が難しいこと」が最も多く、40歳代以下では「育児休業制度などの条件が整っていないこと」や「企業が結婚・出産した女性の雇用をきらい傾向があること」が比較的多くなっている。40～60歳代では「家族の協力や理解が得にくいこと」が多く、また、年齢が高くなるにつれ、「老人や病人の介護・看護があること」が増える傾向にある。

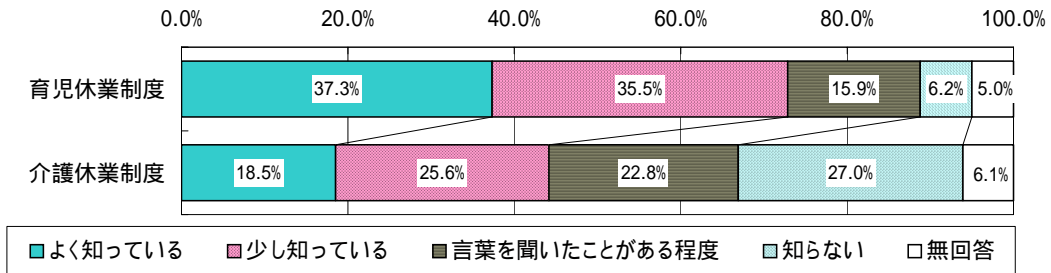
【職業別】



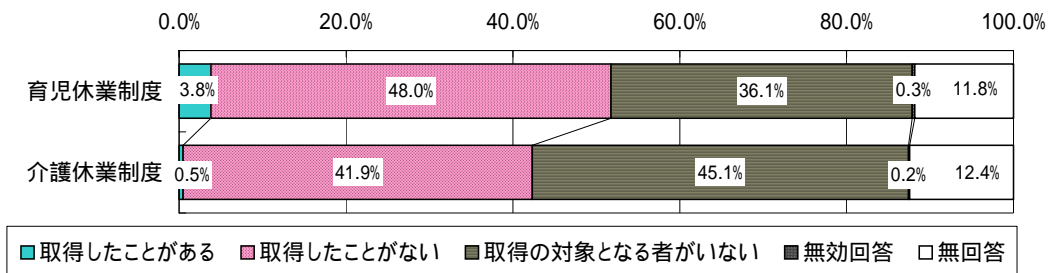
・ 職業別にみると、いずれの職業においても「家事や育児との両立が難しいこと」が最も多く、「勤め人(フルタイム)」、「パートタイマー・アルバイト」、「商工・サービス業(自営・家族従業者)」、「家事専業・家事手伝い」、「学生」で 80%以上を占めている。また、「自由業」では「家族の協力や理解が得にくいこと」、「商工・サービス業(自営・家族従業者)」では「老人や病人の介護・看護があること」、「勤め人(フルタイム)」や「家事専業・家事手伝い」では「育児休業制度などの条件が整っていないこと」が比較的多くなっている。

問 21 . あなたは、次の制度の内容についてご存じですか。また実際に取得したことがありますか。
 (それぞれ1つずつ) [回答者数: 659]

(内容)



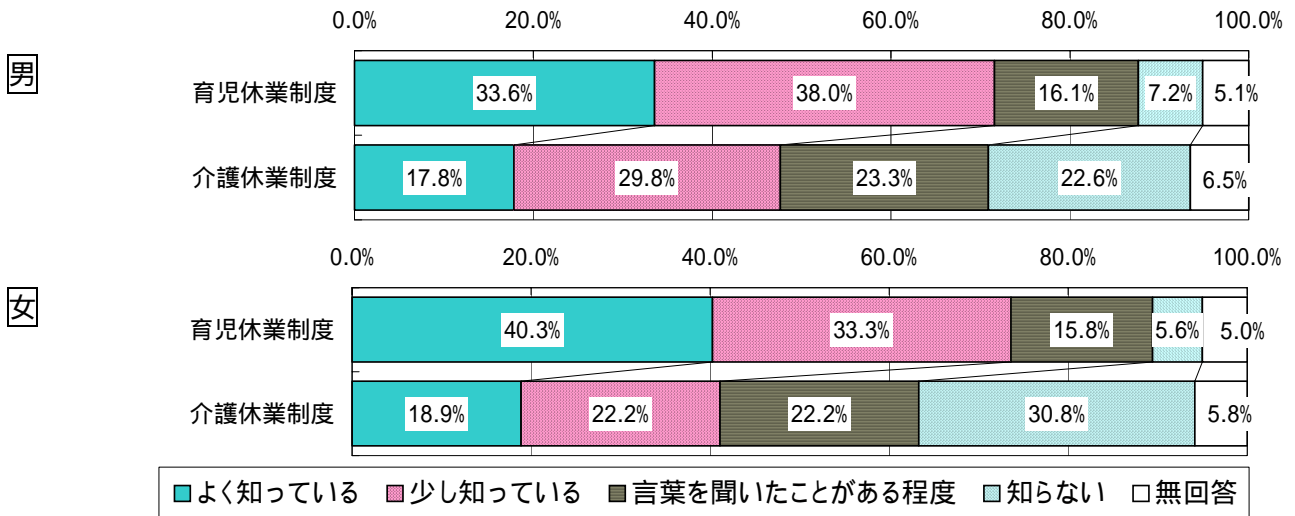
(取得)



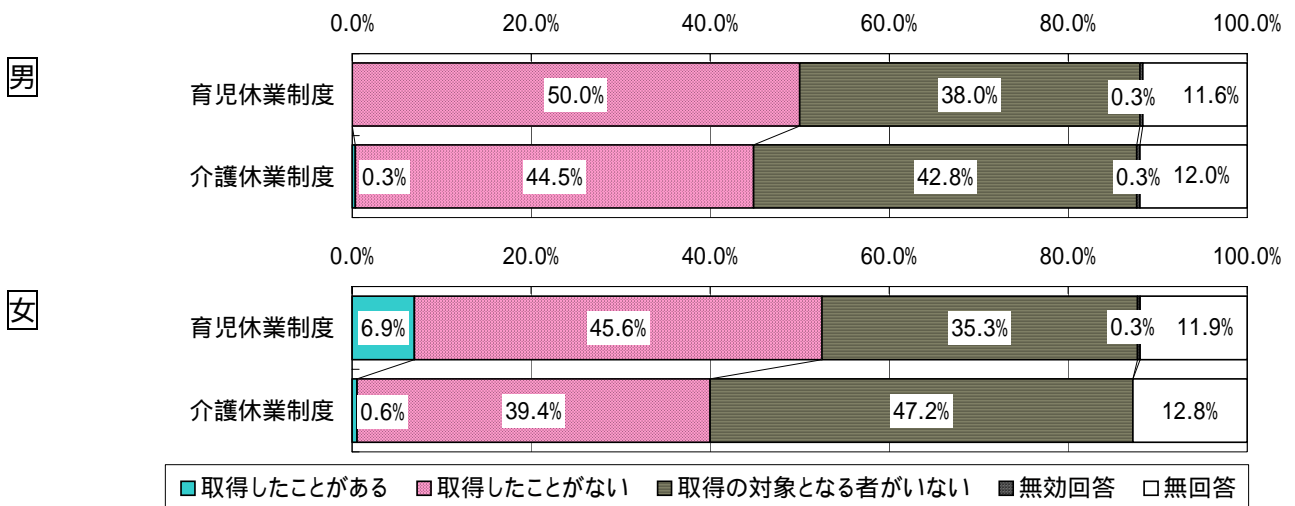
- ・ 「育児休業制度」の内容については、「よく知っている」37.3%、「少し知っている」35.5%、「言葉を聞いたことがある程度」15.9%、「知らない」6.2%となっている。一方、「介護休業制度」は、「知らない」が最も多く 27.0%で、「少し知っている」25.6%、「言葉を聞いたことがある程度」22.8%、「よく知っている」18.5%の順になっている。
- ・ 取得状況については、「育児休業制度」、「介護休業制度」ともに、「取得したことがある」はきわめて少なく、それぞれ 3.8%、0.5%にとどまっている。
- ・ 前回調査で、「取得したことがある」が「育児休業制度」3.7%、「介護休業制度」1.4%であったのに比べると、今回調査では横ばい、もしくは減少傾向がみられる。

【男女別】

(内容)



(取得)

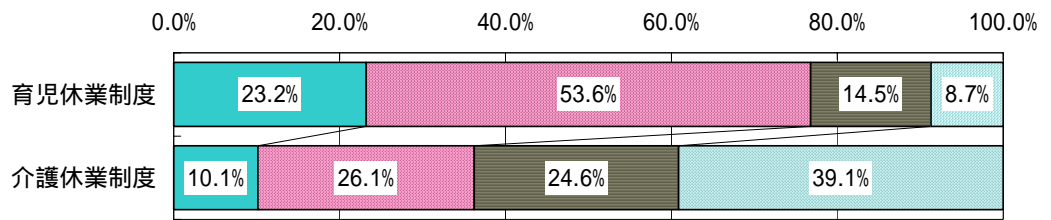


- ・ 男女別にみると、男性では「育児休業制度」を「よく知っている」が 33.6%、「知らない」が 7.2%であるの対し、「介護休業制度」を「よく知っている」は 17.8%、「知らない」は 22.6%となっている。一方、女性では、「育児休業制度」を「知っている」は 40.3%、「知らない」は 5.6%と、男性に比べ、認知度が高い。しかし、「介護休業制度」については、「よく知っている」が 18.9%で、「知らない」が 30.8%となっている。
- ・ 取得状況について、男性では「育児休業制度」、「介護休業制度」ともに、ほとんど取得していない。女性では、「育児休業制度」を「取得したことがある」が 6.9%みられるものの、「介護休業制度」を「取得したことがある」はわずか 0.6%にとどまっている。

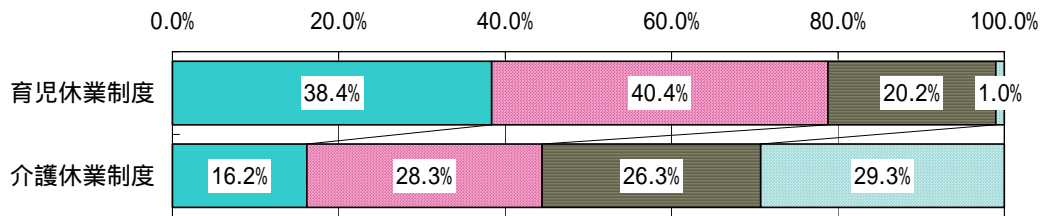
【年齢別】

(内容)

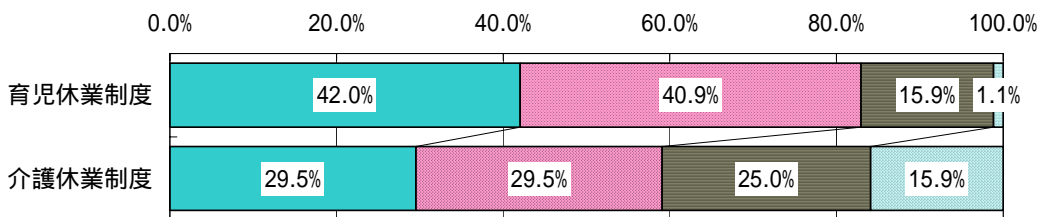
~29歳



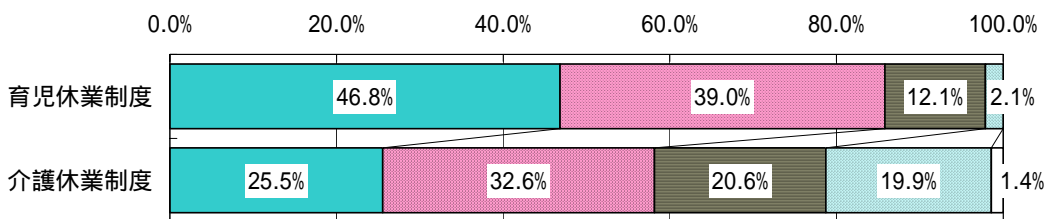
30歳代



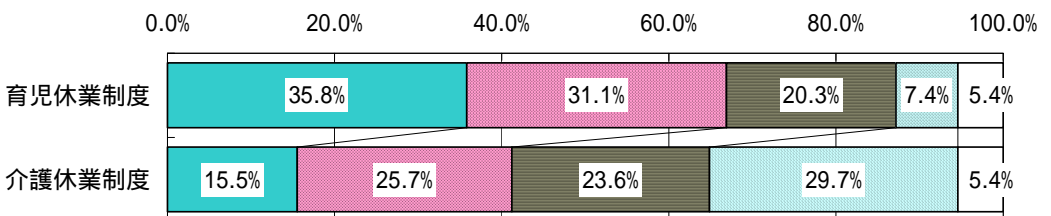
40歳代



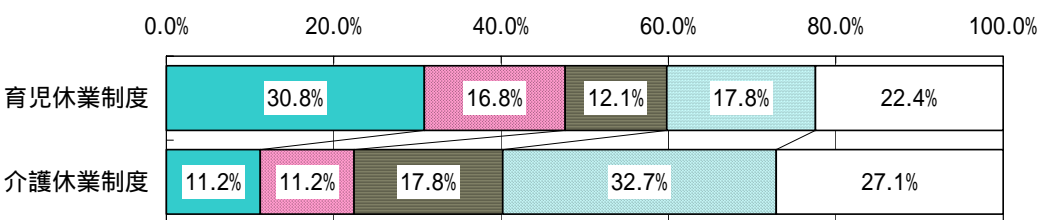
50歳代



60歳代

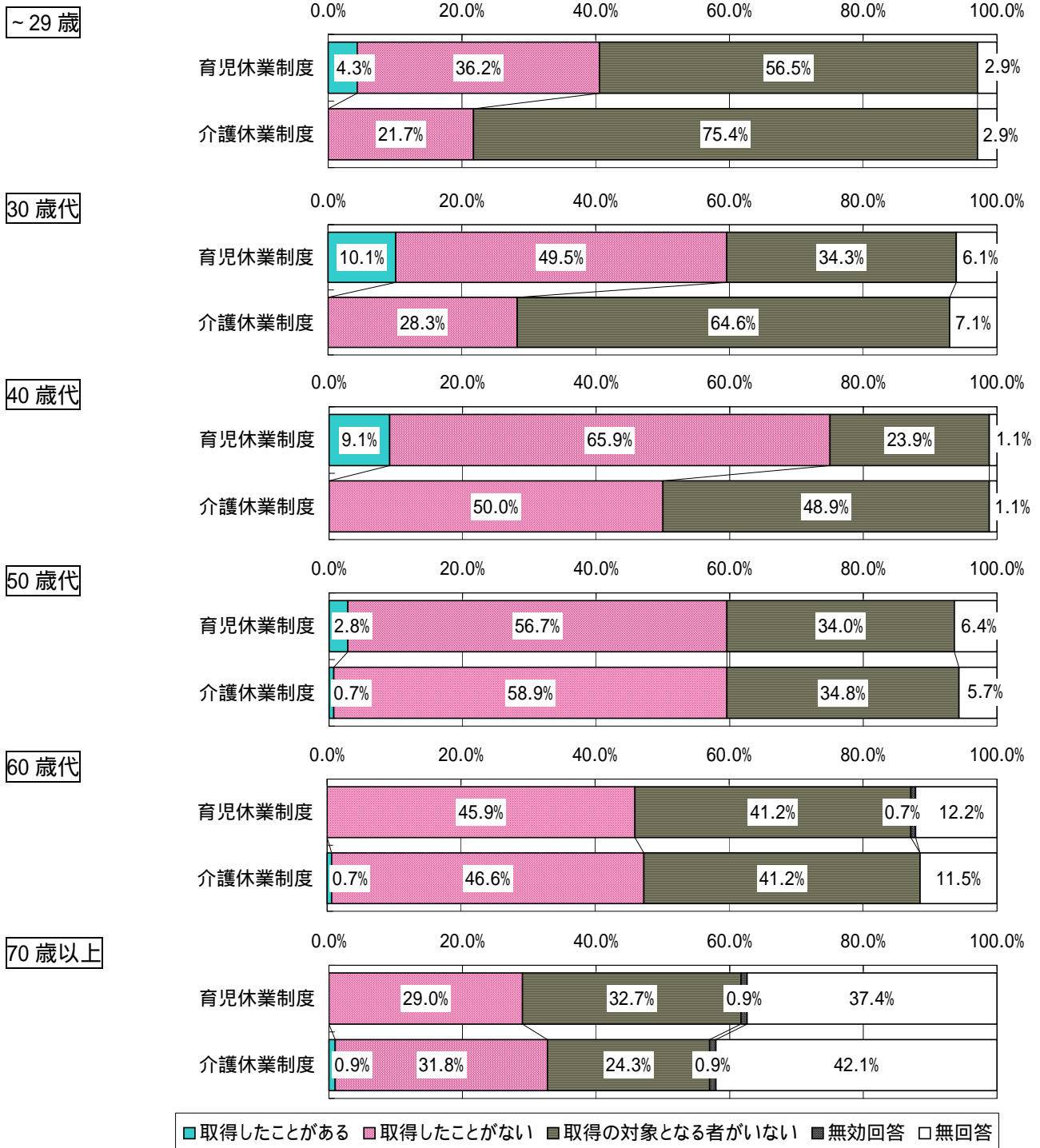


70歳以上



■よく知っている ■少し知っている ■言葉を聞いたことがある程度 ■知らない □無回答

(取得)



- ・ 年齢別にみると、「育児休業制度」、「介護休業制度」とともに「よく知っている」は、40～50 歳代で比較的多い。しかし、その割合は、「育児休業制度」で50%をやや下回り、「介護休業制度」ではさらに少なく30%以下となっている。逆に「介護休業制度」では、40～50 歳代を除く年齢層で、「知らない」の割合が最も多くなっている。
- ・ 取得状況では、「育児休業制度」を「取得したことがある」は、30～40 歳代で10%前後、30 歳未満と50 歳代で5%以下、60 歳代以上では0.0%ときわめて少ない。「介護休業制度」を「取得したことがある」はさらに少なく、50 歳代以上で0.7～0.9%、40 歳代以下では0.0%となっている。

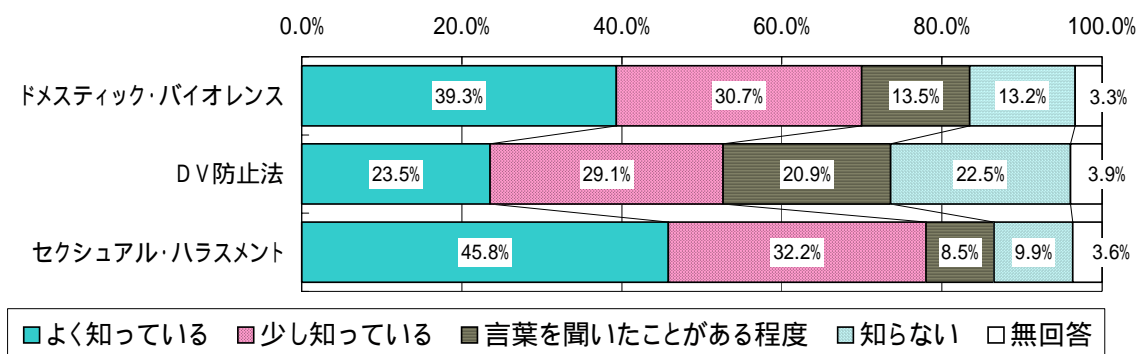
8. ドメスティック・バイオレンス(結婚相手・恋人などからの暴力)、セクシュアル・ハラスメントなどについて

ドメスティック・バイオレンスやセクシュアル・ハラスメントについては、言葉の普及はかなり進んでいるが、内容を熟知している人は半数をやや下回っており、DV防止法については、「よく知っている」と回答した人がさらに少なくなっている。特に、60歳代以上の高齢者では「知らない」という人が比較的多い。

しかし、実際にドメスティック・バイオレンスの被害を受けた経験は、若い世代に比べ高齢者のほうが多く、「大声でどなられたり、暴言を吐かれる」、「手でたたかれる」が多くなっている。また、被害を受けても相談しない人が多く、その理由は「相談しても無駄だと思ったから」、「相談するほどのことではないと思ったから」、「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけるといったから」などとなっている。中には、「誰も相談する人がいなかったから」や「どこ(誰)に相談してよいのかわからなかったから」という人もみられる。相談窓口としては、配偶者暴力相談支援センター「三重県女性相談所」や亀山市総合保健福祉センターあいあい「女性相談」など県や市の施設があるが、こうした公的な窓口への相談はほとんどなく、親族や友人・知人に相談する人が多い。

性犯罪や売買春、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント等をなくすための施策として、多くの人々が望んでいるのは、やはり「被害女性のための相談所や保護施設を整備する」となっている。

問 22. あなたは、次の言葉および法律の内容についてご存じですか。(~ のそれぞれについて1つずつ)
【回答者数:659】



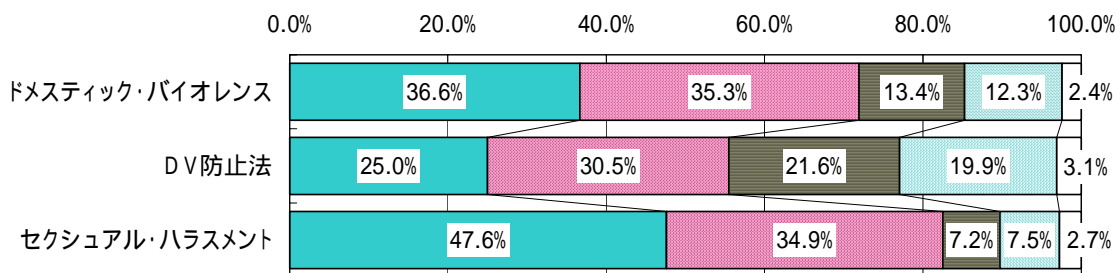
・ 「ドメスティック・バイオレンス」と「セクシュアル・ハラスメント」については、「よく知っている」がそれぞれ39.3%、45.8%と最も多く、「知らない」は10%前後となっている。一方、「DV防止法」については、「よく知っている」が23.5%とやや少なく、「知らない」が22.5%となっている。



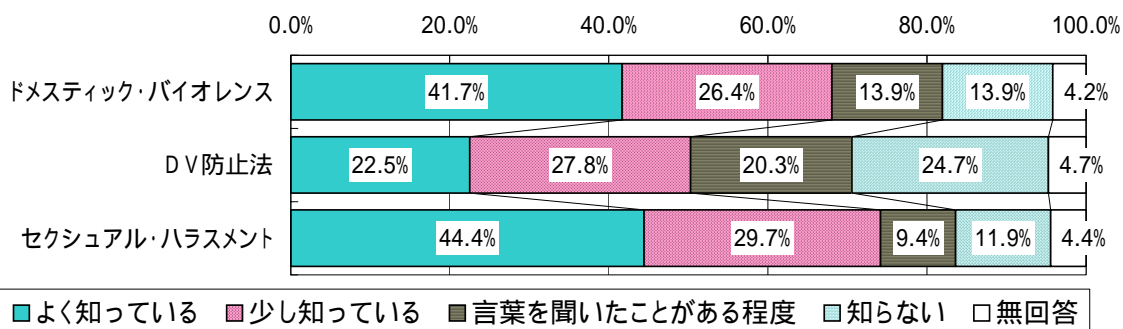
5～11 ページ参照

【男女別】

男



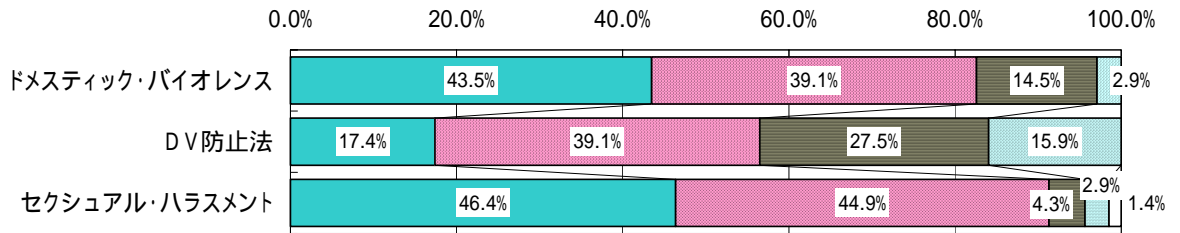
女



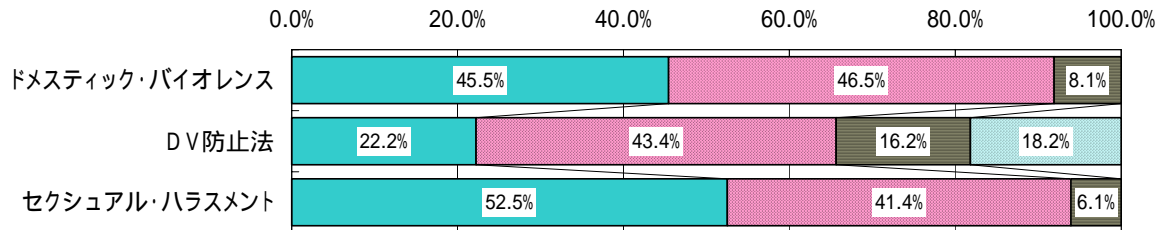
- ・ 男女別にみると、「ドメスティック・バイオレンス」については、「よく知っている」が男性36.6%、女性41.7%と女性のほうがやや多い。「DV防止法」と「セクシュアル・ハラスメント」については、「よく知っている」は、女性に比べ男性のほうがやや多く、逆に「知らない」は女性のほうが多くなっている。

【年齢別】

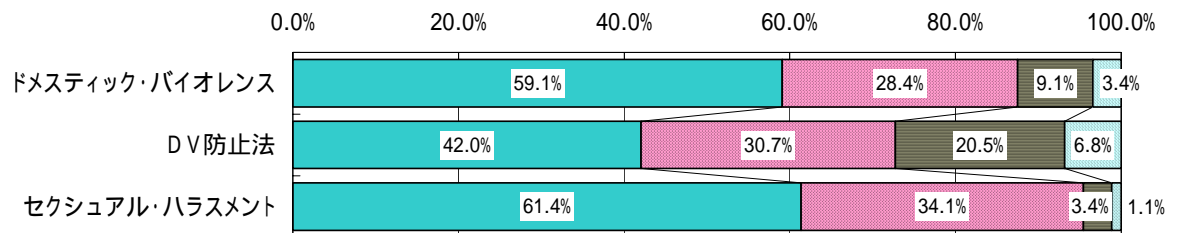
～29歳



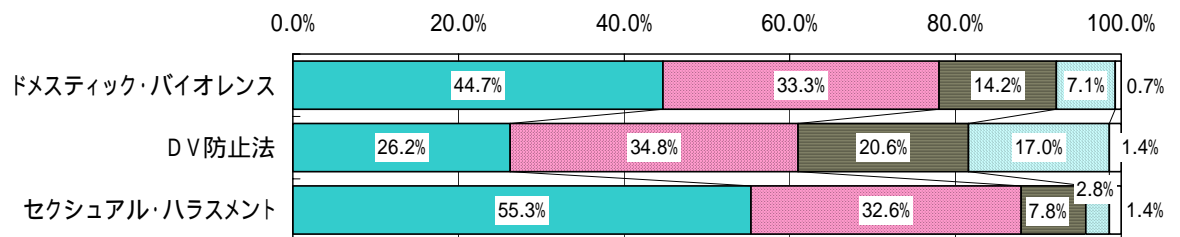
30歳代



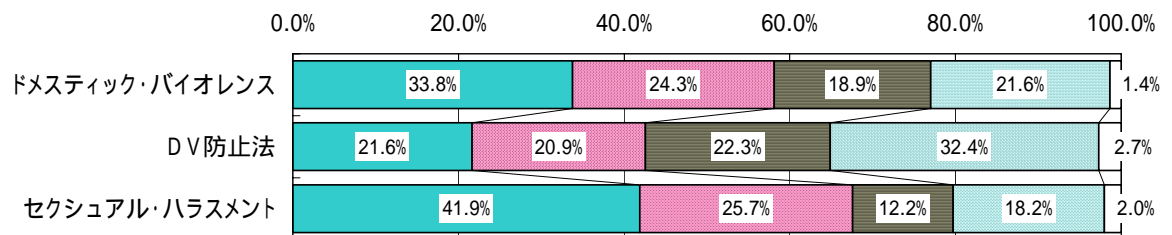
40歳代



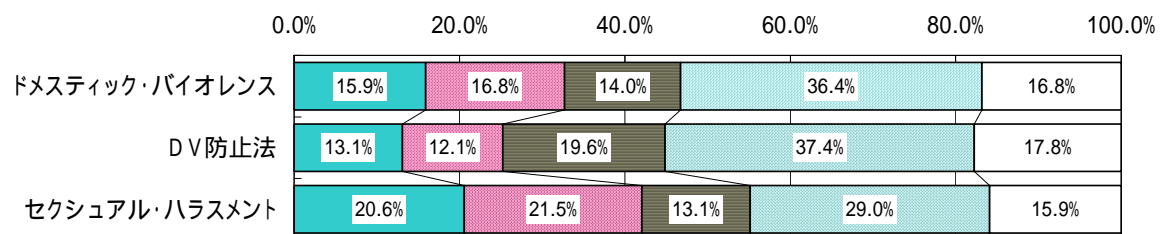
50歳代



60歳代



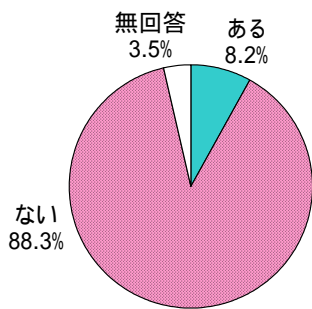
70歳以上



■よく知っている ■少し知っている ■言葉を聞いたことがある程度 ■知らない □無回答

・年齢別にみると、「ドメスティック・バイオレンス」、「DV防止法」、「セクシュアル・ハラスメント」のいずれも、50歳代以下では「よく知っている」が比較的多く、なかでも40歳代ではそれぞれ59.1%、42.0%、61.4%を占めている。これに対して、60歳代以上になると、「よく知っている」が減少し、「知らない」が増える傾向にある。

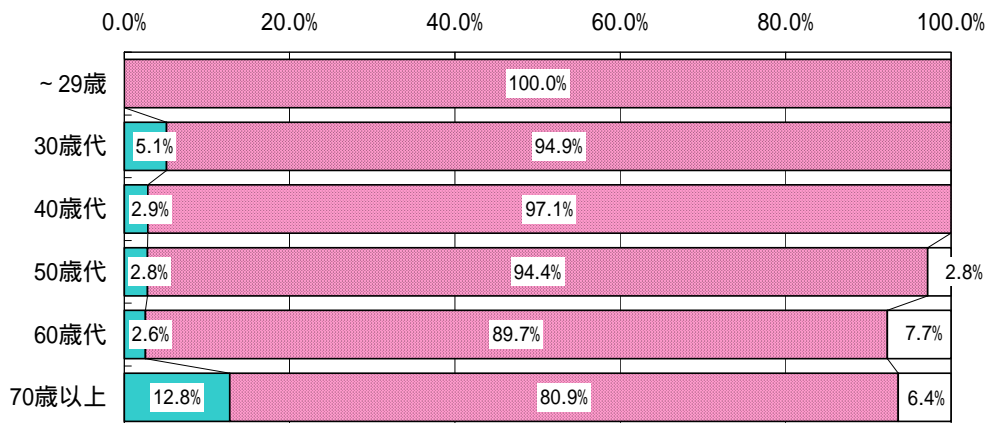
問 23. あなたはこれまでに、結婚相手や恋人から暴力を受けた経験がありますか。(1つ)【回答者数:659】



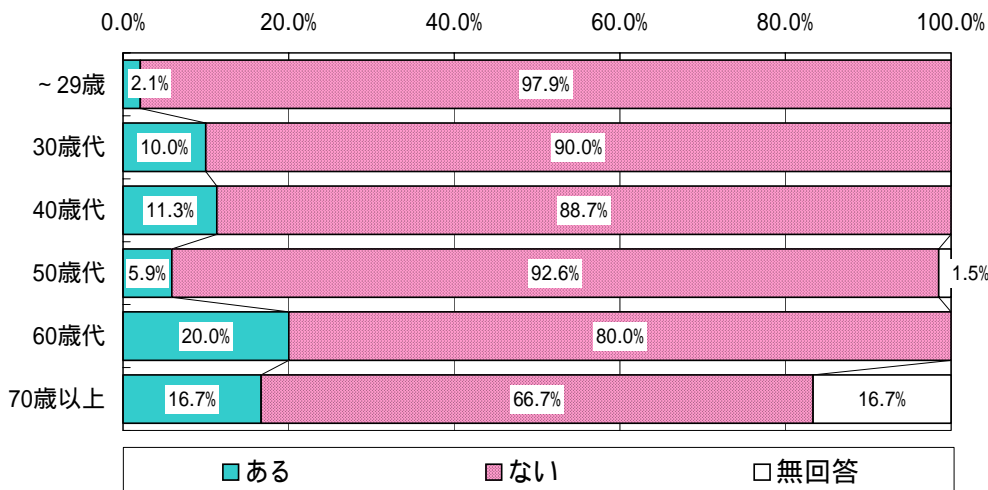
・ 「ある」は 8.2%、「ない」は 88.3%となっている。

【男女・年齢別】

男

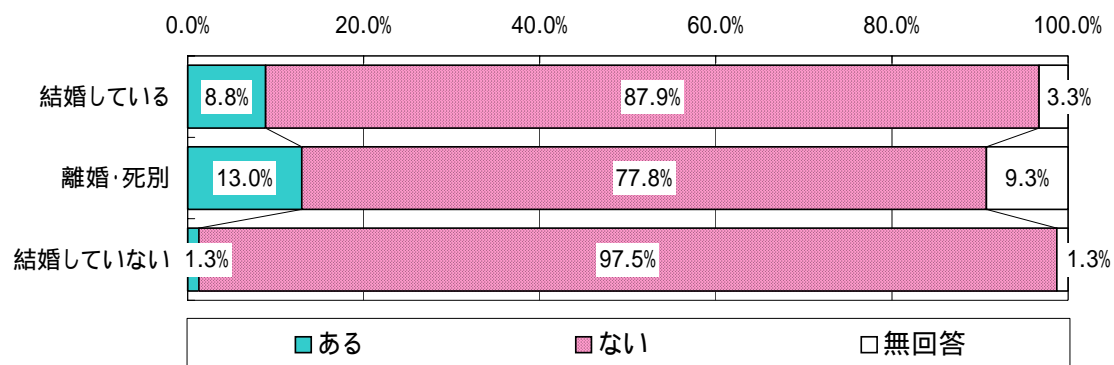


女



・ 男女・年齢別にみると、男性では、70歳以上で「ある」が12.8%となっているほかは、どの年齢層においても「ある」は10%以下となっている。一方、女性では、どの年齢層においても、「ある」が男性より多く、特に60歳代では20.0%、70歳以上では16.7%となっている。

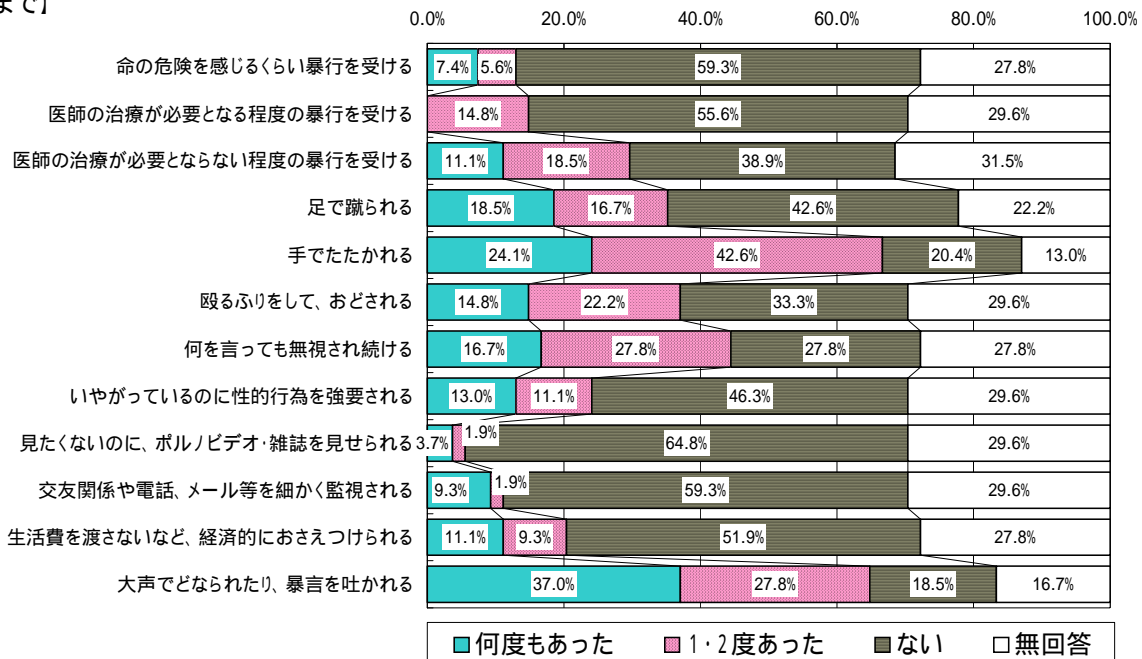
【婚姻別】



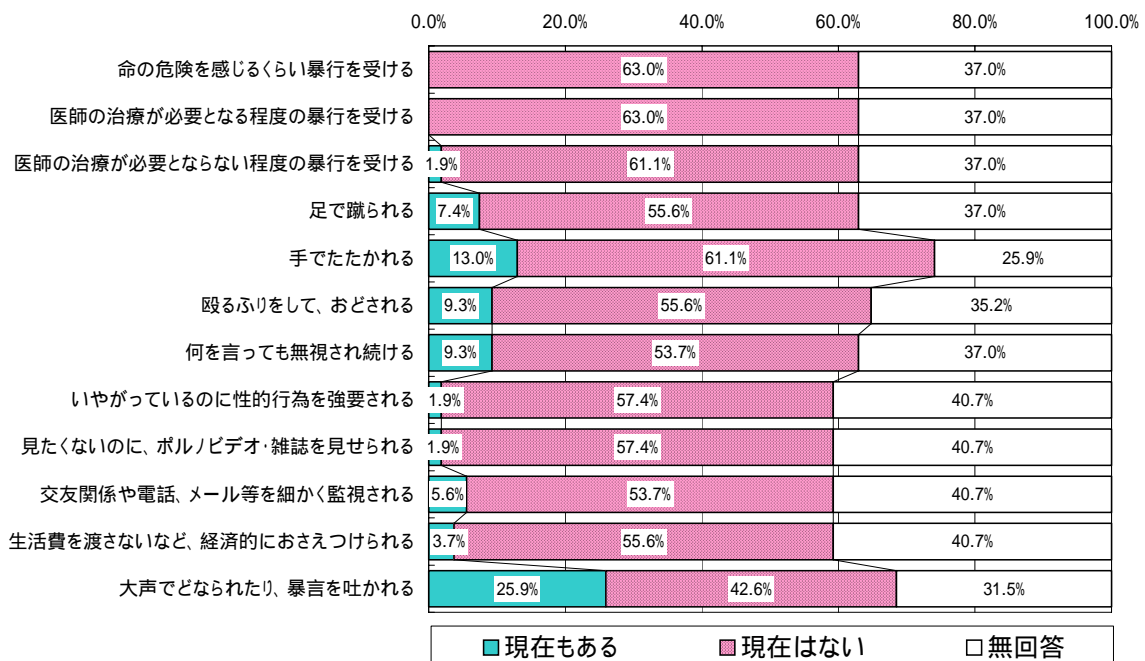
- ・ 婚姻別にみると、「ある」と答えた割合は、「離婚・死別」で 13.0%、「結婚している」で 8.8%、「結婚していない」で 1.3%になっている。

問 23-1. 問 23 で「1. ある」と答えた方にお聞きます。その暴力はどのようなものでしたか。
 (これまでの状況および現在の状況の各 ~ のそれぞれについて1つずつ)【回答者数:54】

【これまで】

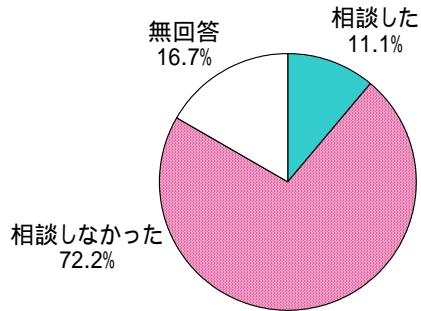


【現在】



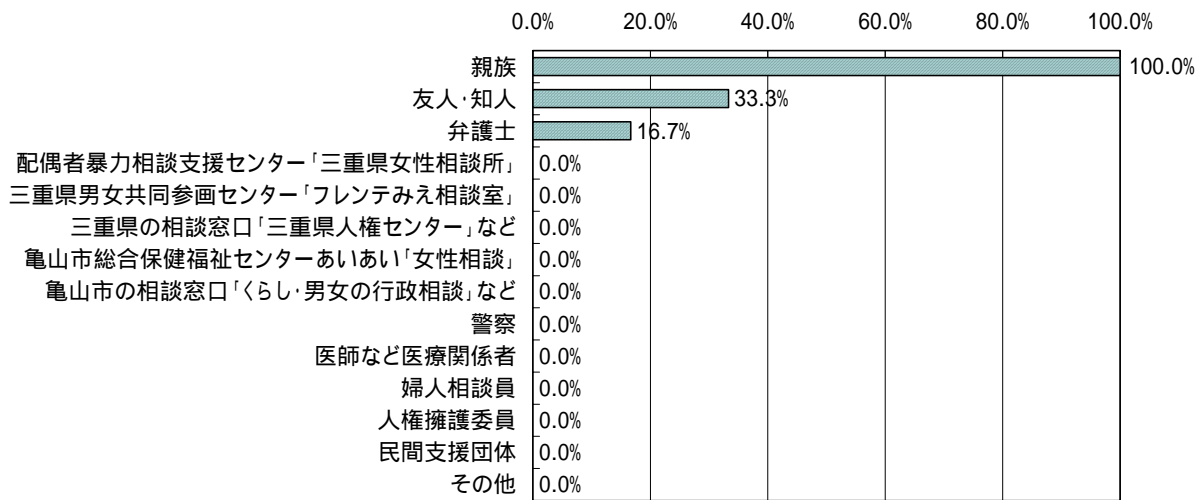
- これまでに「何度もあった」が多いのは、「 大声でどなられたり、暴言を吐かれる」37.0%、「 手でたたかれる」24.1%で、これらは「1・2度あった」を合わせると、それぞれ64.8%、66.7%と約6割を占めている。なかには、「 命の危険を感じるくらい暴行を受ける」が「何度もあった」が7.4%、「1・2度あった」が5.6%みられる。
- 現在の状況を見ると、いずれの項目においても「現在もある」の割合は減少している。しかし、「 大声でどなられたり、暴言を吐かれる」では、「現在もある」が25.9%みられる。

問 23-2. 問 23 で「1. ある」と答えた方にお聞きます。暴力を受けたとき誰かに相談しましたか。(1つ)
 【回答者数:54】



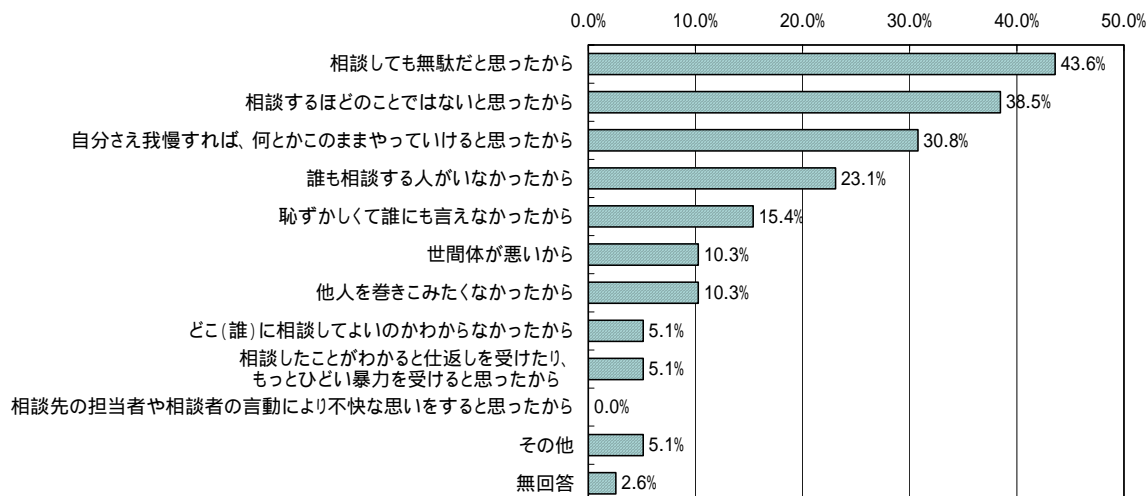
・ 「相談しなかった」が 72.2%と大半を占め、「相談した」は 11.1%にとどまっている。

問 23-3. 問 23-2 で「1. 相談した」と答えた方にお聞きます。どのような所および人に相談しましたか。
 (あてはまるものすべて)【回答者数:6】



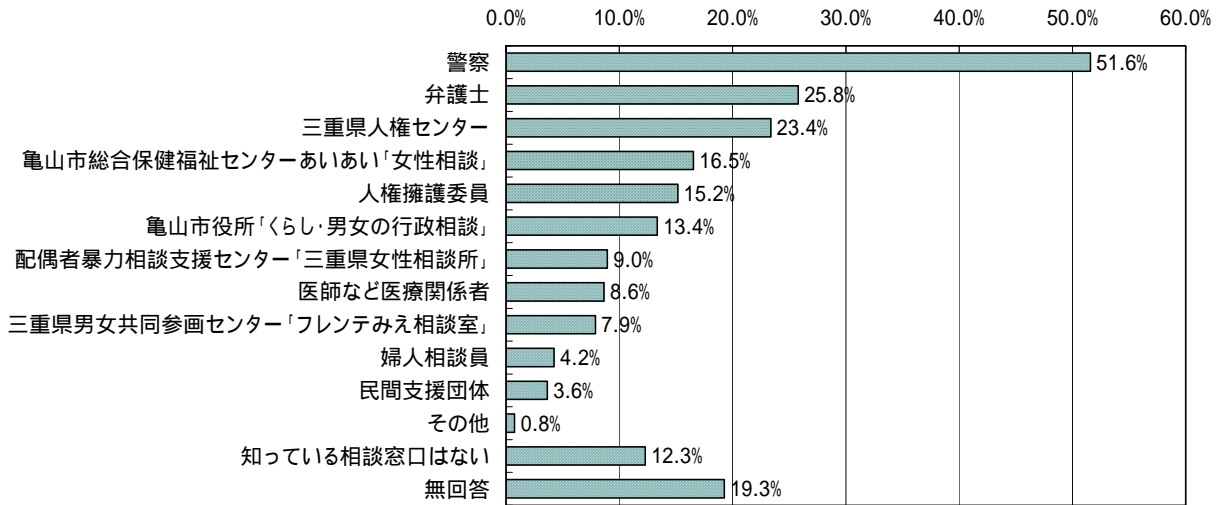
・ 「親族」が最も多く、100.0%となっている。そのほか、「友人・知人」が 33.3%、「弁護士」が 16.7%で、公的な相談窓口への相談は 0.0%となっている。

問 23-4. 問 23-2 で「2. 相談しなかった」と答えた方にお聞きします。どこ(誰)にも相談しなかったのはなぜですか。
(あてはまるものすべて) [回答者数:39]



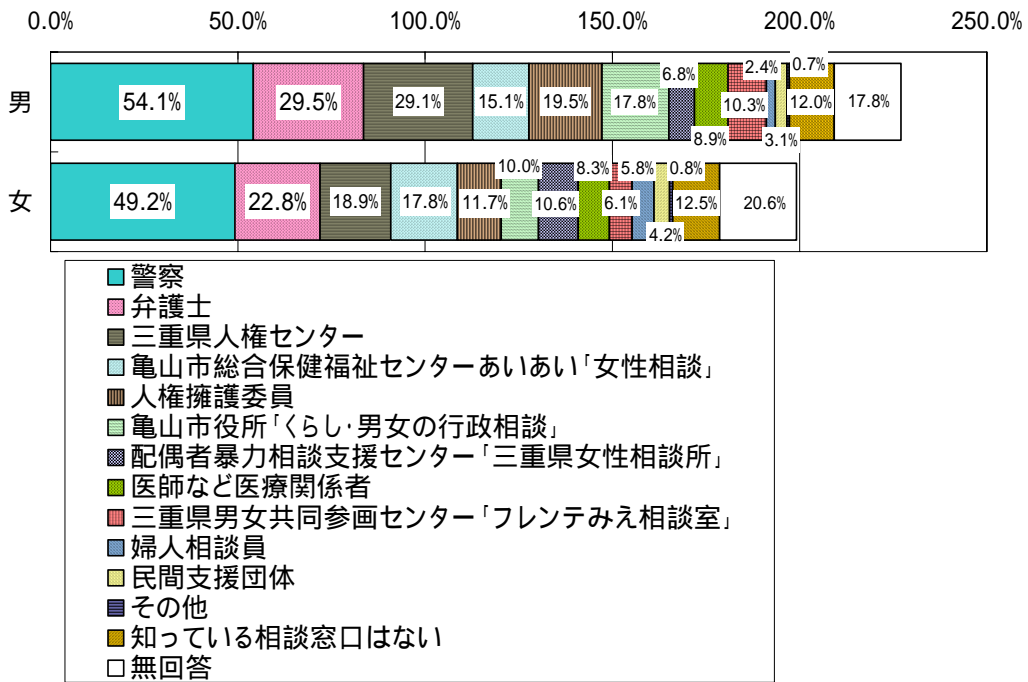
- ・ 「相談しても無駄だと思ったから」が 43.6%と最も多く、次いで「相談するほどのことではないと思ったから」38.5%、「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」30.8%、「誰も相談する人がいなかったから」23.1%、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」15.4%と続いている。

問 24 . 結婚相手や恋人から暴力を受けたときに相談できる機関や関係者などの窓口のなかで、そのような相談ができることを知っていたものはどれですか。(あてはまるものすべて)【回答者数:659】



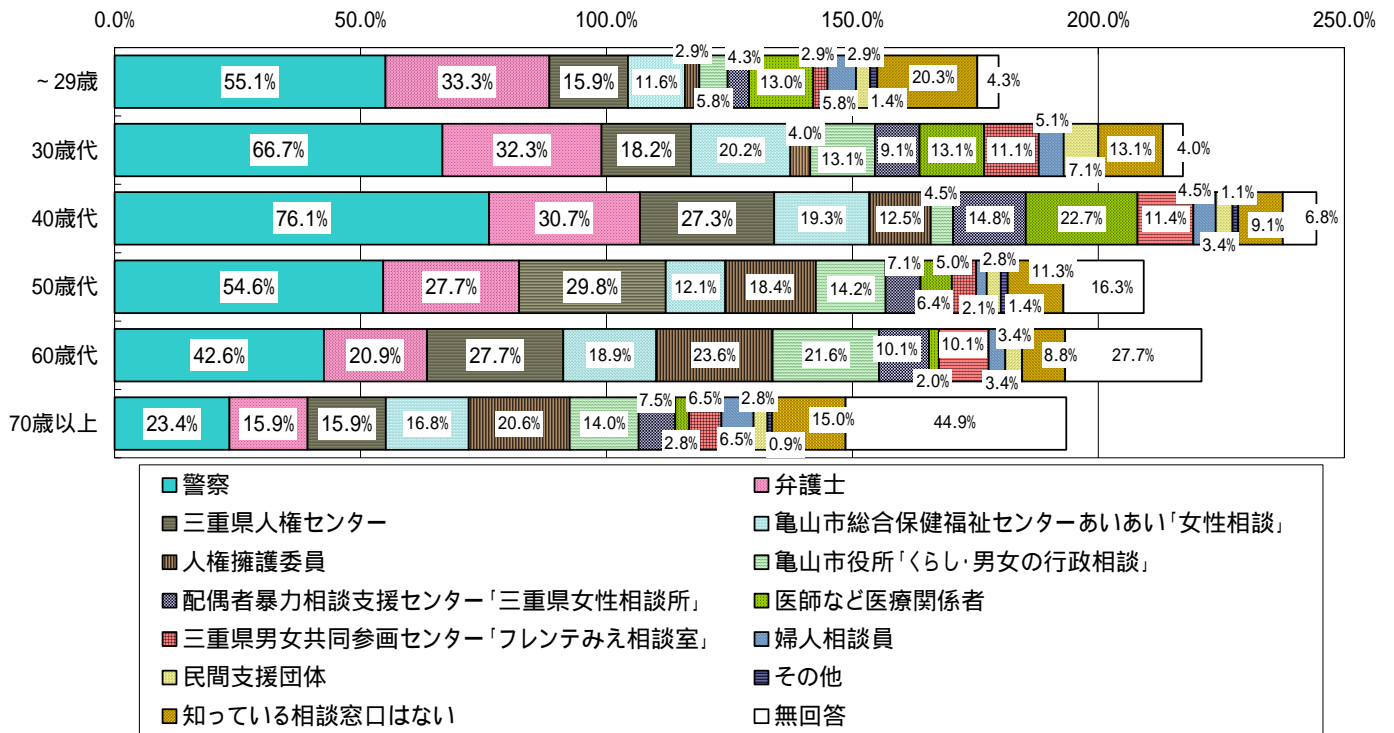
・「警察」が最も多く、51.6%を占めている。次いで「弁護士」25.8%、「三重県人権センター」23.4%などが続くが、いずれも30%以下にとどまっており、「知っている相談窓口はない」は12.3%みられる。

【男女別】



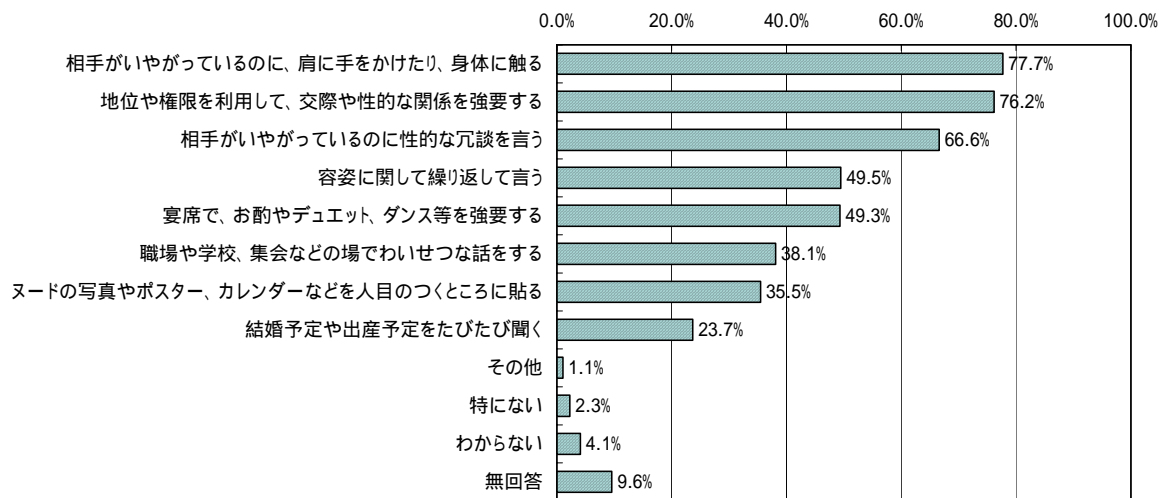
・男女別にみると、男性に比べて女性では、どの相談窓口についても「知っている」割合がやや少ない。

【年齢別】



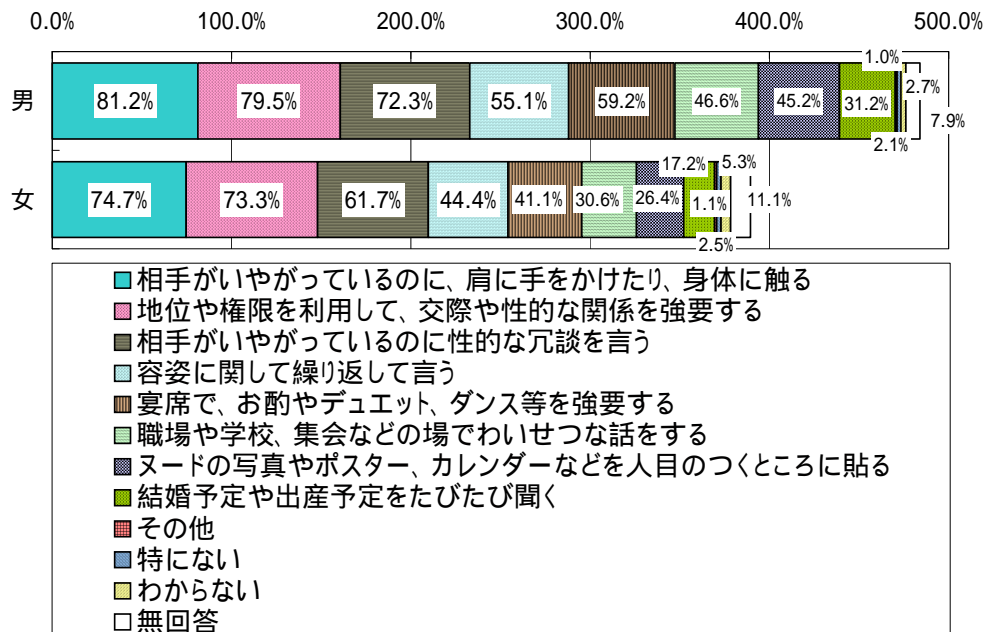
・ 年齢別にみると、40歳代以下では「警察」や「弁護士」と答えた割合が多い。50歳代以上では、やはり「警察」の割合が多く、また、公的な相談窓口をあげる人が若い世代に比べ、比較的多くなっている。

問 25. あなたがセクシュアル・ハラスメントだと思うことはどれですか。(あてはまるものすべて)【回答者数:659】



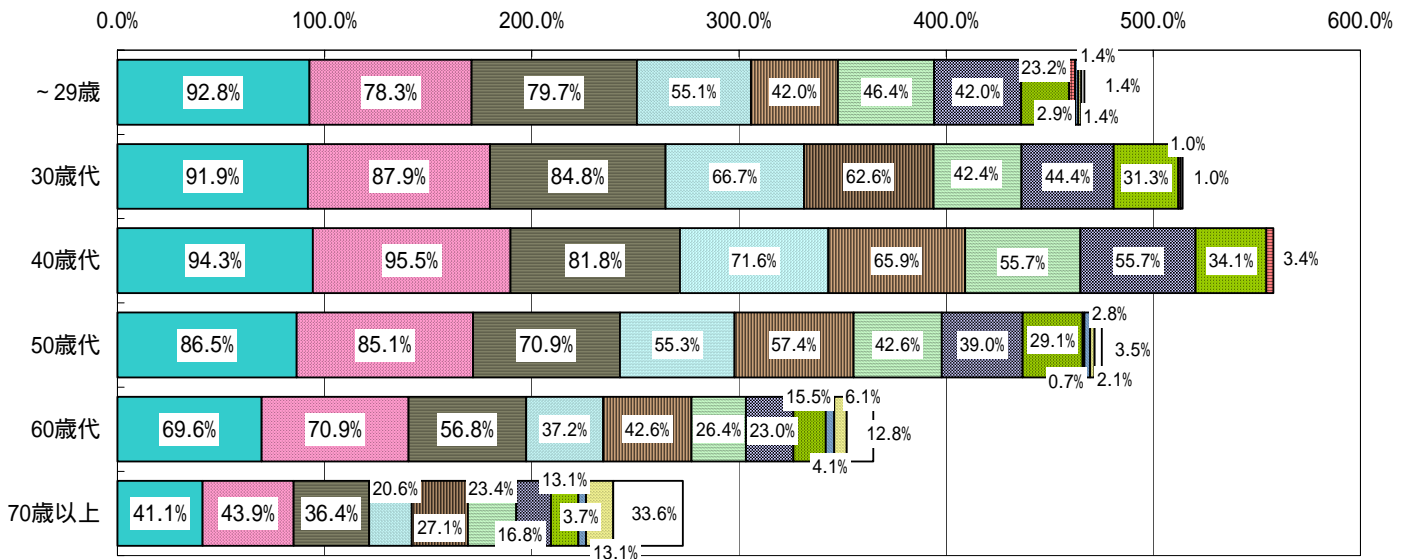
・ 「相手がいやがっているのに、肩に手をかけたり、身体に触る」77.7%、「地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する」76.2%が多く、以下、「相手がいやがっているのに性的な冗談を言う」66.6%、「容姿に関して繰り返して言う」49.5%、「宴席で、お酌やデュエット、ダンス等を強要する」49.3%が続いている。

【男女別】



・ 男女別にみると、いずれの項目においても、男性のほうが女性より割合が多くなっている。

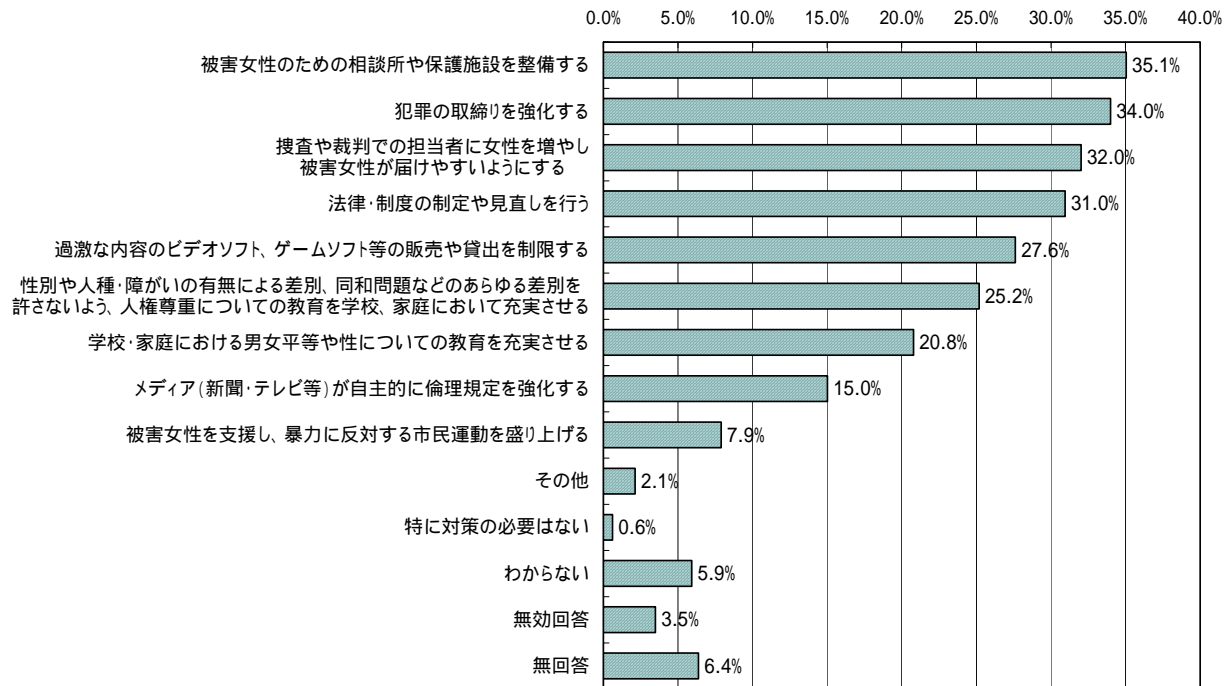
【年齢別】



- 相手がいやがっているのに、肩に手をかけたり、身体に触る
- 地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する
- 相手がいやがっているのに性的な冗談を言う
- 容姿に関して繰り返して言う
- 宴席で、お酌やデュエット、ダンス等を強要する
- 職場や学校、集会などの場でわいせつな話をする
- ヌードの写真やポスター、カレンダーなどを人目のつくところに貼る
- 結婚予定や出産予定をたびたび聞く
- その他
- 特にない
- わからない
- 無回答

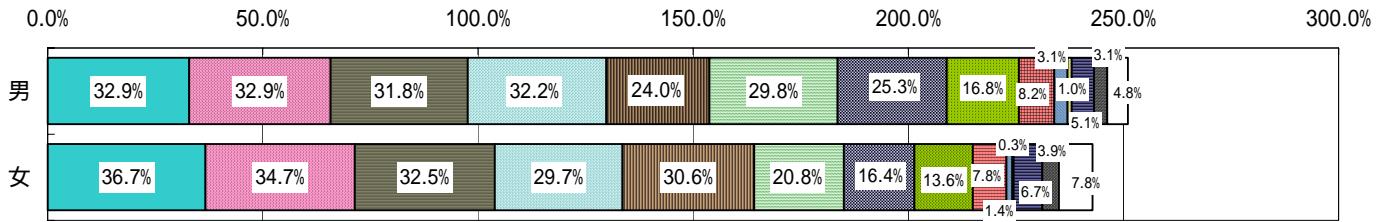
・ 年齢別にみると、60歳代以上では、40歳代以下に比べて、どの項目においても割合が少なく、セクシュアル・ハラステメントに対する関心が低いことがうかがえる。

問 26. 近年において、性犯罪や売買春(いわゆる「援助交際」を含む)、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント等についての関心が高まっていますが、このようなことをなくすためにはどうしたらよいと思いますか。(3つまで)【回答者数:659】



・「被害女性のための相談所や保護施設を整備する」が 35.1%と最も多く、次いで「犯罪の取締りを強化する」34.0%、「捜査や裁判での担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする」32.0%、「法律・制度の制定や見直しを行う」31.0%と続いている。

【男女別】



- 被害女性のための相談所や保護施設を整備する
- 犯罪の取締りを強化する
- 捜査や裁判での担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする
- 法律・制度の制定や見直しを行う
- 過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する
- 性別や人種・障がいの有無による差別、同和問題などのあらゆる差別を許さないよう、人権尊重についての教育を学校、家庭において充実させる
- 学校・家庭における男女平等や性についての教育を充実させる
- メディア(新聞・テレビ等)が自主的に倫理規定を強化する
- 被害女性を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる
- その他
- 特に対策の必要はない
- わからない
- 無効回答
- 無回答

- ・ 男女別にみると、男性では「被害女性のための相談所や保護施設を整備する」と「犯罪の取締りを強化する」が32.9%、「捜査や裁判での担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする」が31.8%となっており、女性では「被害女性のための相談所や保護施設を整備する」36.7%、「犯罪の取締りを強化する」34.7%、「捜査や裁判での担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする」32.5%となっている。
- ・ このほか、「法律・制度の制定や見直しを行う」、「性別や人種・障がいの有無による差別、同和問題などのあらゆる差別を許さないよう、人権尊重についての教育を学校、家庭において充実させる」、「学校・家庭における男女平等や性についての教育を充実させる」では女性より男性が、また「過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する」では男性より女性がやや多い傾向がみられる。

【年齢別】



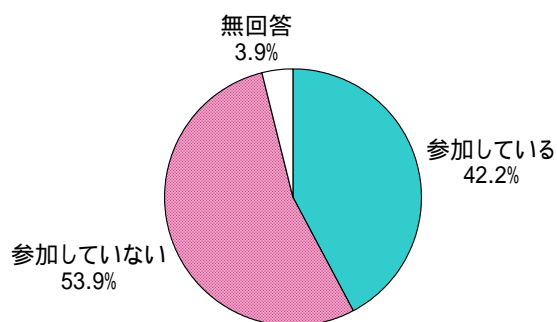
- 年齢別にみると、40歳代以下では「捜査や裁判での担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする」が最も多く、50歳代以上では「被害女性のための相談所や保護施設を整備する」が多い傾向にある。
- また、全体的に「犯罪の取締りを強化する」や「法律・制度の制定や見直しを行う」も多く、30～60歳代では「過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する」、「性別や人種・障がいの有無による差別、同和問題などのあらゆる差別を許さないよう、人権尊重についての教育を学校、家庭において充実させる」、「学校・家庭における男女平等や性についての教育を充実させる」が比較的多くなっている。

9. 社会参加について

地域における社会活動に「参加している」という人は、前回調査に比べて増加傾向にある。前述の子育てに関する地域活動では、女性に比べ男性の参加が少ないのに対して、社会活動全体では男性の参加のほうが多い。参加していない人の理由としては、「どんな活動があるのかよくわからない」、「仕事が忙しく余裕がない」という回答が上位となっている。女性では、男性に比べ、「家事・育児・子どもの教育が忙しくて余裕がない」や「老人や病人の世話がある」の割合が比較的多くなっている。

また、男女が共同で家事、子育て、教育、介護、地域活動などに参加するために必要なこととして、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」、「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」、「仕事中心という社会全体の仕組みを改めること」が上位に並んでおり、男女の固定的な役割分担の解消や働き方の見直しが求められている。

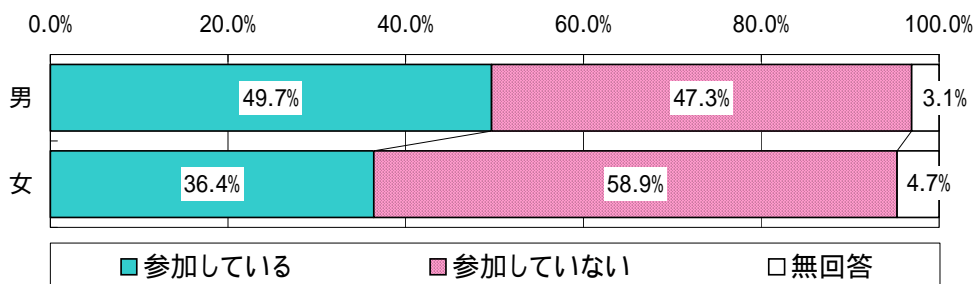
問 27. あなたは現在、地域における社会活動に参加していますか。(1つ)【回答者数:659】



- ・ 「参加していない」が 53.9%と過半数を占め、「参加している」42.2%をやや上回っている。
- ・ 前回調査では、「参加している」が 37.6%、「参加していない」が 54.0%であったのに対し、今回調査では、「参加していない」は横ばいとなっているが、「参加している」は増加している。

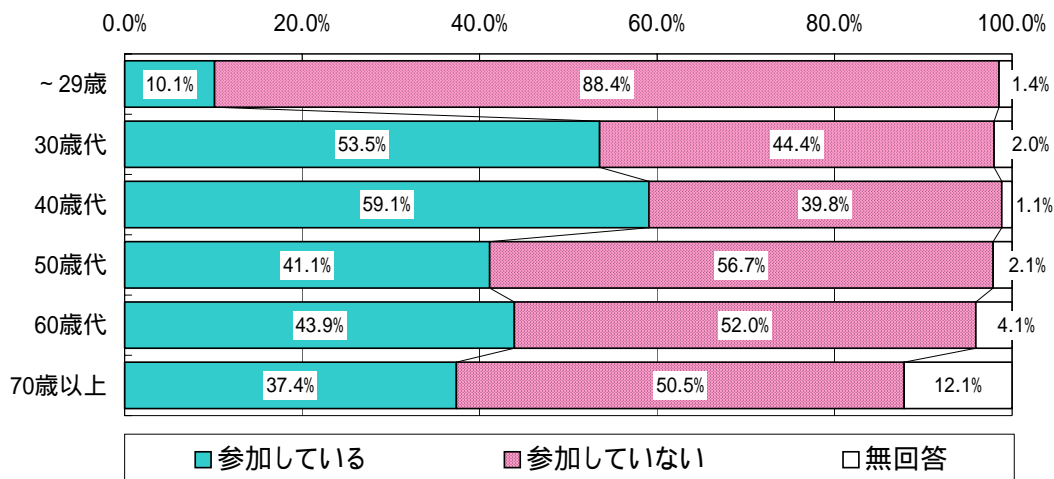
5～11 ページ参照

【男女別】



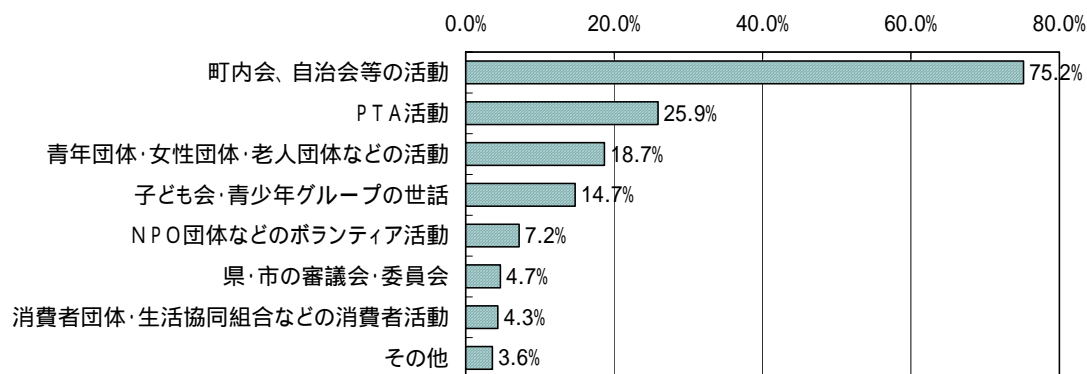
- ・ 男女別にみると、男性では「参加している」49.7%が、「参加していない」47.3%をわずかながら上回っているのに対して、女性では「参加している」が 36.4%にとどまり、「参加していない」が 58.9%と約 6 割を占めている。

【年齢別】



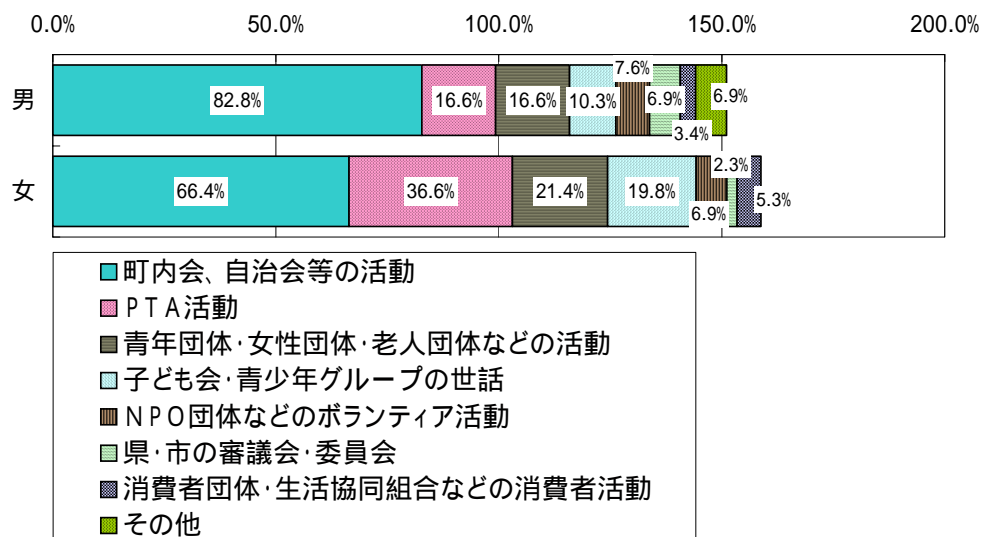
- ・ 年齢別にみると、30～40 歳代では「参加している」が「参加していない」をやや上回っているのに対して、50 歳代以上では逆に「参加していない」が「参加している」を上回っている。
- ・ 30 歳未満では「参加している」は 10.1%で、「参加していない」が 88.4%と大半を占めている。

問 27-1. 問 27 で「1. 参加している」と答えた方にお聞きます。あなたが参加している社会活動はどのようなものですか。(あてはまるものすべて)【回答者数:278】



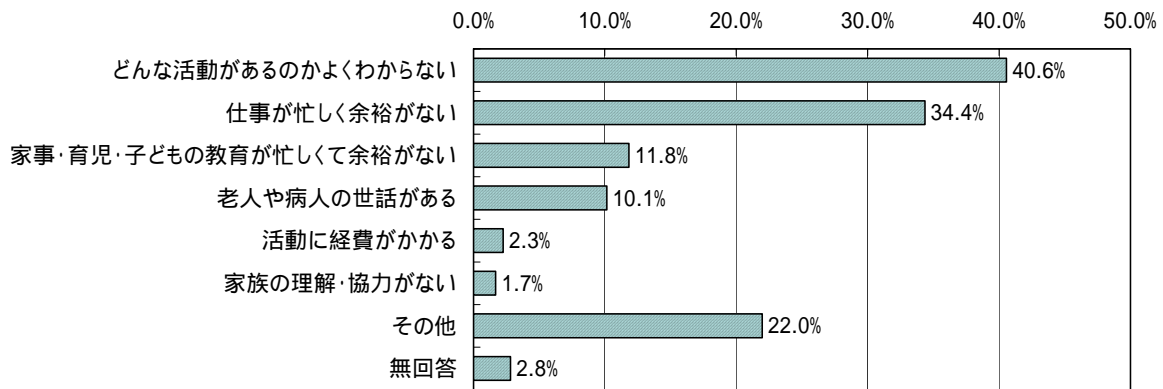
・ 「町内会、自治会等の活動」が 75.2%と最も多く、次いで「PTA活動」25.9%、「青年団体・女性団体・老人団体などの活動」18.7%、「子ども会・青少年グループの世話」14.7%と続いている。

【男女別】



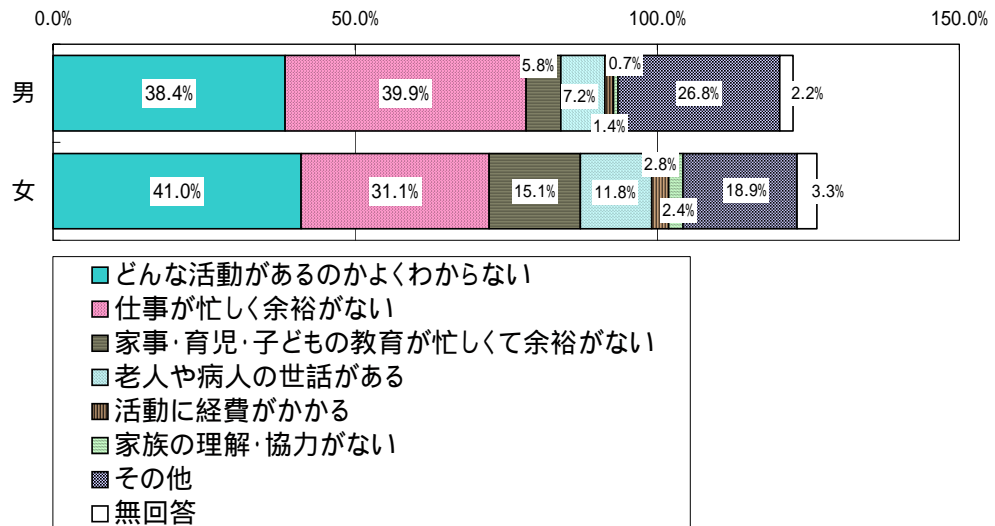
・ 男女別にみると、男性では「町内会、自治会等の活動」が最も多く 82.8%を占めており、「PTA活動」、「青年団体・女性団体・老人団体などの活動」がともに 16.6%、「子ども会・青少年グループの世話」10.3%となっている。これに対して、女性ではやはり「町内会、自治会等の活動」が最も多くなっているが、その割合は 66.4%と、男性に比べてやや少なく、逆に、「PTA活動」36.6%、「青年団体・女性団体・老人団体などの活動」21.4%、「子ども会・青少年グループの世話」19.8%は、男性に比べ多くなっている。

問 27-2. 問 27 で「2. 参加していない」と答えた方にお聞きします。社会活動に参加していない理由は何ですか。
 (あてはまるものすべて)【回答者数:355】



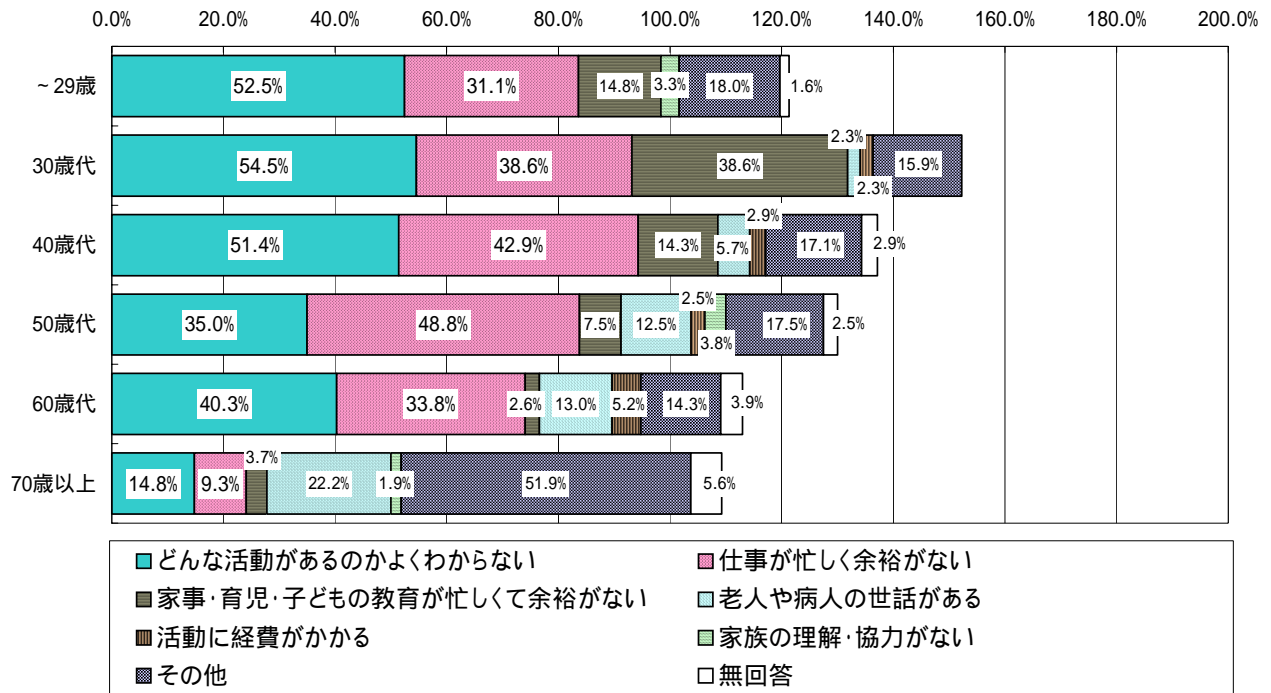
・ 「どんな活動があるのかよくわからない」が 40.6%と最も多く、次いで「仕事が忙しく余裕がない」34.4%、「家事・育児・子どもの教育が忙しくて余裕がない」11.8%、「老人や病人の世話がある」10.1%と続いている。

【男女別】



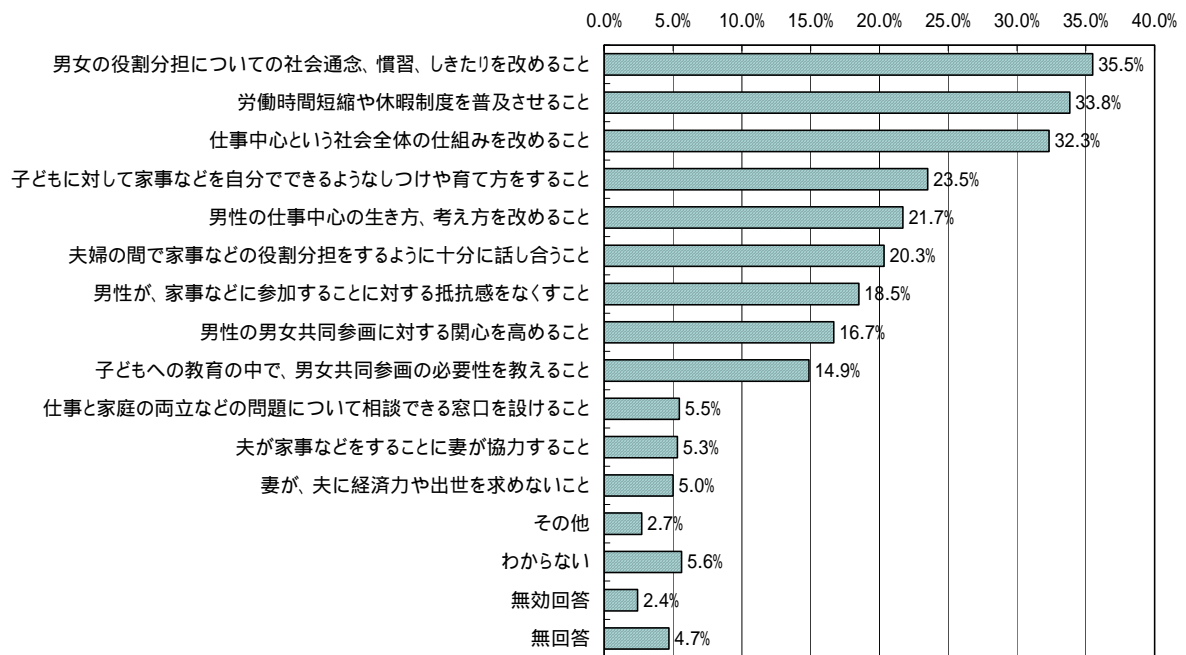
・ 男女別にみると、男性では「仕事が忙しく余裕がない」が 39.9%と最も多く、次いで「どんな活動があるのかよくわからない」が38.4%となっているのに対して、女性では「どんな活動があるのかよくわからない」41.0%、「仕事が忙しく余裕がない」31.1%の順で続いている。
 ・ また、女性では男性に比べ、「家事・育児・子どもの教育が忙しくて余裕がない」、「老人や病人の世話がある」の割合が多くなっている。

【年齢別】



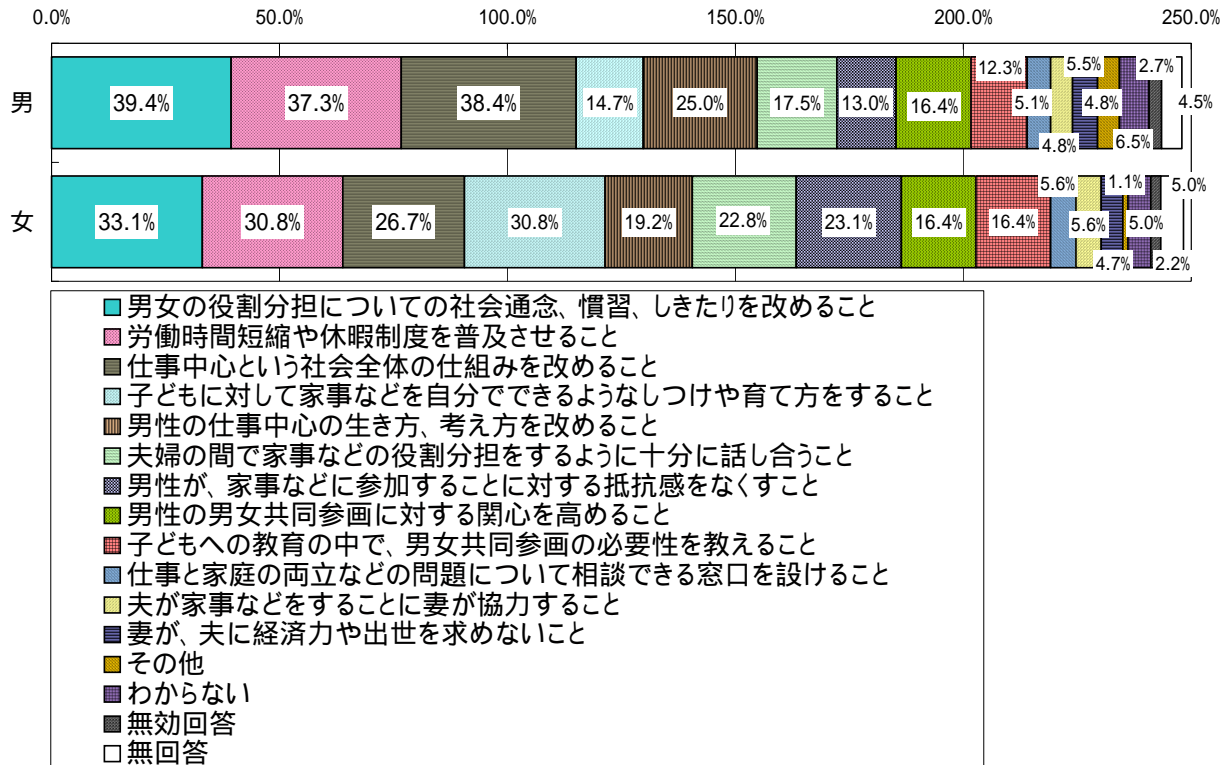
- ・ 年齢別にみると、40歳代以下では「どんな活動があるのかわからない」が約半数を占めているのに対して、50歳代以上では40%前後、またはそれ以下となっている。
- ・ 30～50歳代では「仕事が忙しく余裕がない」の割合も多く、なかでも50歳代では48.8%を占めている。
- ・ 30歳代では「家事・育児・子どもの教育が忙しくて余裕がない」が比較的多く、また、年齢が高くなるにつれ、「老人や病人の世話がある」の割合が増える傾向にある。

問28. 今後、男性・女性がともに、家事、子育て、教育、介護および地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで)【回答者数:659】



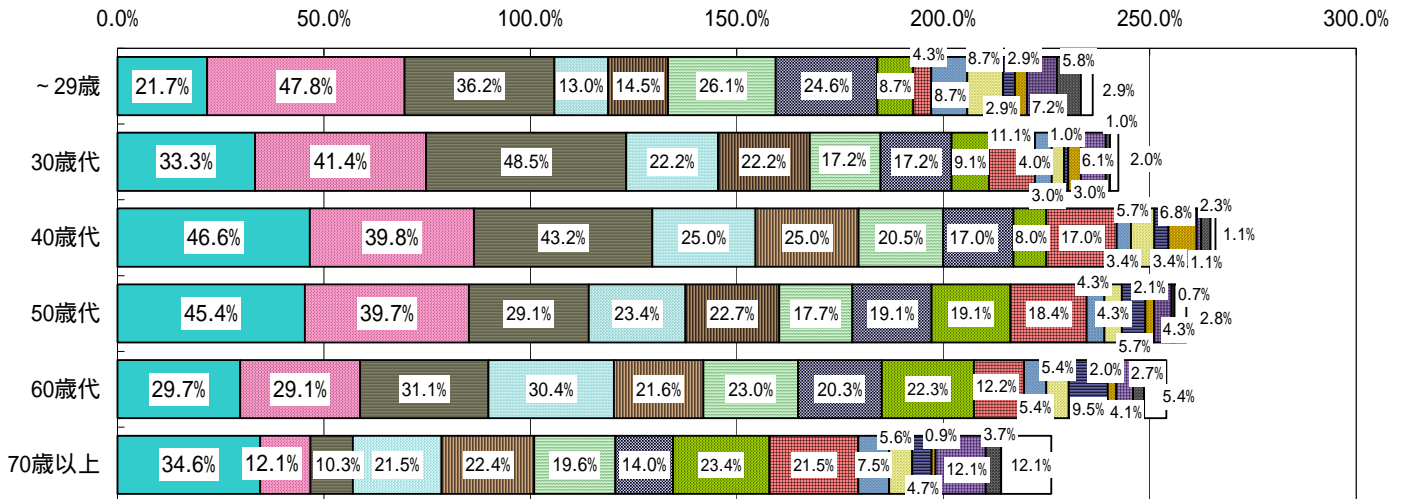
・ 「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」が 35.5%と最も多く、次いで「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」33.8%、「仕事中心という社会全体の仕組みを改めること」32.3%、「子どもに対して家事などを自分のできるようなしつけや育て方をすること」23.5%、「男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること」21.7%、「夫婦の間で家事などの役割分担をするように十分に話し合うこと」20.3%と続いている。

【男女別】



- 男女別にみると、男性では「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」が39.4%と最も多く、次いで「仕事中心という社会全体の仕組みを改めること」38.4%、「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」37.3%となっている。これに対して、女性では「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」33.1%、「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」30.8%、「子どもに対して家事などを自分のできるようなしつけや育て方をすること」30.8%が上位となっている。
- このほか、「男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること」は女性より男性、また、「夫婦の間で家事などの役割分担をするように十分に話し合うこと」、「男性が、家事などに参加することに対する抵抗感をなくすこと」は男性より女性の割合が多くなっている。

【年齢別】



- 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
- 労働時間短縮や休暇制度を普及させること
- 仕事中心という社会全体の仕組みを改めること
- 子どもに対して家事などを自分のできるようなしつけや育て方をする事
- 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること
- 夫婦の間で家事などの役割分担をするように十分に話し合うこと
- 男性が、家事などに参加することに対する抵抗感をなくすこと
- 男性の男女共同参画に対する関心を高めること
- 子どもへの教育の中で、男女共同参画の必要性を教えること
- 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること
- 夫が家事などをする事に妻が協力すること
- 妻が、夫に経済力や出世を求めないこと
- その他
- わからない
- 無効回答
- 無回答

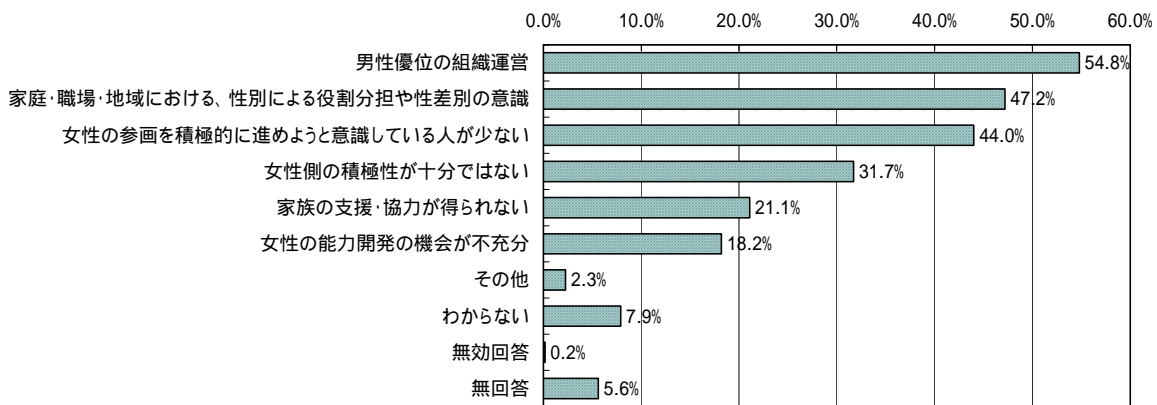
・ 年齢別にみると、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」は 40～50 歳代で多く、「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」は若い世代ほど多くなる傾向がみられる。「仕事中心という社会全体の仕組みを改めること」は 30～40 歳代が多い。また、30 歳未満では、「夫婦の間で家事などの役割分担をするように十分に話し合うこと」や「男性が、家事などに参加することに対する抵抗感をなくすこと」が、他の年齢に比べ比較的多くなっている。

10. 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて

政策や方針決定の過程への女性の参画が少ないのは、「男性優位の組織運営」が原因であると考える人が最も多く、このほか、「家庭・職場・地域における、性別による役割分担や性差別の意識」、「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない」、「女性側の積極性が十分でない」など市民意識の問題が上位となっている。

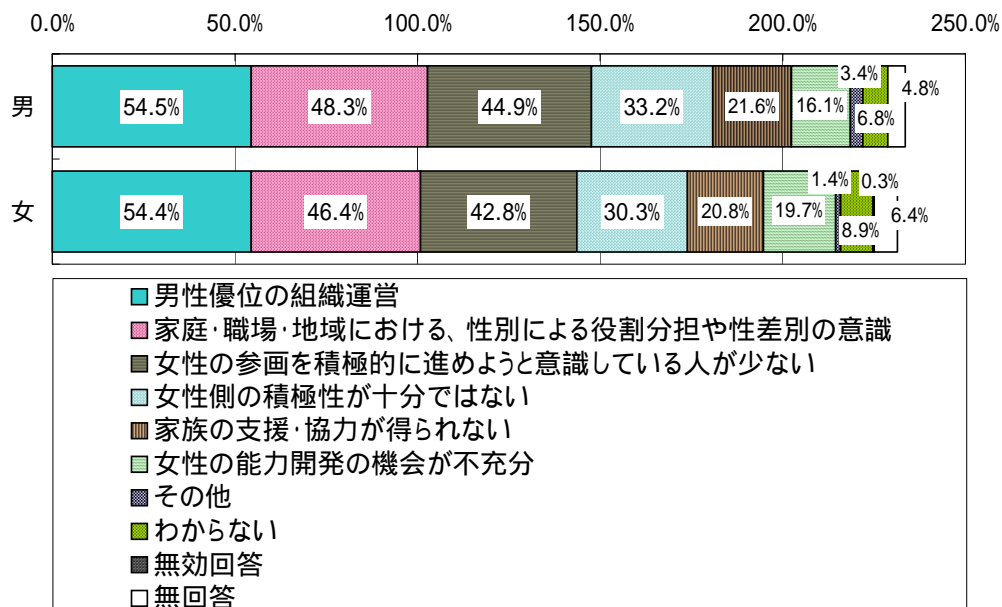
また、男女共同参画を推進するために重点的に取り組むべき施策として、「保育、介護の施設やサービスを充実する」を挙げた人が最も多く、以下、「女性を政策決定の場に積極的に登用する」、「男女共同参画をめざした法律・条例・制度の制定や見直しを行う」、「学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」、「職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底を行う」などが続いている。

問 29. 政治や行政における、政策の企画や方針決定の過程への女性の参画は、徐々に改善はされているものの、依然として少ないのが現状です。あなたは、このような女性の参画が少ない状況は何が原因だと思いますか。(3つまで)【回答者数:659】



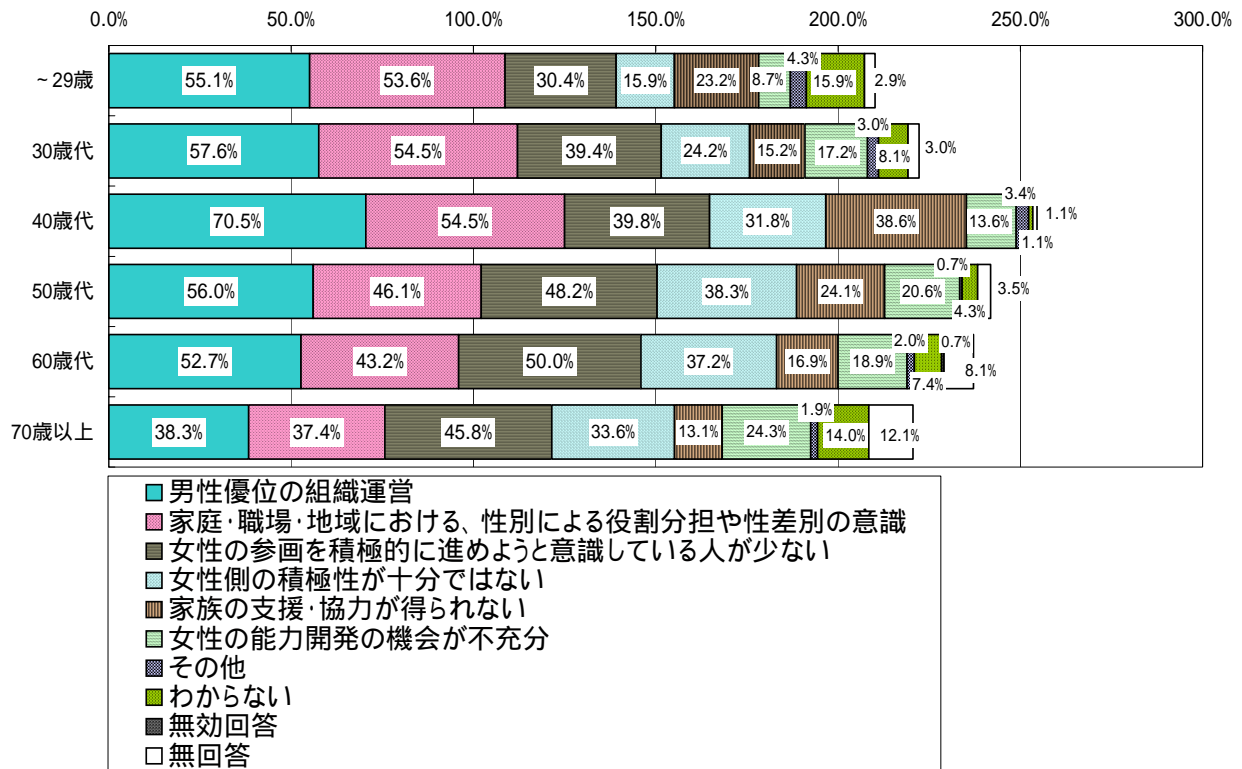
- ・ 「男性優位の組織運営」が54.8%と最も多く、次いで「家庭・職場・地域における、性別による役割分担や性差別の意識」47.2%、「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない」44.0%、「女性側の積極性が十分ではない」31.7%と続いている。

【男女別】



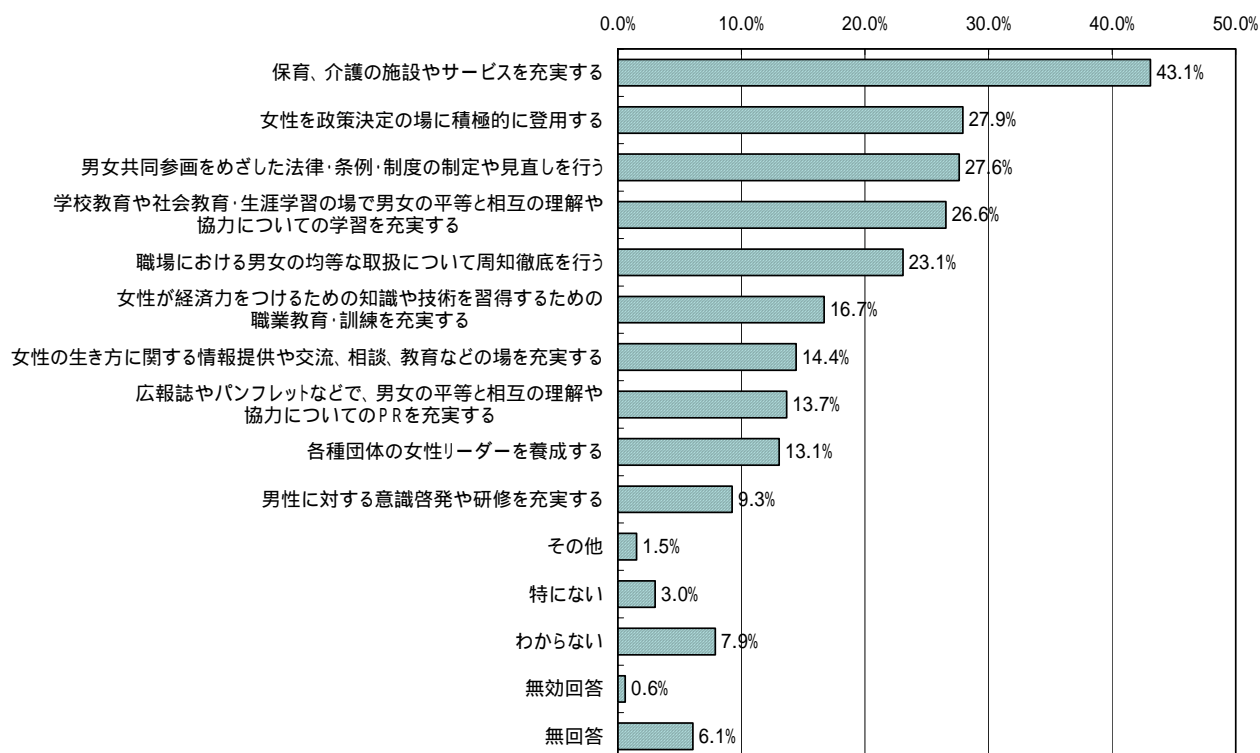
・ 男女別にみると、男女ともに、多い順に「男性優位の組織運営」、「家庭・職場・地域における、性別による役割分担や性差別の意識」、「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない」と続いており、いずれもほぼ同じくらいの割合となっている。

【年齢別】



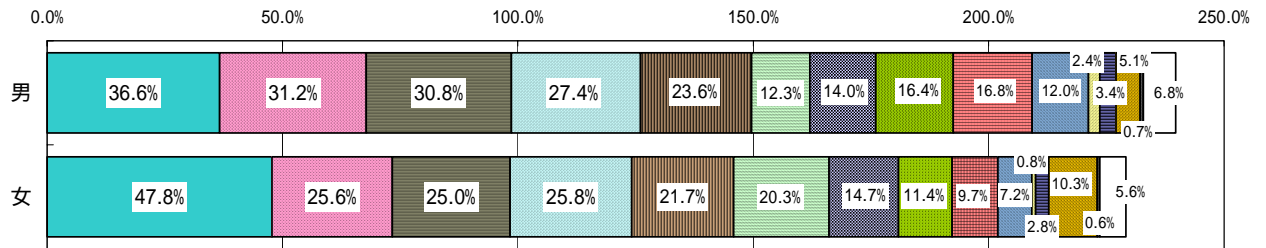
- 年齢別にみると、40歳代以下では、「男性優位の組織運営」が最も多く、次いで「家庭・職場・地域における、性別による役割分担や性差別の意識」、「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない」と続いている。なかでも、40歳代では「男性優位の組織運営」が70.5%と大半を占めており、また、他の年齢層に比べ「家族の支援・協力が得られない」の割合が比較的多くなっている。
- 50～60歳代では、「男性優位の組織運営」、「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない」、「家庭・職場・地域における、性別による役割分担や性差別の意識」の順となっており、また、他の年齢層に比べ「女性側の積極性が十分ではない」の割合が比較的多くなっている。
- 70歳以上では、「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない」が最も多く、次いで「男性優位の組織運営」、「家庭・職場・地域における、性別による役割分担や性差別の意識」と続いている。

問 30. 男女共同参画を推進していくために、今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(3つまで)
 【回答者数:659】



- ・ 「保育、介護の施設やサービスを充実する」が43.1%と最も多く、次いで「女性を政策決定の場に積極的に登用する」27.9%、「男女共同参画をめざした法律・条例・制度の制定や見直しを行う」27.6%、「学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」26.6%、「職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底を行う」23.1%と続いている。

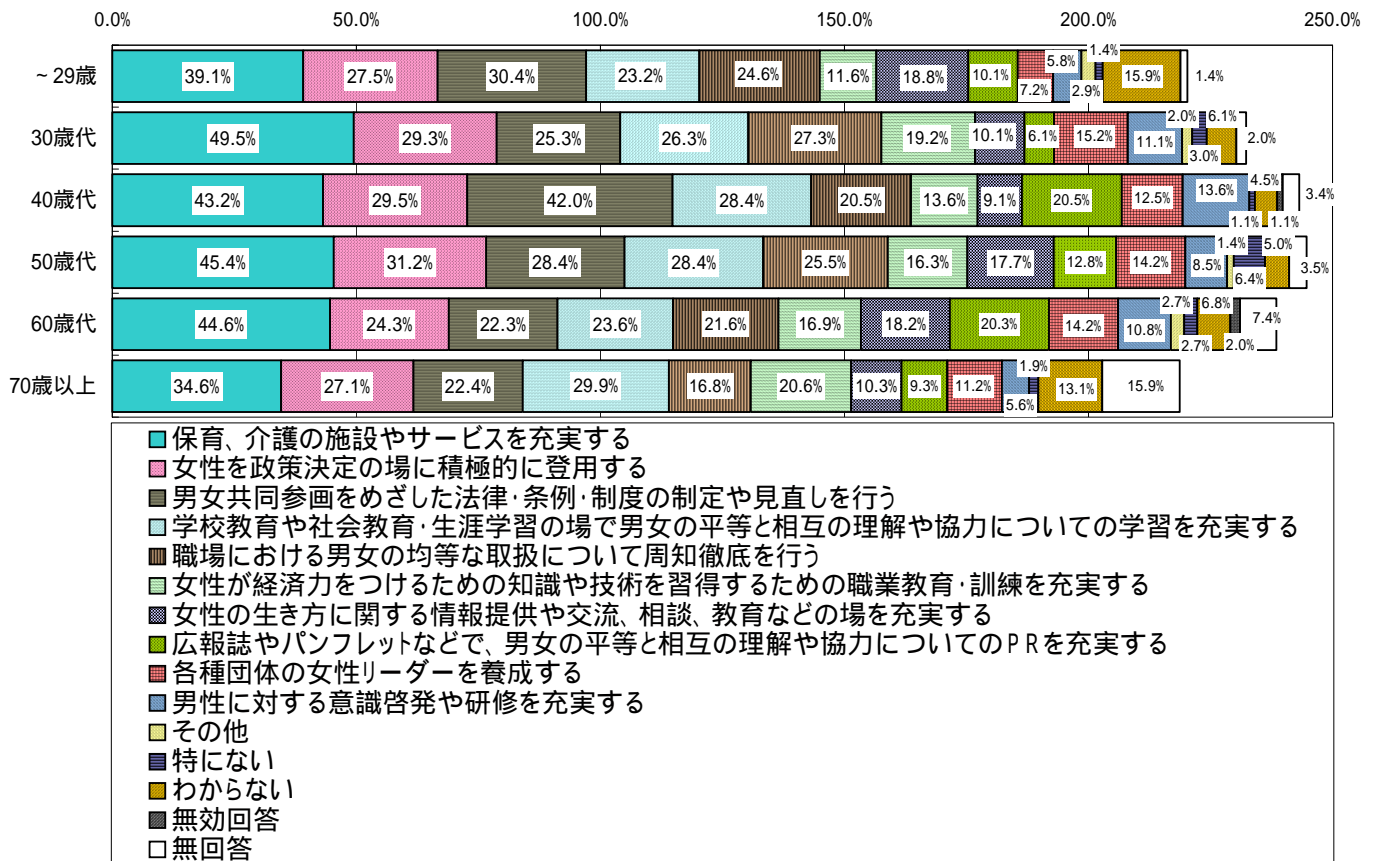
【男女別】



- 保育、介護の施設やサービスを充実する
- 女性を政策決定の場に積極的に登用する
- 男女共同参画をめざした法律・条例・制度の制定や見直しを行う
- 学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
- 職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底を行う
- 女性が経済力をつけるための知識や技術を習得するための職業教育・訓練を充実する
- 女性の生き方に関する情報提供や交流、相談、教育などの場を充実する
- 広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてのPRを充実する
- 各種団体の女性リーダーを養成する
- 男性に対する意識啓発や研修を充実する
- その他
- 特にない
- わからない
- 無効回答
- 無回答

・ 男女別にみると、「保育、介護の施設やサービスを充実する」は男性が 36.6%であるのに対して、女性は 47.8%と約半数を占めている。一方、「女性を政策決定の場に積極的に登用する」や「男女共同参画をめざした法律・条例・制度の制定や見直しを行う」では、女性より男性のほうが割合が多くなっている。

【年齢別】



・ 年齢別にみると、すべての年齢層において「保育、介護の施設やサービスを充実する」が最も多く、特に 30 歳代では 49.5%を占めている。次いで多いのは、30 歳未満と 40 歳代で「男女共同参画をめざした法律・条例・制度の制定や見直しを行う」、30 歳代や 50～60 歳代で「女性を政策決定の場に積極的に登用する」、70 歳以上で「学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」となっている。

. 參考資料

1. 集計表

単純集計表

あなた自身のことについて

問1. あなたの性別をお答えください。(1つ)

	回答数	比率
男	292	44.3%
女	360	54.6%
無回答	7	1.1%
総計	659	100.0%

問2. あなたの年齢をお答えください。(1つ)

	回答数	比率
~29歳	69	10.5%
30歳代	99	15.0%
40歳代	88	13.4%
50歳代	141	21.4%
60歳代	148	22.5%
70歳以上	107	16.2%
無回答	7	1.1%
総計	659	100.0%

問3. あなたが現在生活しているご家庭の家族構成をお答えください。(1つ)

	回答数	比率
単身世帯(あなただけ)	32	4.9%
1世代世帯(夫婦だけ)	170	25.8%
2世代世帯(夫婦と子、夫婦と親、親と子など)	302	45.8%
3世代世帯(祖父母と夫婦と子、親と子と孫など)	140	21.2%
その他	8	1.2%
無回答	7	1.1%
総計	659	100.0%

問4. あなたのお住まいの地区をお答えください。(1つ)

	回答数	比率
亀山地区	265	40.2%
昼生地区	24	3.6%
野登地区	36	5.5%
神辺地区	35	5.3%
白川地区	13	2.0%
川崎地区	62	9.4%
井田川地区	108	16.4%
関地区	89	13.5%
加太地区	18	2.7%
無効回答	2	0.3%
無回答	7	1.1%
総計	659	100.0%

問5. あなたの職業をお答えください。(1つ)

	回答数	比率
勤め人(フルタイム)	229	34.7%
パートタイマー・アルバイト	93	14.1%
農林水産業(自営・家族従業者)	16	2.4%
商工・サービス業(自営・家族従業者)	39	5.9%
自由業	8	1.2%
家事専業・家事手伝い	80	12.1%
学生	13	2.0%
無職	164	24.9%
その他	7	1.1%
無効回答	1	0.2%
無回答	9	1.4%
総計	659	100.0%

問6. あなたは結婚していますか。(1つ)

	回答数	比率
結婚している	520	78.9%
結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない	54	8.2%
結婚していない	79	12.0%
無回答	6	0.9%
総計	659	100.0%

問6-1. 問6で「結婚している」と答えた方にお聞きします。
あなたの結婚相手の職業は何ですか。(1つ)

	回答数	比率
勤め人(フルタイム)	180	34.6%
パートタイマー・アルバイト	78	15.0%
農林水産業(自営・家族従業者)	13	2.5%
商工・サービス業(自営・家族従業者)	39	7.5%
自由業	7	1.3%
家事専業・家事手伝い	44	8.5%
学生	0	0.0%
無職	144	27.7%
その他	12	2.3%
無効回答	1	0.2%
無回答	2	0.4%
総計	520	100.0%

【共働き形態】

	回答数	比率
フルタイム/フルタイム	64	12.3%
フルタイム/パートタイマー・アルバイト	95	18.3%
フルタイム/その他就労	13	2.5%
フルタイム/未就労	97	18.7%
パートタイマー・アルバイト、その他就労、未就労/ パートタイマー・アルバイト、その他就労、未就労	229	44.0%
その他	20	3.8%
無効回答	1	0.2%
無回答	1	0.2%
総計	520	100.0%

男女共同参画社会について

問7. あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。(1つ)

	回答数	比率
知っている	328	49.8%
聞いたことはあるが、意味は知らなかった	189	28.7%
知らなかった	130	19.7%
無回答	12	1.8%
総計	659	100.0%

男女平等について

問8. あなたは、次にあげる分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。(~ のそれぞれについて1つずつ)

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無効回答	無回答	総計
家庭のなかで	116	259	191	29	9	26	4	25	659
職場のなかで	150	225	113	31	7	62	2	69	659
学校のなかで	11	67	323	17	6	134	2	99	659
地域のなかで	81	260	154	33	3	78	3	47	659
社会通念や風潮で	133	292	91	27	8	54	0	54	659
法律や制度の上で	74	193	220	32	9	77	3	51	659
政治(政策決定)の場で	135	224	159	11	3	76	0	51	659
社会全体で	101	324	98	23	5	60	3	45	659

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無効回答	無回答	総計
家庭のなかで	17.6%	39.3%	29.0%	4.4%	1.4%	3.9%	0.6%	3.8%	100.0%
職場のなかで	22.8%	34.1%	17.1%	4.7%	1.1%	9.4%	0.3%	10.5%	100.0%
学校のなかで	1.7%	10.2%	49.0%	2.6%	0.9%	20.3%	0.3%	15.0%	100.0%
地域のなかで	12.3%	39.5%	23.4%	5.0%	0.5%	11.8%	0.5%	7.1%	100.0%
社会通念や風潮で	20.2%	44.3%	13.8%	4.1%	1.2%	8.2%	0.0%	8.2%	100.0%
法律や制度の上で	11.2%	29.3%	33.4%	4.9%	1.4%	11.7%	0.5%	7.7%	100.0%
政治(政策決定)の場で	20.5%	34.0%	24.1%	1.7%	0.5%	11.5%	0.0%	7.7%	100.0%
社会全体で	15.3%	49.2%	14.9%	3.5%	0.8%	9.1%	0.5%	6.8%	100.0%

問9. 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどう思いますか。(1つ)

	回答数	比率
同感する	63	9.6%
どちらかといえば同感する	264	40.1%
どちらかといえば同感しない	126	19.1%
同感しない	158	24.0%
わからない	34	5.2%
無回答	14	2.1%
総計	659	100.0%

家庭生活について

問 10. あなたの家庭では、家庭生活について、夫婦の間でどのように分担していますか。(~ のそれぞれについて1つずつ)

夫婦ともほとんどしない(親、子ども、その他の人がしている) 夫婦ともほとんどしない

	ほとんど妻がしている	妻が中心だが夫も手伝う	平等に分担している	夫が中心だが、妻も手伝う	ほとんど夫がしている	夫婦ともほとんどしない	その他	無効回答	無回答	計	結婚していないおよび現在は夫・妻がいない	総計
食事の支度	400	90	4	2	5	7	7	3	7	525	134	659
食事の後片付け	352	120	13	5	5	9	6	2	13	525	134	659
家の掃除	282	158	40	13	5	5	4	2	16	525	134	659
入浴の準備、風呂場の掃除	254	128	40	25	35	14	14	4	11	525	134	659
日常の買い物	272	174	35	3	9	9	7	6	10	525	134	659
日常の家計管理	363	48	30	27	30	5	6	2	14	525	134	659
日常のゴミ捨て	223	114	31	36	78	24	8	3	8	525	134	659
洗濯	402	60	16	6	8	10	4	5	14	525	134	659
高額な商品の購入決定	55	69	145	120	100	5	7	4	20	525	134	659
生活費の確保	102	27	67	119	176	6	7	4	17	525	134	659
PTAや地域の行事参加	88	95	106	92	65	19	25	2	33	525	134	659
親戚とのつきあい	40	61	225	127	34	12	11	3	12	525	134	659
近所とのつきあい	79	131	179	67	19	16	20	3	11	525	134	659

	ほとんど妻がしている	妻が中心だが夫も手伝う	平等に分担している	夫が中心だが、妻も手伝う	ほとんど夫がしている	夫婦ともほとんどしない	その他	無効回答	無回答	計	結婚していないおよび現在は夫・妻がいない	総計
食事の支度	76.2%	17.1%	0.8%	0.4%	1.0%	1.3%	1.3%	0.6%	1.3%	100.0%	-	-
食事の後片付け	67.0%	22.9%	2.5%	1.0%	1.0%	1.7%	1.1%	0.4%	2.5%	100.0%	-	-
家の掃除	53.7%	30.1%	7.6%	2.5%	1.0%	1.0%	0.8%	0.4%	3.0%	100.0%	-	-
入浴の準備、風呂場の掃除	48.4%	24.4%	7.6%	4.8%	6.7%	2.7%	2.7%	0.8%	2.1%	100.0%	-	-
日常の買い物	51.8%	33.1%	6.7%	0.6%	1.7%	1.7%	1.3%	1.1%	1.9%	100.0%	-	-
日常の家計管理	69.1%	9.1%	5.7%	5.1%	5.7%	1.0%	1.1%	0.4%	2.7%	100.0%	-	-
日常のゴミ捨て	42.5%	21.7%	5.9%	6.9%	14.9%	4.6%	1.5%	0.6%	1.5%	100.0%	-	-
洗濯	76.6%	11.4%	3.0%	1.1%	1.5%	1.9%	0.8%	1.0%	2.7%	100.0%	-	-
高額な商品の購入決定	10.5%	13.1%	27.6%	22.9%	19.0%	1.0%	1.3%	0.8%	3.8%	100.0%	-	-
生活費の確保	19.4%	5.1%	12.8%	22.7%	33.5%	1.1%	1.3%	0.8%	3.2%	100.0%	-	-
PTAや地域の行事参加	16.8%	18.1%	20.2%	17.5%	12.4%	3.6%	4.8%	0.4%	6.3%	100.0%	-	-
親戚とのつきあい	7.6%	11.6%	42.9%	24.2%	6.5%	2.3%	2.1%	0.6%	2.3%	100.0%	-	-
近所とのつきあい	15.0%	25.0%	34.1%	12.8%	3.6%	3.0%	3.8%	0.6%	2.1%	100.0%	-	-

問 11. あなたは、もし一人暮らし生活になったら、炊事、洗濯、掃除などの家事全般ができますか。(1つ)

	回答数	比率
炊事、洗濯、掃除など1人で家事全般ができ、暮らしていくのに支障はない	403	61.2%
炊事、洗濯、掃除など少しはできるが、暮らしていくには少し支障が出る	170	25.8%
炊事、洗濯、掃除などあまりしたことがなく、暮らしていくには支障が出る	70	10.6%
その他	11	1.7%
無回答	5	0.8%
総計	659	100.0%

子育てについて

問 12. 子育てについて、あなたの意見にもっとも近いものはどれですか。
(~ のそれぞれについて1つずつ)

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	わからない	無回答	総計
子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	335	232	21	36	13	22	659
子どもの世話の大部分は、男親にもできる	118	215	159	107	30	30	659
必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	181	202	71	100	67	38	659
男の子は家事ができるように育てるのがよい	232	291	47	34	27	28	659
女の子は家事ができるように育てるのがよい	449	166	3	8	14	19	659
男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	456	154	7	6	14	22	659
女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	278	268	50	15	22	26	659

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	わからない	無回答	総計
子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	50.8%	35.2%	3.2%	5.5%	2.0%	3.3%	100.0%
子どもの世話の大部分は、男親にもできる	17.9%	32.6%	24.1%	16.2%	4.6%	4.6%	100.0%
必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	27.5%	30.7%	10.8%	15.2%	10.2%	5.8%	100.0%
男の子は家事ができるように育てるのがよい	35.2%	44.2%	7.1%	5.2%	4.1%	4.2%	100.0%
女の子は家事ができるように育てるのがよい	68.1%	25.2%	0.5%	1.2%	2.1%	2.9%	100.0%
男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	69.2%	23.4%	1.1%	0.9%	2.1%	3.3%	100.0%
女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	42.2%	40.7%	7.6%	2.3%	3.3%	3.9%	100.0%

問 13. 子育てに関する地域活動に参加したことがありますか。(あてはまるものすべて)

	回答数	比率
子ども見守り活動	95	14.4%
PTA や子ども会などの活動	303	46.0%
スポーツ少年団などの指導活動	78	11.8%
子育て支援の活動	46	7.0%
子ども居場所づくりの活動	30	4.6%
教育協議会の活動	59	9.0%
その他	17	2.6%
特にない	255	38.7%
無回答	32	4.9%
回答者数	659	100.0%
総回答数	915	138.8%

【男女別参加率】

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
参加したことがある	155	53.1%	212	58.9%	5	71.4%	372	56.4%
参加したことがない	124	42.5%	129	35.8%	2	28.6%	255	38.7%
無効回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	13	4.5%	19	5.3%	0	0.0%	32	4.9%
総計	292	100.0%	360	100.0%	7	100.0%	659	100.0%

問 14. 出生率の低下が社会問題となっていますが、あなたは何が原因だと思いますか。(3つまで)

	回答数	比率
結婚しない人が増えているから	361	54.8%
晩婚化が進むなど、年齢的な理由から	267	40.5%
出産・子育ての身体的・心理的負担が大きいから	159	24.1%
出産・子育てにお金がかかるから	262	39.8%
仕事と子育ての両立が難しいから	333	50.5%
子育てに結婚相手の協力がいないから	33	5.0%
地域の子育てサービス不足など、 子育てをする社会環境がよくないから	102	15.5%
子育て以外に時間を使いたいと考える人が増えているから	226	34.3%
その他	35	5.3%
わからない	10	1.5%
無効回答	4	0.6%
無回答	4	0.6%
回答者数	659	100.0%
総回答数	1796	272.5%

健康・介護について

問 15. あなたは、平成 18 年度(平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月)の 1 年間で、病院および職場、学校等での健康診断を受診しましたか。(1つ)

	回答数	比率
受診した	505	76.6%
受診していない	152	23.1%
無回答	2	0.3%
総計	659	100.0%

問 15-1. 問 15 で「2. 受診していない」と答えた方にお聞きします。
なぜ、受診しなかったのですか。(1つ)

	回答数	比率
受診する機会がなかったから	68	44.7%
健康には、自信があるから	12	7.9%
忙しくて受ける暇がなかったから	24	15.8%
経済的にゆとりがないから	7	4.6%
健康診断は好まないから	24	15.8%
その他	14	9.2%
無効回答	2	1.3%
無回答	1	0.7%
総計	152	100.0%

問 16. あなたの家庭に、常時介護の必要な方はいますか。(1つ)

	回答数	比率
はい	84	12.7%
いいえ	564	85.6%
無回答	11	1.7%
総計	659	100.0%

問 16-1. 問 16 で「1. はい」と答えた方にお聞きします。
 その方の世話は誰がしていますか。(主なもの2つまで)

	回答数	比率
夫	19	22.6%
妻	29	34.5%
息子	5	6.0%
娘	13	15.5%
子ども全員	3	3.6%
息子の妻	16	19.0%
娘の夫	1	1.2%
親	7	8.3%
ホームヘルパー	6	7.1%
介護施設、老人ホーム等	31	36.9%
近所や地域の人	1	1.2%
その他	2	2.4%
無効回答	2	2.4%
回答者数	84	100.0%
総回答数	135	160.7%

問 17. あなたは将来、誰に介護してほしいと思いますか。(2つまで)

	回答数	比率
夫	149	22.6%
妻	203	30.8%
息子	49	7.4%
娘	131	19.9%
子ども全員	94	14.3%
息子の妻	38	5.8%
娘の夫	2	0.3%
親	2	0.3%
ホームヘルパー	106	16.1%
介護施設、老人ホーム等	265	40.2%
近所や地域の人	2	0.3%
その他	32	4.9%
無効回答	1	0.2%
無回答	6	0.9%
回答者数	659	100.0%
総回答数	1080	163.9%

就労について

問 18. あなたは現在、収入を得る仕事(産前・産後休暇、育児・介護休業中も含む)をしていますか。(1つ)

	回答数	比率
している	392	59.5%
していない	242	36.7%
無回答	25	3.8%
総計	659	100.0%

問 18-1. 問 18 で「1. している」と答えた方にお聞きします。
 あなたが働いているのはどのような理由からですか。(2つまで)

	回答数	比率
生計を維持するため	222	56.6%
家計の足しにするため	66	16.8%
教育資金を得るため	21	5.4%
住宅ローン等借金の返済のため	40	10.2%
将来に備えて貯蓄するため	65	16.6%
自分で自由に使えるお金を得るため	49	12.5%
生きがいを得るため	38	9.7%
能力・技能・資格を生かすため	20	5.1%
視野を広げ、友人を得るため	14	3.6%
社会に貢献するため	15	3.8%
仕事をするのが好きだから	21	5.4%
働くのが当然だから	69	17.6%
時間的に余裕があるから	24	6.1%
家業であるから	27	6.9%
その他	3	0.8%
特に理由はない	2	0.5%
無効回答	10	2.6%
無回答	11	2.8%
回答者数	392	100.0%
総回答数	717	182.9%

問 18-2. 問 18 で「1. している」と答えた方にお聞きします。
 あなたの働いているところでは、男性と女性は平等だと思いますか。(1つ)

	回答数	比率
平等である	206	52.6%
女性の方が優遇されている	16	4.1%
男性の方が優遇されている	148	37.8%
無効回答	1	0.3%
無回答	21	5.4%
総計	392	100.0%

問 18-3. 問 18-2 で「2. 女性の方が優遇されている」「3. 男性の方が優遇されている」と答えた方にお聞きします。
 あなたが働いているところで、男女が平等だと思わないのはどのようなことですか。(あてはまるものすべて)

	回答数	比率
賃金	82	50.0%
昇進、昇格	78	47.6%
能力評価	56	34.1%
採用時の条件	24	14.6%
補助的な仕事しかやらせてもらえない	24	14.6%
定年まで勤め続けにくい雰囲気がある	18	11.0%
結婚したり子どもが生まれたりすると、 勤め続けにくい雰囲気がある	21	12.8%
教育訓練を受ける機会に差がある	10	6.1%
その他	18	11.0%
わからない	9	5.5%
無回答	1	0.6%
回答者数	164	100.0%
総回答数	341	207.9%

問 18-4. 問 18 で「2. していない」と答えた方にお聞きします。

今後適当な形の仕事があれば働きたいですか。働きたい仕事の形を選んでください。(1つ)

	回答数	比率
常勤の仕事(正規従業員)	23	9.5%
パートタイム、アルバイト、非常勤など	51	21.1%
派遣の仕事	2	0.8%
自由業、自営業、家族従業など個人で働きたい	8	3.3%
在宅で働きたい(内職やインターネット等を活用して)	13	5.4%
その他	28	11.6%
働きたいとは思わない	104	43.0%
無効回答	1	0.4%
無回答	12	5.0%
総計	242	100.0%

問 19. 女性が職業をもつことについてあなたはどのように思いますか。(1つ)

	回答数	比率
結婚して子どもが生まれた後も、職業をもち続ける方がいい	136	20.6%
結婚するまでは職業をもつが、その後はもたない方がいい	17	2.6%
結婚して子どもができるまでは職業をもつが、その後はもたない方がいい	31	4.7%
結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業をもつ方がいい	396	60.1%
職業は一生もたない方がいい	1	0.2%
その他	30	4.6%
わからない	30	4.6%
無効回答	4	0.6%
無回答	14	2.1%
総計	659	100.0%

問 20. 女性が働き続けていくうえで、大きな障害になっているのは何だと思えますか。(3つまで)

	回答数	比率
家族の協力や理解が得にくいこと	253	38.4%
家事や育児との両立が難しいこと	530	80.4%
老人や病人の介護・看護があること	202	30.7%
企業が女性に責任ある仕事を任せないこと	56	8.5%
企業が結婚・出産した女性の雇いをきらい傾向があること	171	25.9%
育児休業制度などの条件が整っていないこと	250	37.9%
女性自身の就労に対する意識が低いこと	87	13.2%
その他	22	3.3%
特に障害はないと思う	11	1.7%
無回答	24	3.6%
回答者数	659	100.0%
総回答数	1606	243.7%

問 21. あなたは、次の制度の内容についてご存じですか。また実際に取得したことがありますか。
(それぞれ1つずつ)

内容を知っているか

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
育児休業制度	246	37.3%	234	35.5%	105	15.9%	41	6.2%	33	5.0%	659	100.0%
介護休業制度	122	18.5%	169	25.6%	150	22.8%	178	27.0%	40	6.1%	659	100.0%

取得したことがあるか

	取得したことがある		取得したことがない		取得の対象となる者がいない		無効回答		無回答		総計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
育児休業制度	25	3.8%	316	48.0%	238	36.1%	2	0.3%	78	11.8%	659	100.0%
介護休業制度	3	0.5%	276	41.9%	297	45.1%	1	0.2%	82	12.4%	659	100.0%

ドメスティック・バイオレンス(結婚相手・恋人などからの暴力)、セクシュアル・ハラスメントなどについて

問 22. あなたは、次の言葉および法律の内容についてご存じですか。(~ のそれぞれについて1つずつ)

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
ドメスティック・バイオレンス	259	39.3%	202	30.7%	89	13.5%	87	13.2%	22	3.3%	659	100.0%
DV防止法	155	23.5%	192	29.1%	138	20.9%	148	22.5%	26	3.9%	659	100.0%
セクシュアル・ハラスメント	302	45.8%	212	32.2%	56	8.5%	65	9.9%	24	3.6%	659	100.0%

問 23. あなたはこれまでに、結婚相手や恋人から暴力を受けた経験がありますか。(1つ)

	回答数	比率
ある	54	8.2%
ない	582	88.3%
無回答	23	3.5%
総計	659	100.0%

問 23-1. 問 23 で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

その暴力はどのようなものでしたか。(これまでの状況および現在の状況の各 ~ のそれぞれについて1つずつ)

これまで

	何度もあった		1・2度あった		ない		無回答		総計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
命の危険を感じるくらい暴行を受ける	4	7.4%	3	5.6%	32	59.3%	15	27.8%	54	100.0%
医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける	0	0.0%	8	14.8%	30	55.6%	16	29.6%	54	100.0%
医師の治療が必要とならない程度の暴行を受ける	6	11.1%	10	18.5%	21	38.9%	17	31.5%	54	100.0%
足で蹴られる	10	18.5%	9	16.7%	23	42.6%	12	22.2%	54	100.0%
手でたたかれる	13	24.1%	23	42.6%	11	20.4%	7	13.0%	54	100.0%
殴るふりをして、おどされる	8	14.8%	12	22.2%	18	33.3%	16	29.6%	54	100.0%
何を言っても無視され続ける	9	16.7%	15	27.8%	15	27.8%	15	27.8%	54	100.0%
いやがっているのに性的行為を強要される	7	13.0%	6	11.1%	25	46.3%	16	29.6%	54	100.0%
見たくないのに、ポルノビデオ・雑誌を見せられる	2	3.7%	1	1.9%	35	64.8%	16	29.6%	54	100.0%
交友関係や電話、メール等を細かく監視される	5	9.3%	1	1.9%	32	59.3%	16	29.6%	54	100.0%
生活費を渡さないなど、経済的におさえつけられる	6	11.1%	5	9.3%	28	51.9%	15	27.8%	54	100.0%
大声でどなられたり、暴言を吐かれる	20	37.0%	15	27.8%	10	18.5%	9	16.7%	54	100.0%

現在

	現在もある		現在はない		無効回答		無回答		総計	
命の危険を感じるくらい暴行を受ける	0	0.0%	34	63.0%	0	0.0%	20	37.0%	54	100.0%
医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける	0	0.0%	34	63.0%	0	0.0%	20	37.0%	54	100.0%
医師の治療が必要とならない程度の暴行を受ける	1	1.9%	33	61.1%	0	0.0%	20	37.0%	54	100.0%
足で蹴られる	4	7.4%	30	55.6%	0	0.0%	20	37.0%	54	100.0%
手でたたかれる	7	13.0%	33	61.1%	0	0.0%	14	25.9%	54	100.0%
殴るふりをして、おどされる	5	9.3%	30	55.6%	0	0.0%	19	35.2%	54	100.0%
何を言っても無視され続ける	5	9.3%	29	53.7%	0	0.0%	20	37.0%	54	100.0%
いやがっているのに性的行為を強要される	1	1.9%	31	57.4%	0	0.0%	22	40.7%	54	100.0%
見たくないのに、ポルノビデオ・雑誌を見せられる	1	1.9%	31	57.4%	0	0.0%	22	40.7%	54	100.0%
交友関係や電話、メール等を細かく監視される	3	5.6%	29	53.7%	0	0.0%	22	40.7%	54	100.0%
生活費を渡さないなど、経済的におさえつけられる	2	3.7%	30	55.6%	0	0.0%	22	40.7%	54	100.0%
大声でどなられたり、暴言を吐かれる	14	25.9%	23	42.6%	0	0.0%	17	31.5%	54	100.0%

問 23-2. 問 23 で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

暴力を受けたとき誰かに相談しましたか。(1つ)

	回答数	比率
相談した	6	11.1%
相談しなかった	39	72.2%
無回答	9	16.7%
総計	54	100.0%

問 23-3. 問 23-2 で「1. 相談した」と答えた方にお聞きします。

どのような所および人に相談しましたか。(あてはまるものすべて)

	回答数	比率
配偶者暴力相談支援センター「三重県女性相談所」	0	0.0%
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ相談室」	0	0.0%
三重県の相談窓口「三重県人権センター」など	0	0.0%
亀山市総合保健福祉センターあいあい「女性相談」	0	0.0%
亀山市の相談窓口「くらし・男女の行政相談」など	0	0.0%
警察	0	0.0%
弁護士	1	16.7%
医師など医療関係者	0	0.0%
婦人相談員	0	0.0%
人権擁護委員	0	0.0%
民間支援団体	0	0.0%
親族	6	100.0%
友人・知人	2	33.3%
その他	0	0.0%
回答者数	6	100.0%
総回答数	9	150.0%

問 23-4. 問 23-2 で「2. 相談しなかった」と答えた方にお聞きします。
 どこ(誰)にも相談しなかったのはなぜですか。(あてはまるものすべて)

	回答数	比率
誰も相談する人がいなかったから	9	23.1%
どこ(誰)に相談してよいのかわからなかったから	2	5.1%
恥ずかしくて誰にも言えなかったから	6	15.4%
相談しても無駄だと思ったから	17	43.6%
相談したことがわかると仕返しを受けたり、 もっとひどい暴力を受けると思ったから	2	5.1%
相談先の担当者や相談者の言動により 不快な思いをすと思ったから	0	0.0%
自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから	12	30.8%
世間体が悪いから	4	10.3%
他人を巻きこみたくなかったから	4	10.3%
相談するほどのことではないと思ったから	15	38.5%
その他	2	5.1%
無回答	1	2.6%
回答者数	39	100.0%
総回答数	74	189.7%

問 24. 結婚相手や恋人から暴力を受けたときに相談できる機関や関係者などの窓口のなかで、そのような相談ができることを知っていたものはどれですか。(あてはまるものすべて)

	回答数	比率
配偶者暴力相談支援センター「三重県女性相談所」	59	9.0%
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ相談室」	52	7.9%
三重県人権センター	154	23.4%
亀山市総合保健福祉センターあいあい「女性相談」	109	16.5%
亀山市役所「くらし・男女の行政相談」	88	13.4%
警察	340	51.6%
弁護士	170	25.8%
医師など医療関係者	57	8.6%
婦人相談員	28	4.2%
人権擁護委員	100	15.2%
民間支援団体	24	3.6%
その他	5	0.8%
知っている相談窓口はない	81	12.3%
無回答	127	19.3%
回答者数	659	100.0%
総回答数	1394	211.5%

問 25. あなたがセクシュアル・ハラスメントだと思うことはどれですか。(あてはまるものすべて)

	回答数	比率
地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する	502	76.2%
相手がいやがっているのに、肩に手をかけたり、身体に触る	512	77.7%
宴席で、お酌やデュエット、ダンス等を強要する	325	49.3%
容姿に関して繰り返し言う	326	49.5%
相手がいやがっているのに性的な冗談を言う	439	66.6%
職場や学校、集会などの場でわいせつな話をする	251	38.1%
ヌードの写真やポスター、カレンダーなどを人目のつくところに貼る	234	35.5%
結婚予定や出産予定をたびたび聞く	156	23.7%
その他	7	1.1%
特にない	15	2.3%
わからない	27	4.1%
無回答	63	9.6%
回答者数	659	100.0%
総回答数	2857	433.5%

問 26. 近年において、性犯罪や売買春(いわゆる「援助交際」を含む)、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント等についての関心が高まっていますが、このようなことをなくすためにはどうしたらよいと思いますか。(3つまで)

	回答数	比率
法律・制度の制定や見直しを行う	204	31.0%
犯罪の取締りを強化する	224	34.0%
捜査や裁判での担当者に女性を増やし 被害女性が届けやすいようにする	211	32.0%
被害女性を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる	52	7.9%
被害女性のための相談所や保護施設を整備する	231	35.1%
学校・家庭における男女平等や性についての教育を 充実させる	137	20.8%
性別や人種・障がいの有無による差別、同和問題などの あらゆる差別を許さないよう、人権尊重についての教育を 学校、家庭において充実させる	166	25.2%
メディア(新聞・テレビ等)が自主的に倫理規定を強化する	99	15.0%
過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や 貸出を制限する	182	27.6%
その他	14	2.1%
特に対策の必要はない	4	0.6%
わからない	39	5.9%
無効回答	23	3.5%
無回答	42	6.4%
回答者数	659	100.0%
総回答数	1628	247.0%

社会参加について

問 27. あなたは現在、地域における社会活動に参加していますか。(1つ)

	回答数	比率
参加している	278	42.2%
参加していない	355	53.9%
無回答	26	3.9%
総計	659	100.0%

問 27-1. 問 27 で「1. 参加している」と答えた方にお聞きします。
 あなたが参加している社会活動はどのようなものですか。(あてはまるものすべて)

	回答数	比率
県・市の審議会・委員会	13	4.7%
町内会、自治会等の活動	209	75.2%
PTA活動	72	25.9%
子ども会・青少年グループの世話	41	14.7%
青年団体・女性団体・老人団体などの活動	52	18.7%
消費者団体・生活協同組合などの消費者活動	12	4.3%
NPO団体などのボランティア活動	20	7.2%
その他	10	3.6%
回答者数	278	100.0%
総回答数	429	154.3%

問 27-2. 問 27 で「2. 参加していない」と答えた方にお聞きします。
 社会活動に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべて)

	回答数	比率
家事・育児・子どもの教育が忙しくて余裕がない	42	11.8%
老人や病人の世話がある	36	10.1%
家族の理解・協力がでない	6	1.7%
仕事が忙しく余裕がない	122	34.4%
活動に経費がかかる	8	2.3%
どんな活動があるのかよくわからない	144	40.6%
その他	78	22.0%
無回答	10	2.8%
回答者数	355	100.0%
総回答数	446	125.6%

問 28. 今後、男性・女性がともに、家事、子育て、教育、介護および地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで)

	回答数	比率
男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	234	35.5%
仕事中心という社会全体の仕組みを改めること	213	32.3%
男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること	143	21.7%
妻が、夫に経済力や出世を求めないこと	33	5.0%
労働時間短縮や休暇制度を普及させること	223	33.8%
男性の男女共同参画に対する関心を高めること	110	16.7%
夫婦の間で家事などの役割分担をするように十分に話し合うこと	134	20.3%
夫が家事などをすることに妻が協力すること	35	5.3%
男性が家事などに参加することに対する抵抗感をなくすこと	122	18.5%
仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること	36	5.5%
子どもに対して家事などを自分でできるようなしつけや育て方をすること	155	23.5%
子どもへの教育の中で、男女共同参画の必要性を教えること	98	14.9%
その他	18	2.7%
わからない	37	5.6%
無効回答	16	2.4%
無回答	31	4.7%
回答者数	659	100.0%
総回答数	1638	248.6%

男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて

問 29. 政治や行政における、政策の企画や方針決定の過程への女性の参画は、徐々に改善はされているものの、依然として少ないのが現状です。あなたは、このような女性の参画が少ない状況は何が原因だと思いますか。(3つまで)

	回答数	比率
家庭・職場・地域における、性別による役割分担や性差別の意識	311	47.2%
男性優位の組織運営	361	54.8%
家族の支援・協力が得られない	139	21.1%
女性の能力開発の機会が不十分	120	18.2%
女性側の積極性が十分ではない	209	31.7%
女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない	290	44.0%
その他	15	2.3%
わからない	52	7.9%
無効回答	1	0.2%
無回答	37	5.6%
回答者数	659	100.0%
総回答数	1535	232.9%

問 30. 男女共同参画を推進していくために、今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(3つまで)

	回答数	比率
男女共同参画をめざした法律・条例・制度の制定や見直しを行う	182	27.6%
女性を政策決定の場に積極的に登用する	184	27.9%
各種団体の女性リーダーを養成する	86	13.1%
職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底を行う	152	23.1%
女性が経済力をつけるための知識や技術を習得するための職業教育・訓練を充実する	110	16.7%
保育、介護の施設やサービスを充実する	284	43.1%
学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	175	26.6%
女性の生き方に関する情報提供や交流、相談、教育などの場を充実する	95	14.4%
男性に対する意識啓発や研修を充実する	61	9.3%
広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてのPRを充実する	90	13.7%
その他	10	1.5%
特にない	20	3.0%
わからない	52	7.9%
無効回答	4	0.6%
無回答	40	6.1%
回答者数	659	100.0%
総回答数	1545	234.4%

クロス集計表

【男女別】

男女共同参画社会について

問7. あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。(1つ)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
知っている	162	55.5%	165	45.8%	1	14.3%	328	49.8%
聞いたことはあるが、意味は知らなかった	72	24.7%	116	32.2%	1	14.3%	189	28.7%
知らなかった	56	19.2%	74	20.6%	0	0.0%	130	19.7%
無回答	2	0.7%	5	1.4%	5	71.4%	12	1.8%
総計	292	100.0%	360	100.0%	7	100.0%	659	100.0%

男女平等について

問8. あなたは、次にあげる分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。
(~ のそれぞれについて1つずつ)

【男】

	男性の方が優遇されている		どちらかといえば男性の方が優遇されている		平等である		どちらかといえば女性の方が優遇されている		女性の方が優遇されている		わからない		無効回答		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
家庭のなかで	34	11.6%	119	40.8%	110	37.7%	10	3.4%	3	1.0%	9	3.1%	1	0.3%	6	2.1%	292	100.0%
職場のなかで	56	19.2%	111	38.0%	60	20.5%	18	6.2%	3	1.0%	19	6.5%	1	0.3%	24	8.2%	292	100.0%
学校のなかで	2	0.7%	27	9.2%	161	55.1%	14	4.8%	2	0.7%	51	17.5%	0	0.0%	35	12.0%	292	100.0%
地域のなかで	23	7.9%	125	42.8%	84	28.8%	18	6.2%	1	0.3%	26	8.9%	1	0.3%	14	4.8%	292	100.0%
社会通念や風潮で	41	14.0%	138	47.3%	61	20.9%	17	5.8%	2	0.7%	18	6.2%	0	0.0%	15	5.1%	292	100.0%
法律や制度の上で	17	5.8%	74	25.3%	137	46.9%	22	7.5%	3	1.0%	22	7.5%	1	0.3%	16	5.5%	292	100.0%
政治(政策決定)の場で	42	14.4%	93	31.8%	104	35.6%	8	2.7%	0	0.0%	31	10.6%	0	0.0%	14	4.8%	292	100.0%
社会全体で	34	11.6%	141	48.3%	66	22.6%	13	4.5%	2	0.7%	21	7.2%	1	0.3%	14	4.8%	292	100.0%

【女】

	男性の方が優遇されている		どちらかといえば男性の方が優遇されている		平等である		どちらかといえば女性の方が優遇されている		女性の方が優遇されている		わからない		無効回答		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
家庭のなかで	82	22.8%	139	38.6%	80	22.2%	19	5.3%	6	1.7%	17	4.7%	3	0.8%	14	3.9%	360	100.0%
職場のなかで	94	26.1%	114	31.7%	52	14.4%	13	3.6%	4	1.1%	43	11.9%	1	0.3%	39	10.8%	360	100.0%
学校のなかで	9	2.5%	40	11.1%	161	44.7%	3	0.8%	4	1.1%	83	23.1%	1	0.3%	59	16.4%	360	100.0%
地域のなかで	58	16.1%	134	37.2%	69	19.2%	15	4.2%	2	0.6%	52	14.4%	2	0.6%	28	7.8%	360	100.0%
社会通念や風潮で	92	25.6%	153	42.5%	29	8.1%	10	2.8%	6	1.7%	36	10.0%	0	0.0%	34	9.4%	360	100.0%
法律や制度の上で	57	15.8%	119	33.1%	81	22.5%	10	2.8%	6	1.7%	55	15.3%	2	0.6%	30	8.3%	360	100.0%
政治(政策決定)の場で	93	25.8%	131	36.4%	54	15.0%	3	0.8%	3	0.8%	45	12.5%	0	0.0%	31	8.6%	360	100.0%
社会全体で	67	18.6%	182	50.6%	31	8.6%	10	2.8%	3	0.8%	39	10.8%	2	0.6%	26	7.2%	360	100.0%

問9.「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。(1つ)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
同感する	36	12.3%	27	7.5%	0	0.0%	63	9.6%
どちらかといえば同感する	127	43.5%	133	36.9%	4	57.1%	264	40.1%
どちらかといえば同感しない	54	18.5%	71	19.7%	1	14.3%	126	19.1%
同感しない	59	20.2%	97	26.9%	2	28.6%	158	24.0%
わからない	16	5.5%	18	5.0%	0	0.0%	34	5.2%
無回答	0	0.0%	14	3.9%	0	0.0%	14	2.1%
総計	292	100.0%	360	100.0%	7	100.0%	659	100.0%

家庭生活について

問11. あなたは、もし一人暮らし生活になったら、炊事、洗濯、掃除などの家事全般ができますか。(1つ)

[男]

	~29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
炊事、洗濯、掃除など1人で家事全般ができ、暮らしていくのに支障はない	10	47.6%	17	43.6%	20	57.1%	28	39.4%	24	30.8%	9	19.1%	1	100.0%	109	37.3%
炊事、洗濯、掃除など少しはできるが、暮らしていくには少し支障が出る	10	47.6%	18	46.2%	9	25.7%	30	42.3%	37	47.4%	19	40.4%	0	0.0%	123	42.1%
炊事、洗濯、掃除などあまりしたことがなく、暮らしていくには支障が出る	1	4.8%	4	10.3%	6	17.1%	13	18.3%	16	20.5%	18	38.3%	0	0.0%	58	19.9%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	1	2.1%	0	0.0%	2	0.7%
総計	21	100.0%	39	100.0%	35	100.0%	71	100.0%	78	100.0%	47	100.0%	1	100.0%	292	100.0%

[女]

	~29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
炊事、洗濯、掃除など1人で家事全般ができ、暮らしていくのに支障はない	30	62.5%	54	90.0%	51	96.2%	59	86.8%	57	81.4%	36	60.0%	1	100.0%	288	80.0%
炊事、洗濯、掃除など少しはできるが、暮らしていくには少し支障が出る	12	25.0%	5	8.3%	1	1.9%	4	5.9%	9	12.9%	15	25.0%	0	0.0%	46	12.8%
炊事、洗濯、掃除などあまりしたことがなく、暮らしていくには支障が出る	4	8.3%	1	1.7%	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%	6	10.0%	0	0.0%	12	3.3%
その他	1	2.1%	0	0.0%	1	1.9%	4	5.9%	1	1.4%	2	3.3%	0	0.0%	9	2.5%
無回答	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.3%	1	1.7%	0	0.0%	5	1.4%
総計	48	100.0%	60	100.0%	53	100.0%	68	100.0%	70	100.0%	60	100.0%	1	100.0%	360	100.0%

子育てについて

問 12. 子育てについて、あなたの意見にもっとも近いものはどれですか。

(~ のそれぞれについて1つずつ)

【男】

	そう思う		どちらかといえばそう思う		どちらかといえばそう思わない		そう思わない		わからない		無回答		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	157	53.8%	96	32.9%	12	4.1%	12	4.1%	8	2.7%	7	2.4%	292	100.0%
子どもの世話の大部分は、男親にもできる	36	12.3%	84	28.8%	90	30.8%	58	19.9%	15	5.1%	9	3.1%	292	100.0%
必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	52	17.8%	72	24.7%	48	16.4%	69	23.6%	38	13.0%	13	4.5%	292	100.0%
男の子は家事ができるように育てるのがよい	74	25.3%	136	46.6%	29	9.9%	25	8.6%	19	6.5%	9	3.1%	292	100.0%
女の子は家事ができるように育てるのがよい	175	59.9%	92	31.5%	3	1.0%	6	2.1%	9	3.1%	7	2.4%	292	100.0%
男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	198	67.8%	71	24.3%	5	1.7%	4	1.4%	6	2.1%	8	2.7%	292	100.0%
女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	100	34.2%	140	47.9%	23	7.9%	9	3.1%	11	3.8%	9	3.1%	292	100.0%

【女】

	そう思う		どちらかといえばそう思う		どちらかといえばそう思わない		そう思わない		わからない		無回答		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	174	48.3%	133	36.9%	9	2.5%	24	6.7%	5	1.4%	15	4.2%	360	100.0%
子どもの世話の大部分は、男親にもできる	80	22.2%	128	35.6%	69	19.2%	47	13.1%	15	4.2%	21	5.8%	360	100.0%
必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	125	34.7%	128	35.6%	22	6.1%	31	8.6%	29	8.1%	25	6.9%	360	100.0%
男の子は家事ができるように育てるのがよい	155	43.1%	151	41.9%	18	5.0%	9	2.5%	8	2.2%	19	5.3%	360	100.0%
女の子は家事ができるように育てるのがよい	267	74.2%	74	20.6%	0	0.0%	2	0.6%	5	1.4%	12	3.3%	360	100.0%
男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	251	69.7%	83	23.1%	2	0.6%	2	0.6%	8	2.2%	14	3.9%	360	100.0%
女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	172	47.8%	127	35.3%	27	7.5%	6	1.7%	11	3.1%	17	4.7%	360	100.0%

問 13. 子育てに関する地域活動に参加したことがありますか。(あてはまるものすべて)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
子ども見守り活動	46	15.8%	49	13.6%	0	0.0%	95	14.4%
PTA や子ども会などの活動	117	40.1%	181	50.3%	5	71.4%	303	46.0%
スポーツ少年団などの指導活動	43	14.7%	35	9.7%	0	0.0%	78	11.8%
子育て支援の活動	9	3.1%	37	10.3%	0	0.0%	46	7.0%
子ども居場所づくりの活動	13	4.5%	17	4.7%	0	0.0%	30	4.6%
教育協議会の活動	24	8.2%	35	9.7%	0	0.0%	59	9.0%
その他	8	2.7%	9	2.5%	0	0.0%	17	2.6%
特になし	124	42.5%	129	35.8%	2	28.6%	255	38.7%
無回答	13	4.5%	19	5.3%	0	0.0%	32	4.9%
回答者数	292	100.0%	360	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	397	136.0%	511	141.9%	7	100.0%	915	138.8%

問 14. 出生率の低下が社会問題となっていますが、あなたは何が原因だと思いますか。(3つまで)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
結婚しない人が増えているから	158	54.1%	199	55.3%	4	57.1%	361	54.8%
晩婚化が進むなど、年齢的な理由から	120	41.1%	144	40.0%	3	42.9%	267	40.5%
出産・子育ての身体的・心理的負担が大きいため	71	24.3%	87	24.2%	1	14.3%	159	24.1%
出産・子育てにお金がかかるから	115	39.4%	144	40.0%	3	42.9%	262	39.8%
仕事と子育ての両立が難しいから	137	46.9%	190	52.8%	6	85.7%	333	50.5%
子育てに結婚相手の協力がいないから	10	3.4%	22	6.1%	1	14.3%	33	5.0%
地域の子育てサービス不足など、子育てをする社会環境がよくないから	50	17.1%	51	14.2%	1	14.3%	102	15.5%
子育て以外に時間を使いたいと考える人が増えているから	93	31.8%	132	36.7%	1	14.3%	226	34.3%
その他	22	7.5%	13	3.6%	0	0.0%	35	5.3%
わからない	6	2.1%	4	1.1%	0	0.0%	10	1.5%
無効回答	0	0.0%	4	1.1%	0	0.0%	4	0.6%
無回答	1	0.3%	3	0.8%	0	0.0%	4	0.6%
回答者数	292	100.0%	360	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	783	268.2%	993	275.8%	20	285.7%	1796	272.5%

健康・介護について

問 15. あなたは、平成 18 年度(平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月)の 1 年間で、病院および職場、学校等での健康診断を受診しましたか。(1つ)

【男】

	～29 歳		30 歳代		40 歳代		50 歳代		60 歳代		70 歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
受診した	18	85.7%	35	89.7%	34	97.1%	62	87.3%	61	78.2%	36	76.6%	1	100.0%	247	84.6%
受診していない	3	14.3%	4	10.3%	1	2.9%	9	12.7%	17	21.8%	11	23.4%	0	0.0%	45	15.4%
総計	21	100.0%	39	100.0%	35	100.0%	71	100.0%	78	100.0%	47	100.0%	1	100.0%	292	100.0%

【女】

	～29 歳		30 歳代		40 歳代		50 歳代		60 歳代		70 歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
受診した	32	66.7%	34	56.7%	34	64.2%	49	72.1%	54	77.1%	48	80.0%	1	100.0%	252	70.0%
受診していない	16	33.3%	25	41.7%	19	35.8%	19	27.9%	15	21.4%	12	20.0%	0	0.0%	106	29.4%
無回答	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.6%
総計	48	100.0%	60	100.0%	53	100.0%	68	100.0%	70	100.0%	60	100.0%	1	100.0%	360	100.0%

問 15-1. 問 15 で「2. 受診していない」と答えた方にお聞きます。
なぜ、受診しなかったのですか。(1つ)

【男】

	～29 歳		30 歳代		40 歳代		50 歳代		60 歳代		70 歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
受診する機会がなかったから	2	66.7%	3	75.0%	0	0.0%	5	55.6%	5	29.4%	6	54.5%	21	46.7%
健康には、自信があるから	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%	3	27.3%	5	11.1%
忙しくて受ける暇がなかったから	0	0.0%	1	25.0%	1	100.0%	2	22.2%	1	5.9%	0	0.0%	5	11.1%
経済的にゆとりがないから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	1	5.9%	0	0.0%	2	4.4%
健康診断は好まないから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	4	23.5%	0	0.0%	5	11.1%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	23.5%	1	9.1%	5	11.1%
無効回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	9.1%	1	2.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%	0	0.0%	1	2.2%
総計	3	100.0%	4	100.0%	1	100.0%	9	100.0%	17	100.0%	11	100.0%	45	100.0%

【女】

	～29 歳		30 歳代		40 歳代		50 歳代		60 歳代		70 歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
受診する機会がなかったから	9	56.3%	16	64.0%	6	31.6%	7	36.8%	5	33.3%	3	25.0%	46	43.4%
健康には、自信があるから	0	0.0%	2	8.0%	1	5.3%	3	15.8%	1	6.7%	0	0.0%	7	6.6%
忙しくて受ける暇がなかったから	3	18.8%	5	20.0%	5	26.3%	2	10.5%	1	6.7%	3	25.0%	19	17.9%
経済的にゆとりがないから	0	0.0%	1	4.0%	3	15.8%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	5	4.7%
健康診断は好まないから	0	0.0%	0	0.0%	4	21.1%	5	26.3%	7	46.7%	3	25.0%	19	17.9%
その他	3	18.8%	1	4.0%	0	0.0%	1	5.3%	1	6.7%	3	25.0%	9	8.5%
無効回答	1	6.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%
総計	16	100.0%	25	100.0%	19	100.0%	19	100.0%	15	100.0%	12	100.0%	106	100.0%

問 17. あなたは将来、誰に介護してほしいと思いますか。(2つまで)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
夫	1	0.3%	143	39.7%	5	71.4%	149	22.6%
妻	202	69.2%	1	0.3%	0	0.0%	203	30.8%
息子	23	7.9%	25	6.9%	1	14.3%	49	7.4%
娘	36	12.3%	93	25.8%	2	28.6%	131	19.9%
子ども全員	42	14.4%	51	14.2%	1	14.3%	94	14.3%
息子の妻	9	3.1%	29	8.1%	0	0.0%	38	5.8%
娘の夫	1	0.3%	1	0.3%	0	0.0%	2	0.3%
親	1	0.3%	1	0.3%	0	0.0%	2	0.3%
ホームヘルパー	35	12.0%	69	19.2%	2	28.6%	106	16.1%
介護施設、老人ホーム等	106	36.3%	158	43.9%	1	14.3%	265	40.2%
近所や地域の人	1	0.3%	1	0.3%	0	0.0%	2	0.3%
その他	19	6.5%	13	3.6%	0	0.0%	32	4.9%
無効回答	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	1	0.2%
無回答	4	1.4%	2	0.6%	0	0.0%	6	0.9%
回答者数	292	100.0%	360	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	480	164.4%	588	163.3%	12	171.4%	1080	163.9%

就労について

問 18-1. 問 18 で「1. している」と答えた方にお聞きします。

あなたが働いているのはどのような理由からです。(2つまで)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
生計を維持するため	149	75.3%	71	37.6%	2	40.0%	222	56.6%
家計の足しにするため	14	7.1%	52	27.5%	0	0.0%	66	16.8%
教育資金を得るため	7	3.5%	14	7.4%	0	0.0%	21	5.4%
住宅ローン等借金の返済のため	31	15.7%	9	4.8%	0	0.0%	40	10.2%
将来に備えて貯蓄するため	26	13.1%	39	20.6%	0	0.0%	65	16.6%
自分で自由に使えるお金を得るため	13	6.6%	36	19.0%	0	0.0%	49	12.5%
生きがいを得るため	17	8.6%	20	10.6%	1	20.0%	38	9.7%
能力・技能・資格を生かすため	8	4.0%	12	6.3%	0	0.0%	20	5.1%
視野を広げ、友人を得るため	1	0.5%	13	6.9%	0	0.0%	14	3.6%
社会に貢献するため	10	5.1%	5	2.6%	0	0.0%	15	3.8%
仕事をするのが好きだから	8	4.0%	13	6.9%	0	0.0%	21	5.4%
働くのが当然だから	49	24.7%	19	10.1%	1	20.0%	69	17.6%
時間的に余裕があるから	2	1.0%	22	11.6%	0	0.0%	24	6.1%
家業であるから	13	6.6%	12	6.3%	2	40.0%	27	6.9%
その他	1	0.5%	2	1.1%	0	0.0%	3	0.8%
特に理由はない	1	0.5%	1	0.5%	0	0.0%	2	0.5%
無効回答	6	3.0%	4	2.1%	0	0.0%	10	2.6%
無回答	5	2.5%	5	2.6%	1	20.0%	11	2.8%
回答者数	198	100.0%	189	100.0%	5	100.0%	392	100.0%
総回答数	361	182.3%	349	184.7%	7	140.0%	717	182.9%

問 18-2. 問 18 で「1. している」と答えた方にお聞きます。

あなたの働いているところでは、男性と女性は平等だと思いますか。(1つ)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
平等である	104	52.5%	100	52.9%	2	40.0%	206	52.6%
女性の方が優遇されている	9	4.5%	7	3.7%	0	0.0%	16	4.1%
男性の方が優遇されている	81	40.9%	65	34.4%	2	40.0%	148	37.8%
無効回答	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	1	0.3%
無回答	4	2.0%	16	8.5%	1	20.0%	21	5.4%
総計	198	100.0%	189	100.0%	5	100.0%	392	100.0%

問 18-3. 問 18-2 で「2. 女性の方が優遇されている」「3. 男性の方が優遇されている」と答えた方にお聞きます。あなたが働いているところで、男女が平等だと思わないのはどのようなことですか。(あてはまるものすべて)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
賃金	42	46.7%	39	54.2%	1	50.0%	82	50.0%
昇進、昇格	50	55.6%	28	38.9%	0	0.0%	78	47.6%
能力評価	37	41.1%	18	25.0%	1	50.0%	56	34.1%
採用時の条件	14	15.6%	10	13.9%	0	0.0%	24	14.6%
補助的な仕事しかやらせてもらえない	14	15.6%	8	11.1%	2	100.0%	24	14.6%
定年まで勤め続けにくい雰囲気がある	10	11.1%	8	11.1%	0	0.0%	18	11.0%
結婚したり子どもが生まれたりすると、勤め続けにくい雰囲気がある	12	13.3%	9	12.5%	0	0.0%	21	12.8%
教育訓練を受ける機会に差がある	6	6.7%	4	5.6%	0	0.0%	10	6.1%
その他	9	10.0%	9	12.5%	0	0.0%	18	11.0%
わからない	4	4.4%	5	6.9%	0	0.0%	9	5.5%
無回答	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
回答者数	90	100.0%	72	100.0%	2	100.0%	164	100.0%
総回答数	199	221.1%	138	191.7%	4	200.0%	341	207.9%

問 18-4. 問 18 で「2. していない」と答えた方にお聞きます。

今後適当な形の仕事があれば働きたいですか。働きたい仕事の形を選んでください。(1つ)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
常勤の仕事(正規従業員)	8	9.5%	15	9.6%	0	0.0%	23	9.5%
パートタイム、アルバイト、非常勤など	8	9.5%	42	26.9%	1	50.0%	51	21.1%
派遣の仕事	2	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.8%
自由業、自営業、家族従業など個人で働きたい	7	8.3%	1	0.6%	0	0.0%	8	3.3%
在宅で働きたい(内職やインターネット等を活用して)	4	4.8%	9	5.8%	0	0.0%	13	5.4%
その他	12	14.3%	16	10.3%	0	0.0%	28	11.6%
働きたいとは思わない	39	46.4%	64	41.0%	1	50.0%	104	43.0%
無効回答	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
無回答	4	4.8%	8	5.1%	0	0.0%	12	5.0%
総計	84	100.0%	156	100.0%	2	100.0%	242	100.0%

問 19. 女性が職業をもつことについてあなたはどのように思いますか。(1つ)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
結婚して子どもが生まれた後も、職業をもち続ける方がいい	65	22.3%	70	19.4%	1	14.3%	136	20.6%
結婚するまでは職業をもつが、その後はもたない方がいい	13	4.5%	4	1.1%	0	0.0%	17	2.6%
結婚して子どもができるまでは職業をもつが、その後はもたない方がいい	21	7.2%	10	2.8%	0	0.0%	31	4.7%
結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業をもつ方がいい	154	52.7%	236	65.6%	6	85.7%	396	60.1%
職業は一生もたない方がいい	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	1	0.2%
その他	12	4.1%	18	5.0%	0	0.0%	30	4.6%
わからない	20	6.8%	10	2.8%	0	0.0%	30	4.6%
無効回答	2	0.7%	2	0.6%	0	0.0%	4	0.6%
無回答	5	1.7%	9	2.5%	0	0.0%	14	2.1%
総計	292	100.0%	360	100.0%	7	100.0%	659	100.0%

問 20. 女性が働き続けていくうえで、大きな障害になっているのは何だと思えますか。(3つまで)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
家族の協力や理解が得にくいこと	107	36.6%	140	38.9%	6	85.7%	253	38.4%
家事や育児との両立が難しいこと	235	80.5%	289	80.3%	6	85.7%	530	80.4%
老人や病人の介護・看護があること	73	25.0%	126	35.0%	3	42.9%	202	30.7%
企業が女性に責任ある仕事を任せないこと	38	13.0%	18	5.0%	0	0.0%	56	8.5%
企業が結婚・出産した女性の雇用をきらう傾向があること	77	26.4%	94	26.1%	0	0.0%	171	25.9%
育児休業制度などの条件が整っていないこと	111	38.0%	136	37.8%	3	42.9%	250	37.9%
女性自身の就労に対する意識が低いこと	40	13.7%	46	12.8%	1	14.3%	87	13.2%
その他	6	2.1%	16	4.4%	0	0.0%	22	3.3%
特に障害はないと思う	8	2.7%	3	0.8%	0	0.0%	11	1.7%
無回答	8	2.7%	16	4.4%	0	0.0%	24	3.6%
回答者数	292	100.0%	360	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	703	240.8%	884	245.6%	19	271.4%	1606	243.7%

問 21. あなたは、次の制度の内容についてご存じですか。
また実際に取得したことがありますか。(それぞれ1つずつ)

内容を知っているか
【男】

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
育児休業制度	98	33.6%	111	38.0%	47	16.1%	21	7.2%	15	5.1%	292	100.0%
介護休業制度	52	17.8%	87	29.8%	68	23.3%	66	22.6%	19	6.5%	292	100.0%

【女】

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
育児休業制度	145	40.3%	120	33.3%	57	15.8%	20	5.6%	18	5.0%	360	100.0%
介護休業制度	68	18.9%	80	22.2%	80	22.2%	111	30.8%	21	5.8%	360	100.0%

取得したことがあるか

【男】

	取得したことがある		取得したことがない		取得の対象となる者がいない		無効回答		無回答		総計	
育児休業制度	0	0.0%	146	50.0%	111	38.0%	1	0.3%	34	11.6%	292	100.0%
介護休業制度	1	0.3%	130	44.5%	125	42.8%	1	0.3%	35	12.0%	292	100.0%

【女】

	取得したことがある		取得したことがない		取得の対象となる者がいない		無効回答		無回答		総計	
育児休業制度	25	6.9%	164	45.6%	127	35.3%	1	0.3%	43	11.9%	360	100.0%
介護休業制度	2	0.6%	142	39.4%	170	47.2%	0	0.0%	46	12.8%	360	100.0%

ドメスティック・バイオレンス(結婚相手・恋人などからの暴力)、セクシュアル・ハラスメントなどについて

問 22. あなたは、次の言葉および法律の内容についてご存じですか。(~ のそれぞれについて1つずつ)

【男】

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
ドメスティック・バイオレンス	107	36.6%	103	35.3%	39	13.4%	36	12.3%	7	2.4%	292	100.0%
DV防止法	73	25.0%	89	30.5%	63	21.6%	58	19.9%	9	3.1%	292	100.0%
セクシュアル・ハラスメント	139	47.6%	102	34.9%	21	7.2%	22	7.5%	8	2.7%	292	100.0%

【女】

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
ドメスティック・バイオレンス	150	41.7%	95	26.4%	50	13.9%	50	13.9%	15	4.2%	360	100.0%
DV防止法	81	22.5%	100	27.8%	73	20.3%	89	24.7%	17	4.7%	360	100.0%
セクシュアル・ハラスメント	160	44.4%	107	29.7%	34	9.4%	43	11.9%	16	4.4%	360	100.0%

問 23. あなたはこれまでに、結婚相手や恋人から暴力を受けた経験がありますか。(1つ)

【男】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
ある	0	0.0%	2	5.1%	1	2.9%	2	2.8%	2	2.6%	6	12.8%	0	0.0%	13	4.5%
ない	21	100.0%	37	94.9%	34	97.1%	67	94.4%	70	89.7%	38	80.9%	0	0.0%	267	91.4%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.8%	6	7.7%	3	6.4%	1	100.0%	12	4.1%
総計	21	100.0%	39	100.0%	35	100.0%	71	100.0%	78	100.0%	47	100.0%	1	100.0%	292	100.0%

【女】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
ある	1	2.1%	6	10.0%	6	11.3%	4	5.9%	14	20.0%	10	16.7%	0	0.0%	41	11.4%
ない	47	97.9%	54	90.0%	47	88.7%	63	92.6%	56	80.0%	40	66.7%	1	100.0%	308	85.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%	10	16.7%	0	0.0%	11	3.1%
総計	48	100.0%	60	100.0%	53	100.0%	68	100.0%	70	100.0%	60	100.0%	1	100.0%	360	100.0%

問 24. 結婚相手や恋人から暴力を受けたときに相談できる機関や関係者などの窓口のなかで、そのような相談ができることを知っていたものはどれですか。(あてはまるものすべて)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
配偶者暴力相談支援センター「三重県女性相談所」	20	6.8%	38	10.6%	1	14.3%	59	9.0%
三重県男女共同参画センター「フレんてみえ相談室」	30	10.3%	22	6.1%	0	0.0%	52	7.9%
三重県人権センター	85	29.1%	68	18.9%	1	14.3%	154	23.4%
亀山市総合保健福祉センターあいあい「女性相談」	44	15.1%	64	17.8%	1	14.3%	109	16.5%
亀山市役所「くらし・男女の行政相談」	52	17.8%	36	10.0%	0	0.0%	88	13.4%
警察	158	54.1%	177	49.2%	5	71.4%	340	51.6%
弁護士	86	29.5%	82	22.8%	2	28.6%	170	25.8%
医師など医療関係者	26	8.9%	30	8.3%	1	14.3%	57	8.6%
婦人相談員	7	2.4%	21	5.8%	0	0.0%	28	4.2%
人権擁護委員	57	19.5%	42	11.7%	1	14.3%	100	15.2%
民間支援団体	9	3.1%	15	4.2%	0	0.0%	24	3.6%
その他	2	0.7%	3	0.8%	0	0.0%	5	0.8%
知っている相談窓口はない	35	12.0%	45	12.5%	1	14.3%	81	12.3%
無回答	52	17.8%	74	20.6%	1	14.3%	127	19.3%
回答者数	292	100.0%	360	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	663	227.1%	717	199.2%	14	200.0%	1394	211.5%

問 25. あなたがセクシュアル・ハラスメントだと思うことはどれですか。(あてはまるものすべて)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する	232	79.5%	264	73.3%	6	85.7%	502	76.2%
相手がいやがっているのに、肩に手をかけたり、身体に触る	237	81.2%	269	74.7%	6	85.7%	512	77.7%
宴席で、お酌やデュエット、ダンス等を強要する	173	59.2%	148	41.1%	4	57.1%	325	49.3%
容姿に関して繰り返して言う	161	55.1%	160	44.4%	5	71.4%	326	49.5%
相手がいやがっているのに性的な冗談を言う	211	72.3%	222	61.7%	6	85.7%	439	66.6%
職場や学校、集会などの場でわいせつな話をする	136	46.6%	110	30.6%	5	71.4%	251	38.1%
ヌードの写真やポスター、カレンダーなどを人目のつくところに貼る	132	45.2%	95	26.4%	7	100.0%	234	35.5%
結婚予定や出産予定をたびたび聞く	91	31.2%	62	17.2%	3	42.9%	156	23.7%
その他	3	1.0%	4	1.1%	0	0.0%	7	1.1%
特にない	6	2.1%	9	2.5%	0	0.0%	15	2.3%
わからない	8	2.7%	19	5.3%	0	0.0%	27	4.1%
無回答	23	7.9%	40	11.1%	0	0.0%	63	9.6%
回答者数	292	100.0%	360	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	1413	483.9%	1402	389.4%	42	600.0%	2857	433.5%

問 26. 近年において、性犯罪や売買春(いわゆる「援助交際」を含む)、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント等についての関心が高まっていますが、このようなことをなくすためにはどうしたらよいと思いますか。(3つまで)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
法律・制度の制定や見直しを行う	94	32.2%	107	29.7%	3	42.9%	204	31.0%
犯罪の取締りを強化する	96	32.9%	125	34.7%	3	42.9%	224	34.0%
捜査や裁判での担当者に女性を増やし 被害女性が届けやすいようにする	93	31.8%	117	32.5%	1	14.3%	211	32.0%
被害女性を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる	24	8.2%	28	7.8%	0	0.0%	52	7.9%
被害女性のための相談所や保護施設を整備する	96	32.9%	132	36.7%	3	42.9%	231	35.1%
学校・家庭における男女平等や性についての教育を充実させる	74	25.3%	59	16.4%	4	57.1%	137	20.8%
性別や人種・障がいの有無による差別、同和問題などの あらゆる差別を許さないよう、人権尊重についての教育を 学校、家庭において充実させる	87	29.8%	75	20.8%	4	57.1%	166	25.2%
メディア(新聞・テレビ等)が自主的に倫理規定を強化する	49	16.8%	49	13.6%	1	14.3%	99	15.0%
過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や 貸出を制限する	70	24.0%	110	30.6%	2	28.6%	182	27.6%
その他	9	3.1%	5	1.4%	0	0.0%	14	2.1%
特に対策の必要はない	3	1.0%	1	0.3%	0	0.0%	4	0.6%
わからない	15	5.1%	24	6.7%	0	0.0%	39	5.9%
無効回答	9	3.1%	14	3.9%	0	0.0%	23	3.5%
無回答	14	4.8%	28	7.8%	0	0.0%	42	6.4%
回答者数	292	100.0%	360	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	733	251.0%	874	242.8%	21	300.0%	1628	247.0%

社会参加について

問 27. あなたは現在、地域における社会活動に参加していますか。(1つ)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
参加している	145	49.7%	131	36.4%	2	28.6%	278	42.2%
参加していない	138	47.3%	212	58.9%	5	71.4%	355	53.9%
無回答	9	3.1%	17	4.7%	0	0.0%	26	3.9%
総計	292	100.0%	360	100.0%	7	100.0%	659	100.0%

問 27-1. 問 27 で「1. 参加している」と答えた方にお聞きします。

あなたが参加している社会活動はどのようなものですか。(あてはまるものすべて)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
県・市の審議会・委員会	10	6.9%	3	2.3%	0	0.0%	13	4.7%
町内会、自治会等の活動	120	82.8%	87	66.4%	2	100.0%	209	75.2%
P T A 活動	24	16.6%	48	36.6%	0	0.0%	72	25.9%
子ども会・青少年グループの世話	15	10.3%	26	19.8%	0	0.0%	41	14.7%
青年団体・女性団体・老人団体などの活動	24	16.6%	28	21.4%	0	0.0%	52	18.7%
消費者団体・生活協同組合などの消費者活動	5	3.4%	7	5.3%	0	0.0%	12	4.3%
N P O 団体などのボランティア活動	11	7.6%	9	6.9%	0	0.0%	20	7.2%
その他	10	6.9%	0	0.0%	0	0.0%	10	3.6%
回答者数	145	100.0%	131	100.0%	2	100.0%	278	100.0%
総回答数	219	151.0%	208	158.8%	2	100.0%	429	154.3%

問 27-2. 問 27 で「2. 参加していない」と答えた方にお聞きします。
 社会活動に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべて)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
家事・育児・子どもの教育が忙しくて余裕がない	8	5.8%	32	15.1%	2	40.0%	42	11.8%
老人や病人の世話がある	10	7.2%	25	11.8%	1	20.0%	36	10.1%
家族の理解・協力がでない	1	0.7%	5	2.4%	0	0.0%	6	1.7%
仕事が忙しく余裕がない	55	39.9%	66	31.1%	1	20.0%	122	34.4%
活動に経費がかかる	2	1.4%	6	2.8%	0	0.0%	8	2.3%
どんな活動があるのかよくわからない	53	38.4%	87	41.0%	4	80.0%	144	40.6%
その他	37	26.8%	40	18.9%	1	20.0%	78	22.0%
無回答	3	2.2%	7	3.3%	0	0.0%	10	2.8%
回答者数	138	100.0%	212	100.0%	5	100.0%	355	100.0%
総回答数	169	122.5%	268	126.4%	9	180.0%	446	125.6%

問 28. 今後、男性・女性がともに、家事、子育て、教育、介護および地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	115	39.4%	119	33.1%	0	0.0%	234	35.5%
仕事中心という社会全体の仕組みを改めること	112	38.4%	96	26.7%	5	71.4%	213	32.3%
男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること	73	25.0%	69	19.2%	1	14.3%	143	21.7%
妻が、夫に経済力や出世を求めないこと	16	5.5%	17	4.7%	0	0.0%	33	5.0%
労働時間短縮や休暇制度を普及させること	109	37.3%	111	30.8%	3	42.9%	223	33.8%
男性の男女共同参画に対する関心を高めること	48	16.4%	59	16.4%	3	42.9%	110	16.7%
夫婦の間で家事などの役割分担をするように十分に話し合うこと	51	17.5%	82	22.8%	1	14.3%	134	20.3%
夫が家事などをするに妻が協力すること	14	4.8%	20	5.6%	1	14.3%	35	5.3%
男性が、家事などに参加することに対する抵抗感をなくすこと	38	13.0%	83	23.1%	1	14.3%	122	18.5%
仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること	15	5.1%	20	5.6%	1	14.3%	36	5.5%
子どもに対して家事などを自分でできるようしつけや育て方をすること	43	14.7%	111	30.8%	1	14.3%	155	23.5%
子どもへの教育の中で、男女共同参画の必要性を教えること	36	12.3%	59	16.4%	3	42.9%	98	14.9%
その他	14	4.8%	4	1.1%	0	0.0%	18	2.7%
わからない	19	6.5%	18	5.0%	0	0.0%	37	5.6%
無効回答	8	2.7%	8	2.2%	0	0.0%	16	2.4%
無回答	13	4.5%	18	5.0%	0	0.0%	31	4.7%
回答者数	292	100.0%	360	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	724	247.9%	894	248.3%	20	285.7%	1638	248.6%

男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて

問 29. 政治や行政における、政策の企画や方針決定の過程への女性の参画は、徐々に改善はされているものの、依然として少ないのが現状です。あなたは、このような女性の参画が少ない状況は何が原因だと思いますか。(3つまで)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
家庭・職場・地域における、性別による役割分担や性差別の意識	141	48.3%	167	46.4%	3	42.9%	311	47.2%
男性優位の組織運営	159	54.5%	196	54.4%	6	85.7%	361	54.8%
家族の支援・協力が得られない	63	21.6%	75	20.8%	1	14.3%	139	21.1%
女性の能力開発の機会が不十分	47	16.1%	71	19.7%	2	28.6%	120	18.2%
女性側の積極性が十分ではない	97	33.2%	109	30.3%	3	42.9%	209	31.7%
女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない	131	44.9%	154	42.8%	5	71.4%	290	44.0%
その他	10	3.4%	5	1.4%	0	0.0%	15	2.3%
わからない	20	6.8%	32	8.9%	0	0.0%	52	7.9%
無効回答	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	1	0.2%
無回答	14	4.8%	23	6.4%	0	0.0%	37	5.6%
回答者数	292	100.0%	360	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	682	233.6%	833	231.4%	20	285.7%	1535	232.9%

問 30. 男女共同参画を推進していくために、今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(3つまで)

	男		女		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
男女共同参画をめざした法律・条例・制度の制定や見直しを行う	90	30.8%	90	25.0%	2	28.6%	182	27.6%
女性を政策決定の場に積極的に登用する	91	31.2%	92	25.6%	1	14.3%	184	27.9%
各種団体の女性リーダーを養成する	49	16.8%	35	9.7%	2	28.6%	86	13.1%
職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底を行う	69	23.6%	78	21.7%	5	71.4%	152	23.1%
女性が経済力をつけるための知識や技術を習得するための職業教育・訓練を充実する	36	12.3%	73	20.3%	1	14.3%	110	16.7%
保育、介護の施設やサービスを充実する	107	36.6%	172	47.8%	5	71.4%	284	43.1%
学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	80	27.4%	93	25.8%	2	28.6%	175	26.6%
女性の生き方に関する情報提供や交流、相談、教育などの場を充実する	41	14.0%	53	14.7%	1	14.3%	95	14.4%
男性に対する意識啓発や研修を充実する	35	12.0%	26	7.2%	0	0.0%	61	9.3%
広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてのPRを充実する	48	16.4%	41	11.4%	1	14.3%	90	13.7%
その他	7	2.4%	3	0.8%	0	0.0%	10	1.5%
特になし	10	3.4%	10	2.8%	0	0.0%	20	3.0%
わからない	15	5.1%	37	10.3%	0	0.0%	52	7.9%
無効回答	2	0.7%	2	0.6%	0	0.0%	4	0.6%
無回答	20	6.8%	20	5.6%	0	0.0%	40	6.1%
回答者数	292	100.0%	360	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	700	239.7%	825	229.2%	20	285.7%	1545	234.4%

【年齢別】

男女共同参画社会について

問7. あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。(1つ)

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
知っている	32	46.4%	45	45.5%	48	54.5%	79	56.0%	75	50.7%	47	43.9%	2	28.6%	328	49.8%
聞いたことはあるが、意味は知らなかった	14	20.3%	30	30.3%	26	29.5%	41	29.1%	48	32.4%	30	28.0%	0	0.0%	189	28.7%
知らなかった	22	31.9%	24	24.2%	14	15.9%	19	13.5%	23	15.5%	28	26.2%	0	0.0%	130	19.7%
無回答	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.4%	2	1.4%	2	1.9%	5	71.4%	12	1.8%
総計	69	100.0%	99	100.0%	88	100.0%	141	100.0%	148	100.0%	107	100.0%	7	100.0%	659	100.0%

男女平等について

問8. あなたは、次にあげる分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。

(～のそれぞれについて1つずつ)

【～29歳】

	男性の方が優遇されている		どちらかといえば男性の方が優遇されている		平等である		どちらかといえば女性の方が優遇されている		女性の方が優遇されている		わからない	無効回答	無回答	総計				
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率								
家庭のなかで	8	11.6%	19	27.5%	27	39.1%	6	8.7%	1	1.4%	6	8.7%	0	0.0%	2	2.9%	69	100.0%
職場のなかで	22	31.9%	19	27.5%	13	18.8%	4	5.8%	1	1.4%	8	11.6%	0	0.0%	2	2.9%	69	100.0%
学校のなかで	1	1.4%	10	14.5%	38	55.1%	2	2.9%	1	1.4%	12	17.4%	0	0.0%	5	7.2%	69	100.0%
地域のなかで	7	10.1%	18	26.1%	23	33.3%	2	2.9%	1	1.4%	17	24.6%	0	0.0%	1	1.4%	69	100.0%
社会通念や風潮で	21	30.4%	29	42.0%	5	7.2%	4	5.8%	1	1.4%	7	10.1%	0	0.0%	2	2.9%	69	100.0%
法律や制度の上で	9	13.0%	25	36.2%	16	23.2%	5	7.2%	1	1.4%	12	17.4%	0	0.0%	1	1.4%	69	100.0%
政治(政策決定)の場で	24	34.8%	24	34.8%	7	10.1%	0	0.0%	0	0.0%	13	18.8%	0	0.0%	1	1.4%	69	100.0%
社会全体で	12	17.4%	35	50.7%	6	8.7%	0	0.0%	0	0.0%	14	20.3%	0	0.0%	2	2.9%	69	100.0%

【30歳代】

	男性の方が優遇されている		どちらかといえば男性の方が優遇されている		平等である		どちらかといえば女性の方が優遇されている		女性の方が優遇されている		わからない	無効回答	無回答	総計				
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率								
家庭のなかで	11	11.1%	41	41.4%	40	40.4%	2	2.0%	1	1.0%	4	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	99	100.0%
職場のなかで	23	23.2%	40	40.4%	22	22.2%	3	3.0%	4	4.0%	7	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	99	100.0%
学校のなかで	2	2.0%	9	9.1%	60	60.6%	2	2.0%	1	1.0%	23	23.2%	0	0.0%	2	2.0%	99	100.0%
地域のなかで	4	4.0%	46	46.5%	26	26.3%	5	5.1%	0	0.0%	17	17.2%	0	0.0%	1	1.0%	99	100.0%
社会通念や風潮で	21	21.2%	48	48.5%	15	15.2%	4	4.0%	0	0.0%	11	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	99	100.0%
法律や制度の上で	12	12.1%	36	36.4%	31	31.3%	7	7.1%	1	1.0%	11	11.1%	0	0.0%	1	1.0%	99	100.0%
政治(政策決定)の場で	26	26.3%	35	35.4%	26	26.3%	1	1.0%	0	0.0%	10	10.1%	0	0.0%	1	1.0%	99	100.0%
社会全体で	14	14.1%	56	56.6%	17	17.2%	2	2.0%	1	1.0%	9	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	99	100.0%

[40 歳代]

	男性の方が優遇されている		どちらかといえば男性の方が優遇されている		平等である		どちらかといえば女性の方が優遇されている		女性の方が優遇されている		わからない		無効回答		無回答		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
家庭のなかで	14	15.9%	42	47.7%	22	25.0%	8	9.1%	0	0.0%	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	88	100.0%
職場のなかで	15	17.0%	39	44.3%	24	27.3%	3	3.4%	0	0.0%	7	8.0%	0	0.0%	0	0.0%	88	100.0%
学校のなかで	1	1.1%	13	14.8%	56	63.6%	3	3.4%	1	1.1%	12	13.6%	0	0.0%	2	2.3%	88	100.0%
地域のなかで	18	20.5%	41	46.6%	19	21.6%	0	0.0%	0	0.0%	9	10.2%	1	1.1%	0	0.0%	88	100.0%
社会通念や風潮で	24	27.3%	47	53.4%	11	12.5%	2	2.3%	0	0.0%	2	2.3%	0	0.0%	2	2.3%	88	100.0%
法律や制度の上で	11	12.5%	35	39.8%	34	38.6%	2	2.3%	1	1.1%	5	5.7%	0	0.0%	0	0.0%	88	100.0%
政治(政策決定)の場で	21	23.9%	44	50.0%	17	19.3%	1	1.1%	0	0.0%	5	5.7%	0	0.0%	0	0.0%	88	100.0%
社会全体で	19	21.6%	53	60.2%	10	11.4%	2	2.3%	0	0.0%	4	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	88	100.0%

[50 歳代]

	男性の方が優遇されている		どちらかといえば男性の方が優遇されている		平等である		どちらかといえば女性の方が優遇されている		女性の方が優遇されている		わからない		無効回答		無回答		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
家庭のなかで	32	22.7%	68	48.2%	33	23.4%	2	1.4%	1	0.7%	2	1.4%	0	0.0%	3	2.1%	141	100.0%
職場のなかで	35	24.8%	54	38.3%	26	18.4%	11	7.8%	1	0.7%	10	7.1%	0	0.0%	4	2.8%	141	100.0%
学校のなかで	4	2.8%	16	11.3%	71	50.4%	7	5.0%	2	1.4%	28	19.9%	2	1.4%	11	7.8%	141	100.0%
地域のなかで	20	14.2%	63	44.7%	29	20.6%	13	9.2%	0	0.0%	12	8.5%	0	0.0%	4	2.8%	141	100.0%
社会通念や風潮で	26	18.4%	70	49.6%	27	19.1%	6	4.3%	3	2.1%	5	3.5%	0	0.0%	4	2.8%	141	100.0%
法律や制度の上で	16	11.3%	46	32.6%	51	36.2%	9	6.4%	3	2.1%	11	7.8%	1	0.7%	4	2.8%	141	100.0%
政治(政策決定)の場で	30	21.3%	53	37.6%	42	29.8%	4	2.8%	1	0.7%	6	4.3%	0	0.0%	5	3.5%	141	100.0%
社会全体で	22	15.6%	78	55.3%	20	14.2%	8	5.7%	2	1.4%	7	5.0%	1	0.7%	3	2.1%	141	100.0%

[60 歳代]

	男性の方が優遇されている		どちらかといえば男性の方が優遇されている		平等である		どちらかといえば女性の方が優遇されている		女性の方が優遇されている		わからない		無効回答		無回答		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
家庭のなかで	32	21.6%	54	36.5%	42	28.4%	5	3.4%	4	2.7%	3	2.0%	1	0.7%	7	4.7%	148	100.0%
職場のなかで	39	26.4%	43	29.1%	22	14.9%	10	6.8%	0	0.0%	15	10.1%	1	0.7%	18	12.2%	148	100.0%
学校のなかで	2	1.4%	7	4.7%	67	45.3%	2	1.4%	0	0.0%	39	26.4%	0	0.0%	31	20.9%	148	100.0%
地域のなかで	17	11.5%	59	39.9%	34	23.0%	8	5.4%	1	0.7%	14	9.5%	1	0.7%	14	9.5%	148	100.0%
社会通念や風潮で	23	15.5%	68	45.9%	17	11.5%	9	6.1%	2	1.4%	13	8.8%	0	0.0%	16	10.8%	148	100.0%
法律や制度の上で	19	12.8%	35	23.6%	48	32.4%	7	4.7%	1	0.7%	19	12.8%	2	1.4%	17	11.5%	148	100.0%
政治(政策決定)の場で	23	15.5%	49	33.1%	36	24.3%	4	2.7%	1	0.7%	20	13.5%	0	0.0%	15	10.1%	148	100.0%
社会全体で	20	13.5%	67	45.3%	26	17.6%	9	6.1%	1	0.7%	11	7.4%	1	0.7%	13	8.8%	148	100.0%

[70 歳以上]

	男性の方が優遇されている		どちらかといえば男性の方が優遇されている		平等である		どちらかといえば女性の方が優遇されている		女性の方が優遇されている		わからない		無効回答		無回答		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
家庭のなかで	19	17.8%	33	30.8%	27	25.2%	6	5.6%	2	1.9%	9	8.4%	3	2.8%	8	7.5%	107	100.0%
職場のなかで	16	15.0%	29	27.1%	6	5.6%	0	0.0%	1	0.9%	15	14.0%	1	0.9%	39	36.4%	107	100.0%
学校のなかで	1	0.9%	12	11.2%	31	29.0%	1	0.9%	1	0.9%	19	17.8%	0	0.0%	42	39.3%	107	100.0%
地域のなかで	15	14.0%	32	29.9%	22	20.6%	5	4.7%	1	0.9%	9	8.4%	1	0.9%	22	20.6%	107	100.0%
社会通念や風潮で	17	15.9%	30	28.0%	15	14.0%	2	1.9%	2	1.9%	16	15.0%	0	0.0%	25	23.4%	107	100.0%
法律や制度の上で	7	6.5%	16	15.0%	39	36.4%	2	1.9%	2	1.9%	18	16.8%	0	0.0%	23	21.5%	107	100.0%
政治(政策決定)の場で	11	10.3%	19	17.8%	30	28.0%	1	0.9%	1	0.9%	21	19.6%	0	0.0%	24	22.4%	107	100.0%
社会全体で	14	13.1%	34	31.8%	18	16.8%	2	1.9%	1	0.9%	15	14.0%	1	0.9%	22	20.6%	107	100.0%

問9.「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。(1つ)

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
同感する	2	2.9%	5	5.1%	5	5.7%	12	8.5%	21	14.2%	17	15.9%	1	14.3%	63	9.6%
どちらかといえば同感する	21	30.4%	34	34.3%	30	34.1%	53	37.6%	77	52.0%	46	43.0%	3	42.9%	264	40.1%
どちらかといえば同感しない	13	18.8%	28	28.3%	19	21.6%	26	18.4%	23	15.5%	16	15.0%	1	14.3%	126	19.1%
同感しない	26	37.7%	25	25.3%	29	33.0%	40	28.4%	18	12.2%	18	16.8%	2	28.6%	158	24.0%
わからない	6	8.7%	6	6.1%	3	3.4%	7	5.0%	6	4.1%	6	5.6%	0	0.0%	34	5.2%
無回答	1	1.4%	1	1.0%	2	2.3%	3	2.1%	3	2.0%	4	3.7%	0	0.0%	14	2.1%
総計	69	100.0%	99	100.0%	88	100.0%	141	100.0%	148	100.0%	107	100.0%	7	100.0%	659	100.0%

家庭生活について

問10. あなたの家庭では、家庭生活について、夫婦の間でどのように分担していますか。

(～のそれぞれについて1つずつ)

夫婦ともほとんどしない(親、子ども、その他の人がしている) 夫婦ともほとんどしない

[～29歳]

	ほとんど妻がしている		妻が中心だが夫も手伝う		平等に分担している		夫が中心だが、妻も手伝う		ほとんど夫がしている		夫婦ともほとんどしない		その他		無効回答		無回答		計		結婚していないおよび現在は夫・妻がいない		総計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
食事の支度	12	70.6	3	17.6	0	0.0	0	0.0	1	5.9	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	17	100.0	52	-	69	-
食事の後片付け	8	47.1	5	29.4	2	11.8	1	5.9	0	0.0	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	17	100.0	52	-	69	-
家の掃除	5	29.4	9	52.9	2	11.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.9	0	0.0	0	0.0	17	100.0	52	-	69	-
入浴の準備、風呂場の掃除	4	23.5	6	35.3	2	11.8	1	5.9	3	17.6	0	0.0	1	5.9	0	0.0	0	0.0	17	100.0	52	-	69	-
日常の買い物	8	47.1	6	35.3	2	11.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.9	0	0.0	0	0.0	17	100.0	52	-	69	-
日常の家計管理	14	82.4	2	11.8	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	17	100.0	52	-	69	-
日常のゴミ捨て	3	17.6	5	29.4	1	5.9	1	5.9	5	29.4	1	5.9	1	5.9	0	0.0	0	0.0	17	100.0	52	-	69	-
洗濯	9	52.9	6	35.3	1	5.9	0	0.0	0	0.0	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	17	100.0	52	-	69	-
高額な商品の購入決定	2	11.8	4	23.5	8	47.1	2	11.8	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	17	100.0	52	-	69	-
生活費の確保	7	41.2	0	0.0	3	17.6	1	5.9	5	29.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.9	17	100.0	52	-	69	-
PTAや地域の行事参加	2	11.8	0	0.0	2	11.8	4	23.5	1	5.9	3	17.6	4	23.5	0	0.0	1	5.9	17	100.0	52	-	69	-
親戚とのつきあい	0	0.0	4	23.5	11	64.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.9	0	0.0	1	5.9	17	100.0	52	-	69	-
近所とのつきあい	4	23.5	5	29.4	3	17.6	0	0.0	0	0.0	1	5.9	3	17.6	0	0.0	1	5.9	17	100.0	52	-	69	-

[30 歳代]

	ほとんど妻がしている		妻が中心だが夫も手伝う		平等に分担している		夫が中心だが、妻も手伝う		ほとんど夫がしている		夫婦ともほとんどしない		その他		無効回答		無回答		計		結婚していないおよび現在は夫・妻がいない		総計		
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人
食事の支度	59	76.6	12	15.6	1	1.3	1	1.3	0	0.0	2	2.6	1	1.3	1	1.3	0	0.0	77	100.0	22	-	99	-	
食事の後片付け	53	68.8	15	19.5	3	3.9	1	1.3	2	2.6	1	1.3	1	1.3	1	1.3	0	0.0	77	100.0	22	-	99	-	
家の掃除	44	57.1	23	29.9	5	6.5	1	1.3	0	0.0	1	1.3	2	2.6	1	1.3	0	0.0	77	100.0	22	-	99	-	
入浴の準備、風呂場の掃除	33	42.9	19	24.7	9	11.7	6	7.8	4	5.2	2	2.6	2	2.6	1	1.3	1	1.3	77	100.0	22	-	99	-	
日常の買い物	42	54.5	21	27.3	8	10.4	1	1.3	0	0.0	2	2.6	2	2.6	1	1.3	0	0.0	77	100.0	22	-	99	-	
日常の家計管理	52	67.5	8	10.4	3	3.9	4	5.2	7	9.1	1	1.3	1	1.3	1	1.3	0	0.0	77	100.0	22	-	99	-	
日常のゴミ捨て	37	48.1	10	13.0	7	9.1	3	3.9	11	14.3	6	7.8	2	2.6	1	1.3	0	0.0	77	100.0	22	-	99	-	
洗濯	57	74.0	9	11.7	5	6.5	0	0.0	2	2.6	2	2.6	1	1.3	1	1.3	0	0.0	77	100.0	22	-	99	-	
高額な商品の購入決定	10	13.0	7	9.1	31	40.3	10	13.0	16	20.8	1	1.3	1	1.3	1	1.3	0	0.0	77	100.0	22	-	99	-	
生活費の確保	13	16.9	5	6.5	14	18.2	13	16.9	30	39.0	0	0.0	1	1.3	1	1.3	0	0.0	77	100.0	22	-	99	-	
PTA や地域の行事参加	15	19.5	18	23.4	17	22.1	10	13.0	5	6.5	5	6.5	6	7.8	1	1.3	0	0.0	77	100.0	22	-	99	-	
親戚とのつきあい	6	7.8	9	11.7	39	50.6	14	18.2	0	0.0	5	6.5	3	3.9	1	1.3	0	0.0	77	100.0	22	-	99	-	
近所とのつきあい	13	16.9	20	26.0	25	32.5	5	6.5	1	1.3	7	9.1	5	6.5	1	1.3	0	0.0	77	100.0	22	-	99	-	

[40 歳代]

	ほとんど妻がしている		妻が中心だが夫も手伝う		平等に分担している		夫が中心だが、妻も手伝う		ほとんど夫がしている		夫婦ともほとんどしない		その他		無効回答		無回答		計		結婚していないおよび現在は夫・妻がいない		総計		
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人
食事の支度	58	73.4	17	21.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.3	3	3.8	0	0.0	0	0.0	79	100.0	9	-	88	-	
食事の後片付け	57	72.2	16	20.3	1	1.3	0	0.0	1	1.3	1	1.3	3	3.8	0	0.0	0	0.0	79	100.0	9	-	88	-	
家の掃除	48	60.8	25	31.6	3	3.8	1	1.3	2	2.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	79	100.0	9	-	88	-	
入浴の準備、風呂場の掃除	42	53.2	16	20.3	2	2.5	6	7.6	2	2.5	6	7.6	5	6.3	0	0.0	0	0.0	79	100.0	9	-	88	-	
日常の買い物	46	58.2	25	31.6	6	7.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	2.5	0	0.0	0	0.0	79	100.0	9	-	88	-	
日常の家計管理	58	73.4	7	8.9	5	6.3	3	3.8	4	5.1	0	0.0	2	2.5	0	0.0	0	0.0	79	100.0	9	-	88	-	
日常のゴミ捨て	38	48.1	14	17.7	5	6.3	7	8.9	6	7.6	6	7.6	3	3.8	0	0.0	0	0.0	79	100.0	9	-	88	-	
洗濯	67	84.8	8	10.1	0	0.0	1	1.3	1	1.3	1	1.3	1	1.3	0	0.0	0	0.0	79	100.0	9	-	88	-	
高額な商品の購入決定	7	8.9	10	12.7	23	29.1	23	29.1	15	19.0	0	0.0	1	1.3	0	0.0	0	0.0	79	100.0	9	-	88	-	
生活費の確保	15	19.0	2	2.5	10	12.7	23	29.1	29	36.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	79	100.0	9	-	88	-	
PTA や地域の行事参加	22	27.8	24	30.4	24	30.4	4	5.1	3	3.8	1	1.3	1	1.3	0	0.0	0	0.0	79	100.0	9	-	88	-	
親戚とのつきあい	4	5.1	11	13.9	28	35.4	27	34.2	4	5.1	3	3.8	2	2.5	0	0.0	0	0.0	79	100.0	9	-	88	-	
近所とのつきあい	12	15.2	22	27.8	20	25.3	14	17.7	2	2.5	5	6.3	4	5.1	0	0.0	0	0.0	79	100.0	9	-	88	-	

[50 歳代]

	ほとんど妻がしている		妻が中心だが夫も手伝う		平等に分担している		夫が中心だが、妻も手伝う		ほとんど夫がしている		夫婦ともほとんどしない		その他		無効回答		無回答		計		結婚していないおよび現在は夫・妻がいない		総計		
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人
食事の支度	102	80.3	22	17.3	0	0.0	0	0.0	2	1.6	0	0.0	1	0.8	0	0.0	0	0.0	127	100.0	14	-	141	-	
食事の後片付け	92	72.4	32	25.2	0	0.0	1	0.8	0	0.0	2	1.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	127	100.0	14	-	141	-	
家の掃除	74	58.3	41	32.3	8	6.3	2	1.6	0	0.0	1	0.8	0	0.0	0	0.0	1	0.8	127	100.0	14	-	141	-	
入浴の準備、風呂場の掃除	67	52.8	37	29.1	8	6.3	2	1.6	9	7.1	2	1.6	2	1.6	0	0.0	0	0.0	127	100.0	14	-	141	-	
日常の買い物	78	61.4	40	31.5	6	4.7	1	0.8	0	0.0	1	0.8	0	0.0	1	0.8	0	0.0	127	100.0	14	-	141	-	
日常の家計管理	102	80.3	10	7.9	4	3.1	4	3.1	4	3.1	0	0.0	2	1.6	0	0.0	1	0.8	127	100.0	14	-	141	-	
日常のゴミ捨て	66	52.0	27	21.3	3	2.4	6	4.7	20	15.7	4	3.1	0	0.0	1	0.8	0	0.0	127	100.0	14	-	141	-	
洗濯	103	81.1	12	9.4	2	1.6	2	1.6	3	2.4	1	0.8	0	0.0	2	1.6	2	1.6	127	100.0	14	-	141	-	
高額な商品の購入決定	13	10.2	18	14.2	36	28.3	29	22.8	26	20.5	0	0.0	2	1.6	0	0.0	3	2.4	127	100.0	14	-	141	-	
生活費の確保	26	20.5	6	4.7	9	7.1	36	28.3	48	37.8	0	0.0	0	0.0	1	0.8	1	0.8	127	100.0	14	-	141	-	
PTA や地域の行事参加	17	13.4	29	22.8	24	18.9	37	29.1	18	14.2	0	0.0	1	0.8	0	0.0	1	0.8	127	100.0	14	-	141	-	
親戚とのつきあい	7	5.5	16	12.6	56	44.1	37	29.1	9	7.1	0	0.0	1	0.8	0	0.0	1	0.8	127	100.0	14	-	141	-	
近所とのつきあい	17	13.4	35	27.6	47	37.0	20	15.7	5	3.9	0	0.0	1	0.8	1	0.8	1	0.8	127	100.0	14	-	141	-	

[60 歳代]

	ほとんど妻がしている		妻が中心だが夫も手伝う		平等に分担している		夫が中心だが、妻も手伝う		ほとんど夫がしている		夫婦ともほとんどしない		その他		無効回答		無回答		計		結婚していないおよび現在は夫・妻がいない		総計			
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
食事の支度	102	78.5	24	18.5	0	0.0	1	0.8	1	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.5	130	100.0	18	-	148	-
食事の後片付け	86	66.2	32	24.6	4	3.1	2	1.5	1	0.8	1	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	3.1	130	100.0	18	-	148	-
家の掃除	67	51.5	39	30.0	12	9.2	5	3.8	1	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	4.6	130	100.0	18	-	148	-
入浴の準備、風呂場の掃除	59	45.4	37	28.5	12	9.2	7	5.4	10	7.7	1	0.8	1	0.8	0	0.0	3	2.3	130	100.0	18	-	148	-		
日常の買い物	63	48.5	53	40.8	6	4.6	0	0.0	3	2.3	0	0.0	0	0.0	2	1.5	3	2.3	130	100.0	18	-	148	-		
日常の家計管理	93	71.5	9	6.9	9	6.9	6	4.6	9	6.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	3.1	130	100.0	18	-	148	-		
日常のゴミ捨て	50	38.5	40	30.8	6	4.6	11	8.5	20	15.4	2	1.5	0	0.0	0	0.0	1	0.8	130	100.0	18	-	148	-		
洗濯	100	76.9	17	13.1	5	3.8	2	1.5	1	0.8	1	0.8	0	0.0	1	0.8	3	2.3	130	100.0	18	-	148	-		
高額な商品の購入決定	15	11.5	20	15.4	31	23.8	37	28.5	22	16.9	1	0.8	0	0.0	1	0.8	3	2.3	130	100.0	18	-	148	-		
生活費の確保	22	16.9	10	7.7	20	15.4	36	27.7	37	28.5	0	0.0	2	1.5	0	0.0	3	2.3	130	100.0	18	-	148	-		
PTA や地域の行事参加	18	13.8	16	12.3	30	23.1	20	15.4	26	20.0	3	2.3	6	4.6	0	0.0	11	8.5	130	100.0	18	-	148	-		
親戚とのつきあい	11	8.5	14	10.8	58	44.6	32	24.6	10	7.7	0	0.0	2	1.5	0	0.0	3	2.3	130	100.0	18	-	148	-		
近所とのつきあい	18	13.8	33	25.4	49	37.7	19	14.6	6	4.6	0	0.0	3	2.3	0	0.0	2	1.5	130	100.0	18	-	148	-		

[70歳以上]

	ほとんど妻がしている		妻が中心だが夫も手伝う		平等に分担している		夫が中心だが、妻も手伝う		ほとんど夫がしている		夫婦ともほとんどしない		その他		無効回答		無回答		計		結婚していないおよび現在は夫・妻がいない		総計		
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人
食事の支度	60	68.2	12	13.6	3	3.4	0	0.0	1	1.1	3	3.4	2	2.3	2	2.3	5	5.7	88	100.0	19	-	107	-	
食事の後片付け	51	58.0	18	20.5	3	3.4	0	0.0	1	1.1	3	3.4	2	2.3	1	1.1	9	10.2	88	100.0	19	-	107	-	
家の掃除	39	44.3	20	22.7	9	10.2	4	4.5	2	2.3	3	3.4	1	1.1	1	1.1	9	10.2	88	100.0	19	-	107	-	
入浴の準備、風呂場の掃除	44	50.0	12	13.6	6	6.8	3	3.4	7	8.0	3	3.4	3	3.4	3	3.4	7	8.0	88	100.0	19	-	107	-	
日常の買い物	30	34.1	27	30.7	7	8.0	1	1.1	6	6.8	6	6.8	2	2.3	2	2.3	7	8.0	88	100.0	19	-	107	-	
日常の家計管理	39	44.3	11	12.5	8	9.1	9	10.2	6	6.8	4	4.5	1	1.1	1	1.1	9	10.2	88	100.0	19	-	107	-	
日常のゴミ捨て	26	29.5	16	18.2	9	10.2	8	9.1	14	15.9	5	5.7	2	2.3	1	1.1	7	8.0	88	100.0	19	-	107	-	
洗濯	59	67.0	8	9.1	3	3.4	1	1.1	1	1.1	4	4.5	2	2.3	1	1.1	9	10.2	88	100.0	19	-	107	-	
高額な商品の購入決定	8	9.1	8	9.1	15	17.0	17	19.3	18	20.5	3	3.4	3	3.4	2	2.3	14	15.9	88	100.0	19	-	107	-	
生活費の確保	18	20.5	3	3.4	11	12.5	10	11.4	23	26.1	6	6.8	4	4.5	2	2.3	11	12.5	88	100.0	19	-	107	-	
PTAや地域の行事参加	14	15.9	7	8.0	9	10.2	13	14.8	12	13.6	7	8.0	6	6.8	1	1.1	19	21.6	88	100.0	19	-	107	-	
親戚とのつきあい	12	13.6	6	6.8	31	35.2	16	18.2	10	11.4	3	3.4	1	1.1	2	2.3	7	8.0	88	100.0	19	-	107	-	
近所とのつきあい	15	17.0	13	14.8	33	37.5	8	9.1	5	5.7	3	3.4	3	3.4	1	1.1	7	8.0	88	100.0	19	-	107	-	

子育てについて

問 12. 子育てについて、あなたの意見にもっとも近いものはどれですか。

(~ のそれぞれについて1つずつ)

[~ 29歳]

	そう思う		どちらかといえばそう思う		どちらかといえばそう思わない		そう思わない		わからない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	19	27.5%	28	40.6%	5	7.2%	11	15.9%	4	5.8%	2	2.9%	69	100.0%
子どもの世話の大部分は、男親にもできる	29	42.0%	16	23.2%	10	14.5%	8	11.6%	4	5.8%	2	2.9%	69	100.0%
必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	26	37.7%	22	31.9%	6	8.7%	7	10.1%	6	8.7%	2	2.9%	69	100.0%
男の子は家事ができるように育てるのがよい	21	30.4%	33	47.8%	6	8.7%	2	2.9%	5	7.2%	2	2.9%	69	100.0%
女の子は家事ができるように育てるのがよい	44	63.8%	18	26.1%	1	1.4%	1	1.4%	3	4.3%	2	2.9%	69	100.0%
男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	38	55.1%	23	33.3%	0	0.0%	2	2.9%	4	5.8%	2	2.9%	69	100.0%
女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	27	39.1%	32	46.4%	2	2.9%	2	2.9%	4	5.8%	2	2.9%	69	100.0%

[30 歳代]

	そう思う		どちらかとい えばそう思う		どちらかとい えばそう思わ ない		そう思わない		わからない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	36	36.4%	46	46.5%	6	6.1%	8	8.1%	2	2.0%	1	1.0%	99	100.0%
子どもの世話の大部分は、男親にもできる	25	25.3%	38	38.4%	20	20.2%	10	10.1%	5	5.1%	1	1.0%	99	100.0%
必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	36	36.4%	30	30.3%	9	9.1%	13	13.1%	8	8.1%	3	3.0%	99	100.0%
男の子は家事ができるように育てるのがよい	43	43.4%	44	44.4%	4	4.0%	3	3.0%	4	4.0%	1	1.0%	99	100.0%
女の子は家事ができるように育てるのがよい	71	71.7%	25	25.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%	1	1.0%	99	100.0%
男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	68	68.7%	26	26.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	4.0%	1	1.0%	99	100.0%
女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	48	48.5%	41	41.4%	3	3.0%	1	1.0%	5	5.1%	1	1.0%	99	100.0%

[40 歳代]

	そう思う		どちらかとい えばそう思う		どちらかとい えばそう思わ ない		そう思わない		わからない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	43	48.9%	35	39.8%	2	2.3%	7	8.0%	1	1.1%	0	0.0%	88	100.0%
子どもの世話の大部分は、男親にもできる	19	21.6%	34	38.6%	21	23.9%	10	11.4%	4	4.5%	0	0.0%	88	100.0%
必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	27	30.7%	35	39.8%	8	9.1%	12	13.6%	6	6.8%	0	0.0%	88	100.0%
男の子は家事ができるように育てるのがよい	41	46.6%	36	40.9%	6	6.8%	1	1.1%	4	4.5%	0	0.0%	88	100.0%
女の子は家事ができるように育てるのがよい	66	75.0%	19	21.6%	0	0.0%	1	1.1%	2	2.3%	0	0.0%	88	100.0%
男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	72	81.8%	13	14.8%	0	0.0%	2	2.3%	1	1.1%	0	0.0%	88	100.0%
女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	52	59.1%	28	31.8%	5	5.7%	1	1.1%	2	2.3%	0	0.0%	88	100.0%

[50 歳代]

	そう思う		どちらかとい えばそう思う		どちらかといえ ばそう思わない		そう思わない		わからない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	73	51.8%	58	41.1%	5	3.5%	3	2.1%	1	0.7%	1	0.7%	141	100.0%
子どもの世話の大部分は、男親にもできる	20	14.2%	49	34.8%	45	31.9%	23	16.3%	0	0.0%	4	2.8%	141	100.0%
必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	39	27.7%	42	29.8%	21	14.9%	24	17.0%	12	8.5%	3	2.1%	141	100.0%
男の子は家事ができるように育てるのがよい	54	38.3%	61	43.3%	15	10.6%	7	5.0%	3	2.1%	1	0.7%	141	100.0%
女の子は家事ができるように育てるのがよい	94	66.7%	42	29.8%	1	0.7%	2	1.4%	1	0.7%	1	0.7%	141	100.0%
男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	106	75.2%	30	21.3%	2	1.4%	2	1.4%	0	0.0%	1	0.7%	141	100.0%
女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	56	39.7%	57	40.4%	18	12.8%	5	3.5%	4	2.8%	1	0.7%	141	100.0%

[60 歳代]

	そう思う		どちらかとい えばそう思う		どちらかといえ ばそう思わない		そう思わない		わからない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	98	66.2%	40	27.0%	2	1.4%	4	2.7%	0	0.0%	4	2.7%	148	100.0%
子どもの世話の大部分は、男親にもできる	11	7.4%	41	27.7%	47	31.8%	35	23.6%	9	6.1%	5	3.4%	148	100.0%
必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	27	18.2%	47	31.8%	16	10.8%	31	20.9%	20	13.5%	7	4.7%	148	100.0%
男の子は家事ができるように育てるのがよい	39	26.4%	81	54.7%	10	6.8%	11	7.4%	3	2.0%	4	2.7%	148	100.0%
女の子は家事ができるように育てるのがよい	103	69.6%	38	25.7%	1	0.7%	3	2.0%	0	0.0%	3	2.0%	148	100.0%
男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	102	68.9%	38	25.7%	5	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.0%	148	100.0%
女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	47	31.8%	74	50.0%	17	11.5%	4	2.7%	2	1.4%	4	2.7%	148	100.0%

[70歳以上]

	そう思う		どちらかといえばそう思う		どちらかといえばそう思わない		そう思わない		わからない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	62	57.9%	23	21.5%	1	0.9%	3	2.8%	5	4.7%	13	12.1%	107	100.0%
子どもの世話の大部分は、男親にもできる	11	10.3%	35	32.7%	16	15.0%	20	18.7%	8	7.5%	17	15.9%	107	100.0%
必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	23	21.5%	23	21.5%	11	10.3%	13	12.1%	15	14.0%	22	20.6%	107	100.0%
男の子は家事ができるように育てるのがよい	31	29.0%	33	30.8%	6	5.6%	10	9.3%	8	7.5%	19	17.8%	107	100.0%
女の子は家事ができるように育てるのがよい	65	60.7%	24	22.4%	0	0.0%	1	0.9%	6	5.6%	11	10.3%	107	100.0%
男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	64	59.8%	24	22.4%	0	0.0%	0	0.0%	5	4.7%	14	13.1%	107	100.0%
女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	43	40.2%	35	32.7%	5	4.7%	2	1.9%	5	4.7%	17	15.9%	107	100.0%

問 13. 子育てに関する地域活動に参加したことがありますか。(あてはまるものすべて)

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
子ども見守り活動	5	7.2%	10	10.1%	10	11.4%	10	7.1%	39	26.4%	21	19.6%	0	0.0%	95	14.4%
PTA や子ども会などの活動	4	5.8%	39	39.4%	64	72.7%	97	68.8%	64	43.2%	31	29.0%	4	57.1%	303	46.0%
スポーツ少年団などの指導活動	2	2.9%	12	12.1%	18	20.5%	22	15.6%	18	12.2%	5	4.7%	1	14.3%	78	11.8%
子育て支援の活動	5	7.2%	12	12.1%	4	4.5%	8	5.7%	9	6.1%	8	7.5%	0	0.0%	46	7.0%
子ども居場所づくりの活動	0	0.0%	4	4.0%	4	4.5%	6	4.3%	11	7.4%	5	4.7%	0	0.0%	30	4.6%
教育協議会の活動	1	1.4%	8	8.1%	18	20.5%	9	6.4%	13	8.8%	10	9.3%	0	0.0%	59	9.0%
その他	1	1.4%	1	1.0%	3	3.4%	1	0.7%	6	4.1%	5	4.7%	0	0.0%	17	2.6%
特になし	51	73.9%	52	52.5%	19	21.6%	35	24.8%	55	37.2%	41	38.3%	2	28.6%	255	38.7%
無回答	3	4.3%	3	3.0%	0	0.0%	5	3.5%	5	3.4%	15	14.0%	1	14.3%	32	4.9%
回答者数	69	100.0%	99	100.0%	88	100.0%	141	100.0%	148	100.0%	107	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	72	104.3%	141	142.4%	140	159.1%	193	136.9%	220	148.6%	141	131.8%	8	114.3%	915	138.8%

問 14. 出生率の低下が社会問題となっていますが、あなたは何が原因だと思いますか。(3つまで)

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
結婚しない人が増えているから	31	44.9%	39	39.4%	48	54.5%	80	56.7%	85	57.4%	72	67.3%	6	85.7%	361	54.8%
晩婚化が進むなど、 年齢的な理由から	21	30.4%	39	39.4%	35	39.8%	52	36.9%	67	45.3%	49	45.8%	4	57.1%	267	40.5%
出産・子育ての身体的・ 心理的負担が大きいから	18	26.1%	31	31.3%	29	33.0%	28	19.9%	33	22.3%	20	18.7%	0	0.0%	159	24.1%
出産・子育てにお金がかかるから	38	55.1%	53	53.5%	33	37.5%	67	47.5%	39	26.4%	31	29.0%	1	14.3%	262	39.8%
仕事と子育ての両立が 難しいから	29	42.0%	42	42.4%	47	53.4%	75	53.2%	80	54.1%	56	52.3%	4	57.1%	333	50.5%
子育てに結婚相手の 協力がいないから	9	13.0%	2	2.0%	4	4.5%	8	5.7%	4	2.7%	5	4.7%	1	14.3%	33	5.0%
地域の子育てサービス不足 など、子育てをする社会環境 がよくないから	10	14.5%	22	22.2%	22	25.0%	19	13.5%	19	12.8%	9	8.4%	1	14.3%	102	15.5%
子育て以外に時間を使いたいと 考える人が増えているから	22	31.9%	37	37.4%	28	31.8%	55	39.0%	56	37.8%	26	24.3%	2	28.6%	226	34.3%
その他	5	7.2%	5	5.1%	6	6.8%	8	5.7%	6	4.1%	5	4.7%	0	0.0%	35	5.3%
わからない	3	4.3%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.0%	3	2.8%	0	0.0%	10	1.5%
無効回答	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.4%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	4	0.6%
無回答	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	2	1.9%	0	0.0%	4	0.6%
回答者数	69	100.0%	99	100.0%	88	100.0%	141	100.0%	148	100.0%	107	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	187	271.0%	272	274.7%	252	286.4%	394	279.4%	393	265.5%	279	260.7%	19	271.4%	1796	272.5%

健康・介護について

問 17. あなたは将来、誰に介護してほしいと思いますか。(2つまで)

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
夫	17	24.6%	32	32.3%	17	19.3%	30	21.3%	30	20.3%	19	17.8%	4	57.1%	149	22.6%
妻	5	7.2%	23	23.2%	24	27.3%	53	37.6%	62	41.9%	35	32.7%	1	14.3%	203	30.8%
息子	5	7.2%	2	2.0%	4	4.5%	16	11.3%	6	4.1%	16	15.0%	0	0.0%	49	7.4%
娘	8	11.6%	21	21.2%	20	22.7%	32	22.7%	30	20.3%	18	16.8%	2	28.6%	131	19.9%
子ども全員	19	27.5%	22	22.2%	11	12.5%	17	12.1%	17	11.5%	7	6.5%	1	14.3%	94	14.3%
息子の妻	0	0.0%	1	1.0%	1	1.1%	5	3.5%	16	10.8%	15	14.0%	0	0.0%	38	5.8%
娘の夫	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
親	2	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
ホームヘルパー	14	20.3%	16	16.2%	19	21.6%	19	13.5%	23	15.5%	14	13.1%	1	14.3%	106	16.1%
介護施設、 老人ホーム等	26	37.7%	38	38.4%	42	47.7%	52	36.9%	62	41.9%	43	40.2%	2	28.6%	265	40.2%
近所や地域の人	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
その他	8	11.6%	5	5.1%	6	6.8%	7	5.0%	6	4.1%	0	0.0%	0	0.0%	32	4.9%
無効回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	1	0.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.4%	2	1.4%	2	1.9%	0	0.0%	6	0.9%
回答者数	69	100.0%	99	100.0%	88	100.0%	141	100.0%	148	100.0%	107	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	104	150.7%	161	162.6%	144	163.6%	234	166.0%	256	173.0%	170	158.9%	11	157.1%	1080	163.9%

就労について

問 18-1. 問 18 で「1. している」と答えた方にお聞きします。
 あなたが働いているのはどのような理由からですか。(2つまで)

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
生計を維持するため	19	38.8%	44	56.4%	48	64.0%	77	64.7%	30	54.5%	4	33.3%	0	0.0%	222	56.6%
家計の足しにするため	4	8.2%	13	16.7%	17	22.7%	15	12.6%	16	29.1%	1	8.3%	0	0.0%	66	16.8%
教育資金を得るため	0	0.0%	8	10.3%	9	12.0%	3	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	21	5.4%
住宅ローン等借金の返済のため	1	2.0%	13	16.7%	5	6.7%	18	15.1%	2	3.6%	1	8.3%	0	0.0%	40	10.2%
将来に備えて貯蓄するため	16	32.7%	19	24.4%	9	12.0%	14	11.8%	7	12.7%	0	0.0%	0	0.0%	65	16.6%
自分で自由に使えるお金を得るため	20	40.8%	6	7.7%	8	10.7%	8	6.7%	6	10.9%	1	8.3%	0	0.0%	49	12.5%
生きがいを得るため	2	4.1%	1	1.3%	8	10.7%	16	13.4%	11	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	38	9.7%
能力・技能・資格を生かすため	3	6.1%	4	5.1%	4	5.3%	3	2.5%	4	7.3%	1	8.3%	1	25.0%	20	5.1%
視野を広げ、友人を得るため	3	6.1%	2	2.6%	2	2.7%	5	4.2%	2	3.6%	0	0.0%	0	0.0%	14	3.6%
社会に貢献するため	1	2.0%	4	5.1%	1	1.3%	4	3.4%	3	5.5%	2	16.7%	0	0.0%	15	3.8%
仕事をすることが好きだから	3	6.1%	5	6.4%	2	2.7%	7	5.9%	4	7.3%	0	0.0%	0	0.0%	21	5.4%
働くのが当然だから	10	20.4%	15	19.2%	15	20.0%	23	19.3%	5	9.1%	1	8.3%	0	0.0%	69	17.6%
時間的に余裕があるから	1	2.0%	4	5.1%	6	8.0%	6	5.0%	6	10.9%	1	8.3%	0	0.0%	24	6.1%
家業であるから	0	0.0%	3	3.8%	6	8.0%	8	6.7%	5	9.1%	3	25.0%	2	50.0%	27	6.9%
その他	1	2.0%	1	1.3%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.8%
特に理由はない	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	2	0.5%
無効回答	1	2.0%	1	1.3%	1	1.3%	4	3.4%	2	3.6%	1	8.3%	0	0.0%	10	2.6%
無回答	2	4.1%	2	2.6%	0	0.0%	4	3.4%	1	1.8%	1	8.3%	1	25.0%	11	2.8%
回答者数	49	100.0%	78	100.0%	75	100.0%	119	100.0%	55	100.0%	12	100.0%	4	100.0%	392	100.0%
総回答数	88	179.6%	145	185.9%	141	188.0%	216	181.5%	104	189.1%	18	150.0%	5	125.0%	717	182.9%

問 19. 女性が職業をもつことについてあなたはどのように思いますか。(1つ)

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
結婚して子どもが生まれた後も、 職業をもち続ける方がいい	20	29.0%	22	22.2%	20	22.7%	27	19.1%	21	14.2%	25	23.4%	1	14.3%	136	20.6%
結婚するまでは職業をもつが、 その後はもたない方がいい	1	1.4%	3	3.0%	0	0.0%	2	1.4%	9	6.1%	2	1.9%	0	0.0%	17	2.6%
結婚して子どもができるまで は職業をもつが、その後はも たない方がいい	2	2.9%	2	2.0%	2	2.3%	12	8.5%	6	4.1%	7	6.5%	0	0.0%	31	4.7%
結婚や子育てなどで一時的にや めるが、子育ての時期が過ぎた ら再び職業をもつ方がいい	37	53.6%	54	54.5%	58	65.9%	86	61.0%	102	68.9%	54	50.5%	5	71.4%	396	60.1%
職業は一生もたない方がいい	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
その他	3	4.3%	12	12.1%	6	6.8%	5	3.5%	2	1.4%	2	1.9%	0	0.0%	30	4.6%
わからない	6	8.7%	6	6.1%	1	1.1%	6	4.3%	6	4.1%	5	4.7%	0	0.0%	30	4.6%
無効回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.1%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	4	0.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.4%	11	10.3%	1	14.3%	14	2.1%
総計	69	100.0%	99	100.0%	88	100.0%	141	100.0%	148	100.0%	107	100.0%	7	100.0%	659	100.0%

問 20 . 女性が働き続けていくうえで、大きな障害になっているのは何だと思いますか。(3つまで)

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
家族の協力や理解が得にくいこと	22	31.9%	29	29.3%	43	48.9%	64	45.4%	60	40.5%	30	28.0%	5	71.4%	253	38.4%
家事や育児との両立が難しいこと	63	91.3%	84	84.8%	71	80.7%	124	87.9%	115	77.7%	69	64.5%	4	57.1%	530	80.4%
老人や病人の介護・看護があること	7	10.1%	22	22.2%	24	27.3%	48	34.0%	54	36.5%	43	40.2%	4	57.1%	202	30.7%
企業が女性に責任ある仕事を任せないこと	4	5.8%	9	9.1%	8	9.1%	13	9.2%	13	8.8%	9	8.4%	0	0.0%	56	8.5%
企業が結婚・出産した女性の雇用をきらい傾向があること	30	43.5%	34	34.3%	26	29.5%	29	20.6%	33	22.3%	19	17.8%	0	0.0%	171	25.9%
育児休業制度などの条件が整っていないこと	32	46.4%	38	38.4%	42	47.7%	44	31.2%	58	39.2%	32	29.9%	4	57.1%	250	37.9%
女性自身の就労に対する意識が低いこと	7	10.1%	16	16.2%	10	11.4%	18	12.8%	25	16.9%	11	10.3%	0	0.0%	87	13.2%
その他	3	4.3%	7	7.1%	2	2.3%	5	3.5%	1	0.7%	4	3.7%	0	0.0%	22	3.3%
特に障害はないと思う	0	0.0%	4	4.0%	1	1.1%	2	1.4%	2	1.4%	2	1.9%	0	0.0%	11	1.7%
無回答	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.7%	18	16.8%	1	14.3%	24	3.6%
回答者数	69	100.0%	99	100.0%	88	100.0%	141	100.0%	148	100.0%	107	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	169	244.9%	243	245.5%	227	258.0%	347	246.1%	365	246.6%	237	221.5%	18	257.1%	1606	243.7%

問 21 . あなたは、次の制度の内容についてご存じですか。
また実際に取得したことがありますか。(それぞれ1つずつ)

内容を知っているか
【～29歳】

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
育児休業制度	16	23.2%	37	53.6%	10	14.5%	6	8.7%	0	0.0%	69	100.0%
介護休業制度	7	10.1%	18	26.1%	17	24.6%	27	39.1%	0	0.0%	69	100.0%

【30歳代】

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
育児休業制度	38	38.4%	40	40.4%	20	20.2%	1	1.0%	0	0.0%	99	100.0%
介護休業制度	16	16.2%	28	28.3%	26	26.3%	29	29.3%	0	0.0%	99	100.0%

【40歳代】

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
育児休業制度	37	42.0%	36	40.9%	14	15.9%	1	1.1%	0	0.0%	88	100.0%
介護休業制度	26	29.5%	26	29.5%	22	25.0%	14	15.9%	0	0.0%	88	100.0%

【50歳代】

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
育児休業制度	66	46.8%	55	39.0%	17	12.1%	3	2.1%	0	0.0%	141	100.0%
介護休業制度	36	25.5%	46	32.6%	29	20.6%	28	19.9%	2	1.4%	141	100.0%

[60 歳代]

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
育児休業制度	53	35.8%	46	31.1%	30	20.3%	11	7.4%	8	5.4%	148	100.0%
介護休業制度	23	15.5%	38	25.7%	35	23.6%	44	29.7%	8	5.4%	148	100.0%

[70 歳以上]

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
育児休業制度	33	30.8%	18	16.8%	13	12.1%	19	17.8%	24	22.4%	107	100.0%
介護休業制度	12	11.2%	12	11.2%	19	17.8%	35	32.7%	29	27.1%	107	100.0%

ドメスティック・バイオレンス(結婚相手・恋人などからの暴力)、セクシュアル・ハラスメントなどについて

問 22. あなたは、次の言葉および法律の内容についてご存じですか。(~ のそれぞれについて1つずつ)

[~ 29 歳]

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
ドメスティック・バイオレンス	30	43.5%	27	39.1%	10	14.5%	2	2.9%	0	0.0%	69	100.0%
DV防止法	12	17.4%	27	39.1%	19	27.5%	11	15.9%	0	0.0%	69	100.0%
セクシュアル・ハラスメント	32	46.4%	31	44.9%	3	4.3%	2	2.9%	1	1.4%	69	100.0%

[30 歳代]

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
ドメスティック・バイオレンス	45	45.5%	46	46.5%	8	8.1%	0	0.0%	0	0.0%	99	100.0%
DV防止法	22	22.2%	43	43.4%	16	16.2%	18	18.2%	0	0.0%	99	100.0%
セクシュアル・ハラスメント	52	52.5%	41	41.4%	6	6.1%	0	0.0%	0	0.0%	99	100.0%

[40 歳代]

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
ドメスティック・バイオレンス	52	59.1%	25	28.4%	8	9.1%	3	3.4%	0	0.0%	88	100.0%
DV防止法	37	42.0%	27	30.7%	18	20.5%	6	6.8%	0	0.0%	88	100.0%
セクシュアル・ハラスメント	54	61.4%	30	34.1%	3	3.4%	1	1.1%	0	0.0%	88	100.0%

[50 歳代]

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
ドメスティック・バイオレンス	63	44.7%	47	33.3%	20	14.2%	10	7.1%	1	0.7%	141	100.0%
DV防止法	37	26.2%	49	34.8%	29	20.6%	24	17.0%	2	1.4%	141	100.0%
セクシュアル・ハラスメント	78	55.3%	46	32.6%	11	7.8%	4	2.8%	2	1.4%	141	100.0%

[60 歳代]

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
ドメスティック・バイオレンス	50	33.8%	36	24.3%	28	18.9%	32	21.6%	2	1.4%	148	100.0%
DV防止法	32	21.6%	31	20.9%	33	22.3%	48	32.4%	4	2.7%	148	100.0%
セクシュアル・ハラスメント	62	41.9%	38	25.7%	18	12.2%	27	18.2%	3	2.0%	148	100.0%

[70 歳以上]

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
ドメスティック・バイオレンス	17	15.9%	18	16.8%	15	14.0%	39	36.4%	18	16.8%	107	100.0%
DV防止法	14	13.1%	13	12.1%	21	19.6%	40	37.4%	19	17.8%	107	100.0%
セクシュアル・ハラスメント	22	20.6%	23	21.5%	14	13.1%	31	29.0%	17	15.9%	107	100.0%

問 24. 結婚相手や恋人から暴力を受けたときに相談できる機関や関係者などの窓口のなかで、そのような相談ができることを知っていたものはどれですか。(あてはまるものすべて)

	～29 歳		30 歳代		40 歳代		50 歳代		60 歳代		70 歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
配偶者暴力相談支援センター「三重県女性相談所」	3	4.3%	9	9.1%	13	14.8%	10	7.1%	15	10.1%	8	7.5%	1	14.3%	59	9.0%
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ相談室」	2	2.9%	11	11.1%	10	11.4%	7	5.0%	15	10.1%	7	6.5%	0	0.0%	52	7.9%
三重県人権センター	11	15.9%	18	18.2%	24	27.3%	42	29.8%	41	27.7%	17	15.9%	1	14.3%	154	23.4%
亀山市総合保健福祉センター「あいあい」女性相談	8	11.6%	20	20.2%	17	19.3%	17	12.1%	28	18.9%	18	16.8%	1	14.3%	109	16.5%
亀山市役所「くらし・男女の行政相談」	4	5.8%	13	13.1%	4	4.5%	20	14.2%	32	21.6%	15	14.0%	0	0.0%	88	13.4%
警察	38	55.1%	66	66.7%	67	76.1%	77	54.6%	63	42.6%	25	23.4%	4	57.1%	340	51.6%
弁護士	23	33.3%	32	32.3%	27	30.7%	39	27.7%	31	20.9%	17	15.9%	1	14.3%	170	25.8%
医師など医療関係者	9	13.0%	13	13.1%	20	22.7%	9	6.4%	3	2.0%	3	2.8%	0	0.0%	57	8.6%
婦人相談員	4	5.8%	5	5.1%	4	4.5%	3	2.1%	5	3.4%	7	6.5%	0	0.0%	28	4.2%
人権擁護委員	2	2.9%	4	4.0%	11	12.5%	26	18.4%	35	23.6%	22	20.6%	0	0.0%	100	15.2%
民間支援団体	2	2.9%	7	7.1%	3	3.4%	4	2.8%	5	3.4%	3	2.8%	0	0.0%	24	3.6%
その他	1	1.4%	0	0.0%	1	1.1%	2	1.4%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	5	0.8%
知っている相談窓口はない	14	20.3%	13	13.1%	8	9.1%	16	11.3%	13	8.8%	16	15.0%	1	14.3%	81	12.3%
無回答	3	4.3%	4	4.0%	6	6.8%	23	16.3%	41	27.7%	48	44.9%	2	28.6%	127	19.3%
回答者数	69	100.0%	99	100.0%	88	100.0%	141	100.0%	148	100.0%	107	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	124	179.7%	215	217.2%	215	244.3%	295	209.2%	327	220.9%	207	193.5%	11	157.1%	1394	211.5%

問 25 . あなたがセクシュアル・ハラスメントだと思うことはどれですか。(あてはまるものすべて)

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する	54	78.3%	87	87.9%	84	95.5%	120	85.1%	105	70.9%	47	43.9%	5	71.4%	502	76.2%
相手がいやがっているのに、肩に手をかけたり、身体に触る	64	92.8%	91	91.9%	83	94.3%	122	86.5%	103	69.6%	44	41.1%	5	71.4%	512	77.7%
宴席で、お酌やデュエット、ダンス等を強要する	29	42.0%	62	62.6%	58	65.9%	81	57.4%	63	42.6%	29	27.1%	3	42.9%	325	49.3%
容姿に関して繰り返し言う	38	55.1%	66	66.7%	63	71.6%	78	55.3%	55	37.2%	22	20.6%	4	57.1%	326	49.5%
相手がいやがっているのに性的な冗談を言う	55	79.7%	84	84.8%	72	81.8%	100	70.9%	84	56.8%	39	36.4%	5	71.4%	439	66.6%
職場や学校、集会などの場でわいせつな話をする	32	46.4%	42	42.4%	49	55.7%	60	42.6%	39	26.4%	25	23.4%	4	57.1%	251	38.1%
ヌードの写真やポスター、カレンダーなどを人目のつくところに貼る	29	42.0%	44	44.4%	49	55.7%	55	39.0%	34	23.0%	18	16.8%	5	71.4%	234	35.5%
結婚予定や出産予定をたびたび聞く	16	23.2%	31	31.3%	30	34.1%	41	29.1%	23	15.5%	14	13.1%	1	14.3%	156	23.7%
その他	2	2.9%	1	1.0%	3	3.4%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	1.1%
特にない	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.8%	6	4.1%	4	3.7%	0	0.0%	15	2.3%
わからない	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.1%	9	6.1%	14	13.1%	0	0.0%	27	4.1%
無回答	1	1.4%	1	1.0%	0	0.0%	5	3.5%	19	12.8%	36	33.6%	1	14.3%	63	9.6%
回答者数	69	100.0%	99	100.0%	88	100.0%	141	100.0%	148	100.0%	107	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	322	466.7%	509	514.1%	491	558.0%	670	475.2%	540	364.9%	292	272.9%	33	471.4%	2857	433.5%

問 26. 近年において、性犯罪や売買春(いわゆる「援助交際」を含む)、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント等についての関心が高まっていますが、このようなことをなくすためにはどうしたらよいと思いますか。(3つまで)

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
法律・制度の制定や見直しを行う	21	30.4%	39	39.4%	31	35.2%	46	32.6%	46	31.1%	18	16.8%	3	42.9%	204	31.0%
犯罪の取締りを強化する	23	33.3%	32	32.3%	38	43.2%	49	34.8%	51	34.5%	29	27.1%	2	28.6%	224	34.0%
捜査や裁判での担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする	30	43.5%	39	39.4%	40	45.5%	44	31.2%	42	28.4%	15	14.0%	1	14.3%	211	32.0%
被害女性を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる	5	7.2%	5	5.1%	6	6.8%	12	8.5%	14	9.5%	10	9.3%	0	0.0%	52	7.9%
被害女性のための相談所や保護施設を整備する	21	30.4%	31	31.3%	38	43.2%	54	38.3%	56	37.8%	28	26.2%	3	42.9%	231	35.1%
学校・家庭における男女平等や性についての教育を充実させる	9	13.0%	27	27.3%	21	23.9%	38	27.0%	24	16.2%	16	15.0%	2	28.6%	137	20.8%
性別や人種・障がいの有無による差別、同和問題などのあらゆる差別を許さないよう、人権尊重についての教育を学校、家庭において充実させる	16	23.2%	35	35.4%	21	23.9%	45	31.9%	30	20.3%	17	15.9%	2	28.6%	166	25.2%
メディア(新聞・テレビ等)が自主的に倫理規定を強化する	9	13.0%	20	20.2%	18	20.5%	20	14.2%	22	14.9%	9	8.4%	1	14.3%	99	15.0%
過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する	8	11.6%	27	27.3%	26	29.5%	43	30.5%	49	33.1%	28	26.2%	1	14.3%	182	27.6%
その他	6	8.7%	4	4.0%	2	2.3%	1	0.7%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	14	2.1%
特に対策の必要はない	2	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	4	0.6%
わからない	5	7.2%	5	5.1%	1	1.1%	5	3.5%	8	5.4%	14	13.1%	1	14.3%	39	5.9%
無効回答	4	5.8%	1	1.0%	3	3.4%	5	3.5%	8	5.4%	2	1.9%	0	0.0%	23	3.5%
無回答	1	1.4%	1	1.0%	0	0.0%	3	2.1%	12	8.1%	24	22.4%	1	14.3%	42	6.4%
回答者数	69	100.0%	99	100.0%	88	100.0%	141	100.0%	148	100.0%	107	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	160	231.9%	266	268.7%	245	278.4%	366	259.6%	363	245.3%	211	197.2%	17	242.9%	1628	247.0%

社会参加について

問 27. あなたは現在、地域における社会活動に参加していますか。(1つ)

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
参加している	7	10.1%	53	53.5%	52	59.1%	58	41.1%	65	43.9%	40	37.4%	3	42.9%	278	42.2%
参加していない	61	88.4%	44	44.4%	35	39.8%	80	56.7%	77	52.0%	54	50.5%	4	57.1%	355	53.9%
無回答	1	1.4%	2	2.0%	1	1.1%	3	2.1%	6	4.1%	13	12.1%	0	0.0%	26	3.9%
総計	69	100.0%	99	100.0%	88	100.0%	141	100.0%	148	100.0%	107	100.0%	7	100.0%	659	100.0%

問 27-2. 問 27 で「2. 参加していない」と答えた方にお聞きします。
 社会活動に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべて)

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
家事・育児・子どもの教育が忙しくて余裕がない	9	14.8%	17	38.6%	5	14.3%	6	7.5%	2	2.6%	2	3.7%	1	25.0%	42	11.8%
老人や病人の世話がある	0	0.0%	1	2.3%	2	5.7%	10	12.5%	10	13.0%	12	22.2%	1	25.0%	36	10.1%
家族の理解・協力がでない	2	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.8%	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%	6	1.7%
仕事が忙しくて余裕がない	19	31.1%	17	38.6%	15	42.9%	39	48.8%	26	33.8%	5	9.3%	1	25.0%	122	34.4%
活動に経費がかかる	0	0.0%	1	2.3%	1	2.9%	2	2.5%	4	5.2%	0	0.0%	0	0.0%	8	2.3%
どんな活動があるのかわからない	32	52.5%	24	54.5%	18	51.4%	28	35.0%	31	40.3%	8	14.8%	3	75.0%	144	40.6%
その他	11	18.0%	7	15.9%	6	17.1%	14	17.5%	11	14.3%	28	51.9%	1	25.0%	78	22.0%
無回答	1	1.6%	0	0.0%	1	2.9%	2	2.5%	3	3.9%	3	5.6%	0	0.0%	10	2.8%
回答者数	61	100.0%	44	100.0%	35	100.0%	80	100.0%	77	100.0%	54	100.0%	4	100.0%	355	100.0%
総回答数	74	121.3%	67	152.3%	48	137.1%	104	130.0%	87	113.0%	59	109.3%	7	175.0%	446	125.6%

問 28. 今後、男性・女性がともに、家事、子育て、教育、介護および地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで)

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	15	21.7%	33	33.3%	41	46.6%	64	45.4%	44	29.7%	37	34.6%	0	0.0%	234	35.5%
仕事中心という社会全体の仕組みを改めること	25	36.2%	48	48.5%	38	43.2%	41	29.1%	46	31.1%	11	10.3%	4	57.1%	213	32.3%
男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること	10	14.5%	22	22.2%	22	25.0%	32	22.7%	32	21.6%	24	22.4%	1	14.3%	143	21.7%
妻が、夫に経済力や出世を求めないこと	2	2.9%	1	1.0%	3	3.4%	8	5.7%	14	9.5%	5	4.7%	0	0.0%	33	5.0%
労働時間短縮や休暇制度を普及させること	33	47.8%	41	41.4%	35	39.8%	56	39.7%	43	29.1%	13	12.1%	2	28.6%	223	33.8%
男性の男女共同参画に対する関心を高めること	6	8.7%	9	9.1%	7	8.0%	27	19.1%	33	22.3%	25	23.4%	3	42.9%	110	16.7%
夫婦の間で家事などの役割分担をするように十分に話し合うこと	18	26.1%	17	17.2%	18	20.5%	25	17.7%	34	23.0%	21	19.6%	1	14.3%	134	20.3%
夫が家事などをするに妻が協力すること	6	8.7%	3	3.0%	5	5.7%	6	4.3%	8	5.4%	6	5.6%	1	14.3%	35	5.3%
男性が家事などに参加することに対する抵抗感をなくすこと	17	24.6%	17	17.2%	15	17.0%	27	19.1%	30	20.3%	15	14.0%	1	14.3%	122	18.5%
仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること	6	8.7%	4	4.0%	3	3.4%	6	4.3%	8	5.4%	8	7.5%	1	14.3%	36	5.5%
子どもに対して家事などを自分でできるようしつけや育て方をすること	9	13.0%	22	22.2%	22	25.0%	33	23.4%	45	30.4%	23	21.5%	1	14.3%	155	23.5%
子どもへの教育の中で、男女共同参画の必要性を教えること	3	4.3%	11	11.1%	15	17.0%	26	18.4%	18	12.2%	23	21.5%	2	28.6%	98	14.9%
その他	2	2.9%	3	3.0%	6	6.8%	3	2.1%	3	2.0%	1	0.9%	0	0.0%	18	2.7%
わからない	5	7.2%	6	6.1%	1	1.1%	6	4.3%	6	4.1%	13	12.1%	0	0.0%	37	5.6%
無効回答	4	5.8%	1	1.0%	2	2.3%	1	0.7%	4	2.7%	4	3.7%	0	0.0%	16	2.4%
無回答	2	2.9%	2	2.0%	1	1.1%	4	2.8%	8	5.4%	13	12.1%	1	14.3%	31	4.7%
回答者数	69	100.0%	99	100.0%	88	100.0%	141	100.0%	148	100.0%	107	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	163	236.2%	240	242.4%	234	265.9%	365	258.9%	376	254.1%	242	226.2%	18	257.1%	1638	248.6%

男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて

問 29. 政治や行政における、政策の企画や方針決定の過程への女性の参画は、徐々に改善はされているものの、依然として少ないのが現状です。あなたは、このような女性の参画が少ない状況は何が原因だと思いますか。(3つまで)

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
家庭・職場・地域における、性別による役割分担や性差別の意識	37	53.6%	54	54.5%	48	54.5%	65	46.1%	64	43.2%	40	37.4%	3	42.9%	311	47.2%
男性優位の組織運営	38	55.1%	57	57.6%	62	70.5%	79	56.0%	78	52.7%	41	38.3%	6	85.7%	361	54.8%
家族の支援・協力が得られない	16	23.2%	15	15.2%	34	38.6%	34	24.1%	25	16.9%	14	13.1%	1	14.3%	139	21.1%
女性の能力開発の機会が不十分	6	8.7%	17	17.2%	12	13.6%	29	20.6%	28	18.9%	26	24.3%	2	28.6%	120	18.2%
女性側の積極性が十分ではない	11	15.9%	24	24.2%	28	31.8%	54	38.3%	55	37.2%	36	33.6%	1	14.3%	209	31.7%
女性の参画を積極的に勧めようと意識している人が少ない	21	30.4%	39	39.4%	35	39.8%	68	48.2%	74	50.0%	49	45.8%	4	57.1%	290	44.0%
その他	3	4.3%	3	3.0%	3	3.4%	1	0.7%	3	2.0%	2	1.9%	0	0.0%	15	2.3%
わからない	11	15.9%	8	8.1%	1	1.1%	6	4.3%	11	7.4%	15	14.0%	0	0.0%	52	7.9%
無効回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
無回答	2	2.9%	3	3.0%	1	1.1%	5	3.5%	12	8.1%	13	12.1%	1	14.3%	37	5.6%
回答者数	69	100.0%	99	100.0%	88	100.0%	141	100.0%	148	100.0%	107	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	145	210.1%	220	222.2%	224	254.5%	341	241.8%	351	237.2%	236	220.6%	18	257.1%	1535	232.9%

問 30. 男女共同参画を推進していくために、今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(3つまで)

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
男女共同参画をめざした法律・条例・制度の制定や見直しを行う	21	30.4%	25	25.3%	37	42.0%	40	28.4%	33	22.3%	24	22.4%	2	28.6%	182	27.6%
女性を政策決定の場に積極的に登用する	19	27.5%	29	29.3%	26	29.5%	44	31.2%	36	24.3%	29	27.1%	1	14.3%	184	27.9%
各種団体の女性リーダーを養成する	5	7.2%	15	15.2%	11	12.5%	20	14.2%	21	14.2%	12	11.2%	2	28.6%	86	13.1%
職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底を行う	17	24.6%	27	27.3%	18	20.5%	36	25.5%	32	21.6%	18	16.8%	4	57.1%	152	23.1%
女性が経済力をつけるための知識や技術を習得するための職業教育・訓練を充実する	8	11.6%	19	19.2%	12	13.6%	23	16.3%	25	16.9%	22	20.6%	1	14.3%	110	16.7%
保育、介護の施設やサービスを充実する	27	39.1%	49	49.5%	38	43.2%	64	45.4%	66	44.6%	37	34.6%	3	42.9%	284	43.1%
学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	16	23.2%	26	26.3%	25	28.4%	40	28.4%	35	23.6%	32	29.9%	1	14.3%	175	26.6%
女性の生き方に関する情報提供や交流、相談、教育などの場を充実する	13	18.8%	10	10.1%	8	9.1%	25	17.7%	27	18.2%	11	10.3%	1	14.3%	95	14.4%
男性に対する意識啓発や研修を充実する	4	5.8%	11	11.1%	12	13.6%	12	8.5%	16	10.8%	6	5.6%	0	0.0%	61	9.3%
広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてのPRを充実する	7	10.1%	6	6.1%	18	20.5%	18	12.8%	30	20.3%	10	9.3%	1	14.3%	90	13.7%
その他	2	2.9%	2	2.0%	0	0.0%	2	1.4%	4	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	10	1.5%
特にない	1	1.4%	3	3.0%	1	1.1%	9	6.4%	4	2.7%	2	1.9%	0	0.0%	20	3.0%
わからない	11	15.9%	6	6.1%	4	4.5%	7	5.0%	10	6.8%	14	13.1%	0	0.0%	52	7.9%
無効回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	3	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.6%
無回答	1	1.4%	2	2.0%	3	3.4%	5	3.5%	11	7.4%	17	15.9%	1	14.3%	40	6.1%
回答者数	69	100.0%	99	100.0%	88	100.0%	141	100.0%	148	100.0%	107	100.0%	7	100.0%	659	100.0%
総回答数	152	220.3%	230	232.3%	214	243.2%	345	244.7%	353	238.5%	234	218.7%	17	242.9%	1545	234.4%

【職業別】

農林水産業(自営・家族従業者) 農林水産業、商工・サービス業(自営・家族従業者) 商工・サービス業

健康・介護について

問 15. あなたは、平成 18 年度(平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月)の 1 年間で、病院および職場、学校等での健康診断を受診しましたか。(1つ)

	勤め人 (フルタイム)	パート タイム	農林水 産業	商工・サ ービス業	自由業	家事専 業・家事 手伝い	学生	無職	その他	無効回 答	無回答	総計
受診した	216	63	11	27	5	49	12	111	4	0	7	505
受診していない	13	28	5	12	3	31	1	53	3	1	2	152
無回答	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
総計	229	93	16	39	8	80	13	164	7	1	9	659

	勤め人 (フルタイム)	パート タイム	農林水 産業	商工・サ ービス業	自由業	家事専 業・家事 手伝い	学生	無職	その他	無効回 答	無回答	総計
受診した	94.3%	67.7%	68.8%	69.2%	62.5%	61.3%	92.3%	67.7%	57.1%	0.0%	77.8%	76.6%
受診していない	5.7%	30.1%	31.3%	30.8%	37.5%	38.8%	7.7%	32.3%	42.9%	100.0%	22.2%	23.1%
無回答	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問 15-1. 問 15 で「2. 受診していない」と答えた方にお聞きします。
なぜ、受診しなかったのですか。(1つ)

	勤め人 (フルタイム)	パート タイム	農林水 産業	商工・サ ービス業	自由業	家事専 業・家事 手伝い	学生	無職	その他	無効回 答	無回答	総計
受診する機会がなかったから	5	14	3	3	1	15	1	24	1	0	1	68
健康には、自信があるから	1	1	1	2	1	5	0	1	0	0	0	12
忙しくて受ける暇がなかったから	3	3	1	5	0	4	0	5	2	0	1	24
経済的にゆとりがないから	1	3	0	0	0	1	0	2	0	0	0	7
健康診断は好まないから	2	3	0	1	1	6	0	11	0	0	0	24
その他	1	3	0	1	0	0	0	8	0	1	0	14
無効回答	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
総計	13	28	5	12	3	31	1	53	3	1	2	152

	勤め人 (フルタイム)	パート タイム	農林水 産業	商工・サ ービス業	自由業	家事専 業・家事 手伝い	学生	無職	その他	無効回 答	無回答	総計
受診する機会がなかったから	38.5%	50.0%	60.0%	25.0%	33.3%	48.4%	100.0%	45.3%	33.3%	0.0%	50.0%	44.7%
健康には、自信があるから	7.7%	3.6%	20.0%	16.7%	33.3%	16.1%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	7.9%
忙しくて受ける暇がなかったから	23.1%	10.7%	20.0%	41.7%	0.0%	12.9%	0.0%	9.4%	66.7%	0.0%	50.0%	15.8%
経済的にゆとりがないから	7.7%	10.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	4.6%
健康診断は好まないから	15.4%	10.7%	0.0%	8.3%	33.3%	19.4%	0.0%	20.8%	0.0%	0.0%	0.0%	15.8%
その他	7.7%	10.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	15.1%	0.0%	100.0%	0.0%	9.2%
無効回答	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

就労について

問 18-1. 問 18 で「1. している」と答えた方にお聞きします。
 あなたが働いているのはどのような理由からですか。(2つまで)

	勤め人 (フルタイム)	パート タイマー・ アルバイト	農林水 産業	商工・ サービス 業	自由業	家事専 業・家 事手伝 い	学生	無職	その他	無回答	総計
生計を維持するため	155	29	5	21	6	2	0	0	2	2	222
家計の足しにするため	19	34	0	4	2	3	1	2	1	0	66
教育資金を得るため	9	10	0	0	0	1	0	1	0	0	21
住宅ローン等借金の返済のため	32	5	1	2	0	0	0	0	0	0	40
将来に備えて貯蓄するため	40	12	0	8	1	0	0	0	3	1	65
自分で自由に使えるお金を得るため	24	18	1	1	0	2	2	1	0	0	49
生きがいを得るため	22	9	0	3	0	2	0	2	0	0	38
能力・技能・資格を生かすため	14	3	0	2	1	0	0	0	0	0	20
視野を広げ、友人を得るため	5	6	0	0	0	1	1	0	1	0	14
社会に貢献するため	9	1	0	2	1	0	0	1	1	0	15
仕事をすることが好きだから	8	4	0	6	1	1	0	1	0	0	21
働くのが当然だから	55	4	0	7	1	1	0	1	0	0	69
時間的に余裕があるから	6	15	0	1	0	0	1	1	0	0	24
家業であるから	0	2	3	14	2	1	0	0	2	3	27
その他	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
特に理由はない	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
無効回答	7	0	0	1	0	0	0	1	1	0	10
無回答	5	2	0	1	0	1	0	1	0	1	11
回答者数	225	85	7	38	8	8	3	7	6	5	392
総回答数	413	156	10	73	15	15	5	12	11	7	717

	勤め人 (フルタイム)	パート タイマー・ アルバイト	農林水 産業	商工・ サービス 業	自由業	家事専 業・家 事手伝 い	学生	無職	その他	無回答	総計
生計を維持するため	68.9%	34.1%	71.4%	55.3%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	33.3%	40.0%	56.6%
家計の足しにするため	8.4%	40.0%	0.0%	10.5%	25.0%	37.5%	33.3%	28.6%	16.7%	0.0%	16.8%
教育資金を得るため	4.0%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	5.4%
住宅ローン等借金の返済のため	14.2%	5.9%	14.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.2%
将来に備えて貯蓄するため	17.8%	14.1%	0.0%	21.1%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	20.0%	16.6%
自分で自由に使えるお金を得るため	10.7%	21.2%	14.3%	2.6%	0.0%	25.0%	66.7%	14.3%	0.0%	0.0%	12.5%
生きがいを得るため	9.8%	10.6%	0.0%	7.9%	0.0%	25.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	9.7%
能力・技能・資格を生かすため	6.2%	3.5%	0.0%	5.3%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.1%
視野を広げ、友人を得るため	2.2%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	3.6%
社会に貢献するため	4.0%	1.2%	0.0%	5.3%	12.5%	0.0%	0.0%	14.3%	16.7%	0.0%	3.8%
仕事をすることが好きだから	3.6%	4.7%	0.0%	15.8%	12.5%	12.5%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	5.4%
働くのが当然だから	24.4%	4.7%	0.0%	18.4%	12.5%	12.5%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	17.6%
時間的に余裕があるから	2.7%	17.6%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	33.3%	14.3%	0.0%	0.0%	6.1%
家業であるから	0.0%	2.4%	42.9%	36.8%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	33.3%	60.0%	6.9%
その他	0.9%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
特に理由はない	0.4%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
無効回答	3.1%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	16.7%	0.0%	2.6%
無回答	2.2%	2.4%	0.0%	2.6%	0.0%	12.5%	0.0%	14.3%	0.0%	20.0%	2.8%
回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
総回答数	183.6%	183.5%	142.9%	192.1%	187.5%	187.5%	166.7%	171.4%	183.3%	140.0%	182.9%

問 18-2. 問 18 で「1. している」と答えた方にお聞きします。

あなたの働いているところでは、男性と女性は平等だと思いますか。(1つ)

	勤め人 (フルタイム)	パートタイム パート	農林水 産業	商工・サ ービス業	自由業	家事専 業・家事 手伝い	学生	無職	その他	無回答	総計
平等である	108	49	4	24	4	4	2	5	5	1	206
女性の方が優遇されている	8	4	0	2	0	1	0	0	1	0	16
男性の方が優遇されている	105	23	1	11	4	0	1	0	0	3	148
無効回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
無回答	3	9	2	1	0	3	0	2	0	1	21
総計	225	85	7	38	8	8	3	7	6	5	392

	勤め人 (フルタイム)	パートタイム パート	農林水 産業	商工・サ ービス業	自由業	家事専 業・家事 手伝い	学生	無職	その他	無回答	総計
平等である	48.0%	57.6%	57.1%	63.2%	50.0%	50.0%	66.7%	71.4%	83.3%	20.0%	52.6%
女性の方が優遇されている	3.6%	4.7%	0.0%	5.3%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	4.1%
男性の方が優遇されている	46.7%	27.1%	14.3%	28.9%	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	60.0%	37.8%
無効回答	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
無回答	1.3%	10.6%	28.6%	2.6%	0.0%	37.5%	0.0%	28.6%	0.0%	20.0%	5.4%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問 18-3. 問 18-2 で「2. 女性の方が優遇されている」「3. 男性の方が優遇されている」と答えた方にお聞きします。あなたが働いているところで、男女が平等だと思わないのはどのようなことですか。(あてはまるものすべて)

	勤め人 (フルタイム)	パートタイム ・ アルバイト	農林水 産業	商工・サ ービス業	自由業	家事専 業・家事 手伝い	学生	無職	その他	無回答	総計
賃金	60	15	0	5	1	0	0	0	0	1	82
昇進、昇格	66	9	0	2	0	0	0	0	0	1	78
能力評価	45	4	0	4	1	0	0	0	0	2	56
採用時の条件	17	5	0	2	0	0	0	0	0	0	24
補助的な仕事しかやらせてもらえない	17	3	0	1	1	0	0	0	0	2	24
定年まで勤め続けにくい雰囲気がある	14	3	0	1	0	0	0	0	0	0	18
結婚したり子どもが生まれたりすると、 勤め続けにくい雰囲気がある	20	1	0	0	0	0	0	0	0	0	21
教育訓練を受ける機会に差がある	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10
その他	8	5	1	1	1	0	1	0	1	0	18
わからない	3	2	0	3	0	1	0	0	0	0	9
無回答	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
回答者数	113	27	1	13	4	1	1	0	1	3	164
総回答数	259	47	1	20	4	1	1	0	1	7	341

	勤め人 (フルタイム)	パートタイム ・ アルバイト	農林水 産業	商工・サ ービス業	自由業	家事専 業・家事 手伝い	学生	無職	その他	無回答	総計
賃金	53.1%	55.6%	0.0%	38.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%
昇進、昇格	58.4%	33.3%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	47.6%
能力評価	39.8%	14.8%	0.0%	30.8%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	34.1%
採用時の条件	15.0%	18.5%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.6%
補助的な仕事しかやらせてもらえない	15.0%	11.1%	0.0%	7.7%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	14.6%
定年まで勤め続けにくい雰囲気がある	12.4%	11.1%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.0%
結婚したり子どもが生まれたりすると、 勤め続けにくい雰囲気がある	17.7%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.8%
教育訓練を受ける機会に差がある	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	6.1%
その他	7.1%	18.5%	100.0%	7.7%	25.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	11.0%
わからない	2.7%	7.4%	0.0%	23.1%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%
総回答数	229.2%	174.1%	100.0%	153.8%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	233.3%	207.9%

問 20 . 女性が働き続けていくうえで、大きな障害になっているのは何だと思えますか。(3つまで)

	勤め人 (フルタイム)	パート ・ アルバイト	農林水 産業	商工・ サービス 業	自由業	家事専 業・家事 手伝い	学生	無職	その他	無効 回答	無回答	総計
家族の協力や理解が得にくいこと	91	36	5	14	4	32	3	61	2	1	4	253
家事や育児との両立が難しいこと	193	80	10	32	5	66	12	119	5	1	7	530
老人や病人の介護・看護があること	53	32	5	17	3	25	3	55	3	0	6	202
企業が女性に責任ある仕事を 任せないこと	27	1	1	3	1	7	2	14	0	0	0	56
企業が結婚・出産した女性の雇用 をきらい傾向があること	68	23	2	5	2	26	4	41	0	0	0	171
育児休業制度などの条件が整って いないこと	95	33	5	11	3	33	5	60	0	1	4	250
女性自身の就労に対する意識が 低いこと	30	13	2	10	0	9	3	20	0	0	0	87
その他	6	3	0	1	1	3	2	5	0	0	1	22
特に障害はないと思う	5	2	0	1	0	1	0	2	0	0	0	11
無回答	0	0	2	0	0	3	0	18	1	0	0	24
回答者数	229	93	16	39	8	80	13	164	7	1	9	659
総回答数	568	223	32	94	19	205	34	395	11	3	22	1606

	勤め人 (フルタイム)	パート ・ アルバイト	農林水 産業	商工・ サービス 業	自由業	家事専 業・家事 手伝い	学生	無職	その他	無効 回答	無回答	総計
家族の協力や理解が得にくいこと	39.7%	38.7%	31.3%	35.9%	50.0%	40.0%	23.1%	37.2%	28.6%	100.0%	44.4%	38.4%
家事や育児との両立が難しいこと	84.3%	86.0%	62.5%	82.1%	62.5%	82.5%	92.3%	72.6%	71.4%	100.0%	77.8%	80.4%
老人や病人の介護・看護があること	23.1%	34.4%	31.3%	43.6%	37.5%	31.3%	23.1%	33.5%	42.9%	0.0%	66.7%	30.7%
企業が女性に責任ある仕事を 任せないこと	11.8%	1.1%	6.3%	7.7%	12.5%	8.8%	15.4%	8.5%	0.0%	0.0%	0.0%	8.5%
企業が結婚・出産した女性の雇用 をきらい傾向があること	29.7%	24.7%	12.5%	12.8%	25.0%	32.5%	30.8%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.9%
育児休業制度などの条件が整って いないこと	41.5%	35.5%	31.3%	28.2%	37.5%	41.3%	38.5%	36.6%	0.0%	100.0%	44.4%	37.9%
女性自身の就労に対する意識が 低いこと	13.1%	14.0%	12.5%	25.6%	0.0%	11.3%	23.1%	12.2%	0.0%	0.0%	0.0%	13.2%
その他	2.6%	3.2%	0.0%	2.6%	12.5%	3.8%	15.4%	3.0%	0.0%	0.0%	11.1%	3.3%
特に障害はないと思う	2.2%	2.2%	0.0%	2.6%	0.0%	1.3%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%
無回答	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	11.0%	14.3%	0.0%	0.0%	3.6%
回答者数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
総回答数	248.0%	239.8%	200.0%	241.0%	237.5%	256.3%	261.5%	240.9%	157.1%	300.0%	244.4%	243.7%

【婚姻別】

男女平等について

問9. 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどう思いますか。(1つ)

	結婚している		離婚・死別		結婚していない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
同感する	53	10.2%	6	11.1%	4	5.1%	0	0.0%	63	9.6%
どちらかといえば同感する	218	41.9%	23	42.6%	20	25.3%	3	50.0%	264	40.1%
どちらかといえば同感しない	103	19.8%	6	11.1%	16	20.3%	1	16.7%	126	19.1%
同感しない	117	22.5%	13	24.1%	27	34.2%	1	16.7%	158	24.0%
わからない	18	3.5%	4	7.4%	11	13.9%	1	16.7%	34	5.2%
無回答	11	2.1%	2	3.7%	1	1.3%	0	0.0%	14	2.1%
総計	520	100.0%	54	100.0%	79	100.0%	6	100.0%	659	100.0%

健康・介護について

問17. あなたは将来、誰に介護してほしいと思いますか。(2つまで)

	結婚している		離婚・死別		結婚していない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
夫	130	25.0%	0	0.0%	15	19.0%	4	66.7%	149	22.6%
妻	194	37.3%	1	1.9%	8	10.1%	0	0.0%	203	30.8%
息子	33	6.3%	12	22.2%	4	5.1%	0	0.0%	49	7.4%
娘	107	20.6%	11	20.4%	11	13.9%	2	33.3%	131	19.9%
子ども全員	74	14.2%	3	5.6%	16	20.3%	1	16.7%	94	14.3%
息子の妻	23	4.4%	15	27.8%	0	0.0%	0	0.0%	38	5.8%
娘の夫	1	0.2%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
親	1	0.2%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	2	0.3%
ホームヘルパー	77	14.8%	10	18.5%	18	22.8%	1	16.7%	106	16.1%
介護施設、老人ホーム等	205	39.4%	27	50.0%	31	39.2%	2	33.3%	265	40.2%
近所や地域の人	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
その他	17	3.3%	3	5.6%	12	15.2%	0	0.0%	32	4.9%
無効回答	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
無回答	4	0.8%	1	1.9%	1	1.3%	0	0.0%	6	0.9%
回答者数	520	100.0%	54	100.0%	79	100.0%	6	100.0%	659	100.0%
総回答数	869	167.1%	84	155.6%	117	148.1%	10	166.7%	1080	163.9%

ドメスティック・バイオレンス(結婚相手・恋人などからの暴力)、セクシュアル・ハラスメントなどについて

問23. あなたはこれまでに、結婚相手や恋人から暴力を受けた経験がありますか。(1つ)

	結婚している		離婚・死別		結婚していない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
ある	46	8.8%	7	13.0%	1	1.3%	0	0.0%	54	8.2%
ない	457	87.9%	42	77.8%	77	97.5%	6	100.0%	582	88.3%
無回答	17	3.3%	5	9.3%	1	1.3%	0	0.0%	23	3.5%
総計	520	100.0%	54	100.0%	79	100.0%	6	100.0%	659	100.0%

【共働き形態別】

男女平等について

問9. 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。(1つ)

	フルタイム/フルタイム		フルタイム/パート・アルバイト		フルタイム/その他就労		フルタイム/未就労		パート・アルバイト、その他就労、未就労/パート・アルバイト、その他就労、未就労		その他		無効回答		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
同感する	3	4.7%	5	5.3%	1	7.7%	10	10.3%	33	14.4%	0	0.0%	1	5.0%	0	0.0%	53	10.2%
どちらかといえば同感する	16	25.0%	40	42.1%	3	23.1%	45	46.4%	108	47.2%	0	0.0%	6	30.0%	0	0.0%	218	41.9%
どちらかといえば同感しない	15	23.4%	24	25.3%	4	30.8%	17	17.5%	39	17.0%	0	0.0%	4	20.0%	0	0.0%	103	19.8%
同感しない	29	45.3%	19	20.0%	4	30.8%	20	20.6%	37	16.2%	0	0.0%	8	40.0%	0	0.0%	117	22.5%
わからない	1	1.6%	4	4.2%	0	0.0%	3	3.1%	9	3.9%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	18	3.5%
無回答	0	0.0%	3	3.2%	1	7.7%	2	2.1%	3	1.3%	0	0.0%	1	5.0%	1	100.0%	11	2.1%
総計	64	100.0%	95	100.0%	13	100.0%	97	100.0%	229	100.0%	1	100.0%	20	100.0%	1	100.0%	520	100.0%

家庭生活について

問10. あなたの家庭では、家庭生活について、夫婦の間でどのように分担していますか。

(~ のそれぞれについて1つずつ)

夫婦ともほとんどしない(親、子ども、その他の人がしている) 夫婦ともほとんどしない

【フルタイム/フルタイム】

	ほとんど妻がしている		妻が中心だが夫も手伝う		平等に分担している		夫が中心だが、妻も手伝う		ほとんど夫がしている		夫婦ともほとんどしない		その他		結婚していないおよび現在は夫・妻がいない		無効回答		無回答		総計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
食事の支度	42	65.6	13	20.3	0	0.0	0	0.0	1	1.6	2	3.1	4	6.3	0	0.0	1	1.6	1	1.6	64	100.0
食事の後片付け	37	57.8	16	25.0	3	4.7	0	0.0	2	3.1	2	3.1	2	3.1	0	0.0	1	1.6	1	1.6	64	100.0
家の掃除	28	43.8	24	37.5	6	9.4	1	1.6	1	1.6	1	1.6	1	1.6	0	0.0	1	1.6	1	1.6	64	100.0
入浴の準備、風呂場の掃除	24	37.5	11	17.2	9	14.1	5	7.8	3	4.7	5	7.8	5	7.8	0	0.0	1	1.6	1	1.6	64	100.0
日常の買い物	28	43.8	18	28.1	9	14.1	1	1.6	0	0.0	3	4.7	2	3.1	0	0.0	2	3.1	1	1.6	64	100.0
日常の家計管理	41	64.1	4	6.3	7	10.9	4	6.3	2	3.1	1	1.6	2	3.1	0	0.0	1	1.6	2	3.1	64	100.0
日常のゴミ捨て	18	28.1	12	18.8	6	9.4	1	1.6	13	20.3	9	14.1	2	3.1	0	0.0	2	3.1	1	1.6	64	100.0
洗濯	41	64.1	10	15.6	5	7.8	0	0.0	2	3.1	2	3.1	1	1.6	0	0.0	2	3.1	1	1.6	64	100.0
高額な商品の購入決定	5	7.8	10	15.6	20	31.3	18	28.1	8	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.6	2	3.1	64	100.0
生活費の確保	14	21.9	3	4.7	23	35.9	15	23.4	7	10.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.6	1	1.6	64	100.0
PTAや地域の行事参加	9	14.1	18	28.1	13	20.3	12	18.8	3	4.7	4	6.3	3	4.7	0	0.0	1	1.6	1	1.6	64	100.0
親戚とのつきあい	0	0.0	12	18.8	29	45.3	13	20.3	5	7.8	1	1.6	2	3.1	0	0.0	1	1.6	1	1.6	64	100.0
近所とのつきあい	7	10.9	15	23.4	18	28.1	10	15.6	3	4.7	5	7.8	4	6.3	0	0.0	1	1.6	1	1.6	64	100.0

[フルタイム/パート・アルバイト]

	ほとんど妻がしている		妻が中心だが夫も手伝う		平等に分担している		夫が中心だが、妻も手伝う		ほとんど夫がしている		夫婦ともほとんどしない		その他	結婚していないおよび現在は夫・妻がいない		無効回答		無回答		総計		
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%		人	%	人	%	人	%	人	%	人
食事の支度	75	78.9	16	16.8	1	1.1	0	0.0	1	1.1	1	1.1	1	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	95	100.0
食事の後片付け	67	70.5	22	23.2	2	2.1	2	2.1	0	0.0	1	1.1	1	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	95	100.0
家の掃除	54	56.8	30	31.6	5	5.3	2	2.1	1	1.1	1	1.1	1	1.1	0	0.0	0	0.0	1	1.1	95	100.0
入浴の準備、風呂場の掃除	50	52.6	24	25.3	4	4.2	5	5.3	8	8.4	1	1.1	2	2.1	0	0.0	0	0.0	1	1.1	95	100.0
日常の買い物	62	65.3	28	29.5	4	4.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	95	100.0
日常の家計管理	78	82.1	4	4.2	1	1.1	4	4.2	6	6.3	0	0.0	2	2.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	95	100.0
日常のゴミ捨て	48	50.5	23	24.2	5	5.3	4	4.2	8	8.4	5	5.3	2	2.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	95	100.0
洗濯	75	78.9	15	15.8	1	1.1	1	1.1	1	1.1	0	0.0	1	1.1	0	0.0	0	0.0	1	1.1	95	100.0
高額な商品の購入決定	14	14.7	15	15.8	31	32.6	10	10.5	21	22.1	0	0.0	3	3.2	0	0.0	0	0.0	1	1.1	95	100.0
生活費の確保	19	20.0	5	5.3	6	6.3	31	32.6	31	32.6	0	0.0	1	1.1	0	0.0	0	0.0	2	2.1	95	100.0
PTAや地域の行事参加	21	22.1	21	22.1	26	27.4	13	13.7	7	7.4	1	1.1	4	4.2	0	0.0	0	0.0	2	2.1	95	100.0
親戚とのつきあい	10	10.5	8	8.4	33	34.7	32	33.7	4	4.2	4	4.2	3	3.2	0	0.0	0	0.0	1	1.1	95	100.0
近所とのつきあい	15	15.8	33	34.7	19	20.0	14	14.7	3	3.2	4	4.2	5	5.3	0	0.0	1	1.1	1	1.1	95	100.0

[フルタイム/その他就労]

	ほとんど妻がしている		妻が中心だが夫も手伝う		平等に分担している		夫が中心だが、妻も手伝う		ほとんど夫がしている		夫婦ともほとんどしない		その他	結婚していないおよび現在は夫・妻がいない		無効回答		無回答		総計		
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%		人	%	人	%	人	%	人	%	人
食事の支度	12	92.3	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	13	100.0
食事の後片付け	10	76.9	2	15.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	13	100.0
家の掃除	11	84.6	2	15.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	13	100.0
入浴の準備、風呂場の掃除	7	53.8	3	23.1	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	15.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	13	100.0
日常の買い物	12	92.3	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	13	100.0
日常の家計管理	12	92.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	13	100.0
日常のゴミ捨て	9	69.2	2	15.4	0	0.0	1	7.7	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	13	100.0
洗濯	12	92.3	0	0.0	0	0.0	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	13	100.0
高額な商品の購入決定	0	0.0	1	7.7	6	46.2	2	15.4	4	30.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	13	100.0
生活費の確保	4	30.8	0	0.0	0	0.0	7	53.8	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	7.7	0	0.0	13	100.0
PTAや地域の行事参加	3	23.1	5	38.5	4	30.8	0	0.0	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	13	100.0
親戚とのつきあい	3	23.1	3	23.1	4	30.8	3	23.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	13	100.0
近所とのつきあい	5	38.5	2	15.4	4	30.8	2	15.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	13	100.0

【フルタイム/未就労】

	ほとんど妻がしている		妻が中心だが夫も手伝う		平等に分担している		夫が中心だが、妻も手伝う		ほとんど夫がしている		夫婦ともほとんどしない		その他		結婚していないおよび現在は夫・妻がいない		無効回答		無回答		総計		
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人
食事の支度	68	70.1	24	24.7	0	0.0	1	1.0	1	1.0	1	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	2.1	97	100.0	
食事の後片付け	68	70.1	21	21.6	2	2.1	1	1.0	1	1.0	2	2.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	2.1	97	100.0	
家の掃除	57	58.8	29	29.9	4	4.1	3	3.1	0	0.0	0	0.0	1	1.0	0	0.0	0	0.0	3	3.1	97	100.0	
入浴の準備、風呂場の掃除	47	48.5	27	27.8	10	10.3	3	3.1	4	4.1	2	2.1	2	2.1	0	0.0	0	0.0	2	2.1	97	100.0	
日常の買い物	49	50.5	35	36.1	8	8.2	1	1.0	0	0.0	0	0.0	2	2.1	0	0.0	0	0.0	2	2.1	97	100.0	
日常の家計管理	68	70.1	14	14.4	4	4.1	4	4.1	4	4.1	0	0.0	1	1.0	0	0.0	0	0.0	2	2.1	97	100.0	
日常のゴミ捨て	50	51.5	21	21.6	3	3.1	5	5.2	14	14.4	1	1.0	1	1.0	0	0.0	0	0.0	2	2.1	97	100.0	
洗濯	76	78.4	13	13.4	0	0.0	1	1.0	2	2.1	3	3.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	2.1	97	100.0	
高額な商品の購入決定	10	10.3	10	10.3	34	35.1	23	23.7	17	17.5	1	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	2.1	97	100.0	
生活費の確保	26	26.8	3	3.1	2	2.1	13	13.4	51	52.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	2.1	97	100.0	
PTAや地域の行事参加	21	21.6	19	19.6	15	15.5	19	19.6	10	10.3	4	4.1	6	6.2	0	0.0	0	0.0	3	3.1	97	100.0	
親戚とのつきあい	4	4.1	16	16.5	46	47.4	22	22.7	5	5.2	1	1.0	1	1.0	0	0.0	0	0.0	2	2.1	97	100.0	
近所とのつきあい	19	19.6	28	28.9	27	27.8	13	13.4	2	2.1	2	2.1	4	4.1	0	0.0	0	0.0	2	2.1	97	100.0	

【パート・アルバイト、その他就労、未就労/パート・アルバイト、その他就労、未就労】

	ほとんど妻がしている		妻が中心だが夫も手伝う		平等に分担している		夫が中心だが、妻も手伝う		ほとんど夫がしている		夫婦ともほとんどしない		その他		結婚していないおよび現在は夫・妻がいない		無効回答		無回答		総計		
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人
食事の支度	180	78.6	34	14.8	3	1.3	1	0.4	2	0.9	3	1.3	2	0.9	0	0.0	1	0.4	3	1.3	229	100.0	
食事の後片付け	155	67.7	50	21.8	5	2.2	2	0.9	2	0.9	4	1.7	2	0.9	0	0.0	0	0.0	9	3.9	229	100.0	
家の掃除	116	50.7	67	29.3	22	9.6	7	3.1	3	1.3	3	1.3	1	0.4	0	0.0	0	0.0	10	4.4	229	100.0	
入浴の準備、風呂場の掃除	111	48.5	57	24.9	14	6.1	12	5.2	18	7.9	6	2.6	3	1.3	0	0.0	2	0.9	6	2.6	229	100.0	
日常の買い物	108	47.2	82	35.8	12	5.2	1	0.4	9	3.9	6	2.6	2	0.9	0	0.0	3	1.3	6	2.6	229	100.0	
日常の家計管理	145	63.3	24	10.5	16	7.0	13	5.7	17	7.4	4	1.7	1	0.4	0	0.0	0	0.0	9	3.9	229	100.0	
日常のゴミ捨て	87	38.0	51	22.3	15	6.6	24	10.5	36	15.7	9	3.9	3	1.3	0	0.0	0	0.0	4	1.7	229	100.0	
洗濯	177	77.3	20	8.7	8	3.5	3	1.3	3	1.3	5	2.2	2	0.9	0	0.0	2	0.9	9	3.9	229	100.0	
高額な商品の購入決定	23	10.0	30	13.1	47	20.5	60	26.2	46	20.1	4	1.7	4	1.7	0	0.0	2	0.9	13	5.7	229	100.0	
生活費の確保	35	15.3	15	6.6	35	15.3	45	19.7	77	33.6	6	2.6	5	2.2	0	0.0	1	0.4	10	4.4	229	100.0	
PTAや地域の行事参加	31	13.5	28	12.2	44	19.2	42	18.3	41	17.9	10	4.4	9	3.9	0	0.0	0	0.0	24	10.5	229	100.0	
親戚とのつきあい	20	8.7	20	8.7	104	45.4	52	22.7	18	7.9	4	1.7	3	1.3	0	0.0	1	0.4	7	3.1	229	100.0	
近所とのつきあい	31	13.5	47	20.5	102	44.5	26	11.4	9	3.9	4	1.7	4	1.7	0	0.0	0	0.0	6	2.6	229	100.0	

子育てについて

問 12. 子育てについて、あなたの意見にもっとも近いものはどれですか。

(~ のそれぞれについて1つずつ)

[フルタイム/フルタイム]

	そう思う		どちらかといえばそう思う		どちらかといえばそう思わない		そう思わない		わからない		無効回答		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	20	31.3%	30	46.9%	4	6.3%	7	10.9%	1	1.6%	0	0.0%	2	3.1%	64	100.0%
子どもの世話の大部分は、男親にもできる	14	21.9%	23	35.9%	17	26.6%	6	9.4%	2	3.1%	0	0.0%	2	3.1%	64	100.0%
必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	19	29.7%	26	40.6%	5	7.8%	8	12.5%	4	6.3%	0	0.0%	2	3.1%	64	100.0%
男の子は家事ができるように育てるのがよい	28	43.8%	26	40.6%	3	4.7%	3	4.7%	2	3.1%	0	0.0%	2	3.1%	64	100.0%
女の子は家事ができるように育てるのがよい	44	68.8%	16	25.0%	0	0.0%	1	1.6%	1	1.6%	0	0.0%	2	3.1%	64	100.0%
男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	49	76.6%	11	17.2%	0	0.0%	2	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.1%	64	100.0%
女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	39	60.9%	18	28.1%	1	1.6%	3	4.7%	1	1.6%	0	0.0%	2	3.1%	64	100.0%

[フルタイム/パート・アルバイト]

	そう思う		どちらかといえばそう思う		どちらかといえばそう思わない		そう思わない		わからない		無効回答		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	44	46.3%	42	44.2%	6	6.3%	3	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	95	100.0%
子どもの世話の大部分は、男親にもできる	13	13.7%	31	32.6%	36	37.9%	10	10.5%	3	3.2%	0	0.0%	2	2.1%	95	100.0%
必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	21	22.1%	31	32.6%	12	12.6%	20	21.1%	10	10.5%	0	0.0%	1	1.1%	95	100.0%
男の子は家事ができるように育てるのがよい	34	35.8%	45	47.4%	9	9.5%	4	4.2%	3	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	95	100.0%
女の子は家事ができるように育てるのがよい	66	69.5%	28	29.5%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	95	100.0%
男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	68	71.6%	24	25.3%	1	1.1%	0	0.0%	2	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	95	100.0%
女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	36	37.9%	49	51.6%	6	6.3%	1	1.1%	3	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	95	100.0%

【フルタイム/その他就労】

	そう思う		どちらかといえばそう思う		どちらかといえばそう思わない		そう思わない		わからない		無効回答		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	6	46.2%	5	38.5%	1	7.7%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	100.0%
子どもの世話の大部分は、男親にもできる	1	7.7%	6	46.2%	2	15.4%	2	15.4%	2	15.4%	0	0.0%	0	0.0%	13	100.0%
必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	3	23.1%	3	23.1%	2	15.4%	5	38.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	100.0%
男の子は家事ができるように育てるのがよい	4	30.8%	6	46.2%	1	7.7%	2	15.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	100.0%
女の子は家事ができるように育てるのがよい	9	69.2%	3	23.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	13	100.0%
男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	8	61.5%	5	38.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	100.0%
女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	3	23.1%	7	53.8%	1	7.7%	1	7.7%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	13	100.0%

【フルタイム/未就労】

	そう思う		どちらかといえばそう思う		どちらかといえばそう思わない		そう思わない		わからない		無効回答		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	52	53.6%	37	38.1%	2	2.1%	2	2.1%	2	2.1%	0	0.0%	2	2.1%	97	100.0%
子どもの世話の大部分は、男親にもできる	20	20.6%	37	38.1%	22	22.7%	15	15.5%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.1%	97	100.0%
必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	29	29.9%	30	30.9%	9	9.3%	16	16.5%	10	10.3%	0	0.0%	3	3.1%	97	100.0%
男の子は家事ができるように育てるのがよい	35	36.1%	43	44.3%	9	9.3%	3	3.1%	4	4.1%	0	0.0%	3	3.1%	97	100.0%
女の子は家事ができるように育てるのがよい	65	67.0%	25	25.8%	0	0.0%	2	2.1%	3	3.1%	0	0.0%	2	2.1%	97	100.0%
男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	69	71.1%	22	22.7%	1	1.0%	0	0.0%	3	3.1%	0	0.0%	2	2.1%	97	100.0%
女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	35	36.1%	48	49.5%	9	9.3%	0	0.0%	3	3.1%	0	0.0%	2	2.1%	97	100.0%

【パート・アルバイト、その他就労、未就労/パート・アルバイト、その他就労、未就労】

	そう思う		どちらかといえばそう思う		どちらかといえばそう思わない		そう思わない		わからない		無効回答		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	139	60.7%	66	28.8%	2	0.9%	6	2.6%	6	2.6%	0	0.0%	10	4.4%	229	100.0%
子どもの世話の大部分は、男親にもできる	25	10.9%	78	34.1%	53	23.1%	48	21.0%	12	5.2%	0	0.0%	13	5.7%	229	100.0%
必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	48	21.0%	72	31.4%	28	12.2%	35	15.3%	26	11.4%	0	0.0%	20	8.7%	229	100.0%
男の子は家事ができるように育てるのがよい	72	31.4%	104	45.4%	16	7.0%	16	7.0%	9	3.9%	0	0.0%	12	5.2%	229	100.0%
女の子は家事ができるように育てるのがよい	154	67.2%	59	25.8%	1	0.4%	3	1.3%	4	1.7%	0	0.0%	8	3.5%	229	100.0%
男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	157	68.6%	54	23.6%	3	1.3%	1	0.4%	3	1.3%	0	0.0%	11	4.8%	229	100.0%
女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	94	41.0%	89	38.9%	21	9.2%	8	3.5%	5	2.2%	0	0.0%	12	5.2%	229	100.0%

健康・介護について

問 16-1. 問 16 で「1. はい」と答えた方にお聞きします。
その方の世話は誰がしていますか。(主なもの2つまで)

	フルタイム/フルタイム		フルタイム/パート・アルバイト		フルタイム/その他就労		フルタイム/未就労		パート・アルバイト、その他就労、未就労/パート・アルバイト、その他就労、未就労		その他		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
夫	0	0.0%	2	28.6%	0	0.0%	0	0.0%	16	36.4%	0	0.0%	18	24.7%
妻	0	0.0%	2	28.6%	1	50.0%	2	16.7%	18	40.9%	2	66.7%	25	34.2%
息子	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	3	6.8%	0	0.0%	5	6.8%
娘	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	25.0%	8	18.2%	1	33.3%	12	16.4%
子ども全員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.5%	0	0.0%	2	2.7%
息子の妻	2	40.0%	4	57.1%	0	0.0%	3	25.0%	6	13.6%	0	0.0%	15	20.5%
娘の夫	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%
親	0	0.0%	1	14.3%	1	50.0%	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.1%
ホームヘルパー	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	1	8.3%	4	9.1%	0	0.0%	6	8.2%
介護施設、老人ホーム等	4	80.0%	3	42.9%	1	50.0%	5	41.7%	13	29.5%	2	66.7%	28	38.4%
近所や地域の人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%	1	1.4%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	1	2.3%	0	0.0%	2	2.7%
無効回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.5%	0	0.0%	2	2.7%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	5	100.0%	7	100.0%	2	100.0%	12	100.0%	44	100.0%	3	100.0%	73	100.0%
総回答数	7	140.0%	13	185.7%	3	150.0%	18	150.0%	74	168.2%	5	166.7%	120	164.4%

就労について

問 20. 女性が働き続けていくうえで、大きな障害になっているのは何だと思いますか。(3つまで)

	フルタイム/フルタイム		フルタイム/パート・アルバイト		フルタイム/その他就労		フルタイム/未就労		パート・アルバイト、その他就労、未就労/パート・アルバイト、その他就労、未就労		その他		無効回答		無回答		総計		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
家族の協力や理解が得にくいこと	28	43.8%	39	41.1%	5	38.5%	37	38.1%	88	38.4%	4	20.0%	1	100.0%	0	0.0%	202	38.8%	
家事や育児との両立が難しいこと	48	75.0%	81	85.3%	13	100.0%	88	90.7%	167	72.9%	19	95.0%	1	100.0%	0	0.0%	417	80.2%	
老人や病人の介護・看護があること	18	28.1%	25	26.3%	5	38.5%	23	23.7%	86	37.6%	10	50.0%	0	0.0%	1	100.0%	168	32.3%	
企業が女性に責任ある仕事を任せないこと	5	7.8%	7	7.4%	0	0.0%	10	10.3%	21	9.2%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	45	8.7%	
企業が結婚・出産した女性の雇用をきらい傾向があること	15	23.4%	28	29.5%	3	23.1%	38	39.2%	48	21.0%	3	15.0%	0	0.0%	0	0.0%	135	26.0%	
育児休業制度などの条件が整っていないこと	26	40.6%	33	34.7%	4	30.8%	44	45.4%	77	33.6%	5	25.0%	1	100.0%	0	0.0%	190	36.5%	
女性自身の就労に対する意識が低いこと	9	14.1%	15	15.8%	1	7.7%	7	7.2%	37	16.2%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	70	13.5%	
その他	1	1.6%	4	4.2%	0	0.0%	4	4.1%	5	2.2%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	16	3.1%	
特に障害はないと思う	4	6.3%	1	1.1%	0	0.0%	1	1.0%	4	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	1.9%	
無効回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	18	7.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	19	3.7%	
回答者数	64	100.0%	95	100.0%	13	100.0%	97	100.0%	229	100.0%	20	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	520	100.0%	
総回答数	154	240.6%	233	245.3%	31	238.5%	253	260.8%	551	240.6%	46	230.0%	3	300.0%	1	100.0%	1272	244.6%	

2.自由記述

自由記述回答の概要

男女共同参画に対し賛否が分かれる

自由記述回答には、「男女共同参画が望ましい」とする肯定的意見と、「男女共同参画がよいとは思わない」という否定的意見がともにみられる。

男女共同参画は望ましいが、現実には厳しい

肯定的意見は、さらに、「男女共同参画は望ましいが、現実には厳しい」とする意見と、「男女共同参画を進めるために必要なこと」に関する意見に細かく分類される。「男女共同参画は望ましいが、現実には厳しい」とする意見については、男性より女性のほうが多く回答している。

男女共同参画に関する意識啓発や教育が必要

全般を通してみると、最も多いのは「男女共同参画に関する意識啓発や教育が必要である」という意見であり、26人が市民の意識啓発や子どものうちからの教育の重要性を訴えている。年齢別では50歳代が最も多く、性別では女性よりも男性のほうが多い。

男女共同参画がよいとは思わず、人として互いを認め合うことが重要

次いで多いのは、「男女共同参画はよいとは思わない。人として互いを認め合うことが重要である」という意見である。23人が回答しており、男性に比べて女性のほうがやや多い。

女性が働きやすい環境づくりが必要

「女性が働きやすい環境づくりが必要である」という意見は13人が回答しており、30～50歳代の回答が多い。

男性も家事・育児・介護に参加すべき / 女性が社会参加しやすい環境づくりが必要

「男性も家事・育児・介護に参加すべきである」という意見と「女性が社会参加しやすい環境づくりが必要である」という意見は、ともに10人が回答しているが、男性の家事・育児・介護への参加を求める意見は、男性に比べて女性のほうが多く、逆に女性の社会参加を求める意見については、男性のほうが多く回答している。

保育・介護サービスの充実が必要 / 女性のほうが優遇されている

女性が働きやすい環境や社会参加しやすい環境づくりのための「保育・介護サービスの充実が必要である」とする意見が9人ある一方で、「女性のほうが優遇されている」とする意見も2人みられる。

亀山市男女共同参画推進条例への期待・要望

また、「亀山市男女共同参画推進条例に関する意見」は11人が回答しており、わかりやすく親しみやすい、内容のある条例づくりを求める意見が多くなっている。女性より男性のほうがやや多く回答している。

その他

「その他男女共同参画に関する意見」としては、「行政がまず手本となるべきだ」という意見や「男女共同参画を推進する活動に参加したい」という意見など様々な意見が寄せられている。ドメスティック・バイオレンス(DV)やセクシュアル・ハラスメントに関する意見もみられる。

自由記述回答（分類別）

1．男女共同参画は望ましいが、現実には厳しい。…6人

	年代	地区	性別	内容
1	～29歳	神辺地区	女性	仕事ばかり平等になって賃金面では平等でないこと。男女平等の言葉だけが先行している気がする。社会の対等な構成員として責任を担うのも理解はできるが、平等、平等と言って男性が気を抜き、今以上に行動しなくなったり、女性ばかりに責任を負わされる雰囲気がある。男女共同参画を進めてほしいと思う社会的に自立した女性もいれば、そう思わない人もいると思うので、色々な立場の意見を参考に進めてほしい。
2	～29歳	亀山地区	女性	法律や条例、制度の見直しも大切なことだとは思いますが、それをしていくのなら、もっと現実の部分をよく見つめて、見直して行ってほしい。
3	～29歳	川崎地区	女性	私は仕事が好きなので、家事、育児なども夫と折半してやっていますが、実際育児は、99%母親に求められ（保育園、周囲の人より）夫も仕事中心を職場から求められます（残業しないでいたら部署を替わられた）。私たちのやっている事が受け入れられないのが現状です。
4	50歳代	井田川地区	男性	政治への参画については、男性についても共通することですが、資金が掛かりすぎる点で女性は時に個人での参画は経済面で難しい。組織からの人に限られているのが現状ではないでしょうか。議員報酬など見直す必要があると思う。諸外国に対し、日本人の女性観が、未だに男性より一歩下がってという社会の習慣に変化がない限り難しいでしょう。社会の中でも主婦の方は家庭中心に生活のリズムがあるので家庭の状況で大きく意識が違ってくると思われます。アンケートの中にもありましたが、サポートする環境作りをすすめて、PRしていくことから始める必要があるのではないのでしょうか。呼びかけることは必要ですが、環境整備がなされていない中では参画できないでしょう。
5	70歳以上	亀山地区	女性	高齢化が進み、低所得者、保護家庭が年々増加の一途をたどっている。また精神的、身体的障害者も近辺を眺めれば次第に多くなりつつある。あれやこれや考えていくと現実には厳しく、理想は男女共同参画は望ましいが、難しい事が多すぎるように思われる。
6	70歳以上	野登地区	男性	あらゆる場面で男女の差別は少なくなったようだが、基本的な場面では依然として差別が残っているのではないかと。・本能的(?)に男は「男が上位」と考え、女は「男に従うもの」と考える「クセ」があるように思われる。・政策の場、各職場、役付けなど男性優位が厳然とあるように思われる。・今日のようなグローバルな世界、「男が」とか「女が」とか言っていたら日本はそれこそ世界から取り残される。男女が「平等に」共同参画できる社会の早期到来を願っております。ごくろうさまです。

2．男女共同参画に関する意識啓発や教育が必要である。…26人

	年代	地区	性別	内容
7	～29歳	加太地区	男性	男性、女性はこうあるべきだという古い慣習を少しずつ見直し、人間として男女平等になるよう、職場、家庭、社会全体を含めて、具体的に個々の問題として話し合いの場を多く持つ。テレビ、新聞ほかのマスメディアを通して、広く「男女共同参画」というテーマを問いかけ、国民の問題として、皆に関心を持ってもらい、意識を植え付ける。
8	～29歳	川崎地区	男性	いかに市民に周知させるかが問題だと思います。えっそんなん知らんよってことにならない様、取り組んで下さい。

	年代	地区	性別	内容
9	~29歳	関地区	女性	今の社会には必要なことだと思う。しかし、私達の年代にもっと浸透しやすいようにPRなどしていった方がよいかと。若い人は新聞や地域の広報などを読まない。もしくは、存在を知らないかもしれない。私は昔から読んでいたので割と知っています。もっと広く知ってもらうことは難しいことだと思いますが、頑張ってください。私は、ボランティアとかに参加してみたいと思うけれど、なかなか情報が入ってきません。どちらかというところ...皆さんの様な中心に入って一緒に考えていける場に入りたいとも思います。
10	~29歳	関地区	男性	女性は社会的な立場が弱いという概念を法律によってではなく、人々の意識によって変える必要がある。それを行うには、一人ひとりの協力が必要であるし、変えるための大きな力と時間が必要。行政はその力を持っているので、是非活用してほしい。
11	30歳代	井田川地区	男性	各種体験学習（介護、家事、保育など）や、家族参加型のイベントなどの開催のような、それぞれの役割の理解支援と、相互に性を意識することのないような共同作業イベントなどの開催や、啓蒙活動の機会を増やす必要があるかと思う。
12	40歳代	井田川地区	男性	家庭において「これは妻の役割、夫の役目」といった考えがあると、その子どもたちは、親の姿を見て、また、不平等な人間に育ってしまう。でもそんな子ども達も大きくなれば疑問を持つだろう。そんな時に社会として「男女平等」「均等な取扱いをする職場」などの考え方があれば、男女共同参画の社会は実現できると信じる。資本家・工場主・大土地所有者は己の利益のみを追求するだけでなく、労働者の生活を考え、そこで働く男女の権利を守るべきだ。
13	40歳代	神辺地区	男性	若い人の意識は、まわりの環境次第ですぐに変わります。逆に年配の人の考え方は、それ程柔軟には変わりません。試しに田中市長へのアンケート結果を公開してみたいかでしょうか？行政として、そういうことから始めてみてはどうでしょうか。とりあえず、トップの方から意識改革を進めていって下さい。
14	40歳代	亀山地区	女性	女性にばかり聞かずに、そういう話をする場を職場なり学校なりできちんと開いてもらえればいいのではないかと思います。育児＝女性はいいい加減やめにしてもらいたいです。
15	50歳代	加太地区	男性	男女平等とは何が平等なのか。これからの子供達に教えるべきだと思う。
16	50歳代	亀山地区	女性	女性の側の仕事に対する意識（母からの育てられ方も含む）が低いように思う。仕事をする気のない人に男女平等、仕事をしろ、と言っても無理かな、と。現在“子”を育てている保護者の意識、認識を変え、すべての人が自立した生活を送れるよう若い頃から教育していく必要があると思う。
17	50歳代	亀山地区	女性	若い世代であれば、やり方も少しずつ変化はあるかも知れないが、（年寄り）年配になるとやはり「男に台所は...」と言った様なことになる。自治会や身近なところでもっと話し合いをもちたい。（年寄りと暮らしていると叱られる）
18	50歳代	亀山地区	女性	男女共同参画の企画はよいことだと思いますが、学校においても、また、日本中の職場においても、人間が人間を大事にする基本的な人と人との営みの上での大切さをもっと教育すべきだと思います。親身になった人々の心が大事だと思います。
19	50歳代	亀山地区	男性	アンケートの実施については評価できるが、大切なのは市民への定着と考える。部屋の中で作成したものだけでは、市民の理解は求められない。市民参加型の条例でなくては、無意味であろう。市民の立場に立って“ねる”事を望む。以上、ごくるう様です。
20	50歳代	亀山地区	男性	近年、男性が女性の職場等への参加は増加していると思います。しかし、女性が男性中心の職場に参加する事は、身体的理由等もあり少ないと思います。又、女性自身も社会全体の視野が狭い様に思います。学校教育等で、若い頃から社会全体の視野を広げる教育機会を作っていく事が大事だと思います。

	年代	地区	性別	内容
21	50歳代	亀山地区	男性	男女共同参画を推進していくためには、学校教育や社会教育を通じて、小さい頃から個人に教育をして意識を変えていかないと実現しにくいと思います。
22	50歳代	川崎地区	女性	先日のニュースで、亀山の女子中学生の事件“出会い系サイト”の件でもそうです。親がもっといろんな事を子供達と話していたら、こんな事も起こらなかったのでは。特に母親がもっと時間に余裕が持てたら、家族の事を考えられてたら。家族の崩壊が進んでいるように思います。健康的な家族、町、市にして行けるよう皆で努力しなくてはと思います。男の人は男の人でやらなくてはいけない、女の人は女の人でやらなくてはいけない事、それを基に共同参画という言葉について考えた方がいいと思います。勝手な事言ってますみません。最近の世の中、おかしいですね。いい亀山市にしてください。スポーツの亀山市、どうですか？ P12に書き込み：家庭内での会話が少なすぎると思います。その中で、夜遊びの事、服装の事等、親がもっと子供の様子を見守るべきだと思います。“ただいま～”の言葉だけで、今日はおかしい、元気がない、今日は元気に帰って来たなど母親はわかるものです。母親が仕事をしていると子供の様子を知る事もなく、家事、仕事を一生懸命やって、次の日の仕事に備えないといけないので、余裕がないのだと思います。だから、こんな世の中になって行ってるのだと思います。
23	60歳代	井田川地区	男性	問30.今までの意識感覚、価値観の違いか、これまで当たり前とっていたことも多々で勉強不足を痛感します。どんな活動をされているのか、それぞれが気軽に出来るのか、入れるのか、条例をどのように活かすのか、PRの充実をお願いする。問8.学校における先生と親の立場、教育委員会と親の立場、女の子の男言葉等、平等の履き違えもあるように思う。平等ということば、難しいですね。家庭の中での意識改革でしょうか。
24	60歳代	亀山地区	女性	・女性自身に意識が薄い ・女性が活動しようとしても外に出ることは男性は快く思わない人がいる ・家族間の話合いが少ない(やっかいな事は避けようとする) ・最近、男女共同参画に理解しようとする人たちは増えているが、広報、PR、パンフレット等の充実も良いと思うが、本当に見て欲しい人は見ない事が多々ある。そういう人達に理解してもらうにはどうすれば良いかを考えるべきでは。
25	60歳代	白川地区	男性	男女平等について話し合いの場を多く持って、理解と協力して行かなければならないと思います。
26	60歳代	関地区	女性	男女共同参画社会について、認識度が低い。もっと細やかな説明が必要でないか？
27	60歳代	関地区	男性	亀山市男女共同参画推進に関しての情報をもっと大々的にPRをして、職場でももっと協力徹底し、施設などの場所などをもっと市側も説明する。
28	70歳以上	井田川地区	女性	問30の7、10
29	70歳以上	亀山地区	女性	男女共同参画とよく叫ばれていますが、それぞれ個人個人、各家庭、各職場により、いろいろ事情が異なりますから、一概にこうしたらよいということはなかなか難しい事だと思います。もう大人になった人を教育するより、小さな子供のうちから十分な教育をしたらどうでしょうか。
30	70歳以上	亀山地区	男性	男尊女卑の意識改革、特に男性に対し、PRも含め、積極的に行政が推進する枠組作りを行い、共同参画推進を実施して頂きたい。
31	70歳以上	亀山地区	男性	団塊世代の知識・能力を得るために、何回も何回も広報・ポスター・チラシ等を通し、参画意識の高揚を図ること。・どんな役割を望んでいるのか希望調査の実施・各地域の次期リーダー養成のため、研修機会をつくる(男・女とも)
32	70歳以上	昼生地区	男性	男性中心に回ってきた社会は急に変えることは出来ないと思われる。意識改革を図るのは簡単なことではない。相当な時間と努力が必要だと思う。

3. 男性も家事・育児・介護に参加すべきである。...10人

	年代	地区	性別	内容
33	30歳代	井田川地区	女性	土、日に男の人のための料理教室を実施しては。平日は、仕事で無理すぎると思う。もっと男性が、料理に対して、皿洗いに対して手伝うピーアールしてほしい。 = 夫の仕事の残業を減らしてほしい。
34	30歳代	井田川地区	女性	私は、資格をもち仕事をしています。仕事が好きでしています。家の中の事をするのも好きでしています。両立のため、仕事はパートタイムです。これは私が女性だから、周囲の誰も何も言わないのかもしれませんがね。もし、私が男性で、このような生活をしたいと願った時にも、すんなりと周囲が受け入れてくれるような社会であってほしいものです。
35	30歳代	関地区	女性	介護の面もまだまだ“嫁が姑を見る”ことが当たり前とされており、息子が母を見る等、男性の介護の話は少ないように思う。男性ヘルパーを増やしたり、子どもの頃から男女差なく介護を行うことについて体験等通して学んでいってほしいと思う。
36	50歳代	井田川地区	女性	男女共同参画というと女性が男性並みになると思いがちですが、今まで女性が担っていた家庭のことを男性もやっていくこと。ということは、働くことに関する考え方を変えなければなりません。男女ともどンドン働いて、育児等を施設に委ねるということでは意味がないと思います。個人的にはワークシェアという考え方に活路を見いだしています。女性に家事、育児、介護をおっかぶせないと同時に男性の経済力へのプレッシャーをかけないことも必要と思います。しかし現実にはなかなかそうはいかず、本人の生き方や考え方を重視することになるのでしょうか。
37	50歳代	亀山地区	女性	仕事時間の短縮や残業を少なくするというのは大いに結構ですが、こういったことが唱われると残業をつけさせない、日曜日などの休日出勤を認めないなど、かえって家へ持って帰る仕事が多くなったり、サービス残業が多くなったりしている。本当の意味の軽減とは、考えてほしい。
38	60歳代	井田川地区	女性	男性にも、もっと職場の仕事を休んで介護や育児の手伝いができる様に、法的、制度等を改めて、休暇が自動的に遠慮せず取得できる様にする事が共同参画の基本と考えます。
39	60歳代	神辺地区	女性	私も36年間、地方公務員として働いてきましたが、我々の時代は育児休業制度は勿論、産前産後の休暇も短かったし、現在のように男性が子育てに協力してくれることもなかったのが本当に大変でした。2人の娘達に「私達は子供の頃の楽しい思い出がなかったから、絶対共働きはしない。自分の子供は自分で育てる」と言われ、結婚と同時にあっさり退職してしまい一寸ショックでした。男性にも育児休業が取れる会社があるようですが、良い事ですね。子育ては夫婦でやるべき、祖父母の協力が得られれば最高ですね。昔のように親との同居ができるよう、誰にも親はあるはず。独居老人問題にも関係してくるのでは…。問いに反した事を書いてしまったかな、申し訳ございません。
40	60歳代	亀山地区	女性	男性女性の介護士を多くして、特に力があるので男性を多くするようにして亀山市の老人が子どもを頼らず全員が入れる施設を作って。
41	60歳代	川崎地区	男性	・男女平等収入で互助社会（家庭作業含め） ・子育ては家庭から（男の収入を多くする）夫も協力。子供が小さいうちは、子供中心の夫・妻社会
42	70歳以上	亀山地区	男性	変化の激しい時代である。ひとり、ひとりの幸せの為には、お互いが協力し合わねばならない。職場、地域、家庭における男女の協力は不可欠である。女性の社会進出のためには、出産、育児などを女性特有の問題としないで、男性ができることは協力して行くことが必要である。従来の男性型社会から、女性の立場から見た社会のあり方、考え方も充分に取り入れた男女共同参画型の社会に変えて行かねばならない。

4. 女性が働きやすい環境づくりが必要である。...13人

	年代	地区	性別	内容
43	30歳代	井田川地区	男性	本当に女性というものに差別意識がある、あったのはどこなのかが行政側に考えてほしい。女性の社会進出も、元々安い労働力を企業に送る為に行政が進めてきたもの。これで女性が経済的に自立など無理。
44	30歳代	亀山地区	女性	企業全体が派遣社員での雇用が多く、給与面で共働きを強いられる状況であると思うのですが、子育てをしている場合、子供の行事や急用などで休暇などを取るのには現在でも女性の仕事だという意識が社会全体にあるように思います。企業に対し、男性もそのような理由で協力をする事を理解して頂ければ女性も働きやすくなり、平等に近いという感覚を持てるような気がします。長年、企業に勤めていた経験があるので、不平等な扱いを目のあたりにしてきましたので、一番力を入れて頂きたいと思います。
45	30歳代	亀山地区	女性	平等といっても、女性にはハンディがあります。子育てや介護などで社会から少し離れると元の位置に立てないのではないかとという焦りと、社会の流れの速さに消失してしまいうようになります。本人のやる気とうらはらに、時代のスピードがやけに速すぎるのです。今の社会が「落ちこぼれは、いらぬ」みたいな空気を含んでいて、少しでも休んだら“負け犬”とされてしまう状況ではないでしょうか？最先端が美徳とされがちな企業のやり方に疑問をもちますが。例えばパソコンやメールで綴られた言葉より、自筆で丁寧に書かれた言葉の方が温かさまで伝わるような...アナログの良さ（伝統や先人の教え etc.）も上手にmixしていくべきだと思います。法律や条例を変えるのではなくて、意識の問題でしょ？公文書がパソコンしかダメ！！なのもおかしいと思う（大学のレポートも！！）。
46	30歳代	関地区	女性	地域の特性からいって、亀山市はまだまだ男性優位な社会という感じがする。女性が仕事をしながら育児も行える社会に向けて、もっと具体的な方法を市民に周知して実施してほしいと思う。
47	40歳代	亀山地区	男性	女性が外で仕事をしたいのにできない、機会がないという事は問題だとは思いますが。その辺も十分考えて下さい。
48	40歳代	関地区	男性	行政の一部局だけが頑張っても効果は薄い。商工会なども協力し、家族、家庭、子供を大切にすることが「企業のお荷物」視されないような体制、雰囲気を作る必要がある。それには具体的メリットも必要で、産・育休の取得率が高い事業所の法人税などを軽減するなど工夫が必要である。
49	40歳代	野登地区	男性	職場における女性の仕事をもっと与え、リーダーシップをとらせる。50代女性にもっともっと仕事をさせる機会や制度をつくる。女性の意識を向上させる手だて、責任を持たせる。
50	50歳代	井田川地区	男性	少子化が問題になっている今、勤め人である私たち（男女共）が育児と仕事の両立が難しいのが現実であり、現在私の娘も昨年結婚して勤め（幼稚園勤務）も続けていますが、子どもを産み育てたいとの強い意志があり、一時的に育児休業制度を利用しても期間が短く、又、職場へ復帰できたとしても、勤めに出ている時の育児のことを考えると今の勤め先を辞めざるを得ません。法の改正及び見直しをもっと進め、法の強制力をもって勤め先（企業等）側の育児、介護休業制度への取り組み方の充実整備されるように行政側より推進してほしい。
51	50歳代	井田川地区	男性	法を制定するのは良いが、民間企業は利益、成長を常に求めている。その活動の中で残業や、サービス業の遅くまでの営業や、年中無休などが現実にある。女性の就業活動が、結婚、子育てに関係があるのではないかと。企業にもある程度の規制が必要だと思いますが。
52	50歳代	神辺地区	女性	最近では男女平等とだいぶ見直されているようですが、まだまだ男性上位が強いです（家庭では別）。働く女性にとっては、男性以上に仕事のできる方もいます。その様な方が少しでも働きやすいよう、又責任あるポストにつけてあげる事のできる職場を育ててほしいと思います。

	年代	地区	性別	内容
53	50 歳代	亀山地区	女性	私は今年 3 月に民間の会社を退職しましたが、フルタイムで 21 年働いて、男性以上に残業等して休みもあまりなく働いてきましたが、今の日本の中小企業は女性の給料は男性の半分ぐらいです。公務員の男女平等の給料とはほど遠いものです。公務員の女性は優遇されているように思います。厚生年金にしても、結婚している相手の男性が亡くなった場合、男性の遺族年金を選んだ場合、働いている時に納めた厚生年金が無駄になります。
54	60 歳代	神辺地区	女性	男より女の方が格差が大きいため、又女は子育て及び家事と、男より女の方が家庭の仕事が過重であること。職場の場合は仕事等均等に男女が行われるが、その後同じ 17 時に仕事が終わって、2 人が家庭に帰ると家の仕事、食事及び掃除、子育て等は均等に 2 人で行う事に無理があります。男は職の関係で帰りが遅い事もあり、又女の人でも職場の責任者であれば夫より遅い事があるため、夫も妻も同じ時間に帰る事は不可欠と考えられます。男女均等法を設定するまでに、男女が共に働ける環境作りが出来てないため、今、男女共同参画と言った事が後に廻されているから大変だと思う。(私は現在身体障害者です。) 眼視不良
55	60 歳代	亀山地区	男性	男女共同参画をさえぎる根っ子の大きな問題は、女性特有の出産、育児である。この大仕事に対する社会、企業の理解と行政の支援、援助(経済面、育児面)が充実されない限り、女性の社会進出、引いては男女共同参画が充実していくことは到底考えられない。今の現状を見ていると、多くの働く女性はパート契約社員等で、夫の給料の不足分を稼ぐことに心血を注いでいる。男女共同参画への目覚め等、社会に貢献するといった崇高な人は数少ないのである。男女共同参画を推進していくには、何が阻害要因かをじっくり洗い出し、大きな問題に対して対策を打っていくといった基本に忠実な取組を期待しています。

5. 女性が社会参加しやすい環境づくりが必要である。...10 人

	年代	地区	性別	内容
56	30 歳代	亀山地区	男性	各自治体に女性リーダーをつくり、いろいろな行事へ参加してみる。
57	40 歳代	亀山地区	女性	社会の慣習や意識を変えていくのも重要なことと思うが、すぐに 180 度変えるのは無理だろう。てっとり早く、ある程度の効果をあげるには一部の欧米諸国で行っているような「女性登用」の法整備(=国会や地方議員の何割かは女性でなければならないというもの)が必要だと思われる。
58	40 歳代	亀山地区	女性	まず、政治、行政の場の男女の数を同数にすることで女性の意識が政治や行政に向いてゆく。
59	40 歳代	関地区	男性	市議会議員の女性を増やす。市行政の管理職に女性を登用することなど。
60	50 歳代	神辺地区	男性	1. 全ての議員制の定数を男女同数とする。2. 小中学校の教師数を男女同数とする。3. 自治体職員の定数を男女同数とする。
61	50 歳代	亀山地区	男性	自治会、コミュニティ活動でもまだ男性中心で運営されている。もっと女性も参加出来るような運動にしてほしい。
62	60 歳代	井田川地区	男性	亀山市議員の女性が少ない。もっと 1/3 以上として女性の考え方も取り入れられるように。
63	60 歳代	亀山地区	男性	男女共同参画とは、女性の参画を増やすということだと考える。女性が参画出来る為には、法律や制度だけでは不可能で、男性優位の封建的な考えや男女がやるべき分担まで飲み込んで、女性でしかできない事以外を男性が参画してられる常態を与えていかないと簡単なものでない。女性に頑張るって欲しいの願望や施策では、結果は余り現状とは進歩は僅かであろう。独身女性の参画は多いに可能性はあるが、結婚、出産、子育ての次に、親の介護とくれば経験豊富な女性の参画がこれからの社会では難しくなる。親の介護等にいかにか参画を推進できる制度を考えることにより、大きく参画が推進できると思うが? どれくらいの参画をどの方面で期待されているのか、数値がないので目標が明確でないように思う。せめ

	年代	地区	性別	内容
				て、男性の市長が選任されたら、市長が女性の副市長でも任命し、専従させればもっとできると思う。(以上)
64	70歳以上	加太地区	男性	女性が男性よりも人数的にも多いのだから、議員数にしても、他の団体の役職にしても、半数以上は女性にやってもらえるような制度にしたいと思います。
65	70歳以上	関地区	男性	まだまだ昔の考えが多くあり、家族の協力が少なく、世間にも物好きのように思われるような感じがしないでもない。もう少し女性側にも家事等にとらわれずに進んで参加することを少しずつ考えて行けばと思う。

6. 保育・介護サービスの充実が必要である。... 9人

	年代	地区	性別	内容
66	30歳代	井田川地区	男性	私は、数年前、一度離婚しました。子供1人、2歳半から2人での生活となりました。その時、子供を預ける施設が亀山市にありませんでした。仕事も夜遅くなることもあります。私は鈴鹿市内の無認可保育園に子供を預けなくてはなりません。無認可であり、保育時間も長いことから保育料の負担が大変でした。母子なら母子手当がありますが、父子なので手当がありません。養育にかかる費用は同じなのに不平等を感じました。男女平等を言うのなら、そういう事例もあることを踏まえて検討してほしいと思います。亀山市の開催している相談会にも相談に行きましたが、亀山市にはそういう施設がないので、自分で何とかして下さいとのことを言われました。子供が小学校へ入学する前になんとか再婚できましたので、保育の心配はなくなりましたが、夫婦共働きの家庭では、夜間までしている保育所は必要と思います。
67	30歳代	亀山地区	女性	一時保育や託児サービスを実施してほしい。あいあい(専業主婦で小さい子どもがいると市で実施する検診も受けられない。)や市役所で1時間単位で子どもを預かってくれるなど。
68	30歳代	野登地区	女性	実際、共働きをしている家庭で育児をしている私は、夫の協力も必要だけれども、そういう家庭をサポートしてくれる行政も必要不可欠だと思います。結局、市の保育園では、延長保育や土曜保育をしているとはいっても、実際預けようとすると園側の都合に合わせられて、土曜日に預かるのを断られたり、イヤな顔をされたりするのが多い。行政側も家庭の夫婦の役割を問うよりも、すべきことをしていただきたい。
69	40歳代	井田川地区	女性	まだまだ男女共同参画するというのは、女性が家事・育児とこなしながらやるのは、家族の協力や理解をしてもらいながら参画するのは現実的に難しいと思います。それを支援して頂ける保育や介護の施設やサービスが本当に安心して充実できれば、参画したいと思うし、男性には男性的に良いところを活かし、女性には女性的な(細かい行き届いたセンス)良いところを活かし、お互いに良い所を相互していけば、すばらしく良い物が出来ていくのではないかと思います。私も家族の理解があれば、それに保育や施設が充実していれば参画したいと思っています。願っています。
70	40歳代	亀山地区	男性	保育、介護施設やサービスを充実する為に、より良い介護の人材を確保するためにもっと介護報酬をアップしてほしい。
71	50歳代	加太地区	男性	亀山市においても24Hの保育サービス等の充実をお願いいたします。(会社でも二直、三直勤務ばかり)
72	70歳以上	亀山地区	男性	亀山も高齢者が多いので介護施設を充実してくれたら、もっと女性が外へ出やすくなると思う。現状ではなかなか施設を利用出来ない。
73	70歳以上	川崎地区	女性	私は地域の老人会に入っていますが、主人が病気のため手が離せませんので、なかなか地域の行事に参加出来ません。代わりに見てもらう人も近くにいません。老人会、地域の盆おどり等、そういう時、安心して見てもらえる人を今、私は望んでいます。自治会の中からそういう人がいたらよいなと思います。

	年代	地区	性別	内容
74	-	-	-	もう少し保育園保育料を安くしてほしいです。何のために働きに出るのかわからなくなります。家庭への負担を少しでも楽にしようと思い、働きに出ても、パートで1ヶ月の給料はしれています。正社員で働いても、自分への負担が大きく、なかなか続けられません。関幼稚園の年少さんが来年年中さんになった時、延長がなくなると聞きました。できれば残してほしいです。そうすれば、パートに出る時間も少し長くなりますし、家庭への負担も少し楽になります。延長があるのとないのでは、私たち主婦にとっては、大きく変わります。延長をなくさないでください。

7. 男女共同参画がよいとは思わない。人として互いを認め合うことが重要である。...23人

	年代	地区	性別	内容
75	~29歳	神辺地区	女性	男女は同権であっても同質ではない。それぞれの質をお互いが理解しあった上で、同権をいかにすすめるか、はっきりいって難しいと思います。また、ジェンダー論等、前にたって発言する人(女性)は過剰すぎると思う。理解はできるが、賛同できにくい。
76	~29歳	亀山地区	女性	私は男女平等といいますが、全く均等に対等となるのは難しいと思います。女性は差別されているという女性も多いですが、実際のところ、体のつくり、容姿、体質等、男女はやはり違います。男子は男子の力が発揮できること、女子は女子の力が発揮できることをやって役割をもって生活していく方がいいと私は考えています。
77	~29歳	関地区	男性	男女共同参画も大切ですが、何でもかんでも男女平等を唱えるのはどうかと思う。日本の社会通念上、男女が必ずしも平等でない部分もあるのでは。
78	30歳代	井田川地区	女性	個人一人ひとりが、それぞれの考え方があるから必ずしも男女平等がいいとも思わない。夫婦間でよく話し合い、考えればいいと思う。私は家事は好きだし、主人が働いてくれるので生活が成り立っているし、うちはこれでいいと思う。
79	30歳代	亀山地区	女性	男女平等も良いとは思いますが、出産出来るのは女性なのだから、男女平等とはいかないのじゃないのでしょうか、一生。新しい事を始めるもの良いが、昔からの事も頭に入れていろいろな事をする方が良いと思う。男女平等になれば、ますます出生率は下がると思います。女性の社会進出はあまり良い事だと私は思いません。社会で働き、晩婚になり、結果、子供の出来にくい体になってしまったり、高齢出産で母子共に危険な目にあったり、最近はおんなみんなが出産できるとは限りません。結局は男女平等とは、あまり良くない事だと思います。
80	30歳代	亀山地区	女性	法治国家である以上、法律・条例等の整備も必要だとは思いますが、結局は、個々の集まりなので個々の意識の改善が最も重要なことだと思います。「平等」や「均等」という言葉に重点を置いたPRや啓発にも、少し疑問を感じます。男性には男性の、女性には女性の、各人には各人の個性があるのが当然です。お互いに認め合うことをしないまま法律や言葉が先走ってしまうのは、意味のないことになってしまうのではないのでしょうか。
81	30歳代	亀山地区	男性	男女は性差の為、完全に平等になりません。お互い(男女の間だけでなく、自分と他人)をひとりひとりの尊い人間であることを認めあえる社会になればいいなと思います。
82	30歳代	川崎地区	女性	“男女が均等に”とありますが、個々の意識の差もあり、みんなが同じように「均等である」とは感じにくいと思います。何だか全て画一的になってきて、男らしさ女らしさがなくなってきているように思います。男に向いていること、女に向いていることもやはりあると思うので、その点をき違えることなく、“平等”を考えられたらと思います。
83	30歳代	野登地区	女性	男性(夫)に家庭、育児に参加させようという風習はどうなのかと思う。夫婦で育児する事によって、子供に2人の目がいてしまうのは、子供としてはどうな

	年代	地区	性別	内容
				のかと…。働く父親の後ろ姿を見せるのも大事なのではないかと？
84	40歳代	-	女性	男女共同参画参画を推進することに女性として「反対」の立場です。全国的に推進しているにも関わらず女性の進出が思わしくない現状を見ても、実は女性は社会への参画を望んでない現実があるのではと思います。やはり家庭をサービスに任せるよりは、家庭で育児・介護等をしていくべきと思うし、男女それぞれの役割というのは自然に出てくるものであり、それは差別ではないと考えます。教育の現場に男女平等や同和教育を持ち込むことには以前から憤慨していました。こんな事にムダなお金を使わず、税金を大切にしてください。男女共同参画反対です！
85	40歳代	井田川地区	男性	私は男女が全く平等になるとは思いません。やはり体力的の差、それが賃金の差に表れるとか(職業的な物)、そうでない物も多くあるとは思いますが、日本古来、やはり男が強く、女性が弱者に扱われて来ましたが、ここ近年女性の意見立場も向上してきたと思われますので、そういう社会はよいと思っております。早く言えば一長一短有りかなあ？
86	40歳代	亀山地区	女性	「男女平等」などという考えがあること自体が社会のゆがみを反映している。男女という分け方でなく、1人間としての権利、能力、生活環境を思いやる社会づくりを子どもたちにも大人社会にも根付かせる必要があると思っている。
87	40歳代	亀山地区	男性	男性、女性という中で差別と区別は別の事と考えているのでしょうか。女性にしか男性にしか(？これはちょっと何があるのかわからんが)出来ない事はあると思います。何でも同じは平等とは言えないと思います。各々にあったもの、機会は同じということが平等だと思います。その辺を十分考えた上で進めてもらう事が大切だと思います。それと、仕事は会社に勤める事のように言われますが、家庭の中での家事 etc も立派な仕事で、それを各々分担してやっているといます。確かに男性の方が社会で多くお金をもらえるので女性が家事をすることが多いとは思いますが、それ自体は問題ないと思います。
88	40歳代	関地区	男性	男女に差があるのは当たり前、人間として体の機能、役割も違うので平等というのは無理な話！共同、協力し合えることは、互いの考え一つで可能である。
89	50歳代	井田川地区	男性	何が何でも共同する必要はない。力仕事が女性に出来ますか？男女の役割分担をはっきりさせて推進。細木和子氏がテレビで言ってたけど、「男らしく」「女らしく」がなくなってしまうのがどうなのかな～。
90	50歳代	亀山地区	女性	男女が協力して、尊重し合い、生活、社会参加していくことはとても大切なことだと思う。各々の特性を生かすということになると、男・女という枠に嵌めるといのはどうかと思う。(男性でも女性的な感性の人もあるし、その反対も言える。)もっと広く個々の良いところ、得意な、好きな所を出し合え、生かせる社会になってほしいと思う。
91	50歳代	川崎地区	女性	“男女共同参画”という言葉自体は良いと思いますが、男性と女性では、立場が違ってくると思います。今は、女性が出すぎているので、男性が男性として(夫として父として)の威厳が保てなくなって来ている。妻が子供の前で夫のことを悪く言ったりして、子供が見たら、聞いていたらどう思うでしょう。“男女共同参画”のとらえ方、もっと考えて見てはどうでしょう。男性は男として、夫として、父として、女性は女として、妻として、母として、その前に人としての道徳、思いやり等、もっと考えた上で次のステップへと進むべきで、基本をもっと勉強する必要があります。
92	60歳代	亀山地区	男性	男と女では違いがあるのは当然で「体の違いがある」「感情の違いがある」「背丈の違いがある」その他多数ある。それを無理に平等～と推進するのが無理である。男の役割、女の役割は当然あるはず。
93	60歳代	亀山地区	男性	男女共同参画(女性の職業参画)と出生率の低下には相関関係があると思います。男女共同参画と男女平等と混同してはいませんか？すでに社会は男女平等になっています。あえて、男女共同参画なるものを展開しなくても良いのではないでし

	年代	地区	性別	内容
				ようか。
94	60歳代	亀山地区	男性	男女平等もいいが、緊急時、危険な現場作業が出来るのか？夜間、台風、地震洪水時必ず男と同一に出勤及び作業が出来るのか。権利の主張に終わらず、単発でなく持続的に継続できるものとするべしであると思う。平等には責任も伴うものであり、生半可でないことを肝に銘じてやってほしい。
95	60歳代	亀山地区	男性	男性には男性特有のパワーを持っている。また、女性には女性特有のパワーを持っている。平和な社会をつくるには、それぞれの特性を生かし、ともに補完し合う努力が求められるものと考えます。
96	60歳代	関地区	女性	“男は男らしく”“女は女らしく”と昔から言われていることには同感だが、その中で男女がうまく共同していける社会になればと思う。女性もどんどん社会に進出し、その得た知識を子育てに反映できたらいいのでは。ともかく、社会に犯罪の起こらない、みんな仲良く出来る社会を望みます。そのためには、それぞれの役割を果たし、又、認めていくことも大事かと考えている。
97	60歳代	野登地区	女性	男女共同参画も大切ですが、私の年代では、やはり男性を大事にするべきです。女性が頑張っても男性には勝てないと思います。家族では男ががっちりしていなくては「ダメ」だと思います。以上。一家の土台は男ですから…。

8. 女性のほうが優遇されている。... 2人

	年代	地区	性別	内容
98	30歳代	亀山地区	男性	社会全体では、女性だけのサービスしか無いように思う。社会全体では、女性の方が遙かに優遇されている。弱い(軟弱)な男性が増え、強いと勘違いした女性が増えた。子供の教育も大切だが、親や大人のモラルの低下の方が問題のような気がする。子供の教育は親や大人がする事だから。
99	60歳代	関地区	女性	男女共同もある一部では良いかもしれませんが、女性の立場をあまりにも有利することで、女性が強すぎ、あまりにも男性が、昔みたいに強い男性が少なくなるため弱い男性が多すぎることがあります。それと男性が父子家庭になった場合、女性は有利な点も多いが男性の場合女性よりも困ることが多すぎると思います。その点を見直してやってはどうかと思う。

9. 亀山市男女共同参画推進条例に関する意見...11人

	年代	地区	性別	内容
100	30歳代	井田川地区	女性	漢字での名称は分かりづらい。もっとひらがなで分かりやすい名称にしてほしい。漢字は堅苦しいイメージがする。
101	30歳代	亀山地区	男性	亀山市で、特にこの条例を制定しなくても良いのではないかと思います。もっと別の子育て支援 etc. についての条例とかについて考えてみてほしいと思います。
102	30歳代	川崎地区	男性	亀山市男女共同参画推進条例は、具体的な事例に適用できるようにしなければならぬと思う。
103	30歳代	白川地区	女性	亀山という地域性でこの様な取り組みをして、どれ程市民が変われるか疑問です。もし、この条例が制定されるなら、内容のあるものにして欲しい。
104	40歳代	亀山地区	男性	(仮称) 亀山市男女共同参画推進条例の具体的な活動が判らない。PR不足…。
105	60歳代	井田川地区	男性	「男女共同参画」の意味をもっと具体的に表す必要がある。2ページの定義では抽象的すぎて、すでにほぼ実現されているとも捉えられる。条例や活動の目標を具体的な指標と数値で示すべき。
106	60歳代	亀山地区	女性	男女を問わず能力のある特に若者達に沢山参加をして頂き、どんどん亀山市の若返りを期待出来るよき条例が制定される事を切に希望します。現在、西小SOSに参加していますが、児童の少ないのに張りあいありません。魅力ある亀山市になり、若者のUターンが増えるとうれしいです。ひいては児童の増加につながると思います。

	年代	地区	性別	内容
107	60歳代	亀山地区	男性	・亀山市の推進条例として具体的にどんな事を実行するのか見えないが、又どう いう方法で市民の方にPRするのか。
108	60歳代	亀山地区	男性	全部含めて平等にやり、対等に出来るという条例であれば、全面的に応援したい。 これは市役所業務の内容だけでなく、土木、建築、流通、商業、工業、全般的に 視野を向けたものとするべし。メンバーも多岐に亘るべし。狭い範囲の条例は、 井の中の蛙となる恐れあり。
109	70歳以上	亀山地区	女性	条例の制定が市民に定着することを期待します。
110	70歳以上	亀山地区	男性	当市の男女共同参画基本計画の策定とともに、その理念が市民に理解、受け入れ られ、市民自らがその担い手として各種団体組織を立ち上げ「町おこし事業に、 地域づくりに、環境づくりに」と、市民参画活動も活発となり、市勢発展に年々 その成果が認められることは喜ばしい現況です。以下私の要望・意見です。 軌道に乗りつつある、現団体組織（有志者）の更なる拡大を図るため、早急に市 条例の制定を行い、理解者の熱意を失することのないよう制度化し、市民活動の 向上を図るべきと考える。

10. その他男女共同参画に関する意見...15人

	年代	地区	性別	内容
111	~29歳	亀山地区	女性	DVやセクハラに対して今後ますます状況が悪化するものと考えられる。三重 県ではそうした被害者に対しての施設 etc. がまだまだ発展しておらず、相談窓口 もどこに行ったらいいのかわからない。もっと広告などで相談窓口の存在をアピ ールして下さい。
112	~29歳	野登地区	男性	女性を守る団体を作り、それを守る男性の団体を作る。
113	30歳代	井田川地区	男性	老若男女共同参画が、もっとも平等で公平性があるように思う。企業等のように、 収益という目標に対して若い人の考え方や意見が取り入れられるような先見の明 に富んだ上司が必要で、その中に女性の意見・考え方が含まれるようになればと 思う。老若男女を問わず、能力の高い者とそうでない者を明確にした社会づくり が重要で、その一端を公務員が担うのでは？退職前の課長と生え抜きの若手課長 の割合はどうか？市の職員は企業と同等か、それ以上に女性の職員がいるよ うに思われるが、男の課長に対して女の課長の割合は？「女性」を推すだけで なく、これに賛同する「男性」が必要で、若年層を推すといった形ではどうか。
114	30歳代	関地区	男性	中学校の給食を続ける。
115	40歳代	井田川地区	女性	市役所の窓口を訪れても、男性が訪れた時と女性が訪れた時の職員の対応が違う （男性が訪れた時の方が対応が良い）。女だからと軽くあしらわれているようで気 分が悪いです。男女共同参画を掲げられているのに恥ずかしいと思われませんか？ 均等な対応をお願い致します。
116	40歳代	昼生地区	男性	まずは、行政が見本となり、推進していく。
117	50歳代	井田川地区	女性	今後親しみやすい活動にしてほしいです。
118	60歳代	加太地区	男性	男女共同参画推進も極めて重要な政策と思います。
119	60歳代	亀山地区	女性	お手伝いできることがあれば、したいと思います。
120	60歳代	亀山地区	女性	私達の頃から比較すれば男性と同等、女性もいろんな面で積極的に活躍する場が 出て来たと思います。
121	60歳代	亀山地区	男性	「和を以て尊しとする」聖徳太子の精神を生かせるような社会システムの構築が 大切である。
122	60歳代	亀山地区	男性	・高齢化と言われているが、高齢者の方も共同参画推進メンバーに入れる事も考 えて下さい。知恵やアイデアを持った方が居ると思うが。
123	60歳代	川崎地区	男性	・男として充分働いている人には、女性より尊重する社会 ・妻セレブで俺セルフの社会の廃止
124	70歳以上	関地区	女性	私はこの年齢になって身体も弱まり世の中のためになれず、ご迷惑おかけして来

	年代	地区	性別	内容
				ました。これからの若い人たちのため、よいと思うことを進めて下さい。
125	70歳以上	関地区	男性	老後保障の格差が大きい(年金、退職)。結婚や子供を作らない。仕事ひとすじに。

11. アンケートに関する意見...21人

	年代	地区	性別	内容
126	~29歳	井田川地区	男性	1500部の紙が無駄にならないよう、頑張ってください。
127	~29歳	亀山地区	女性	アンケートが長すぎる。読むだけで大変。
128	~29歳	亀山地区	女性	対象年齢を20歳以上にした方がいいと思います。私は結婚もしていないし学生なので参考にならないと思うので...
129	~29歳	亀山地区	女性	こういったアンケートに参加できて、うれしく思います。作成されるのは大変なことだと思いますが、こうして全員は難しくても、少数の小さな意見ではありますが、いろいろな人が考えていることが少しでも伝わる、伝えることができるチャンスだと思いますので、これからも頑張っていってください。全国的には急には無理かも知れませんが、少なくとも、今、住んでいるこの地域、また、その周辺の地域が少しでもよりよいものになっていってくると嬉しいです。
130	40歳代	井田川地区	男性	あんな～！！こんなくだらん細かいプライベートのことを聞くより、もっと助けてほしい以前の問題を何とかせよ！！高い税金をこんなことに使わんと、子供の教育費やそっちの支援を頼むで。なんで、お役所はこんな馬鹿ばかりやるねん。地域のどうのこうの言う前に、生きて行くこと、お金がないことでDVに発展しよるのがわからんのか。ええ加減にせい！！バカ市役所。無駄な銭使うな！！ 0Pに書き込み：バカ市役所へ、このアンケート作って配布するのにお金なんぼ使ったの全部、市民に返せ！！こんなアンケートとって、市民は良くなるのか。離婚増やして何が嬉しい。 11・12Pに書き込み：いい加減、時間の無駄にぶち切れそう！！なんで臭いの元じゃなくて、蓋をすることばかりを考えるのじゃ！！ 13・14Pに書き込み：役場が楽することばかり考えるんじゃないわい！！自分らで考えて新しいことを考えて作れ！！よその真似するしか能のない亀山市役所最低！！
131	40歳代	川崎地区	女性	主人宛のアンケートでしたが、本人は全く記入する意思もないので、妻が記入しました。
132	40歳代	関地区	男性	市民に意見を聞くという意味はわかるが、結局市民の声は最終的には届かない！リストラ、不景気に無関係な公務員に何がわかるのか？
133	50歳代	井田川地区	男性	アンケートもいいですが、女性の生の声を市として聞くことが必要でしょう。担当者が足を運ぶことが重要でしょう。
134	50歳代	加太地区	女性	私、無記名のアンケートは嫌いです。無記名だったので本心が書けなかった気がします。男女共同参画推進頑張ってください。
135	50歳代	亀山地区	女性	50歳代の私には、難しい調査だと思います。ちぐはぐな答えが出ていると思いますが、ご苦労様です。亀山市民として、みんなが(男女)楽しく、生活できるようお願い致します。
136	60歳代	亀山地区	女性	職場を離れて数年経過していますので、今回の男女共同参画のアンケートもピンときません。
137	60歳代	川崎地区	男性	アンケートの設問が、統計手法によっては、回答者の意志とは別の内容になる恐れがある部分は回答していません。
138	60歳代	関地区	女性	アンケート結果集計は必ず公開する事。
139	60歳代	関地区	男性	亀山市の住民の生活と企業とについても意識調査もすべきだ。
140	70歳以上	加太地区	女性	宛名のご本人はお答えくださいと書いてありますが、高齢で寝たきりでありますので、宛名の人物を良く調べて出して下さい。家の者が代筆させていただきました。

	年代	地区	性別	内容
141	70歳以上	神辺地区	女性	年寄りですので、難しいでした。
142	70歳以上	亀山地区	女性	70歳をすぎているため、大変難しかったと思って、何とか 印をしたのです。
143	70歳以上	亀山地区	女性	お忙しい中、勉強させてもらいました。これからもっと考えさせてもらいます。頭が少しでもさえる様、広報もよく読み、ぼけ用にも頑張ります。又のおりを注意して過ごします。かしこ
144	70歳以上	川崎地区	女性	歳のせいか、問題について考えなければ余計に難しく、今までにしてきて自分がよい方法でこれからも老後を暮らして行かれたらよいと思っています。子供達も私達二人の老後については少しは考えを示してくれる時もあり、自分達だけの事しか今の私にはお答え出来ず、申し訳ありません。
145	70歳以上	関地区	女性	85歳になる老人です。この様なアンケートは全然わかりません。答えられません。これからは世の中のことはわかりませんので、回答は出来ません。よろしく願います。
146	70歳以上	関地区	男性	改革を進めたり、アンケートを取る時、現状把握からされては。例 問 23-3 で 1 ~ 11 は現状で記録があると思います。その中で亀山の人は 1 に何人中何人 2 , 3 , 4 と調査して、何故少ないか多いか、又人権擁護委員のどの地区の人に何件あり、差が大きければ、地区の問題か、委員の人格かとか現状を分析して対策計画を立てられることを願います。

12. 男女共同参画やアンケートとは関係のない意見... 9人

	年代	地区	性別	内容
147	30歳代	亀山地区	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で社会活動（PTA、自治会 etc.）がもっと活発になってほしいと思います。“子供ひとり育てるのに、村中みんなの力が必要”なのです。個人主義の世の中ですが、古き良き時代の日本をとりもどしたいと思います。 ・聞いた話ですが、障害児の集いみたいなものに参加した人の意見ですが、ビデオをまわして、発言の一言一言を記録しており、後で「あの人は差別発言をした」と訴えられそうな空気があったといえます。障害児だけでなく、セクハラ問題 etc. もそうですが、言葉を選びすぎて自分の本当の心の中の思いを自分の言葉で発言できないのは残念なご時世です。
148	50歳代	井田川地区	女性	介護のボランティアをしています。軽度の利用者さんでも要介護3とか認定を受けている方もいます。個人負担額を2割くらい上げては？と思うこと再々です。ケアマネの方によってかなりの差があるようなことを聞きました。平等な認定を希望します。子供が公園で遊べない社会になっています。将来が不安です。安全に集団で遊べる場を！！
149	50歳代	井田川地区	女性	私達、団塊の世代は、良いも悪いも競争世界の中で生きて来た。定年を迎え、長い間社会で仕事人間である事を少しホッとした気持ちで終え、ゆっくりした余生を送りたいと思いつつ、又何か社会の一員として自分の居場所を探す様になると思います。多種多様な生き方が有ると思われるが、亀山市は自然に恵まれ、人が生活するにはとても良い地域だと思います。サークルとか生きがいを持てる様な場を提供して頂ければ（たとえば、もっとスポーツを盛んにする）住みよい地域になると思います。
150	60歳代	井田川地区	男性	プライバシー保護のため、他人を見たらこわい。知らない人には何も言わない。人を使っていじめがある。自分の事は自分で？
151	60歳代	加太地区	男性	とりわけ集落世帯数（78戸）のうち、2人暮らし40戸、5年先の世帯数も20戸内外が崩壊していく。なぜ若者、後継者が育っていかないのか、都市部に比べて山間部の生活環境が極めて劣悪化、同時に集落の活性化対策でも意識的に希薄となり、自然体に流されていく風潮にある。生活の最大要因は税金が高騰し続けていく反面、年金支給額が減少傾向にある。明るい住まいをしたいが新設税、固定資産税の上乗せ、税金で田畑売りが増えている（支払不能）。要望は山間部の見直

	年代	地区	性別	内容
				し、世帯戸数減少化ザ・ストップ政策を。
152	60歳代	関地区	男性	関町と亀山市が合併してから亀山市が中心になった様に感じるが、亀山市も関町も平等に考えてもらいたい。関町は亀山市と合併するまでは、もっと町の事等にも目を向けてもらえて充実していた。
153	70歳以上	川崎地区	女性	アンケートには、関係のない事ですが、17年の暮れの日、雪の日転んで、手首を骨折して救急車で亀山医療センターに運ばれました。その時は、連休日にあたって外科医の担当の先生がいらしたにも関わらず、手術をしてもらえず帰らされました。そして、5日間も放置させられました。命には別状ないかもしれませんが、人の命を預かる医師たる人の取るべき道ではないでしょうか。私は今でも指が思う様に曲がりません。未だに医療センターに行っています。医療センターのシステムは、どうなっているのでしょうか。考え直して頂けたらと思います。能褒野地区
154	70歳以上	関地区	女性	家庭で介護ができない場合、介護施設でやっかいになるには国民年金では足りないので、亀山市が少しでも援助して下さい。
155	70歳以上	関地区	女性	亀山市になってから地域が広くなり、色々な行事に参加する意欲がなくなりました。

3. 調査票

男女共同参画に関する市民意識調査

- 調査の趣旨とご協力をお願い -

平素は、市行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、亀山市では男女共同参画社会の実現に向け、平成17年度に「亀山市男女共同参画基本計画」を策定し、総合的かつ計画的な施策の展開を進めています。また、平成18年度からは「(仮称)亀山市男女共同参画推進条例」の制定に向けた取り組みを行っています。そのような中、「亀山市男女共同参画基本計画」の進捗状況を確認するとともに、「(仮称)亀山市男女共同参画推進条例」の制定に向け、市民の皆さんの男女共同参画に関する意識や生活についてご意見をお聞かせいただきたいと存じます。

この調査は、無作為に抽出した満18歳以上の方1,500人の皆様にご協力をお願いしております。ご回答につきましては、無記名でご返信いただき、調査結果は全体として集計しますので、個人の情報がもれることはありません。率直なご意見をご記入いただきますよう、お願い申し上げます。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成19年6月

亀山市長 田中 亮太

《調査票のご記入にあたってのお願い》

1. ご回答にあたっては、**あて名のご本人がお答えください。**
2. ご回答は、質問をよく読んで、あなたの状態や考え方にもっとも近い番号を選んで印をつけてください。「その他」に当てはまる場合は、お手数ですが、なるべく具体的にその内容をご記入ください。
3. ご回答は、鉛筆、ボールペンなどではっきりとご記入ください。
4. ご記入いただきました調査票(この用紙)は、**6月27日(水)**までに、同封の返信用封筒に入れて、お名前を書かずに郵便ポストにご投函ください。(切手は、不要です)

* この調査についての問合せ先

亀山市企画政策部行政改革室
電話 84 - 5023 (直通)

男女共同参画社会について

「男女共同参画社会」とは、
「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的な利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」
のことです。

問7．あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- 1．知っている
- 2．聞いたことはあるが、意味は知らなかった
- 3．知らなかった

男女平等について

問8．あなたは、次にあげる分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。
～ のそれぞれについて、1つずつ選んで 印をつけてください。

	優男 遇性 され て方 いる が	優男 遇性 され て方 いる が	ど ち ら か と い え ば	平 等 で あ る	優女 遇性 され て方 いる が	優女 遇性 され て方 いる が	わ か ら な い
家庭のなかで	1	2		3	4	5	6
職場のなかで	1	2		3	4	5	6
学校のなかで	1	2		3	4	5	6
地域のなかで	1	2		3	4	5	6
社会通念や風潮で	1	2		3	4	5	6
法律や制度の上で	1	2		3	4	5	6
政治(政策決定)の場で	1	2		3	4	5	6
社会全体で	1	2		3	4	5	6

問9.「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。
次の中から1つ選んで 印をつけてください。

1. 同感する
2. どちらかといえば同感する
3. どちらかといえば同感しない
4. 同感しない
5. わからない

家庭生活について

問10.あなたの家庭では、家庭生活について、夫婦の間でどのように分担していますか。
~ のそれぞれについて、1つずつ選んで 印をつけてください。

	ほとんど妻がしている	妻が中心だが夫も手伝う	平等に分担している	夫が中心だが、妻も手伝う	ほとんど夫がしている	夫婦ともほとんどしない (親子ともその他の人がしている)	その他	現在結婚していない 夫・妻がいおよいび
食事の支度	1	2	3	4	5	6	7	8
食事の後片付け	1	2	3	4	5	6	7	
家の掃除	1	2	3	4	5	6	7	
入浴の準備、風呂場の掃除	1	2	3	4	5	6	7	
日常の買い物	1	2	3	4	5	6	7	
日常の家計管理	1	2	3	4	5	6	7	
日常のゴミ捨て	1	2	3	4	5	6	7	
洗濯	1	2	3	4	5	6	7	
高額な商品の購入決定	1	2	3	4	5	6	7	
生活費の確保	1	2	3	4	5	6	7	
P T Aや地域の行事参加	1	2	3	4	5	6	7	
親戚とのつきあい	1	2	3	4	5	6	7	
近所とのつきあい	1	2	3	4	5	6	7	

問11 . あなたは、もし一人暮らし生活になったら、炊事、洗濯、掃除などの家事全般ができますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- 1 . 炊事、洗濯、掃除など1人で家事全般ができ、暮らしていくのに支障はない
- 2 . 炊事、洗濯、掃除など少しはできるが、暮らしていくには少し支障が出る
- 3 . 炊事、洗濯、掃除などあまりしたことがなく、暮らしていくには支障が出る
- 4 . その他()

子育てについて

問12 . 子育てについて、あなたのご意見にもっとも近いものはどれですか。
 ~ のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

	そ う 思 う	そ ど ち ら か と い え ば	そ ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	1	2	3	4	5
子どもの世話の大部分は、男親にもできる	1	2	3	4	5
必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	1	2	3	4	5
男の子は家事ができるように育てるのがよい	1	2	3	4	5
女の子は家事ができるように育てるのがよい	1	2	3	4	5
男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	1	2	3	4	5
女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	1	2	3	4	5

問13 . 子育てに関する地域活動に参加したことがありますか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

- 1 . 子ども見守り活動
- 2 . P T A や子ども会などの活動
- 3 . スポーツ少年団などの指導活動
- 4 . 子育て支援の活動
- 5 . 子ども居場所づくりの活動
- 6 . 教育協議会の活動
- 7 . その他()
- 8 . 特にない

- 1. 生計を維持するため
- 2. 家計の足しにするため
- 3. 教育資金を得るため
- 4. 住宅ローン等借金の返済のため
- 5. 将来に備えて貯蓄するため
- 6. 自分で自由に使えるお金を得るため
- 7. 生きがいを得るため
- 8. 能力・技能・資格を生かすため
- 9. 視野を広げ、友人を得るため
- 10. 社会に貢献するため
- 11. 仕事をするのが好きだから
- 12. 働くのが当然だから
- 13. 時間的に余裕があるから
- 14. 家業であるから
- 15. その他()
- 16. 特に理由はない

問18 - 2. 問18で「1. している」と答えた方にお聞きします。あなたの働いているところでは、男性と女性は平等だと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- 1. 平等である (問19へ進む)
- 2. 女性の方が優遇されている
- 3. 男性の方が優遇されている



問18 - 3. 問18 - 2で「2. 女性の方が優遇されている」「3. 男性の方が優遇されている」と答えた方にお聞きします。あなたが働いているところで、男女が平等だと思わないのはどのようなことですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

- 1. 賃金
- 2. 昇進、昇格
- 3. 能力評価
- 4. 採用時の条件
- 5. 補助的な仕事しかやらせてもらえない
- 6. 定年まで勤め続けにくい雰囲気がある
- 7. 結婚したり子どもが生まれたりすると、勤め続けにくい雰囲気がある
- 8. 教育訓練を受ける機会に差がある
- 9. その他()
- 10. わからない (問19へ)

→ 問18から

問18 - 4. 問18で「2. していない」と答えた方にお聞きします。今後適当な形の仕事があれば働きたいですか。働きたい仕事の形を、次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- 1. 常勤の仕事(正規従業員)
- 2. パートタイム、アルバイト、非常勤など
- 3. 派遣の仕事
- 4. 自由業、自営業、家族従業など個人で働きたい
- 5. 在宅で働きたい(内職やインターネット等を活用して)
- 6. その他()
- 7. 働きたいとは思わない

ドメスティック・バイオレンス（結婚相手・恋人などからの暴力）
セクシュアル・ハラスメントなどについて

問22．あなたは、次の言葉および法律の内容についてご存知ですか。～のそれぞれについて、1つずつ選んで印をつけてください。

	よく知っている	少し知っている	言葉がある程度聞いた	知らない
ドメスティック・バイオレンス	1	2	3	4
DV防止法	1	2	3	4
セクシュアル・ハラスメント	1	2	3	4

ドメスティック・バイオレンス（domestic violence）夫婦間や恋人など親密な関係にある、または親密な関係にあった男女間における身体的・精神的な暴力。略してDVとも言われている。

DV防止法 ドメスティック・バイオレンス（DV）を防ぐため、2001（平成13）年に法的な措置として成立。正式名称「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」。

セクシュアル・ハラスメント（sexual harassment）性的いやがらせ。相手の意に反した性的な性質の言動で、身体への不必要な接触、性的関係の強要、性的なうわさの流布、性的な冗談やからかいなど、さまざまなものが含まれる。

問23．あなたはこれまでに、結婚相手や恋人から暴力を受けた経験がありますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- 1．ある 2．ない （問24へ進む）



問23 - 1．問23で「1．ある」と答えた方にお聞きします。その暴力はどのようなものでしたか。これまでの状況に関して～のそれぞれについて、1つずつ選んで印をつけてください。また、現在の状況に関しても同様に、1つずつ選んで印をつけてください。

次ページへつづく

	これまで			現在	
	何度もあった	1・2度あった	ない	現在もある	現在は無い
命の危険を感じるくらい暴行を受ける	1	2	3	1	2
医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける	1	2	3	1	2
医師の治療が必要とされない程度の暴行を受ける	1	2	3	1	2
足で蹴られる	1	2	3	1	2
手でたたかれる	1	2	3	1	2
殴るふりをして、おどされる	1	2	3	1	2
何を言っても無視され続ける	1	2	3	1	2
いやがっているのに性的行為を強要される	1	2	3	1	2
見たくないのに、ポルノビデオ・雑誌を見せられる	1	2	3	1	2
交友関係や電話、メール等を細かく監視される	1	2	3	1	2
生活費を渡さないなど、経済的におさえつけられる	1	2	3	1	2
大声でどなられたり、暴言を吐かれる	1	2	3	1	2

問23-2. 問23で「1. ある」と答えた方にお聞きします。暴力を受けたとき誰かに相談しましたか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 相談した

2. 相談しなかった

問23-4へ

問23-3. 問23-2で「1. 相談した」と答えた方にお聞きします。どのような所および人に相談しましたか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

1. 配偶者暴力相談支援センター「三重県女性相談所」
2. 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ相談室」
3. 三重県の相談窓口「三重県人権センター」など
4. 亀山市総合保健福祉センターあいあい「女性相談」
5. 亀山市の相談窓口「くらし・男女の行政相談」など
6. 警察
7. 弁護士
8. 医師など医療関係者
9. 婦人相談員
10. 人権擁護委員
11. 民間支援団体
12. 親族
13. 友人・知人
14. その他()

問25 .あなたがセクシュアル・ハラスメントだと思うことはどれですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

- 1 .地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する
- 2 .相手がいやがっているのに、肩に手をかけたり、身体に触る
- 3 .宴席で、お酌やデュエット、ダンス等を強要する
- 4 .容姿に関して繰り返して言う
- 5 .相手がいやがっているのに性的な冗談を言う
- 6 .職場や学校、集会などの場でわいせつな話をする
- 7 .ヌードの写真やポスター、カレンダーなどを人目のつくところに貼る
- 8 .結婚予定や出産予定をたびたび聞く
- 9 .その他()
- 10 .特にない
- 11 .わからない

問26 .近年において、性犯罪や売買春(いわゆる「援助交際」を含む)、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント等についての関心が高まっていますが、このようなことをなくすためにはどうしたらよいと思いますか。次の中から主なものを3つまでを選んで○印をつけてください。

- 1 .法律・制度の制定や見直しを行う
- 2 .犯罪の取締りを強化する
- 3 .捜査や裁判での担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする
- 4 .被害女性を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる
- 5 .被害女性のための相談所や保護施設を整備する
- 6 .学校・家庭における男女平等や性についての教育を充実させる
- 7 .性別や人種・障がいの有無による差別、同和問題などのあらゆる差別を許さないよう、人権尊重についての教育を学校、家庭において充実させる
- 8 .メディア(新聞・テレビ等)が自主的に倫理規定を強化する
- 9 .過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する
- 10 .その他()
- 11 .特に対策の必要はない
- 12 .わからない

社会参加について

問27. あなたは現在、地域における社会活動に参加していますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 参加している

2. 参加していない



問27-1. 問27で「1. 参加している」と答えた方にお聞きします。あなたが参加している社会活動はどのようなものですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

1. 県・市の審議会・委員会
2. 町内会、自治会等の活動
3. PTA活動
4. 子ども会・青少年グループの世話
5. 青年団体・女性団体・老人団体などの活動
6. 消費者団体・生活協同組合などの消費者活動
7. NPO団体などのボランティア活動
8. その他()

問27-2. 問27で「2. 参加していない」と答えた方にお聞きします。社会活動に参加していない理由は何ですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

1. 家事・育児・子どもの教育が忙しくて余裕がない
2. 老人や病人の世話がある
3. 家族の理解・協力が無い
4. 仕事が忙しく余裕がない
5. 活動に経費がかかる
6. どんな活動があるのかよくわからない
7. その他()

問28 . 今後、男性・女性がともに、家事、子育て、教育、介護および地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

- 1 . 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
- 2 . 仕事中心という社会全体の仕組みを改めること
- 3 . 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること
- 4 . 妻が、夫に経済力や出世を求めないこと
- 5 . 労働時間短縮や休暇制度を普及させること
- 6 . 男性の男女共同参画に対する関心を高めること
- 7 . 夫婦の間で家事などの役割分担をするように十分に話し合うこと
- 8 . 夫が家事などをすることに妻が協力すること
- 9 . 男性が、家事などに参加することに対する抵抗感をなくすこと
- 10 . 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること
- 11 . 子どもに対し家事などを自分でできるようなしつけや育て方をする事
- 12 . 子どもへの教育の中で、男女共同参画の必要性を教えること
- 13 . その他()
- 14 . わからない

男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて

問29 . 政治や行政における、政策の企画や方針決定の過程への女性の参画は、徐々に改善はされているものの、依然として少ないのが現状です。あなたは、このような女性の参画が少ない状況は何が原因だと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

- 1 . 家庭・職場・地域における、性別による役割分担や性差別の意識
- 2 . 男性優位の組織運営
- 3 . 家族の支援・協力が得られない
- 4 . 女性の能力開発の機会が不十分
- 5 . 女性側の積極性が十分ではない
- 6 . 女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない
- 7 . その他()
- 8 . わからない

亀山市男女共同参画に関する市民意識調査
結果報告書

平成 19 年 8 月

亀山市企画政策部行政改革室